

1.ワークショップ結果

1. ワークショップ結果

新庁舎整備基本構想の再策定にあたり、新庁舎整備ロードマップに記載されている STEP ごとの視点に重きを置きながら、市民の皆様へ情報を伝え、意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映することを目的として、以下の通り、市民ワークショップを開催しました。ワークショップは市民の皆様へ新庁舎整備を楽しく自分ごととして捉えていただき、他者との対話を通じて理解を深められるよう進めました。

また、全3回の市民ワークショップでは参加の少なかった外国人市民や障がい児者、子育て世代の市民の皆様の意見を伺うため、それぞれを対象としたワークショップを個別に行いました。

No	ワークショップ名	テーマ	日時		場所	参加人数
1	第1回市民ワークショップ	市民が考える「10年後の市の役割」	1日目	令和5年 7月23日(日) 9:30~11:30	生涯学習センター 201	30人
			2日目	令和5年 7月26日(水) 19:00~21:00	生涯学習センター 201	31人
			3日目	令和5年 7月29日(土) 14:00~16:00	生涯学習センター 404	27人
2	第2回市民ワークショップ	「新庁舎の役割」 「新庁舎のコンセプト」	1日目	令和5年 9月24日(日) 14:00~17:00	生涯学習センター 201	22人
			2日目	令和5年 9月25日(月) 18:00~21:00	生涯学習センター 201	23人
			3日目	令和5年 9月30日(土) 14:00~17:00	生涯学習センター 201	22人
3	第3回市民ワークショップ	「新庁舎の機能」 「新庁舎の複数候補地案」	1日目	令和5年 12月2日(土) 15:30~18:30	生涯学習センター 201	15人
			2日目	令和5年 12月3日(日) 14:00~17:00	生涯学習センター 201	18人
			3日目	令和5年 12月7日(木) 18:00~21:00	生涯学習センター 201	24人

No	ワークショップ名	テーマ	日時		場所	参加人数
4	子育て世代対象 新庁舎整備 ワークショップ	「子育てにやさしい 新庁舎の機能を考え よう」	－	令和 6 年 7 月 10 日(水) 10:00～11:30	みのかも 健康プラザ 研修室	10 人
5	外国人市民対象新庁 舎整備 ワークショップ	「こんな市役所だっ たらいいな」	－	令和 6 年 7 月 27 日(土) 15:00～16:30	生涯学習 センター 202	13 人
6	障がい児者に やさしい新庁舎整備 ワークショップ	「だれにでもやさし い新庁舎の機能を考 えよう」	－	令和 6 年 8 月 27 日(火) 13:30～15:00	生涯学習 センター 20 1	17 人

(1) 第 1 回市民ワークショップ

第1回 市民ワークショップ 結果概要

テーマ:市民が考える「10年後の市の役割」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第1回のワークショップは「市の役割の見える化」をテーマに、全3日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1 日目	2 日目	3 日目
日時	令和 5 年 7 月 23 日 (日) 9:30~11:30	令和 5 年 7 月 26 日 (水) 19:00~21:00	令和 5 年 7 月 29 日 (土) 14:00~16:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター404
参加人数	30 人	31 人	27 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. ウォーミングアップ
お題:「10年後の私の暮らしと美濃加茂市」
5. グループワーク
お題:市民が考える「10年後の市の役割」
6. 全体発表
7. おわりに



(3)参加者募集の概要

- 対象:市内在住・市内在勤の中学生以上
- 定員:36 名
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール)
- 申込期限:7 月 18 日(火) 〆切
- 募集方法:市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、広報折込チラシ(1 万 4 千人)、各種団体への文書の送付。

(4)主催者・事務局・ファシリテーター

- 事務局:美濃加茂市 新庁舎整備推進課 5 名(高田、春見、日比野、楯、朝日)
- 市長・副市長、市の職員(各部長 8 名、新庁舎整備事業プロジェクトワークショップ部会 大坪、中尾、朝日、宮崎、各務、富岡、柴田、田口、井戸、鈴木、梅村)
- ワークショップ開催補助:(株) テイコク(豊嶋、成瀬明、成瀬大、山崎、桐山、牧野、青木)

- ファシリテーター（全体の進行役）：パブリック・ハーツ（水谷／豊田／出口／稲葉）
- グループファシリテーター（グループの進行役）：6名（WS部会：4名、事務局：2名）
 - 一日目（楯雄至、日比野公哉、大坪加奈、中尾絢子、朝日建太郎、宮崎貴大）
 - 二日目（日比野公哉、各務実里、富岡慧、柴田賢二、中尾絢子、梅村侑）
 - 三日目（日比野公哉、田口昌広、井戸駿介、鈴木奈津子、梅村侑）

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、10年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

全体の傾向としては、安心安全なまちづくりをする存在であることや、多様な人が暮らす美濃加茂市であることから、こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であることが求められていました。

新しい庁舎に対してのご意見としては、DX化による効率化や機能の集約、誰もが使いやすい立地であること、安心安全なまちのための施設であることが求められていました。

(2)各開催日の結果の概要

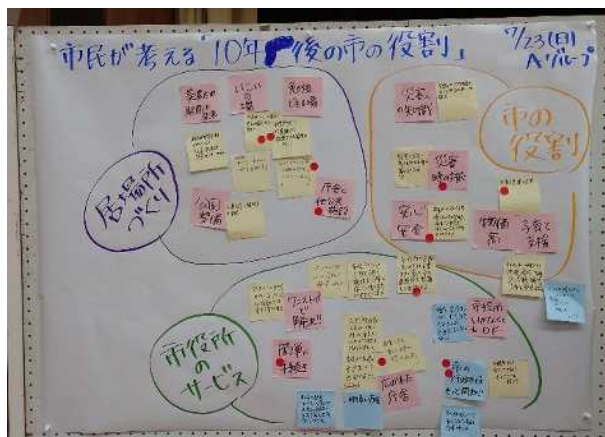
1日目	<p>【市民に寄り添い、まもる行政の存在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在であること。困った時にスムーズに助けてくれる存在であってほしい。 ・介護や健康を安心して提供すること。相談できること。 ・10年後の市の役割①市民の生活を支える行政（支える扶助費が増えないようにする）であること。 ・市民の生活を守る・護る存在であること。 ・市民の為に住よい町づくりをしてほしい。特に「多文化共生」がキーワードである。 ・市と市民との協働（市民のつながりを強化する必要がある） ・市民の声をよく聞いてほしい（要望をよく聞いてほしい。金がない予算がないで断られている） <p>【安心安全なまちのための公共施設（新庁舎）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。 ・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要である。 <p>【市民の憩いの場となる新庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が憩いの場として使える場所がほしい。 ・こどもの健康を守る存在であってほしい。 <p>【コンパクトな新庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は機能的コンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎となっている）とする。 ・新庁舎は、ムダな機能はつけない。 <p>【わかりやすい行政サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、1つの窓口でわかるようにしてほしい。 ・市の行政サービスについて、周知が必要である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどものある世帯が増えるような市にする。 ・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）をしてほしい。 ・デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。 ・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい。 ・高齢者が自動車がなくとも（移動手段がなくとも）買い物ができる。 ・10年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政であること。
2日目	<p>【地域のまとまり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が減ることへの対応が必要とされている。 ・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化がはかれることを求めている。 ・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応が必要である。 <p>【魅力ある市をつくる（支えあい、希望の持てるまち）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが明るく・安心して住めるよう美濃加茂市が求められている。 ・挑戦したい人を全力で応援する、まちのあり方が求められている。 ・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿にこどもが憧れ、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市としていきたいと考えている。 ・市民が困っていることをすくい上げて解決するような市を求めている。（困っている声が届かない、困ったときにどう相談したらよいかわからないと感じる。） ・共存をテーマに子育てや自然の維持、生きがいをもって暮らせるまちづくりが求められている。 ・こどもや子育て世代から高齢者までが共存できるまちを望んでいる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の方による介護（老聾介護）の問題の解決が求められている、また、その不安に対する理解や共有が必要である。 ・ゆりかごから墓場まで保証されていて、ママ保育の環境も整っていて、美濃加茂市で生活していきたいと他市がうらやむ共存できる街であって欲しい。 <p>【産業振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。 ・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。 <p>【安心安全なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。 ・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。 <p>【DX化による効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用し、役場での手続きを減らすことで小さい市役所とすることが求められている。 ・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにすることが求められている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市をPRできるとの意見がある。 ・市民によりそう市の職員になってほしい。
3 日目	<p>【安心安全なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点となる災害に強い市にしたい。 ・防災に強い体制づくりが必要である。 <p>【魅力ある市をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人達が市を作っていくことが必要である。 ・障がい者にやさしいまちにしたい。 ・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。 ・人口が増加するような魅力のある市としたい。 ・高齢者、障がい者、子ども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後にしたい。 <p>【コンパクトな新庁舎（市役所機能の集約）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は 1 ヶ所にまとめて、機能を集約して欲しい。 ・市役所機能を集約して、高齢者でも使いやすいようにして欲しい。 ・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。 <p>【DX化による効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル(DX)化を推進してオンライン手続きやハンコ廃止等を実現して欲しい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議員の定数を減らす。 ・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。

(3)各開催日のグループごとの結果の概要

■7/23 A 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
居場所づくり	美濃太田駅を発展させたい。公園、図書館、防災センター、マルシェ	美濃太田駅南の発展	
	市民が憩いの場として使える場所がほしい	憩いの場	2
	市民が楽しく気楽につどえる場所		
	市役所内に人が集まったり、勉強できる場所がほしい	勉強できる場	
	市役所と付属で体育館や図書館など、人がたくさん集まるといい。		1
	公園（遊ぶ場所）の管理	公園整備	
市の役割	災害についての知識を一人一人がもっと身につけられる	庁舎と他公共施設	1
	災害に強い老後安心できる暮らしを作る	災害への知識	
	市民サービスの将来像とし住みやすさを追求し安全で安心してらせる市としてもらう	災害時の対応	1
		安心、安全	1
		物価高	
	子育て支援の充実	子育て支援	1
市役所のサービス	住みよい街づくり、防災、雇用、医療、少子高齢、環境、子育て、教育福祉		
	むずかしい手続きなしで、行政の活動ができるようになる。	ワンストップで解決！！	
	悩み事が一つの建物で解決してほしい。	簡単に手続き	1
	市役所だけでなく他の施設も一緒に作って一度の来庁で済ませる様に		
	市役所の本庁だけでは出来ない事を今の連絡所を整備して対応する		1
		市役所いなくても OK	
その他	お役所仕事と言われない様に市民のための行政を進めてほしい。	ひらかれた庁舎	
	市民が気楽に来庁出来る体制作りを進める		
	職員の方が楽しく仕事出来る空間		
	市役所では何が出来るかもっとアピールするべき		
	どうして新庁舎を作るのか。【目的】老朽化/防災以外		
	現在来庁するのに大変な所もあるため、交通方法を考えて欲しい。		
	職員の教育（あいさつを含めて）気軽に相談のできる市民相談窓口を設ける		
	明るい庁舎		
	市の行政サービスもっと周知！！		2
	市の財源について収入源を考える企業誘致		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市民が憩いの場として使える場所がほしい。
- ・市の行政サービスについて、周知が必要である。

■7/23 B班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
庁舎の場所	市民が考える市の役割、市民を守る為の市役所でなければならない	市民を守るため	1
	市民を守る、庁舎を安全、安心な場所に		2
現状の市⇒改善点	市民が相談するとすぐ返事が来ない、高齢者の事務が色々と分かれている。	市と県の役割が不明確	1
		担当する課がわかりにくい	
	連絡所の活用が知りたい、一人暮らしの方の色々な申請が難しくなっている	連絡所の使用料高、市の指導で健康増進しているのに高齢になると運転× →申請がしにくい	
	枝分かれした窓口⇒一本化した窓口	案内たらいまわし →1つの窓口でわかるように	3
将来の市の姿		自治会要望を聞く	1
	工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい	工場誘致	3
	様々な人と関われる場所の提供	自分の考えを言い合える	1
	話し合いの場を増やしてほしい	高校生若い層がこれから 先の話を、話し合いは若い人を集めて年代毎に	
	地域が盛り上がるイベントの企画	イベントを季節問わず	2
		楽しめる場所としての市	

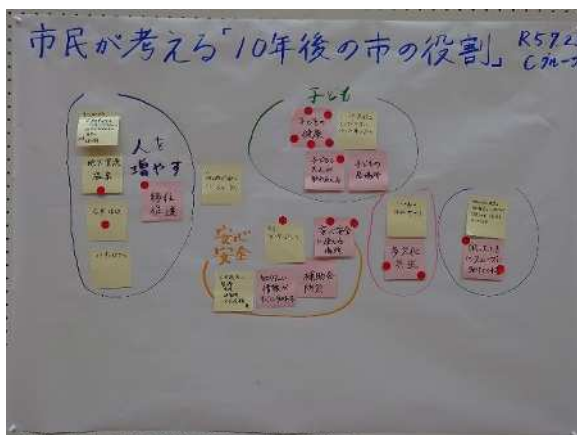
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ 枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、1つの窓口でわかるようにしてほしい。
- ・ 市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。
- ・ 工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。工場誘致に力を入れて下さい。
- ・ 地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント）してほしい。

■7/23 C班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
人を増やす	資源、地下資源 地域交通の要素 美濃加茂地方は資源に恵まれている		
	地下資源、温泉		1
	企業誘致		1
	仕事の町づくり		
		移住促進	1
子ども	小、中、高校生も行きやすい、行く用事がある。	こどもの居場所	
		こどもの健康	5
		こどもと大人が触れ合える	1
安心安全	役割、市民の安定な生活	知りたい情報がすぐ知れる	1
	公共施設の整備、学校体育館文化会館等	安心安全に使える場所	2
		補助金防災	
その他	市民の為の住よい町づくり	多文化共生	2
	市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる。	困った時にスムーズに助けてくれる	2
	美濃加茂市の全国アピール、子育て、福祉、教育		

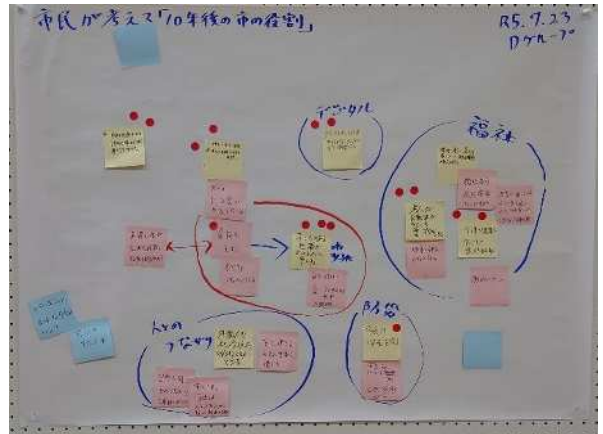
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ こどもの健康を守る存在であってほしい。
- ・ 安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要である。
- ・ 市民の為の住よい町づくりをしてほしい。特に「多文化共生」がキーワードである。
- ・ 市民や地区の希望を公的機関として限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在であること。困った時にスムーズに助けてくれる存在であってほしい。

■7/23 D班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
デジタル	デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。		2
福祉	福祉、厚生に関わる事について、親近感のある対応。	福祉委員、民生委員さんの動き	
		本当に困っている人に手を差しのべられない、地域では限界	
	介護や健康を安心して提供する	相談したい	2
	高齢者が自動車がなくとも買い物ができる	移動手段がなくなる	2
少子化	10年後の市の役割①市民の生活を支える行政	支える扶助費が増えないように	2
		雇用を生む	1
		美濃加茂市企業を誘致する気はあるのか？	
		すべてにつながってくる	
	こどものある世帯が増えるような市にする	自分の班には2/14 子供のいる世帯（本郷町）	3
防災	市民の安全を守る	安全→ゲリラ豪雨、自然災害から	1
人とのつながり	外国人の方と今以上に繋がることができる	家を建てる外国人世帯も増えた	
		日本人同士とのつながりも希薄化している	
		市内にある団地は人がスカスカになってしまうのでは？	
その他	10年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政		2
	人口減るのに立派な庁舎はいる？		
	窓口の市民対応		

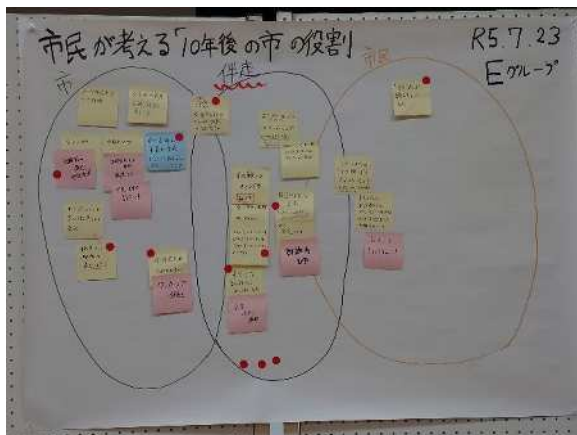
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ こどものある世帯が増えるような市にする。
- ・ デジタル化の充実、市役所に出向かず申請できる。
- ・ 介護や健康を安心して提供すること。相談できること。
- ・ 高齢者が自動車がなくとも（移動手段がなくとも）買い物ができる。
- ・ 10年後の市の役割①市民の生活を支える行政（支える扶助費が増えないようにする）であること。
- ・ 10年後の市の役割②平和の社会を作り国からの圧力を防ぐ様にする行政であること。

■7/23 E 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市	第一は市民生活への援助		
	市全体の発展を願う行政をすること		
	市民の福祉	交通面の強化、利便性 UP	1
	行政サービス	正確なサービス提供、満足度 UP	
		市民活動サポート	
	モチベーションの高い職員さんの育成		
	職員さん（現場の声をきく！）		1
	分庁舎方式は止めてほしい	ワンストップ手続き	1
伴走	小さな庁舎、各連絡所のサテライト機能の拡充		1
	可茂地域のリーダーシップ（市町村合併にむけて）		
	みのかも定住自立圏地域共同での話し合いの場を！		
	魅力的なまち（人口 UP）	財政力 UP	1
	市を発展させる		
	市と市民との協働	市民のつながり強化	3
	市と市民の連携 例、ごみ拾い		
市民	市民が「市が何かしてくれる」と期待するより、自ら何をすべきか考えてくれるように働きかける		1
	こどもを真ん中においたまち		1
	「行政」に頼らないまち		1
	こどもの為に「一肌脱げる」大人が増える（こども会、地域の活動の活発化）		
その他	おじいちゃんおばあちゃんからこどもまでがつながる機会を！（市民運動会など）	世代をわけない	
	市の各町が平等に発展していく仕組みをつくってほしい		1

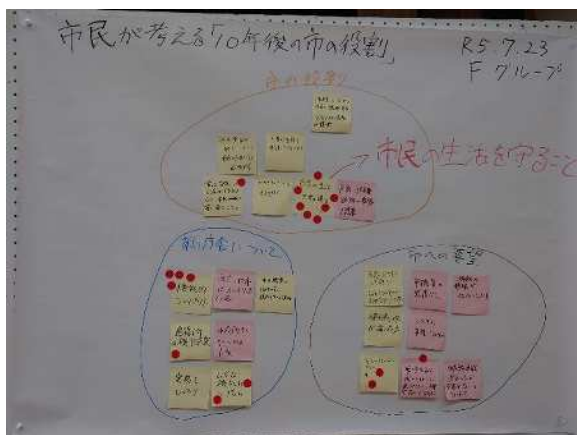
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市と市民との協働（市民のつながりを強化する必要がある）

■7/23 F班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市の役割	制度をわかりやすく説明する。公的な情報の提供	戸籍、住民票、道路の整備、健康	
	住民票など取りに行く市民のためになる市役所		
	大事な書類を申請してとりに行く		
	安心安全な生活ができるように市民に寄り添うこと。		1
	わからないことを聞きに行く		
	市民の生活を守る・護ること		7
新庁舎について	機能的コンパクト	県庁、他市はスッキリした庁舎	4
	市の職員が働きやすい機能的な建物		
	連絡所の機能充実	市役所まで行くのは大変	1
	実務をしっかりと		
	ムダな機能はつけない		2
市への要望	高齢者にやさしくしてほしい。何をしているのかわからない人が多い	市職員の態度が、、	
	保健センターが遠くなった	移転の情報が伝わってなかった	
		システム英語わからない	
	市民の声をよく聞いてほしい	要望をよく聞いてほしい、金がない予算がないで断られる	3
		加茂野連絡所に意見したが、予算がないと言われた。	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市民の生活を守る・護る存在であること。
- ・新庁舎は機能的コンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎となっている）とする。
- ・市民の声をよく聞いてほしい（要望をよく聞いてほしい。金がない予算がないで断られている）
- ・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

■7/26 A班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
福祉／交流	住民福祉が増進し民主的魅力的な街になっている事を期待		
	現在ある各地の連絡所が住民たちが集う充実したサテライト機能をこなしている		1
	住みやすい 老若男女問わず	若い人も高齢者も	
		福祉	1
子育て	こども、高齢者に安心な市		
	10年後はいないと思うが高齢者によりそってほしい		
		文化	1
効率化 DX	役場まで出かけなくても済むようになって、小さい市役所でいいと思う	手続き	4
	環境作り		
	連絡所がなくなりました		
まちの活気	暮らしやすい町、できることから		
	活気のある街（中心街など）	町の活気	
		地域の人と話し合える協力しあえる	
		自治会が減っている	2
		住む人が減る→街の機能が↓（下がる）なんとかしたい	2
	外国人とか自治会に入ってくれない	連絡所が使われていない	1
		文化歴史 まちを知らない人が多い	
庁舎	役場へはコミュニティバスで無料で行ける様に		
	市民の困りごとを解決する役割		
多文化		自治会	
		多文化	1
文化	一言で美濃加茂を表せるものこと	多文化共生問題もある（自治会とか）	
	地域の文化、歴史町の成り立ちを学び直す	アイデンティティ	1
防災	防災の拠点	町づくり	1
PR／広報	まず何のためにあるのか？	美濃加茂 PR しにくい→特徴をつくりたい	
		”市”とはなにか	
		広報	
		情報公開	
その他	市内の高齢者達が市職員として走り廻ってほしい		
	大垣のソフトピアが生まれ変わったデジタル社会の起点となるため、美濃加茂に立地する		
	駅前に住んでいますが道路事情が悪いので「こないで」	庁舎	
	国の政策と自治体との役割が連動するのか	庁舎	
	10年もかかるとは思わなかった		

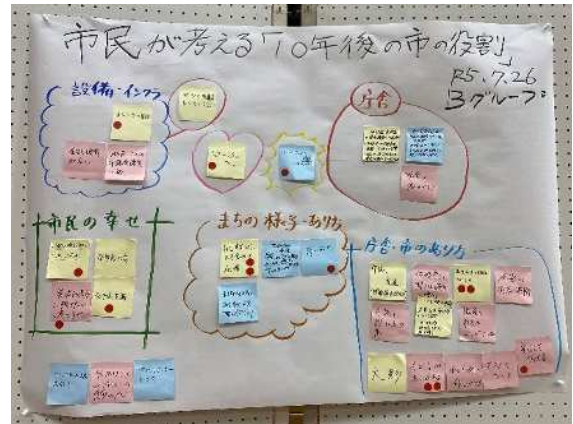
3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ DX を活用し、役場での手続きを減らすことで小さい市役所とすることが求められている。
- ・ 自治会が減ることへの対応が必要とされている。
- ・ 美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応が必要である。

■7/26 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
設備インフラ	インフラの管理		1
	地区の格差を少なくする	金融機関がない	
市民の幸せ	こどもが明るく暮らせる安心して住める	地区ごとの市議会議員の数	
	全市民元気	美濃加茂市に残りたいと思うこども	2
	全市民笑顔		1
自然／文化	自然や文化の大切さ		1
まちの様子あり方	挑戦したい人を全力で応援		2
庁舎	補助金交付金に係る国庫への返納	職員は働きやすさ	
	市役所の不祥事の要因と今後の対策		
	市長の海外出張を議会決議により取り込む		
庁舎 市のあり方	市民と友達に（関係値を深める）	市役所と関わる機会の増加	
	10年後の市役所名実とも市役所のなっていて欲しい 市（市民の）役（役に立つ）所（所）	市民に役立つ所 職員と市民のコミュニケーション	
	老聾介護の問題をなくしてほしい	不安の共有、理解	2
	火影（ほかげ：アニメ「NARUTO-ナルト-」において、里を守る里長）	こどもがあこがれる	2
		市のために命をかける	
		不安をなくす	
		安心して暮らせる	1
その他	コンサルの人は有給？	分かりにくい市民との感覚のズレ	
	ファシリテーターとは？		
	ボランティアの推進（だれでもできる）		1
	環境 できるを増やす、可能性を上げていける		
	夢がある町		1
	利便性が高く安心、安全、安定可能な街づくり		
	「分庁舎方式」は市民が願うものではない大反対、市庁舎は一ヶ所で全てが対処できることを市民は望んでいる		

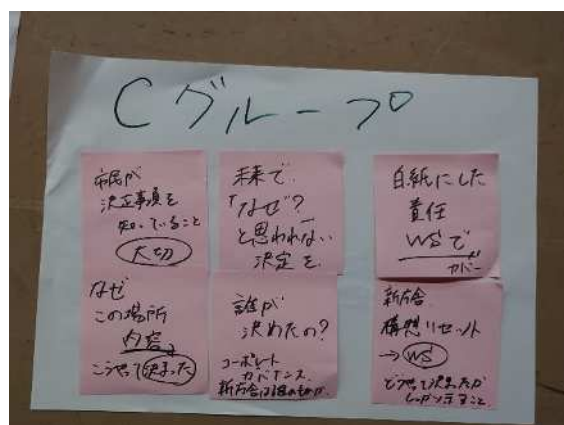
3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ こどもが明るく・安心して住めるよう美濃加茂市が求められている。
- ・ 挑戦したい人を全力で応援する、まちのあり方が求められている。
- ・ 障がい者の方による介護（老聾介護）の問題の解決が求められている、また、その不安に対する理解や共有が必要である。
- ・ 大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿にこどもが憧れ、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市としていきたいと考えている。

■7/26 C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
防災	防災対策を進めて市民が安心してらせる 防災の強化 防災拠点 司令部		1
健康	いつもでも健康に暮らせるよう健康づくりの取り組み、メニューがたくさんある クアオルト無償化		
高齢化など	高齢化がいつそう進んでいる。キメ細かな公共交通が整備されている 財の再配分 文化、伝統等経済合理性の維持 消防 PTA		1
子育て	安心安全 こども達の笑顔 もちつもたれつ地域イキイキ 公助の範囲定義 認知症の方の行方不明がなくなる ごちゃまぜ社会で生きやすい 認知症の方も赤ちゃんあやしが上手 学童が中3までOKになる 高校の無償化 子育てしやすい街の給食も安全安心なオーガニック無料給食、大学生の奨学金制度がある 子育て支援 高校生まで健康保険の無償化	認知症になっても地域で役割をもって 地域で支え合い 高齢者×こども 共働き 子育てに不安	1 1 1 1 1
雇用	企業との連携 働きざかりの人をサポート 雇用が生まれる町若者雇用		2
まちの活性化	データ化見える化 コンセプトと現状のリアルタイム見える化 民主主義本質の浸透 自治会への入会率UP 活発な自治会のサポート 各地域のまちづくり協議会活動が活発に活動している 駅前商店街の活性に力を入れる人がいない	自治会入会のメリット まち全体の活気	1 1 2

	駅前のにぎわい		1
	人が寄れる所を作る（駅前）		
	ライン下の復活に力を入れる		
	高山線の複線化に力を入れる		
	交通インフラの整備		
経済／環境	緑いっぱい	公共性（高）、利益（低）	2
	地域経済の流動性確保		
	ソーシャルビジネスへの投資		
	農業林業の後継者が出来ている		
	環境基準の整備		
福祉／子育て	東中のへや増設	ハード面	1
	障がい者施設の充実		
	保育園の建て替え		
新庁舎		市民が決定事項を知っている事が大切	
		未来で「なぜ？」と思われたい決定を	
		白紙にした責任、WS でカバー	
		なぜこの場所この内容こうやって決まった	
		誰が決めたの？ コーポレートガバナンス、 新庁舎は誰のものか	

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。
- ・各地域のまちづくり委員会が活発に活動することで、まちの活性化がはかれることを求めている。
- ・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。

■7/26 D 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
合併 ／分散	広域連携	細分化の庁舎	1
	部局単位の分散立地		
	10 年後～50 年後の広域合併	10 年後はムリ	
人口減少		細分化の庁舎	1
	人口減少にいたる令和 5 年 57000 人の中外国人 10%→実人口は？	市の歳入不足	
		人口減少	
環境問題	環境問題を食料自給率を美濃加茂市民が計画実行する	空き家問題	
子育て	子育てのしやすい市にしたい	環境の変化	1
相談	子育て支援	子育て支援	
	市民の方々が困っていることをすくいあげて解決する	困ってる声が届かない	3
デジタル化 ／DX		相談窓口一つに	
	デジタル強化		4
	もっと便利の利用できるようにしてほしい	市役所に行かなくても OK	
		デジタルで解決	
その他		市の情報周知不足	
	市議員のムリしないさせない		

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市民が困っていることをすくい上げて解決するような市を求めている。
(困っている声が届かない、困ったときにどう相談したらよいかわからないと感じる。)
- ・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにすることが求められている。

■7/26 E 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
防災	10年後も今も災害時に市民の生活を守る事が最重要	人の命を守る 庁舎が災害に強い	4
安心安全	全市民が安心して暮らせる安全なまちづくり		3
子ども	ゆりかごから墓場まで保障されて、美濃加茂市で生活して行きたいと他市がうらやむ共存出来る街であって欲しい	ママ保育 少子化対策 中学校をつくる	2
よりそい	市民によりそう市の職員になってほしい	市民によりそう 市民の声をすくい上げる	2
魅力づくり		魅力あるまちづくり 魅力を発信すること	3
	カフェ、図書館、食堂などがあると、、、 手続き以外で利用できる所がある		
	関係人口をふやそう	出入りしやすい場所	
効率化 DX	手続きがしやすい		
その他	地域おこし隊を呼ぼう	職員が働きやすいように	

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。
- ・全市民が安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。
- ・ゆりかごから墓場まで保障されて、ママ保育の環境も整っていて、美濃加茂市で生活して行きたいと他市がうらやむ共存出来る街であって欲しい。
- ・市民によりそう市の職員になってほしい。
- ・市の魅力をつくることが求められている。

■7/26 F班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
自然	・自然を大切にし地域が笑顔で明るい社会心豊かな社会のその希望、夢のリーダー級	自然	
		農地の維持の費用がかかる	
		畑、田を維持できず借地も多い	1
		自然を大切に→健康にも	1
		農地が受け継がれない-あれている	1
		もっと山の整備があるとよい	
デジタル化	・デジタル化の進展に対応できるように高齢者への支援	災害	1
		世代	
		おとしより	
		80代買い物不便→改善してほしい 例) マイナポイント一人ではむずかしい	
共存	・共存		5
子育て	・図書館、公園、健康こども部の窓口ーヶ所にまとめる	まとめ手続きができるようになる	
		障がいのある方が自立で稼働することができる場をつくる	1
	・親亡き後も重度の障がいをもっている人が安心して暮らせるような施設（グループホーム等）	教育、発達支援、外国籍	1
		障がいがある人も共存	
	・特別支援関係（カナリア等）を人の集まるキレイな建物に一般も遊べる ・発達障がいの子や外国籍の子が増加する可能性がある。支援の対応口 ・働きやすい ・子育てがしやすい	やりがいがある	
		子育て世代	
		子育て世代	
		子育て世代	
庁舎	・北方町の庁舎 町民を大切に思っていると感じる	ステキな建物	
		仙台市に例がある。いい例を市がみつける	
地域	・「地域ぐるみの子育て」この意識をどのように活発するか		1
いきがい	・核としての役割いきがいづくり ・一人一人が参加して創出していく市にしていく方向性を示す ・自治会加入の減少で地域コミュニティの形成が心配 まちづくりへの意識の高揚	個性、経験を活かす	
		ボランティアを応援してほしい、参加するキカイづくり	
		交流しやすい、コミュニケーションが広がる	
		心づかいが足りない ex)今日の案内、飲み物、あつさ対策	
人材育成	・厳しい意見だが市民への対応がきちんとできるような職員の能力の向上、人材育成	総合案内できる人	
		市の業務を管理者がもっと責任をもつ	
		駅の名前を変えてもっと PR	2
PR	・美濃太田→美濃加茂	市がアピール	
その他	SDGs モデル配水溝の手入れコンポスト（好気性、オシチャレ）推進	△（頂点）はダメ ○（中心）市が担っていく	1
		現状 CS に市があまり関わっていない	

3. 意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ 共存をテーマに子育てや自然の維持、生きがいをもって暮らせるまちづくりが求められている。
- ・ 美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市を PR できるとの意見がある。

■7/29 A 班

1)ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
国際交流	外国人との交流。近くに多くの外国人が住み始めているが、自治会に入らなくて交流ができない	交流のきっかけづくり	1
	外国人の住みやすさ	外国人の意見反映できるか、関心がうすい	1
施設	庁舎整備のよる活性化	市民、経済の活性化	
		歩道を整備、歩くことを推進	
		歩いて健康寿命を伸ばす	
	プール必要	川遊びは危険	
交通	整備された施設、道路、学校	子どもが年中遊べるプール	
	あい愛バス整備	空で走っている、使いにくい、バス停が近くない	1
防災	防災について ・水害、風 ・食料 ・どう助けるか	利益がでていない、タクシー券の方が良いのでは 自治会員の家族構成もわからない	1
新庁舎について	消防署と隣接	災害時危険	1
	変化に対応できる新庁舎、行政機能にする（現代は多様な変化が起っている）	2年後は未完成でいい。徐々に	
	市役所は1ヶ所にまとめる（分庁舎、分室は不便、機能が下がる）	10年後では遅い	2
	市役所の機能集約（分室なし）		2
	太田町から外へ、本庁へ		1

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市役所は1ヶ所にまとめて、機能を集約して欲しい。

■7/29 B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市職員・議会	現在の問題が解決され、見える化出来ていること！！	市職員が自分たちの仕事の仕方、スタンスを見直してほしい（考えてほしい）	1
	市各仕事作業がみえる様になっているか？	仕事への責任を自覚しているか？自分の役割	
教育・子育て	教育の場の充実（学校以外）		1
	こどもの成長を守る		
多文化	子育て世代支援	公園、学校（以外）民間の拡充	
	外国籍の人たちとの共生	文化の理解→バランスをとる、橋渡し	1
防災	災害に強い市に（防災拠点）	拠点（スペース）確保	3
	緊急時の避難方法、経路	無線→知らせる	
	市民の命を守る防災	どうやって把握できる	
		駐車場が広い	
福祉	高齢者が安心して生活できる福祉が充実した市役所		
	市民が相談できる場になる（今以上に）		1
	福祉の充実した市になってほしい	自立できない施設→充実 安心して	
魅力	市民生活のサポートをする		
	市の魅力発信	市も発信（市長、組織的）	
デジタル		観光資源	
	デジタル化され便利な市役所		
	手続きはすべてスマホでできる ICT の充実	SNS	1
	効率的な行政（コスト減）	税収減	
市民自治	アナログをのこして	デジタルに対応できない人の為	
	世代間の交流サポート		
	地域活動のサポート（つなぐ）		
	自治会のサポート	自分たちでどうにかする→意識	
庁舎	市民が集う会館ではなくてよい（側にある）	まち協クリーンパートナー	1
	機能化近代化された市役所のビルが建ち広い駐車場と共に利用し易い市役所	市の機能	1
10 年後	私は…生きていないだろう。では何も言えないか…		1
その他	人口が増えて道が広くもっと住みよくなっていくと思う		
	図書館費用 3 億円予算今そうなる		
	現在の問題をまず抽出すべきだ		
	使われなかった助成金の予算のあつかい		
	健康センター移転費用 1 億円の使いみち		
	議会の乖離		
	健康センター移転必要あったか？		
	健康センター移転誰が決定？		
	健康センターいつ決定？		
	市職員誰の為の！仕事するか自覚		
	こういったワークショップの結果が正しく市民職員に広く伝わる		1
	公報は聞こえない、防災ラジオが様になっていないスマホがあるから？		
	市会議員は市民声を市に伝えてね		
	停電の時の		
	高齢者も子どもも元気で安心してくらせる		1
	ご近所の相互互助	コミュニケーション	

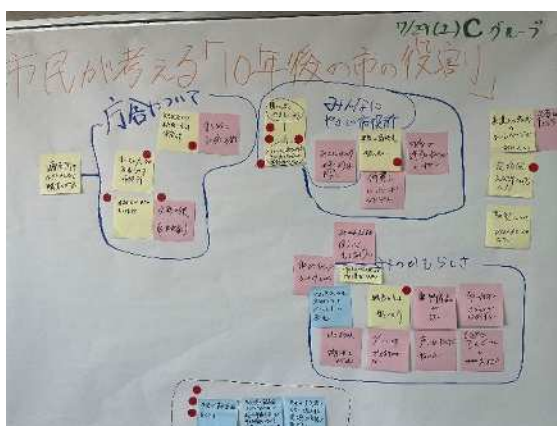
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ 防災拠点となる災害に強い市にしたい。

■7/29 C 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
市役所の位置	分庁舎なくして本庁舎で全部運営する。	まとめた1ヶ所の庁舎	1
	すべての人々が利用しやすい市役所		1
	高齢者がきやすい場所	交通の便利	2
	連絡所や公民館で職員が対応		
みんなにやさしい市役所	障がい者にやさしい町		3
	上からの目線での対応でなく聞く耳を持った職員であってほしい		1
	業務の簡略化 市民と共に…	みんなわかりやすいような対応	1
		何課に行ってもいいかわからない	
美濃加茂らしさ	市に対して常に関心は持てる行政をしてほしい	担当が違ってもわからないといわれる	
		みんなが関心もてるように	
	特色をもった街づくり	市がイベントのきっかけをつくる	
		特産品がない	1
		かきようかん-蜂屋柿をまぜこむ	
		外にPRできるものがない	
		声に出すだけで動かない	
行政	どの年代でも参加できるイベントの企画		
	市議員の定数を減らす		3
	市民の為に市議会メンバーであってほしい。現状の市議本当に必要な議論しているか？派閥の圧がありそうです		
	市長の"アラ"探しではなく協力する姿を見せる市議であってほしい		
その他	美濃加茂はホームページがみにくい	必要な情報にたどりつけない	
	自治会入会率 100%へ		1
	防災について 避難勧告が遅い		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・ 障がい者にやさしいまちにしたい。
- ・ 市議員の定数を減らす。
- ・ 高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。

■7/29 D班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
子育て	子どもに優しい市、交通安全。学校等の建て替え（民間の力を頼ってほしい）医療ケア児の施策		1
		若い人達が市をつくる	3
		若い人が育った時に魅力があるまち	
		職員、議員の魅力がわかるように	
行政	市議員、若い議員、女性議員の定数決定（立法化）		3
	市長の理想を知りたい		
	みんなの居場所老若男女誰も誰も取りこぼさない		
	市民の安全安心を守る 市民の幸福度がアップしていること 市民活動が活発になっていること たて割行政はなくなっていること	ワンストップサービス	
町の魅力	市内全域の活性化 太田南の個人所有の固定資産化に対し 税金対策	街の発展	
	障がい児が生まれても安心して育てられる街（民間施設）		1
	新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）		2
	町の特徴が一言で言える町づくり		1
	人口減少が予想される…ではなく、人口が増加する ような魅力のある市にする		2
	美濃加茂らしさのおもてなし。小さな親切運動		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・若い人達が市を作っていくことが必要である。
- ・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。
- ・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。
- ・人口が増加するような魅力のある市としたい。

■7/29 E 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
福祉	社会保証、老後の心配のない市政	高齢化	1
	身寄りのない（あっても疎遠）高齢者が安心してらせる施設	サービスの充実	
	福祉の充実。マイノリティ、障がい者の住みやすい街		1
子育て	子育て世帯が美濃加茂市で子育てするとメリットが大きいと思える	子育て、少子化	
DX化	デジタル（DX）化推進、オンライン手続き、ハンコ廃止など		3
庁舎機能	現在でも 10 年後でも市の役割は「市民が幸せにくらせる市にする」ことが役割であると思います。10 年後を創造する事はできないと思います。 この話し合い課題はよくないと思います。		
	市庁舎へ訪れた時、用件が市庁舎で済む様にしてほしい。 あちこちに市の業務を分散しないでほしい。 一つの建物内（敷地）で用件が済むように。 現在健康センターへ行ったりあちらこちら分散しているので年齢を重ねると困る	庁舎の機能	5
	地球温暖化の危険から市民、市民の命を守る市政	環境配慮	
防災	防災に強い体制づくり		2
		防災避難所	1
その他	CO2 削減。公共施設に太陽光発電装置を		1
	清流里山公園の観光の活性化		
まとめ	高齢者、障がい者、こども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・市役所機能を集約して、高齢者でも使いやすいようにして欲しい。
- ・デジタル(DX)化を推進してオンライン手続きやハンコ廃止等を実現して欲しい。
- ・防災に強い体制づくりが必要である。
- ・高齢者、障がい者、こども全ての人が便利に幸せに暮らせる 10 年後。

第1回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

市の考える市の役割と市民の考える市の役割をそれぞれが認識する。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 88 名

③ 実施日時

① 2023 年 7 月 23 日（日）9:30～11:30

② 2023 年 7 月 26 日（水）19:00～21:00

③ 2023 年 7 月 29 日（土）14:00～16:00

④ アンケート回収状況

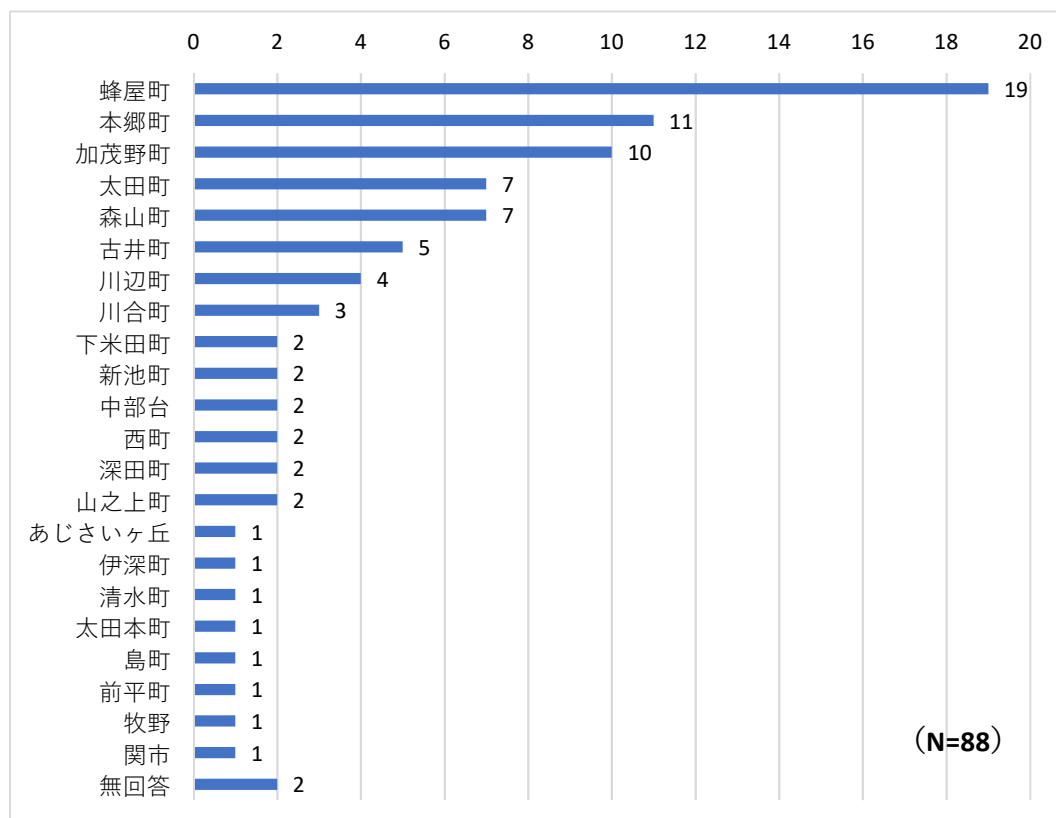
76 件 回収（紙：59 件、Google フォーム：17 件（8 月 7 日 13 時㍻））

2. ワークショップ参加者の属性

（1）住所

「蜂屋町」からの参加者が全体の 20%を占め、「本郷町」「加茂野町」「太田町」「森山町」が続いた。

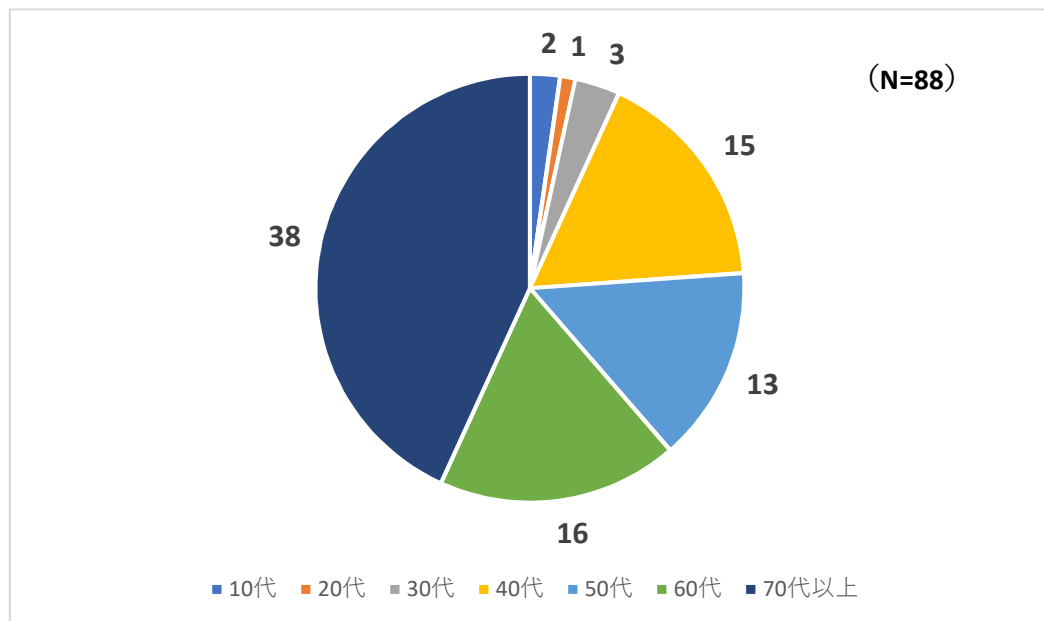
図表 1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上の参加者が半数弱を占め、40代・50代・60代がそれぞれ約15%ずつの参加であった。年齢層は高いが10代・20代・30代の参加者もあり、幅広い年齢層の参加があった。

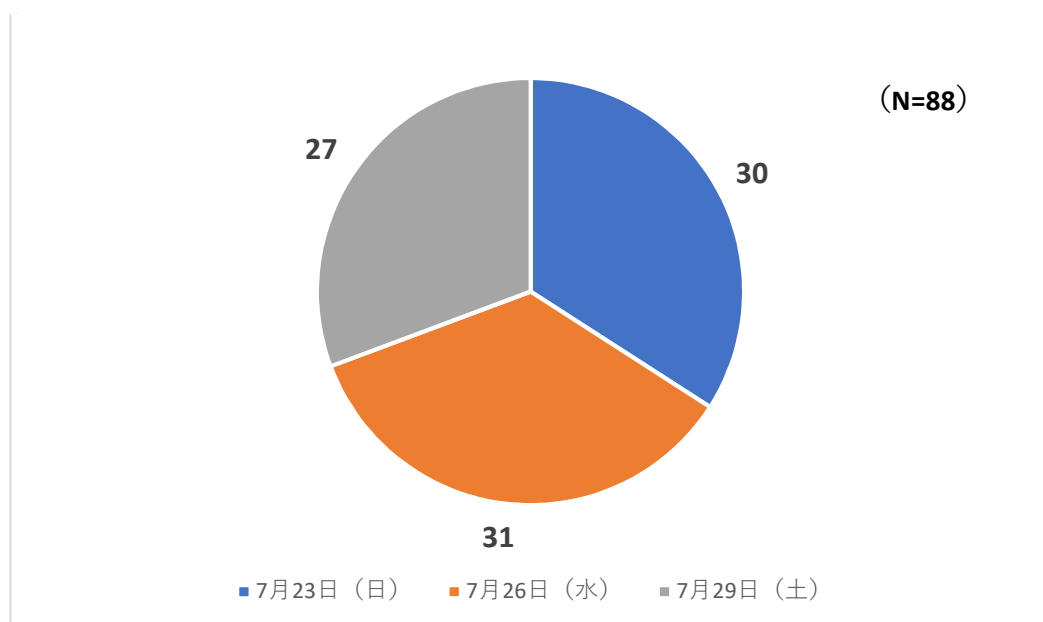
図表 2 参加者の年代



(3) 参加日

平日は夜間、土日は日中の開催だったが、各日程満遍なく、約30人の参加があった。

図表 3 参加日別参加人数



3. アンケート結果

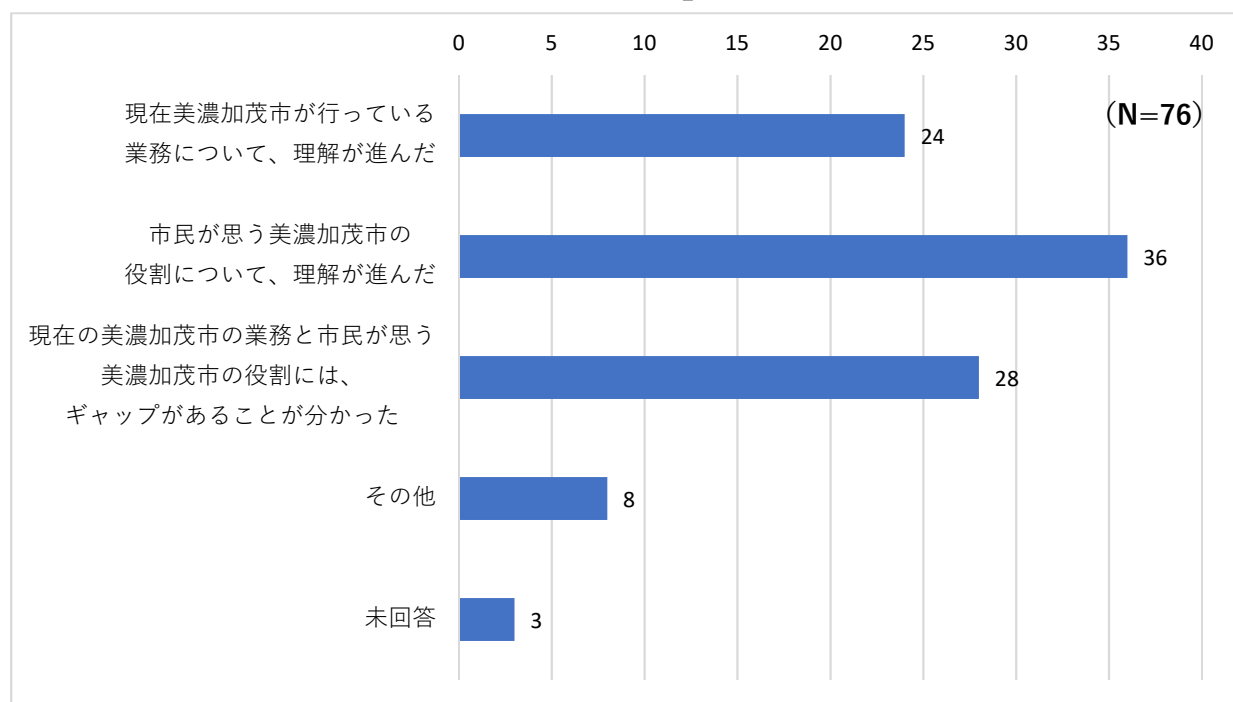
問1. ワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」が最も多く、次いで「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」が続いた。一方で、アンケート回答者の30%が「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」を選択した。

	回答者数【N=76】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ	24
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ	36
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった	28
その他	8
未回答	3
合計	99

図表 4 「市の役割」について

※複数回答有



◇自由意見

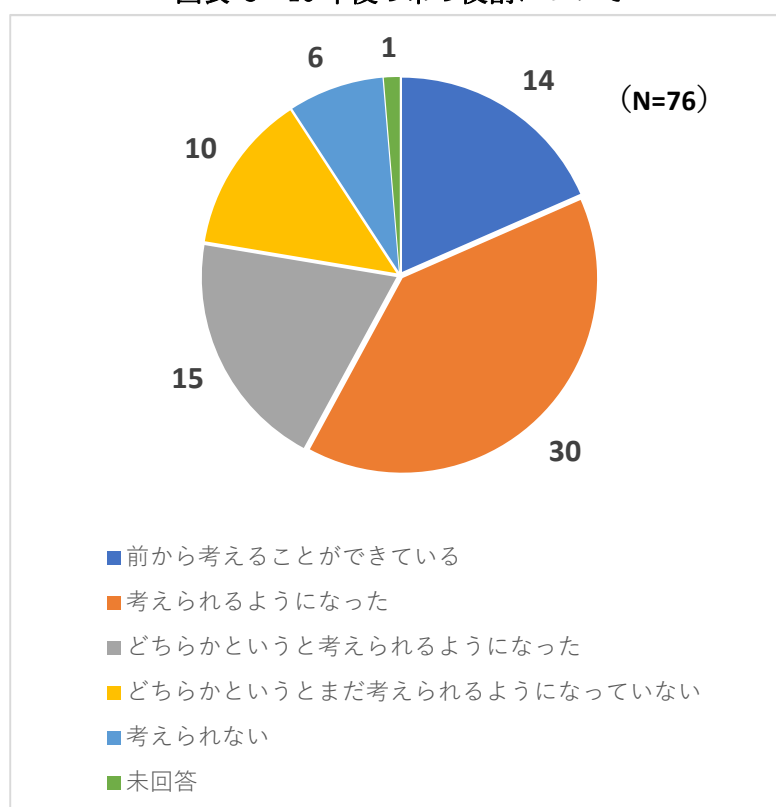
- ・ワークショップに参加してよかったと思う。
- ・市の事業の説明が長いので、レジュメをご覧くださいで十分だと思う。
- ・業務はわからない。
- ・募集記事にテーマの記載はあったが事前に想定していたものとは少し違っていた。可能であれば、もう少し具体的なテーマの回に再度参加したい。

問2. 10年後の市の役割を考えることができましたか。

「前から考えることができていた」が最も多く、「前から考えることができていた」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」と回答した回答者が約80%となった。一方で、「考えられない」を選択した回答者からは「2～3年スパンで考える事が大切」との意見があった。

	回答者数【N=76】
前から考えることができていた	14
考えられるようになった	30
どちらかというと考えられるようになった	15
どちらかというともまだ考えられるようになっていない	10
考えられない	6
未回答	1
合計	76

図表 5 10年後の市の役割について



問3. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

「まちづくりへの市民参加」や「地域のコミュニティづくり」といった、市民を巻き込んだまちづくりを推進してほしいという意見が多くあった。また、「人口減少／少子化対策」といった、現在進行している問題に対する意見が多く見当たった。

【まちづくりへの市民参加】

- ・ 市政の自分ごと化の推進
- ・ 市民を巻き込んだ街づくり
- ・ 恐れず市民の言葉を聞く機会を大切にして欲しい
- ・ 市民と市との思いが一致すること
- ・ 市民の意識づくりだと思う。2025年問題、少子高齢化、認知症、IT、AIなど価値観が大きく変化している。美濃加茂市を大切に思い市民として自信と誇りの持てる未来に向かって舵を切る大きなチャンスでもあると思う。
- ・ 期待感

【人口減少／少子化対策】

- ・ 少子化対策にもなるが、子育て支援の役割がもっと必要であると思った。
- ・ 将来国民、市民として生活し、国を支える子ども達を守ること一番だいじなことと思う。学校での低学年から高学年までの健康診断を充実させてほしい。
- ・ 行政、教育、文化等壁がある様感じた。「子どもファースト」を最大重要と共有してもらいたい。高齢者福祉は次点と覚悟してもらいたい。
- ・ 健康寿命を延ばす
- ・ 人口減少は防ぎようがないので、関係人口を増やすことを考えよう。
- ・ 雇用が生まれる町になるといいと思う。
- ・ 人口増加策

【福祉】

- ・ 福祉計画の充実が不可欠である。
- ・ 共存がテーマになる、、の話しがポイントだと感じた。新たな役割ではなくても住民福祉を最優先にしていけたら支え合える美濃加茂市になると感じた。

【地域のコミュニティづくり】

- ・ 自治会員を増やす
- ・ 多文化共生、近い将来国、市内等外国の人は多くなる。又自治会加入者は減少傾向にある。
- ・ 市民の力(自治会以外)の活用を進める必要、市民負担を増やさず住みよい市にするため。
- ・ 憩いの場を多くの場所に設ける

- ・各所の連絡所をもっと活用して、市民の憩いの場として発展させたら良い。

【魅力あるまちづくり／広報】

- ・自然環境を活かした魅力ある地域づくり、観光開発
- ・美濃加茂市の魅力とその発信

【DX】

- ・DX推進のための市民ITリテラシー向上施策
- ・市政見える化のためのデータ収集の仕組みづくり

【窓口対応】

- ・届け申告等の事務手続きは、LINE等により身近にできて役所に行かずにすむ訳である。これから役所は、市民によりそい行政を行わなければならない。ここへ行けば、ふるい廻されずに解決出来る相談窓口業務が整う環境であってほしい。

【市政の透明性】

- ・今の問題が今後の課題になると言う事である事は理解したので、そこはKPI等で解決していくしかないのでは無いか。
- ・市議会の動きは不透明。
- ・行政にも柔軟さはとても重要だとは思いますが、土木、建築、建設となると少し話が変わってくる。人口や税収の減少、縮小といった負の予測にもしっかりと向き合い、ハッキリと公表して、中長期的な見通しのもと、だから今こうする事が必要だと丁寧に説明して行ってほしい。できれば、市職員が直接、コンサルタント業者の力を借りないで。
- ・市民のためになる市にしてほしい

【市の発展・活性化】

- ・これまでの市の発展をみると、太田地区が中心となって発展してきたように思う。美濃加茂市は8つの町からつくられているので8つの町をバランスよく発展させて頂きたい
- ・美濃加茂市の発展は太田中心でなく全体を考え駅北を中心に全体的な発展を望む所である
- ・企業誘致

【新庁舎整備】

- ・10年後では遅い！早目に（先に）たてられそうな土地についての条件を出してほしい
- ・市役所の役割ということであれば、土曜日、日曜日に開庁してほしい。平日は週休3日でも良いので。また、本庁舎ではなく、連絡所を開けて、大体の事は連絡所でできるようにしてほしい。各課が持ち回りで連絡所を巡回していけば、そもそも新市庁舎に行く必要がない。地区の市民と行事を行う所長とは別に窓口業務の責任者を置けば特に問題はないと思う。
- ・大きな箱物より、きめ細やかなソフト面での実績を積み上げ、品格のある美濃加茂市の地位に繋げ、近隣市町村と共に成長して欲しい。

- ・連絡所の役割は意外に大きいと思った。

【ワークショップ】

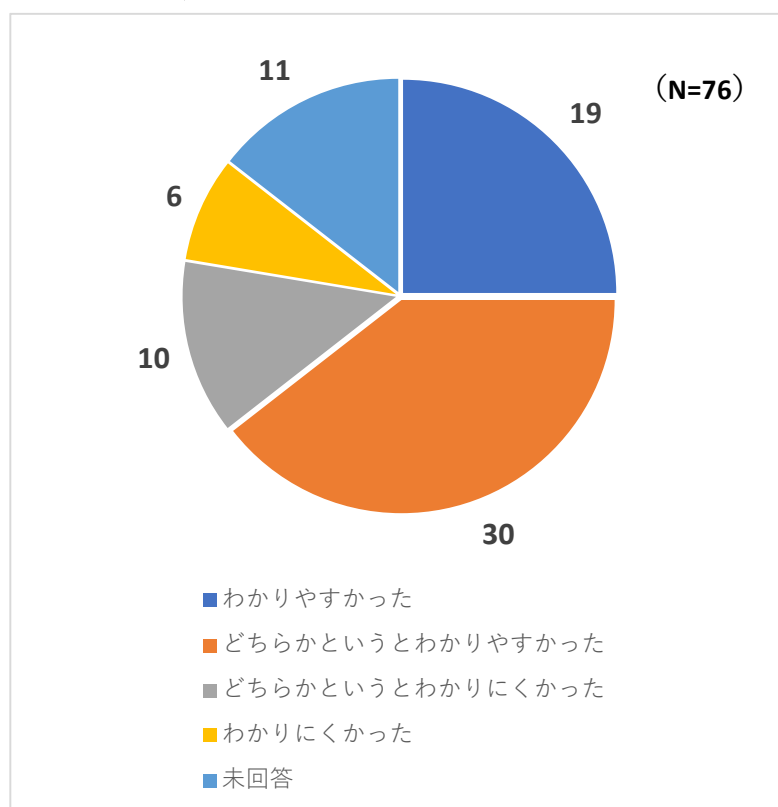
- ・さまざまな意見がでて、とてもよいワークショップでした。
- ・他人の意見も聞いてみるのも少しは理解が進んだ気がする。
- ・市職員とのコミュニケーションが計れなかったことが残念
- ・本日は今後の市のあり方中心だったので、市長、職員、議員がワークショップ参加された多くの人たちと意見の場に参加したい！
- ・前回の進め方は根幹より派生的、周辺的な機能を打ち出していた。極めて違和感を持った。今回は地についたストーリーを描いてほしい。他市の新築状況（大垣、各務原、羽島、土岐）を十分研究されたい
- ・テーマの題名がよく理解できず
- ・いろんな年代・世代、小中高校や PTA などからワークショップができると良かった
- ・グループで意見を出し合えて、活発な話し合いができた。大変有意義な時間が過ごせた。話し合いの時間がもう少し長くてもいいかと思った。今日の準備等、本当にお疲れ様でした！！

問4．本日のワークショップの説明について

「わかりやすかった」「どちらかというわかりやすかった」が合わせて約70%となった。しかし、自由意見として、「共通認識に至るには話し合う時間が少ない」といった意見があった。また、「新庁舎について今まで検討した内容が不明」「このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか？」という検討プロセスに関する意見があった。

	回答者数【N=76】
わかりやすかった	19
どちらかというわかりやすかった	30
どちらかというわかりにくかった	10
わかりにくかった	6
未回答	11
合計	76

図表 6 ワークショップの説明について



◇自由意見

【時間配分】

- ・前に市の事業の説明や、先生の話しが長くて、グループでの話し合う時間が少ない。
- ・共通認識まで至らなかったことが残念でした。短時間では難しいのかもしれませんが、少しモヤモヤします。

【市職員とのコミュニケーション】

- ・同じ会議室に市職員がたくさんいるのに市役所側の考え方があまり見えてこない、また、参加者の考え方が十分に伝わっているとは思えない。

【ワークショップ内容】

- ・10年後と言われてショックでした
- ・ワークショップ全体のストーリー、そして今日果たすべきことがらが不明確だった。
- ・もっと具体的な話がしたかった。

【新庁舎検討プロセス】

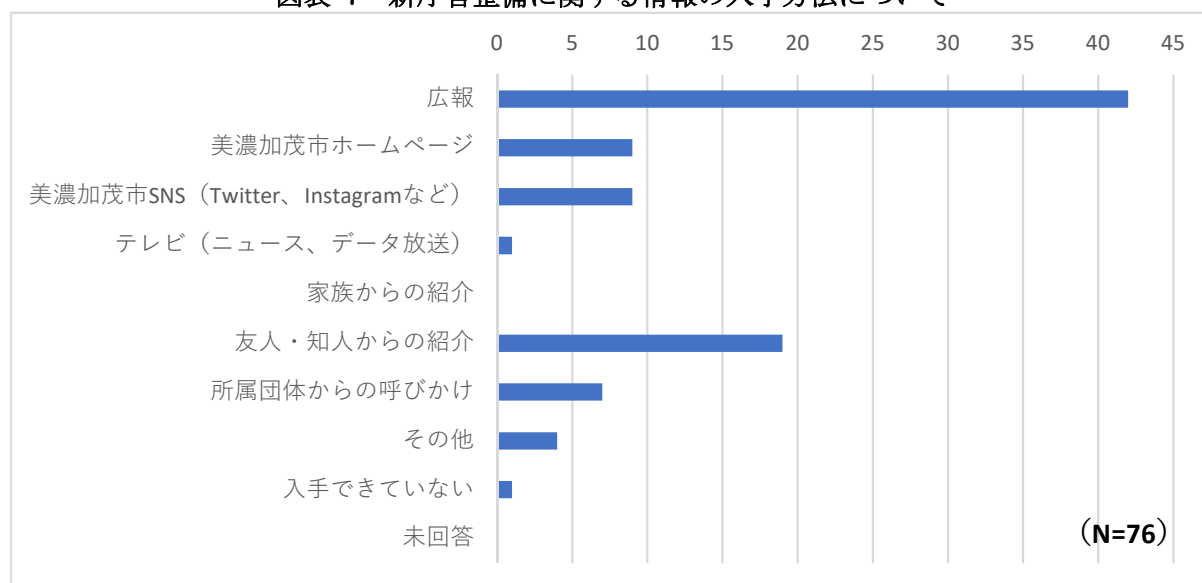
- ・今まで検討した内容が不明であった。
- ・このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか？
- ・この新庁舎の事を市民合意に持っていくのは難しく、今回も流れて永遠に話し合うのかな。

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

「広報」が最も多く、回答者の約60%を占めた。次いで、「友人・知人からの紹介」「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市SNS」が続いた。その他の意見として、「美濃加茂メール」「市のグリーンキーパー」があった。

	回答者数【N=76】
広報	42
美濃加茂市ホームページ	9
美濃加茂市SNS（Twitter、Instagram など）	9
テレビ（ニュース、データ放送）	1
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	19
所属団体からの呼びかけ	7
その他	4
入手できていない	1
未回答	0
合計	92

図表 7 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。
(自由記入)

新庁舎整備について、「立地」「ボリューム」「災害対策」の観点からの意見が多く寄せられた。特に、市役所の機能を一か所に集結させず、DXの推進や各自の既存施設を活用させるという意見が複数見られた。また、市役所は災害時の対策拠点となることから、水害等から安全な立地での建設を望む意見が多い。

新庁舎整備の検討プロセスについての意見も多く、集められた意見にどんなものがあったか、そしてそれがどのようなプロセスで新庁舎整備に反映され、どう決定されたのか発信してほしいという意見がみられた。

◇新庁舎整備について

【立地】

- ・人が来やすいよう日が多く差す明るい場所にして欲しい。
- ・個人的には車に乗れなくなった時、自分で行ける市役所であって欲しい。
- ・市内どこでも自由に
- ・市民が1年間でそんなに回数行く所ではないと思います。ただしアクセスは便利な方がよいことはいくつまでもありません。市外の人とはともかく、JR駅に近いことは必須ではないかと思います。バスコースの工夫で対応可能では。ただし、駐車場は一定数以上必要。岐阜県の公共施設の常識。
- ・ネットワークの活用により分散化させるのが良いと思う。
- ・分庁舎方式はやめてほしい。
- ・太田駅前の商店街の活性化の為といって活用しないで1ヶ所に集約するのは良いと思う
- ・アクセスしやすい、コンパクトな新庁舎

【ボリューム】

- ・市役所はコンパクトでよい。住んでいる地域の交流センターなどの機能を強化して、市民の要望や課題に真摯に向き合って対応してほしい。
- ・市役所は「市民が集う場」ではないと明確にした方がよいと思います。必ずそういう希望が出るとは思いますが、文化会館、生涯学習センター、公民館、文化の森など他の施設の有効活性を優先すべきだと思います。市役所にその機能を持たせるとどんどん大きくなります。コスト増になります。
- ・市民が手続きが必要な部署はひとまとめにして、他の業務を行う部署は分散させるなどして、小さな市役所としてはどうか。
- ・極端な事を書くとも庁舎は無くても良いと思っている。市議会議場でさえ多目的ホールのような所で可動式の机と椅子で良いと思う。健康課やこども未来課が医療センターに入居した現在、全ての課が一同に揃う総合庁舎的、市のランドマーク的な高層階の建屋は不要だと思う。デジタル化とともに、連絡所の機能を充実していけば、新庁舎が何処にあっても、どんな外観でもたいした問題では無いのではないか？

【災害対策】

- ・安全安心な庁舎
- ・一番の課題である「場所」については、防災上の観点から、駅前がふさわしいとは思いません。水害のおそれがあることは論外ですが、周辺に広場はとれる方が、災害時には有効です。市の中心部からそれほど離れない、一段上の土地で適地があればと思います。
- ・防災も考え駅北以上の標高が必須だと思います。職員だけの建物なら何処でも頑丈な部屋さえあれば事務は出来ると思います。
- ・まちづくりの貢献する環境を考慮した利便性が高く機能的な整備を推進する防災拠点として、防災センター（消防署等と同じ施設内にする）又図書館の公園憩いの場と一部の市民の中には新庁舎を駅前に整備し、商業ビルを建設して駅南地区の発展を考えてみえるようですが新庁舎は駅南地区の発展とは切り離して災害に強い整備地を選んで欲しい。
- ・やはり新庁舎事業は災害等避難場確保等の役目もあると思います（緊急時）消防署との1体等と課題が多いと思うので市民理解を充分にする必要があると思います
- ・地球温暖化が本当に心配な毎日です。ぜひとも安全な地域、水につからない所に市庁舎は建ててほしい。温暖化対策のひとつとして、新庁舎には太陽光発電装置をぜひつけて頂きたい。電力も地産地消の第一歩として考えてほしい。
- ・今後災害の発生頻度が高くなってきます。防災について踏み込んだ検討をお願いします。
- ・新市役所は水害などにならない所に作ってほしい
- ・新庁舎は第一に安心、安全を考えた場所に

【DX】

- ・窓口業務は、支社、コンビニ、ネットを活用し、市役所へ直接出向かなくてもよいように。10年たったらガラリとかわるのでは。
- ・市からの情報発信は、スマホなど格段に進んできたと思います。引き続きお願いします。
- ・人口が減っていく中、大きな新庁舎は不要です。コンパクトにする為にデジタル化を進めてほしい。

【検討プロセス】

- ・今回のようにいろいろな地域、年代の方の意見を取り入れ整備を進めてほしい。特に、候補地選定から候補地の決定に関しては、議論に時間をかけて進めてほしい。
- ・このWSで集まった意見にどんなものがあつたか、そしてそれがどういうプロセスで新庁舎整備に反映させるのかが分かるとありがたい。
- ・自分や他の参加者の方の意見は聴けたが、現行政職員さんの考えも聴いたり意見交換したりする機会がほしい。これまで、不透明とはいえ、議論はされてきているはずで、その内容はぜひ議論する手前の土台としてオープンにしてほしい。
- ・建てる場所が決まったら教えてほしい。同じ場所に建替は可能？誰に決定権はあるの？最終判断は？意見吸上げの方法は？”なるほど！そうやって決まったんだね”と分かるように伝えてほしいし表示してほしい。

- ・細やかな情報発信、ポータルサイトへの誘導をお願いします。今日上がった意見を深堀するワークショップがあるともっと親近感がわくと思います。
- ・前市長体制は市民説明が充分されていない状態で進んでいた。
- ・WS 参加者だけでなく、幅広い年代（特に若い人）の声を拾い上げて（聞きに行って）参考にして頂きたいと思う。
- ・意見をきくのは結構だが、100 人いれば 100 とおりの考えがある。「総合計画」的なものできちんと議論してほしい。
- ・県内の多くの市町村役場に行っているが、新しいところは、それぞれ工夫がされている。コストとの見合いなので、職員の意見を参考に、専門的によく検討されればよいと思う。そこに、市長の「思い・こだわり」があってもよいと思う。

【ワークショップ】

- ・ぜひワークショップを小学生、中学生、高校生対象でやってほしい
- ・小学生や中学生向けのワークショップもやって頂ければ、おもしろいと思う
- ・市民との対話を大事にしてくださる美濃加茂市の姿勢に大変嬉しい想いでいっぱい。これをきっかけに、対話文化が美濃加茂市の特色の一つになるといいなと思った。小中学高校でも子どもと大人の対話を通して、『自分たちの学校は自分たちでつくっていく！』と、なれば様々な諸問題は問題で無くなることでしょう。
- ・今まで新庁舎については、5～6 年間かけての資料があります。それを発表して今回のワークショップにした方が良かったと思います。（アンケート結果の件も）
- ・今回のテーマと庁舎建設との関係がよくわからない。
- ・当日は雨が降って、多少は涼しくなっていたが、それでも室内は暑かった。公舎の中なので、飲料の持込は NG かと思って持ち込まなかった。冒頭で水分補給の案内か、願わくは参加の案内にその旨を 1 文記載があると良かったと思う。

【その他（新庁舎）】

- ・利用しやすい庁舎
- ・管理修繕費の掛かりそうな箱物はやめ、自然と融合したオシャレな空間を作って欲しい。人が集まりやすい発信力のあるスポットにして欲しい。リバーポートパークは大成功だと思う。市民が足を運びたい、集まりたい、このような素敵な庁舎で働きたいと思えるような、美濃加茂市のシンボルとなるものを作ってほしい。
- ・市職員が、効率的に仕事ができることが第一。ICT に対応し、フレキシブルに活用できる会議スペース。職員と市長、職員同士が意見交換できる仕組みとスペース。今回、健康課などが市役所から遠く離れてしまったのは、まずかったのではないかな。
- ・失敗のない建築となしてほしい
- ・市民が利用することは年に数回だと思います。職員ファーストの使いやすい事務がしやすい建物でよいのではないかな
- ・託児（子どもが待機できるスペース）があれば子連れの方も来れると思います。ぜひ多世代の方から意見を聞かれると良いと思う。

- ・市庁舎へ来るのが楽しみになる行政+憩いの場にしてほしい

◇その他

- ・厳しい財政対策として企業誘致に力を入れて欲しい（大型店舗（イオンタウン）が誘致出来ればにぎわう街、美濃加茂市となる。
- ・広大な自然環境資源、文化歴史を活かし次の世代へ負担のない市政、人材育成文教都市静かな町を、車時代、交通、駐車場、土地の活用が応用範囲広がる等ソフト面の利便性を考慮してほしい。
- ・市民が安心して暮らせることが第一。防災、福祉はかなり進んできたように思う。
- ・いずれにしろ、市町村はすべての事に責任がある。重点がひとつということはない。それぞれの各論的な事業に優先順位をつけていくことが課題だと思う。
- ・住みやすい町だと思いますので、内外に魅力をもっとアピールしていただきたい。
- ・いつ行っても対応できるよう市の職員の皆さんの能力の向上を願っている。
- ・今日のような行事は民間に頼らず、職員で運営できるように職員の皆さんのスキルアップを期待する。
- ・美濃加茂市に生まれて良かった、美濃加茂市に住んで良かった、そう思える他市町村に誇れる行政を進めて欲しい

新庁舎整備に係る経緯と今後について

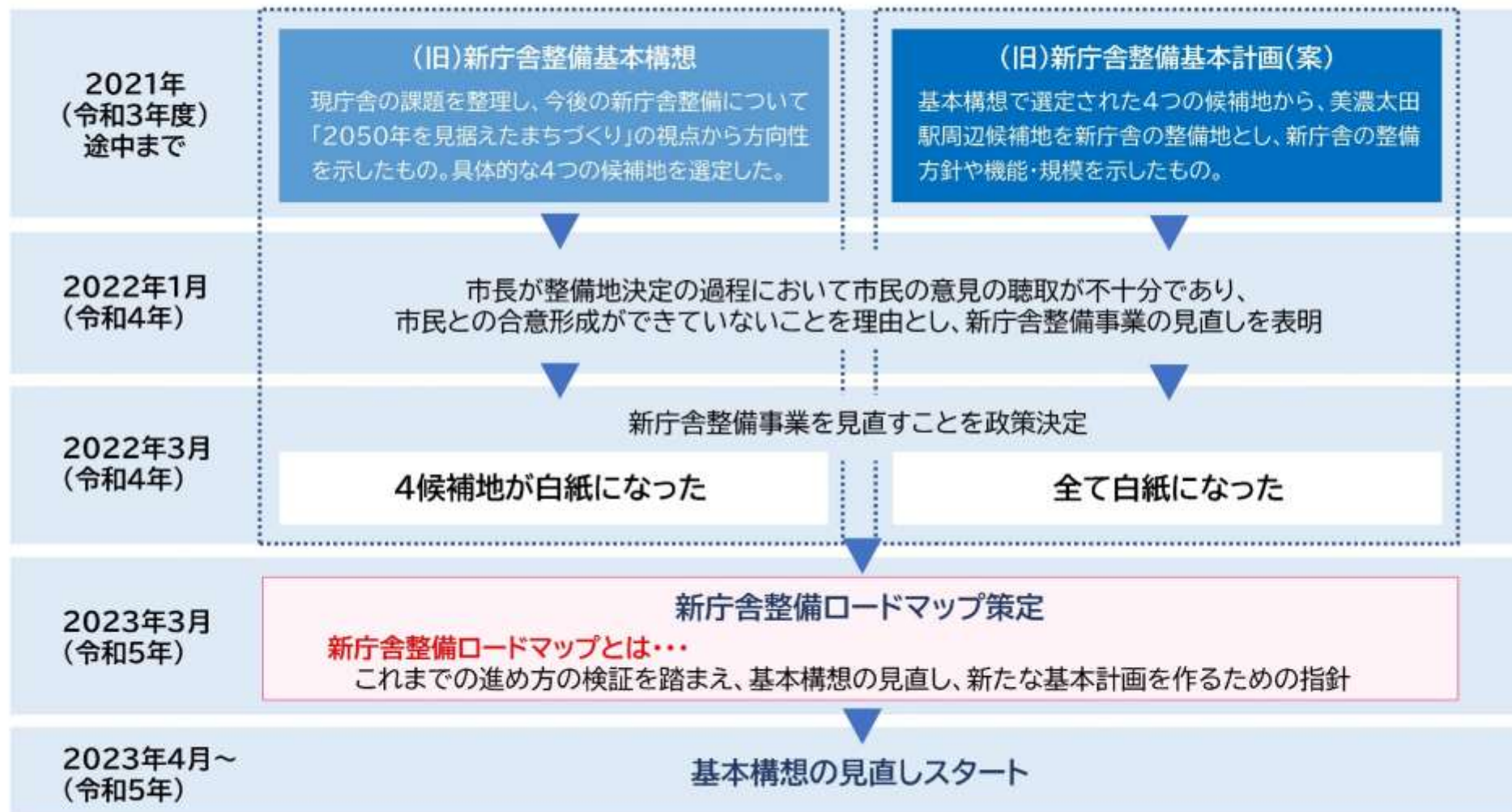
美濃加茂市 新庁舎整備ロードマップ

令和5年3月

見直しの経緯

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

(2) 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



新庁舎整備ロードマップの策定体制

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

(1) 新庁舎整備ロードマップ策定の背景・目的 ～令和4年度の取り組み～

◆ (旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)の見直しの決定

2022(令和4)年の市議会第1回定例会で市長は、「新庁舎整備事業の見直しにあたっては、基本構想にある新庁舎整備の基本理念、基本方針などのコンセプトを尊重しつつ、**コロナ禍を経た社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方**などの視点を付与し、基本構想において示された4カ所の候補地の見直しも含め、新たな新庁舎整備にむけた取り組みを始めていきたい」と考えを示しました。また、「取り組みをスタートさせるにあたっては、はじめに、**これまでの計画が『多くの市民の意見や提案を反映したものであったか』を検証する作業を進め、市民の皆様が疑問に思われたこと、強い関心を持たれたことを明らかにしていきたい**と考えております」と述べました。

◆ プロジェクトチームによる検証作業スタート

令和4年度、市では「(旧)新庁舎整備基本計画(案)がなぜ多くの市民と合意形成をすることができなかったのか」について、市民アンケートを実施したり、新庁舎整備事業プロジェクトチームを発足させたりして検証を開始しました。

◆ 市民アンケートの実施

市民アンケートは、市民の皆さんのご意見や新庁舎に対する考えを把握し、これまでの新庁舎整備の推進についても検証しながら、今後の進め方に反映するために実施しました。

統計学上、アンケート回答数が1,000以上であれば、対象人口全体にアンケート調査をする場合と比較して、誤差は3%以下になるとされており、高い精度で市民全体の傾向が把握できることから、今回はこの方法を採用しました。

2022(令和4)年の7月22日から8月12日にかけて実施した市民アンケートは、無作為抽出した市内に在住する15歳以上の市民4,000人を対象とした結果、回収率45.2%、1,809人から回答をいただくことができました。

◆ 検証結果

これまでの計画が「多くの市民の意見や提案を反映したものであったか」の検証結果については、第3章 参考資料(4)新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会資料のとおりです。また、市民の皆さんが疑問に思われたこと、強い関心を持たれたことは、第3章 参考資料(1)-1 令和3年度までの市民意見の整理・集計結果のP.21、市民の皆さんと合意形成できていないと思われる部分は、参考資料(1)-2 令和3年度までの市民意見の整理・集計結果のP.33のとおりです。

◆ 新庁舎整備ロードマップの策定

この新庁舎整備ロードマップは、これまでの検証に基づき、これからの新庁舎整備の進め方についてのプロセスを定めたものであり、市民の皆さんと共有して、新庁舎整備と一緒に進めていく指針となるものです。

2022

2022.4

- ・新庁舎整備事業について検証を開始
- ・新庁舎整備事業プロジェクトチーム「情報整理部会」が始動



2022.7

- ・新庁舎整備事業プロジェクトチーム「検証部会」が始動



2022.7-8

- ・新庁舎整備における市民アンケート調査を実施

2022.11

- ・新庁舎整備における市民アンケート調査結果を市ホームページなどで公表

基本構想・基本計画の内容は現状と未来の市の姿を踏まえて、見直す

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

(2) 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係

(旧)新庁舎整備基本構想におけるコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまあるいまちづくりひろば

- ・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
- ・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎

- ・にぎわいをうむ
- ・人が行き交い、商いが育まれる
- ・美濃加茂暮らしを楽しむ

安全で安心な庁舎

- ・災害に耐え、市民の暮らしを守る
- ・地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎

- ・利用しやすい
- ・働きやすい
- ・バリアフリー
- ・ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎

- ・市民活動ができる
- ・市民が気軽に関わり活動できる
- ・ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎

- ・環境負荷の低減
- ・自然環境を活かす
- ・社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応

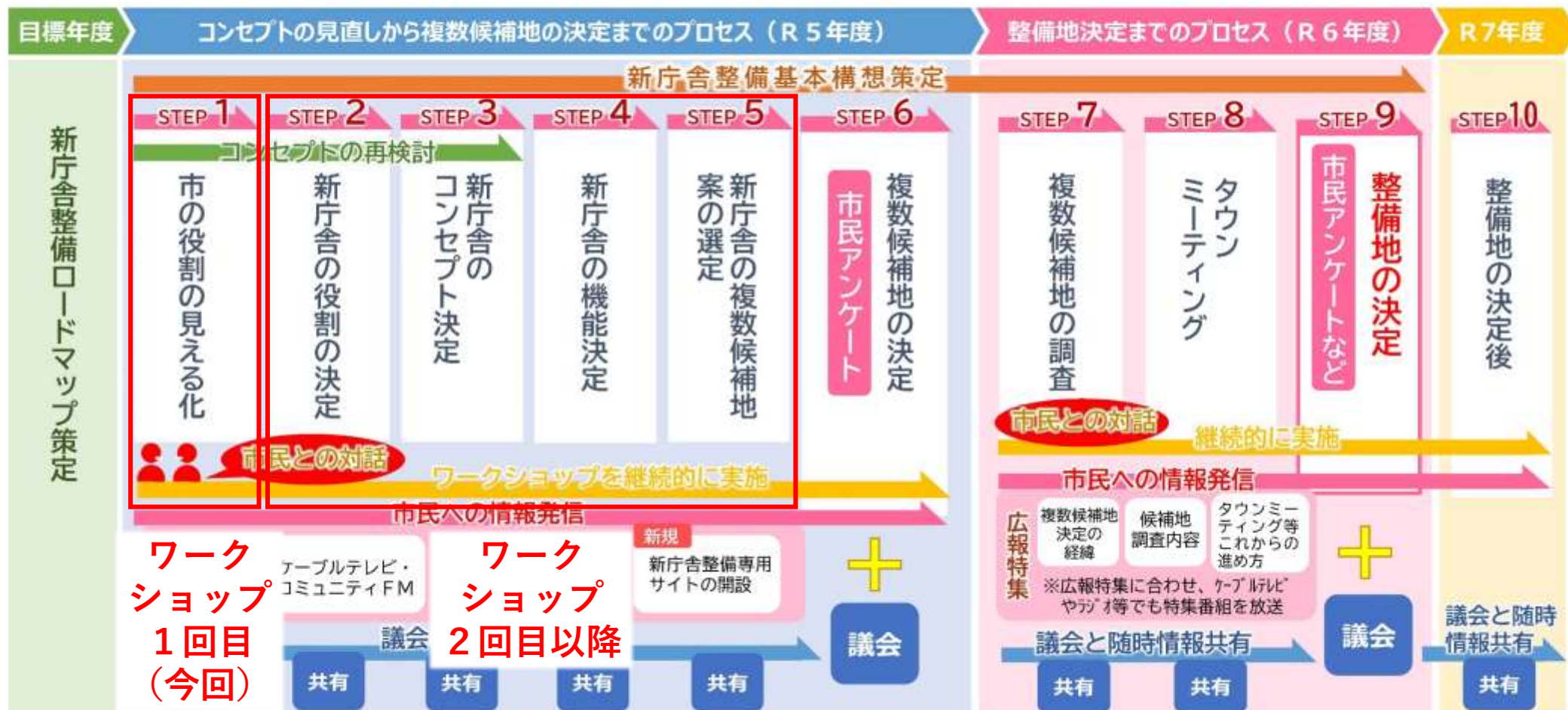


このコンセプトについては、市民アンケートの結果やコロナ禍を経た社会情勢の変化、デジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ、再度市民の皆さんと検討して作っていきます。

ワークショップの実施計画

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス 市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。



今回のワークショップのテーマと目的

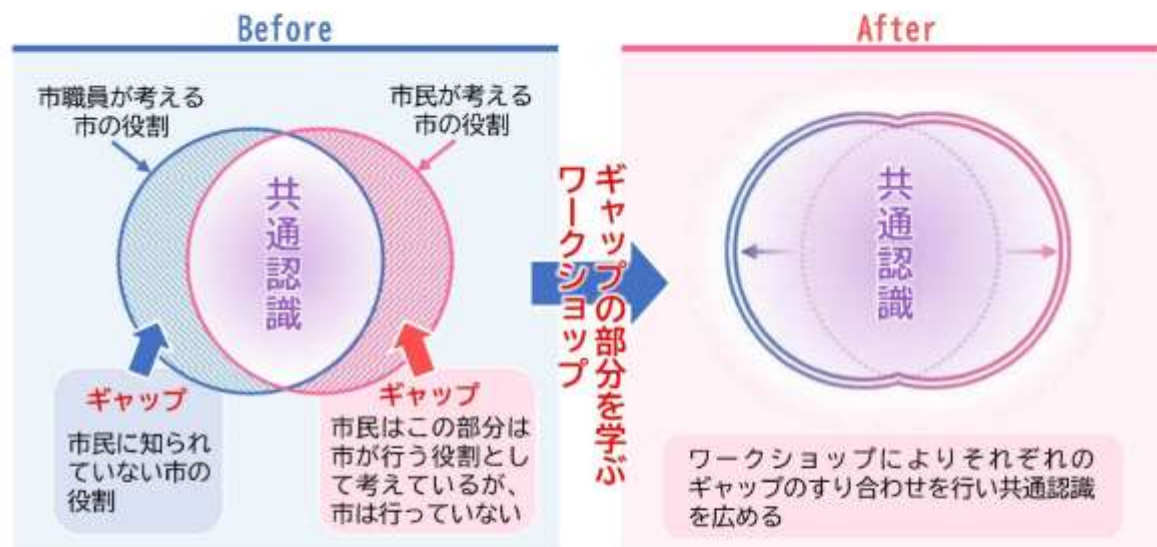
第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 1 市の役割の見える化

市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割の認識のすり合わせを行います。市民と市職員の考えのギャップについて学びあう機会を設け、市の役割について共通認識とします。

STEP1で実施すること
市民との対話
(ワークショップ)



市民の
役割

ワークショップ等で市民が考える市の役割について、現在の考えを発信し、市職員や他の市民と共有する。
その上で、自分が知らない市の役割や市職員が考える市の役割について学んでいく。

市職員
の役割

市民が市の役割について学ぶことができる機会を提供する。
また、市職員も市民の考えを学び、市の役割を検討し、見直しをする。

<市の役割>



美濃加茂市行政組織

市長

副市長

市民協働部
健康こども部
市民福祉部
産業振興部
都市政策部
建設水道部
総務部
経営企画部

公営企業(建設水道部)

議会事務局

監査委員事務局

選挙管理委員会事務局

農業委員会事務局

固定資産評価審査委員会事務局

教育委員会事務局

各部署の業務内容(出典:美濃加茂市部設置条例)

部署	業務内容（事務分掌）
(1) 市民協働部	<p>ア 公共交通及び移住・定住に関する事。</p> <p>イ 多文化共生の推進、男女共同参画及び人権政策に関する事。</p> <p>ウ 地域共生のまちづくりの推進に関する事。</p> <p>エ 生涯学習に関する事。</p> <p>オ スポーツ振興に関する事(学校における体育に関する事を除く。)</p> <p>カ 文化振興に関する事(文化財の保護に関する事を除く。)</p>
(2) 健康こども部	<p>ア 健康普及、保健指導その他市民の健康に関する事。</p> <p>イ 保育園、幼稚園及び認定こども園に関する事。</p> <p>ウ 子育て支援に関する事。</p>
(3) 市民福祉部	<p>ア 国民健康保険に関する事。</p> <p>イ 後期高齢者医療に関する事。</p> <p>ウ 国民年金に関する事。</p> <p>エ 介護保険に関する事。</p> <p>オ 介護予防に関する事。</p> <p>カ 高齢者、障害者、児童、母子及び父子福祉並びに生活保護その他の社会福祉に関する事。</p>

各部署の業務内容(出典:美濃加茂市部設置条例)

部署	業務内容（事務分掌）
(4) 産業振興部	ア 商業及び工業に関すること。 イ 消費生活に関すること。 ウ 観光に関すること。 エ 産業政策に関すること。 オ 農業及び林業に関すること。 カ 森林の保全に関すること。 キ 環境保全及び公害対策に関すること。 ク 廃棄物及びリサイクルに関すること。
(5) 都市政策部	ア 都市計画に関すること。 イ 立地適正化計画に関すること。 ウ 住宅政策に関すること。 エ 開発指導に関すること。 オ 土地区画整理に関すること。 カ 企業誘致に関すること。
(6) 建設水道部	ア 道路及び河川に関すること。 イ 公園に関すること。

各部署の業務内容(出典:美濃加茂市部設置条例)

部署	業務内容（事務分掌）
(7) 総務部	ア 議会に関すること。 イ 法規に関すること。 ウ 情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 エ 財産の管理及び行政文書に関すること。 オ 情報化及び庁内の電算の総合調整に関すること。 カ 市税に関すること。 キ 債権回収に関すること。 ク 消防及び防災に関すること。 ケ 交通安全及び防犯に関すること。 コ 戸籍及び住民基本台帳に関すること。

各部署の業務内容(出典:美濃加茂市部設置条例)

部署	業務内容（事務分掌）
(8) 経営企画部	<p>ア 市の重要政策の企画及び調整に関すること。</p> <p>イ 組織及び行政改革に関すること。</p> <p>ウ 広聴に関すること。</p> <p>エ 公共施設の管理及び計画に関すること。</p> <p>オ 財政に関すること。</p> <p>カ 契約に関すること。</p> <p>キ 工事検査に関すること。</p> <p>ク 秘書に関すること。</p> <p>ケ 広報に関すること。</p> <p>コ 職員に関すること。</p> <p>サ 定住自立圏構想の推進に関すること。</p> <p>シ 広域行政に関すること。</p>

市の役割(出典:美濃加茂市第6次総合計画)

WALKABLE CITY MINOKAMO

～すべての健康のために、歩き続けるまち～

【基本構想】



【基本計画】 令和2年度～6年度



市の役割(出典:美濃加茂市第6次総合計画)

【配布資料の見方】

実施計画事業一覧 (第6次総合計画を達成するために実施する事業)

政策	健康増進	K	①健康寿命の延伸 (男性)79.9歳⇒81.0歳	
		P	(女性)85.0歳⇒86.0歳	
		I	②健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合53.4%⇒70.0%	
主要な取り組み				
①	まず一歩。健康はウォーキングから。			
②	介護のいらないライフプラン。			
③	発達支援は、早期発見、早期療育。			
取組	事業名	所管課	KPI連動	宣言連動
①	生涯スポーツ推進事業	スポーツ振興課	①、②	
①	ウォーキング推進事業	スポーツ振興課	①、②	
①	市民大会開催事業	スポーツ振興課	①、②	
①	ちゅうたいクラブ事業	スポーツ振興課	①、②	
①	牧野ふれあい広場整備事業	スポーツ振興課	①、②	
①	かもけんウォーキング事業（定住）	スポーツ振興課	①、②	
①	食生活改善業務	健康課	①、②	
①	健康づくり事業	健康課	①、②	
①	ヘルステック健康まちづくり事業	健康課	①、②	
①	健康啓発活動等支援事業	健康課	①、②	
①	健康データ調査分析事業（定住）	健康課	①、②	
①	みのかも健康の森活用事業	農林課	②	女性
①	都市公園整備事業	土木課	①、②	地域
②	市民ミュージアム活動事業	文化振興課	①、②	
②	介護予防事業	高齢福祉課	①、②	
③	幼児療育支援事業（定住）	子育て支援課	①	
③	カナリヤの家管理運営事業	子育て支援課	①	
③	発達支援事業	学校教育課	①	
③	教育支援事業	学校教育課	①	

合計19事業

政策に対し、特に取り組む内容

政策に対し、実施していく事業の内容

市の役割(事務対応)

【配布資料の見方】

事務事業一覧

番号	所属名称	事業名称
1	会計課 会計課	会計事務
2	監査委員事務局 監査委員事務局	固定資産評価審査委員会事務
3	監査委員事務局 監査委員事務局	監査委員事務
4	議会事務局 議会事務局	議会運営事務
5	議会事務局 議会事務局	議長会負担金
6	議会事務局 議会事務局	議員費
7	議会事務局 議会事務局	議員活動費
8	教育委員会事務局 学校教育課	就学時健康診断実施事業
9	教育委員会事務局 学校教育課	教育センター運営事業
10	教育委員会事務局 学校教育課	中学校教育振興事業
11	教育委員会事務局 学校教育課	事務局運営事業(学校教育課)
12	教育委員会事務局 学校教育課	いじめ対策事業
13	教育委員会事務局 学校教育課	教育センター研修事業
14	教育委員会事務局 学校教育課	教職員研修事業
15	教育委員会事務局 学校教育課	活躍する生徒支援事業
16	教育委員会事務局 学校教育課	地域・家庭教育推進事業
17	教育委員会事務局 学校教育課	清流の国ふるさと魅力体験事業
18	教育委員会事務局 学校教育課	学校運営協議会事業
19	教育委員会事務局 学校教育課	道徳教育実践事業
20	教育委員会事務局 教育総務課	事務局運営事業(教育総務課)
21	教育委員会事務局 教育総務課	太田小管理費
22	教育委員会事務局 教育総務課	古井小管理費
23	教育委員会事務局 教育総務課	山之上小管理費
24	教育委員会事務局 教育総務課	蜂屋小管理費
25	教育委員会事務局 教育総務課	加茂野小管理費

各部署ごとに対応している
事業内容を示している

市民の皆様からのご意見(一部抜粋)

事業名(仮称)	事業内容
都市圏直通バス運行事業	名古屋市への直通バス運行
高校生対象インターンシップ事業	高校生向けの企業参観、工場見学会や企業説明会の実施
福祉医療費助成拡大事業	福祉医療費助成を18歳まで拡大
带状疱疹ワクチン接種費用助成事業	带状疱疹ワクチンを接種する際の費用の一部を助成
あい愛バス発着拠点施設設置事業	大手町公園に発着拠点施設を設置し、あい愛バス待合場だけでなく、学生の学習の場、市政の情報発信の場とするもの
まちづくりDX事業	市役所での申請・受付・相談業務について各連絡所でオンラインで行うことができるようにする事業
公共交通による移動手段の充実	病院、買い物などの外出に不自由なく移動できるようにあい愛バスの運行を公共交通を充実させるもの
広聴推進事業	市民の声を手軽に(ラインなどで)伝えていただく手段の構築
書かない窓口	各種証明書の交付請求や住所異動の届出等の際に、申請書や届出書への記載をシステムにより自動化し、手続きの利便性向上や迅速性を高める。
おん祭夏の陣イベント事業	おん祭夏の陣において、盆踊りをできるようにしてほしい
公共施設Wi-Fi設備整備事業	生涯学習センターをはじめとする市民が多く利用する公共施設にWi-Fi設備を設置
国道21号渋滞対策事業	国道21号(可児市住吉南交差点～加茂野町稲辺)の渋滞対策として、道路車線数2車線を4車線にする道路拡幅事業
定住促進住宅拡充事業	市営住宅の中で空き室となっている部屋の定住促進住宅移行を図る
市内イベント情報集約発信事業	行政・民間の区別なく市内のイベント情報をAIで集約して発信するサイトの構築
中高生のための文化の森学習スペースの無料開放	中学生や高校生が無料で学習できるスペースの開放

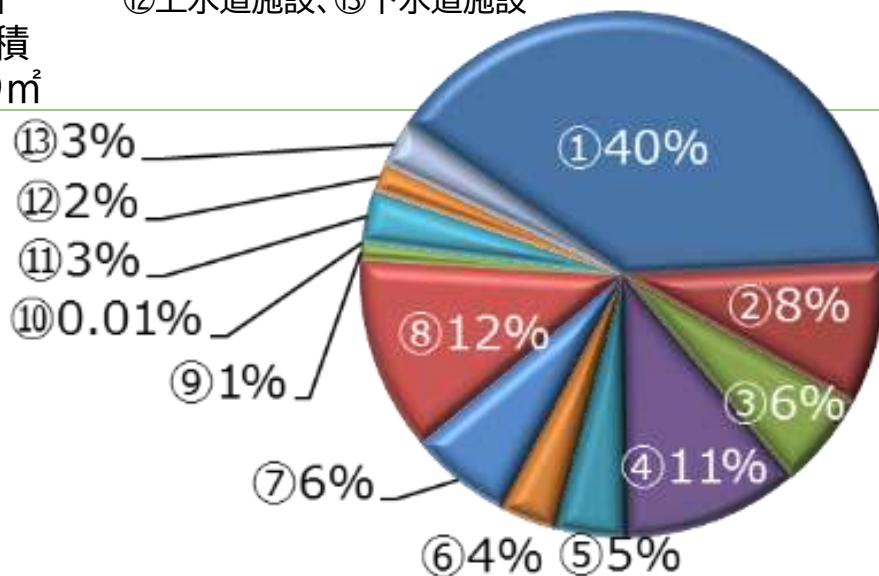
美濃加茂市の公共施設の現状と課題(出典:公共施設等総合管理計画など)

1. 学校、市営住宅、スポーツ・レク施設が全体の約60%を占めます。

美濃加茂市は、**約650棟、約17万㎡の公共施設を保有**しており、「学校教育系施設」が**約40%**と最も面積が多く、次いで「公営住宅」、「スポーツ・レクリエーション系施設」の順となっています。

(令和2年度末時点)

公共施設区分	大分類
一般会計 延床面積 159,651㎡	①学校教育系施設、②市民文化系施設 ③社会教育系施設、④スポーツ・レクリエーション系施設 ⑤子育て支援施設、⑥保健・福祉施設、⑦行政系施設、 ⑧公営住宅、⑨公園、⑩供給処理施設、⑪その他
企業会計 延床面積 7,429㎡	⑫上水道施設、⑬下水道施設

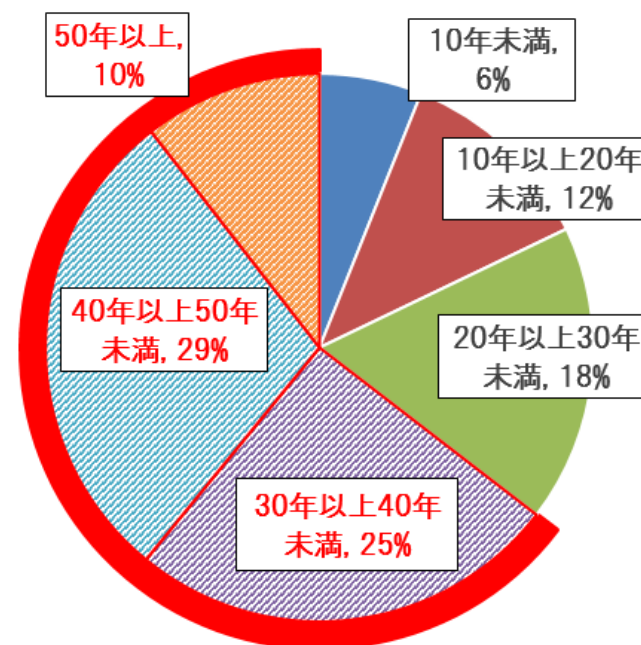


2. 公共施設の老朽化が進んでおり、改修・建替えなどが必要です。

美濃加茂市の公共施設は、築30年以上を経過した建物が全体のおよそ65%を占めるなど、多くの公共施設が老朽化し、大規模改修・建替えが必要な状況となっています。

築30年以上経過した建物 約**65%**
築20年以上経過した建物 約**82%**

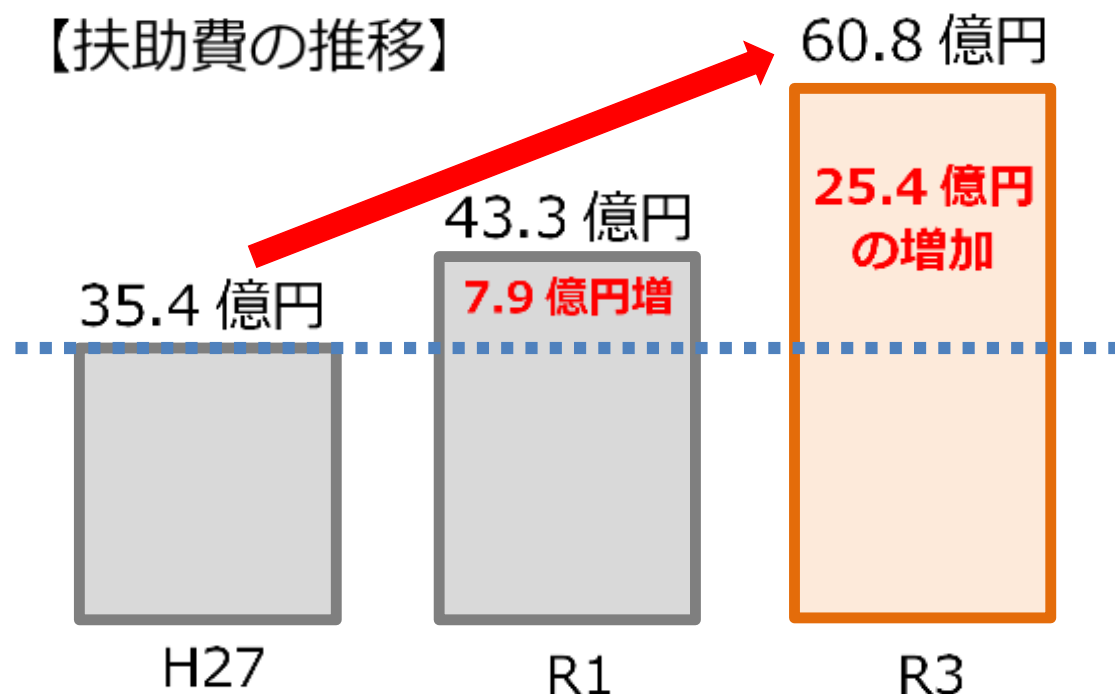
(令和2年度末時点)



美濃加茂市の公共施設の現状と課題(出典:公共施設等総合管理計画など)

3. 将来的には財政状況が厳しくなることが予想されます。

美濃加茂市の財政は、現在は健全な状態ですが、平成27年度と比較すると令和3年度は扶助費※1が約25億円増加するなど、義務的経費※2は増加傾向にあります。今後は少子高齢化による扶助費の増加や人口減による市税収入の減少などにより、将来的には財政状況が厳しくなることが予想されます。



※1:扶助費とは生活に困っている人や子育てをしている世帯、障がいを持っている人などの生活を社会全体で支えるための費用です。

※2:義務的経費とは、市の歳出のうち、その支出が義務づけられ、簡単に削減することができない費用をいいます。扶助費、人件費、公債費(市債(市の借金)の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための費用)から構成されています。

(2) 第 2 回市民ワークショップ

第2回 市民ワークショップ 結果概要

テーマ:「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第2回のワークショップは「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに、全3日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1 日目	2 日目	3 日目
日時	令和 5 年 9 月 24 日 (日) 14:00~17:00	令和 5 年 9 月 25 日 (月) 18:00~21:00	令和 5 年 9 月 30 日 (土) 14:00~17:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	22 人	23 人	22 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. ウォーミングアップ
お題:「情報提供資料の説明を聞いて気付いたこと」
5. グループワーク
お題:「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」
6. 全体発表
7. おわりに



(3)参加者募集の概要

- 対象：市内在住・市内在勤の中学生以上
- 定員：36 名
- 申込方法：応募用紙にて参加申込（電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール）
- 申込期限：9 月 18 日 (月) 〆切
- 募集方法：広報折込チラシ、市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、連絡所・市内施設 (47 か所) へのポスター・チラシの設置。

(4)事務局

- 事務局：美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1) 全体の傾向

各開催日において、「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」について考えていただきました。

全体の傾向として、「新庁舎の役割」は窓口対応や相談機能の充実にに関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点として対応や情報提供を行うこと及び連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。また、「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」や「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等の相反する意見が出されました。

「新庁舎のコンセプト」は「頼りになる／バリアフリー／便利」といった、すべての市民のサポートを円滑に行うことに関するご意見や「つながる／集う／多様性／気軽さ／多目的」といった、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。一方で「コンパクト／お金がかからない」といった、庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

(2)全開催日の結果の概要

①新庁舎の役割の概要 ★は特に多いご意見

カテゴリー	新庁舎の役割
どんな人にも対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる ・高齢者にやさしく、わかりやすい ・誰でも気軽に利用できる ・来庁者の立場に立った対応 ★どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど） ★色々な事情がある人の相談の受け入れ ・自己承認感をもらえる所 ・どんな自分でも受け入れてもらえる場所 ・ほっとできる場所 ・多様性を受け入れる環境 ・外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように ★弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所
困りごとを解決する場所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が相談したいことを解決できる ・そこに行けば何かしらの結果が得られる場所 ・手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。 ・困ったことをスカッと解決できる所
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者が安心して相談できる ・相談しやすい ・相談に気軽に行ける。 ・専門的な相談機能。
プライバシー確保	<ul style="list-style-type: none"> ★プライバシーが守られる ・プライバシーの確保 ・話す内容が他人の耳に入らないこと
子育て世代も使いやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる ★相談者などがこどもを預かってもらえる場所 ・こどもを見守りながら居る場所 ・子育てに手厚い。 ★子育てに関する相談ができて、安心できる場所 ・安心して妊産婦がいける場所 ・妊婦さんが静かにゆっくりできるところ ★子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ
勤労世代も頼りやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> ・サラリーマンは平日日中に市役所にいけない ★（平日に）働く人も頼りやすい庁舎
高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい
わかりやすい動線	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレがわかりやすい ・シンプルで目的を遂げやすい。 ・目的の場所がわかりやすい。 ・どの課に行けば良いかすぐわかる。 ・来庁者の利便性を高める機能 ・総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。 ★駐車場の位置が分かりやすいこと
わかりやすい窓口対応	<ul style="list-style-type: none"> ・申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。 ・どこに相談してよいかわかりやすく、たらい回し× ★たらいまわしにされない ・窓口など案内をわかりやすく ・タライ回しにされないような対応
交通の便が良い庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関で便利に行くことができる ・学校や保育園からも使いやすくなる ・交通面で便利な市役所 ★交通の便がいいこと ★駐車場が広いこと ・車、バス、自転車、徒歩で行きやすい ・周囲の交通状況への影響が少ない
暮らしの拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの拠点

カテゴリー	新庁舎の役割
市民協働	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の様子が分かる庁舎 ・食糧などを提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。 ・安心・安全 モラルの確立のリーダー ・自治力アップする所 ・市民の声をより気軽に市政に届けられるサービス
交流の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ★市民も職員も誰もが集える場所 ・誰もが集いやすい交流の場 ・年齢、国の壁を越えて交流できる場所 ・市民活動しやすい。 ・交流拠点になる。 ・市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。(例：岐阜メディアコスモス) ・イベントもできる。→交流 ・集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方がある
憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために） ・市役所に用事がなくても利用できる場・歩いて散歩がてら立ち寄れるところ ★子どもが行きたいという場所（ヒマつぶしに行ける場所） ・子ども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある
わくわくできる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくできる場所 ・ワクワクを生み出す場所に
学ぶことができる庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の充実 ・市民が自然環境について学ぶことができる庁舎
情報発信・集約	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を市民へ ・発信力 ・情報共有の場 ★受けられる支援をすべての市民に知らせる ・支援が必要な人に情報が届く ・情報の集約機能 ・市内、市外への市の情報発信の中心
市の PR	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の P R ができる ・目につく場所に市の P R（庁舎 1F など） ・観光の拠点、市の P R ・関係人口を増やすために外に対して情報を発信
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農業産業を支援する役割 ・観光振興はやってほしい！
企業・起業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・起業相談 ・商工会と連携 ・企業誘致
働きやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> ★そこで働く人たちが働きやすい庁舎 ・市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎 ★市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！ ・職員の業務が遂行しやすく、ストレスなく働ける ・職員が自発的に動ける。 ・職員の働きがいがある庁舎 ・職員の声が届く。 ★働く人が活き活きできる場所 ・働きやすい→モチベーションにつながる ・職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によりサービスを提供できるようになる ・役所内の情報共有がスムーズにできている。業務の連携が取れている
集約	<ul style="list-style-type: none"> ・バラバラな市役所は不便。健康課は不便。 ・分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる） ・庁舎は分散しない方がいい。本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる ・用件が 1 箇所ですべて処理できること
分散	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡所など強力なサポート ★連絡所で解決できる幅を増やす ・「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出回れるようになること。 ・新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。

カテゴリー	新庁舎の役割
行かなくても良い仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎に行かなくても手続きができる ★手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。 ・家から申請して入手できる ・庁舎に来たくても来れない人の相談にのる
デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルの拠点 ・一緒にデジタルに慣れる。 ・デジタルが苦手な人も困らない仕組み
低コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え ・市民が自由に過ごせたり自由に使えるスペースは不要。コストが増えるから ・あまりお金がかかっていないこと ・お金のかからない新庁舎にしたい ・庁舎は小さく予算をかけすぎない
フレキシブルに変化	<ul style="list-style-type: none"> ・将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作ってほしい。 ・何が起こるかわからない→変化への対応できるように ・時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること ★変化に対応できる、多目的に使える
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な事業展開できる新庁舎 ・多目的に展開できる土地 ・新庁舎周りのまちづくり ・新しいまちづくり拠点。 ・市の中心的存在。
まちのシンボル	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市のシンボリックな場所 ・美濃加茂市のランドマーク みんなが集まる場所 ・まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。 ・他市の人々が「美濃加茂」をわかるような場所を作ってほしい。 ・市のイメージUP ・位置を真ん中にしてハブにする ・市民が誇れるなにかひとつ
シンボル化しないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボル化しない
災害時の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。 ・災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。 ★災害時も市民を守る司令をできる役割 ・災害時に真っ先に市民を救済できる ・緊急時のすばやい発信ができるように ★災害時の拠点、緊急時の対応ができる ・防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望 ・全国から応援に来てくれた時に受け入れられる ・災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎 ★市民が災害時に行ける
環境配慮・SDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携
ゴミ処理	<ul style="list-style-type: none"> ★ゴミ処理（ビン、カンなど） ・ゴミを便利に出せるように常時回収ボックスを設置してほしい。
山間部への援助	<ul style="list-style-type: none"> ・太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある

②新庁舎のコンセプトの概要

キーワード	コンセプト
頼りになる	<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず庁舎に ・まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。 ・「市民相談所」 ・市民に寄り添う新庁舎 ・1人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎 ・おれがやってくわ、みのかも新庁舎 ・困りごとと普段もまかせときゃーえーて、えか！ ・雨が降っても晴れの日も優しい、いつでも集える「テントな新庁舎」 ・すぐ”やる”市役所 ・市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所 ・市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う） ・市民に寄り添う市役所
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・「見えるバリアフリー」「動くバリアフリー」「コミュニケーションバリアフリー」（障がいを持った人も誰もがわかりやすく、動きやすく、コミュニケーションができる。）
便利	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの地に、一つの建物を。 ・生活に便利な新庁舎 ・すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎 ・利便性わかりやすい案内板 ・Compact City(Ciudad)
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人の関わりの拠点「つながる美濃加茂」 ・でっかく「つながる」「つなげる」（広くつながりたい。） ・職員だけでなく、ボランティアや有志など市民全員、いろんな人と出会える「たよりになる人、ここにいます」 ・さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所 ・デジタル化してもみのかもでみんなとつながる ・コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト ・いざという時自然とみんなで助け合える市
集う	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の中心である美濃加茂市に、全ての人が集う新庁舎 ・ゆりかごから墓場まで来続けられる市民の拠点 ・すべての市民の集いの場
多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・「主役は〇〇」（美濃加茂市の全員、職員、企業、市民） ・若者と高齢者の共生な町 ・だれもが笑顔で共存できる中心となる新庁舎 ・みいんながよりそえる新庁舎 ・多文化交流があり安心・安全な新庁舎
気軽さ	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。老若男女、異国の人手も障がいの有無に限らず、誰でも。公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 ・気軽に、コーヒータイム的に
多目的	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも！誰でも！何にでも！（公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも）
地域の中心	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか ・美濃飛騨の結節点として育てる（特徴を生かす、育てる）
ワクワク	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールのようにワクワクする所で人が自然に安心して集まる「市民モールみのかも」 ・相談にきて、ワクワクして帰る「みんなの新庁舎」 ・遊園地のような庁舎（ワクワクする場所） ・あじさいの花のようにそれぞれが咲く、「わくわく集まるあじさいタウン」
働きやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）
時代に対応	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合った便利な新庁舎 ・新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎 ・時代に柔軟に対応できる新庁舎 ・ミニマム・シンプル＆フレキシブル。将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。 ・将来用途に対応可能な新庁舎
未来	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちがつながる、みらいにつなぐ」 ・今だけではなく、未来を見据えた「次世代新庁舎」「未来へつなぐ新庁舎」 ・多様性を大事にし、色々な人が安心して暮らせるまち「今日と明日をつなげる場所」 ・「未来が集まる場」 ・共に歩み安心な未来へつなぐ拠点
連絡所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡所の充実 ・出かける市役所 ・行かなくてもいい新庁舎

キーワード	コンセプト
連絡所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・どこでも新庁舎（1つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する） ・新庁舎の輪
デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・どこにでも市役所
コンパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルな安心コンパクト新庁舎 ・必要十分な新庁舎 ・市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
お金がかからない	<ul style="list-style-type: none"> ・税金でつくるので、安く作るため、市の土地を有効活用
安心安全	<ul style="list-style-type: none"> ・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎 ・粘り強く、しなりのある、「内外強靱」 ・有事の際、心強い新庁舎 ・市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎 ・他の行政機関と円滑な災害対応できる ・再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる） ・安全・安心な新庁舎 ・市民の安全を守る市役所
自然・環境豊	<ul style="list-style-type: none"> ・高台から見渡せるように、広い公園の一角に建つ新庁舎 ・自然の中の新庁舎 ・自然を大切にしたいゆとりのある環境、共存しあう（つどう）夢のある新庁舎 ・山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市 ・四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる
日本一	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎 ・日本一の市になる為の新庁舎
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「水のような市役所」 ・「道の駅 美濃加茂市役所」 ・アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎 ・笑顔のつながり ・市民、市（庁舎）がお互いに支えあえる、サポーターとしての新庁舎 ・「よく」わかる新庁舎（市のやること、動線、市の動き） ・（公と私の）メリ・ハリのはっきりした庁舎 ・のんびりそこそこ ・住んで良かった幸せと感じられる市 ・市民の想い、期待を具現化する新庁舎

(3)各開催日のグループごとの結果の概要

■9/24 A 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い まもる行政の存在	バリアフリーの新庁舎	施設のハード面だけでなく、全ての障がい者に対応できる庁舎。	
	高齢者にやさしい庁舎、わかりやすく	情報の入手手段や伝え方などソフト面においてもバリアフリーであること	2
	(ハード面) バリアフリー。聴覚障がい者対応。会議や議場はヒアリンググループを設置		1
	ソフト&ハード面で各窓口での対応。音声翻訳ソフトなど。		
	ハード面でバリアフリー (エレベーターや車いす対応)	どんな人にもやさしい庁舎	
	そこに行けば何かしらの結果が得られる場所。	相談したいことなどが解決できることが大切。	
	窓口などの見える化。待ち順などが分かる窓口。	どこにどの窓口があるのか？や申請の手順が庁舎内で導線が見える化されている。	2
	子どもを連れてきてもスムーズに目的が果たせる。		
	議会の様子が分かる庁舎。	現在は議場の入り口が狭かったり傍聴がしづらかったりしているので、傍聴がしやすい。距離感が近く様子が見れるようにする。	1
地域の まとめ	そこで働く人たちが働きやすい庁舎	市の職員同士のコミュニケーションが良好になるような庁舎。職員が働きやすい環境づくりが出来ている。	2
	自治会の加入を促進する	市からの情報は自治会を通じて住民に周知されるので、自治会に加入してもらいたい。	1
		現状として、自治会に加入するメリットが感じられずに退会される人もいます。	
		自治会のありかたを見直す必要もあるだろう。	
魅力ある市 をつくる	外国の方への地域ルールの指導 (ゴミの出し方やルール) がされる		
	誰でも参加しやすい設備の整った会議室 (フリースペース) プロジェクターやオンライン会議システム、補聴機器などがある。	誰でもが気軽に利用できるスペースや機器が揃っている	
産業振興	年齢、国の壁を越えて交流できる場所であってほしい	誰もが集いやすい交流の場づくりがあるとよい。	
	(なし)		

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	常にホームページは新しく（台風時の休校などの情報をアップしてほしい）	台風や災害などが発生したときの学校判断の休校措置など対応がバラバラな場合、ホームページを見れば各校の対応が見れるようになるとうい。（現在は、そうした情報がどこにも公開されていないので分からない）	
便利なまち	公共交通機関で便利に行くことができる。	駅や市役所など公共施設を中核にした路線図などを考える。	
	バスの充実。学校や保育園などで使いやすくする。		
	庁舎に行かなくても手続きができる。オンライン窓口がある。	相談ごとオンラインでできるとよい。	
	手続きがオンライン申請でできる。簡素化される。	高齢の方にとってはデジタル化、オンライン化は対応が難しい。オンラインとオフライン（窓口）が併用されてどちらでも利用できる。	4
新庁舎建設の費用（※）	手続きの相談や市民の問題や悩みが、そこに行けば解決される。	申請や相談がワンストップで対応できる。窓口がたらいまわしにあうようなことがない。	1
	コンパクトに小さく。民間に任せられるところは任せて。	現在は庁舎外に賃貸で入居している課もある。全ての事業課が庁舎内に入れるようになる。	1
	コストをかけすぎないようにする。物価の高騰や災害への備え		1
こんな設備があるとよい（※）	サロンや展望室など集える場所があると行きやすい。		
	子育てに手厚い。庁舎内に一時預かりができる、本が読めるような場所があるとよい		
	みんなの冷蔵庫の役割（貧困対策）	食糧など提供する人と必要とする人が、そこで授受ができるようなことが出来る。	
	美濃加茂市のシンボリックな場所		

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
まちがつながる、みらいにつなぐ	まちがつながれば、人がつながる。人がつながり未来につながる。
	さまざまな業種（農業と産業など）がつながる（出会う）場所
いつでも！誰でも！何にでも！ バスに乗っていきやすく、手続きだけに限らず行きやすい場所。 老若男女、異国の人でも、障がいの有無に限らず、誰でも。 公だけでなく食事や集い、趣味など私の利用でも。 市役所職員が全て対応するだけでなく、ボランティアや有志でも常駐できるような場所。 建材にアベマキを使ってほしい。	アクセスとしてあい愛バスが乗り入れ、利用が増えるとサービスが充実し、更に利用が増える好循環になる。
・見えるバリアフリー ・動くバリアフリー ・コミュニケーションバリアフリー	障がいを持った人にも分かりやすく（見える）、ハード面でも動きやすく（車いす対応など）、市民と職員のコミュニケーションが気軽に行える
たよりになる人、ここにいます	たよりになる人は職員に限らない。ボランティアや有志など市民全員。ここにすればいろんな人と出会える。
つかいやすい	
メリ・ハリのはっきりした庁舎	公と私のメリハリ（区別）がついている。職員への個人的/感情的な攻撃（クレーム）などが生じない。
気軽に、コーヒータイム的に	コーヒータイムのような気軽さで。
とりあえず庁舎に	
まず、庁舎。困ったら、困らなくてもおいでください。	

■9/24 B班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いもる行政の存在	バラバラな市役所は不便。健康課は不便。		1
	たくさんの相談スペース（小部屋）でプライバシーがある。	申請より相談が大事	
	来庁者の立場に立った対応		
	子育てに関する相談ができて、安心できる場所。	・保健センターの場所が悪い。 ・職員が安心！市民も安心して妊産婦が行ける場所に！	2
地域のまとまり		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	交流センターを活用すればいい！	・連絡所を兼ねている。 ・各学区毎くらいにある。→近さが一番！	1
	公民館の役割は？	館長はいない。	
	自治会の存在感はあるが、加入者は減少中である。	・入会金を無料にしてほしい。 ・外国人は自治会に入っていない。 ・楽しい行事を自治会で作る。 ・「楽しい人」がいる自治会でないと入らない。	
魅力ある市をつくる		この市の役割は、新庁舎内には不要！	
	こども、大人にかかわらず、誰にとっても憩いの場となるような庁舎（市民のために）		
	市民の憩いの場ではなく、職員が使いやすい方が大事！	市民の憩いの場は、既存の交流センターや公民館を活用しよう！	4
	市民が自由に過ごせたり、自由に使えるスペースは不要	コストが増えるから	
	駅前再開発について、先回の再開発は投資しただけで、金銭的に困った店舗の人が多くいた。慎重に考えてほしい。		2
	いずれ撤去されるシティホテル跡地は、森に近い公園として整備してほしい。		1
	将来 30 年後の予想は難しいので、フレキシブルな庁舎を作してほしい。		
産業振興	農業・産業を支援する役割	許認可・助成金・補助金のこと以外の市の役割は、新庁舎には不要である。	1
	観光振興はやってほしい！		

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	災害時に物資の提供、情報収集をする場所になってほしい。		1
	災害に強い立地、建物の造り、ランニングコストがかかりにくいものにしてほしい。		3
	災害対策の中心になり、情報と人が集まれる場所にしてほしい。そのために、水がついてはダメで、広い駐車場があってほしい。		1
	避難する時に広い道路が必要。	緊急車両が通れるために広い道路が必要！建物よりもまず道路！！	
	災害時も市民を守る指令をできる役割	・市長から部下たちにスムーズに指令できるように。 ・連絡方法を整備する必要もある。	
便利なまち	証明書の発行のデジタル化。家から申請して入手できるようにしてほしい。	・市役所に市民は行かなくて良い。 ・マイナンバーカードと連携すれば良い。 ・各課に行く必要はない。	
	職員の業務が遂行しやすい。福利厚生（例：休憩スペース・コンビニ・カフェ）を充実してほしい。	職員にストレスなく働いてほしい！	1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
内外強靱	ねばり強い。しなりがある。
必要十分な新庁舎	
有事の際心強い新庁舎	
市民の安全を守り市民が安心して暮らせるための新庁舎	
アベマキを利用して木を多用した温もりのある新庁舎	
新しい市役所は「市民相談所」	市民をまもり支える
時代に合った便利な新庁舎	
新しい時代に対応できる未来志向の新庁舎	
日本一、ゆとりと笑顔のおもてなしができる新庁舎	
時代に柔軟に対応できる新庁舎	

■9/24 C班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い まもる行政の存在	相談窓口	どんな人でも受け入れできる（視覚障がいや聴覚障がいなど）	4
		スマホアプリなどを活用して、事前予約ができたり、障がいがある人でもスムーズに適切な相談窓口に行けるようなシステムを作る	
	リモートオンラインで相談できる 庁舎に来られない方もいる		
	相談者が安心して相談できる場・人	たらいまわしにされない工夫として、相談の事前予約ができるように	2
	老人ホーム	老人ホーム自体は庁舎になくてもOK 高齢になっても安心して暮らせるようなサービスがほしい	
		子育て世帯が使う保健センターと物理的に近くに設置し、連携すれば、庁舎も利用してもらえるようになる（子育てしていてもなかなか庁舎に行く予定はないため）	
地域の まとまり	安心・安全 モラルの確立のリーダー	警察など別の機関と連携して、何かトラブルがあったときの対応をしてほしい 例）自治会でもめたときの対応など	
魅力ある市 をつくる	公園・カフェ・図書館など市役所に用事がなくても利用できる場	一方で、予算的には難しいので、機能としてはシンプルでありつつ利用したくなるような工夫が必要	3
産業振興		特産品のPRができる	
		企業相談	
		商工会と連携	
安心安全な まち	災害時に真っ先に市民を救済できる	避難場所としての機能（川の氾濫時）	
		立体駐車場→避難所として利用 地下駐車場→遊水地として利用（水を貯める）	
	F M放送局設置	緊急時のすばい発信ができるように	
	ケーブル放送		
	防災拠点	防災公園の機能	4
		本部として機能できるように	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	市民サービス ゴミ処理（ビン、カンなど）	ゴミを便利に出せるように 具体的には、わざわざビニール袋に入れなくても、常時回収ボックスを設置してほしい 関市や富加町の例を見てほしい	4
	モバイルバッテリー回収ボックス設置		
		ゴミ処理については、受け入れる市側も使いやすい（負担にならないような）サービスであるべき	
その他の意見（※）	企業誘致	働く場を増やすことが産業振興につながる	
	お金がないからできない は説明じゃない	以前、ゴミの回収ボックスに関する要望を市職員にしたところ、「お金がないからできない」という回答があった。考える姿勢を見せてほしかった。	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
日本一の市になる為の新庁舎	市が目指す最終目標
	魅力や住みやすさについての情報の発信
	住みやすいまちの日本一
	WSで皆さんの意識が高いと感じた→日本一になる可能性がある
市民に寄り添う新庁舎	STEP2で相談窓口についての話が盛り上がったことを考えても、市民に寄り添うということが重要
サポーターとしての新庁舎	市民・市（庁舎）が互いに支えあえる
・生活に便利な新庁舎 ・若者と高齢者の共生な町（新庁舎）	高齢化に対応していけるモデル的な市を目指す
1人でも多くの市民をすくい上げる新庁舎	・防災の視点 ・弱者を守るという視点
すべての人（市民・職員・企業等）に使いやすい新庁舎	

■9/24 D班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添いまもる行政の存在	市役所職員の環境整備 「現場主義」		2
地域の まとめ	総合的な事業展開できる新庁舎 図書館、体育館、コンビニ、喫茶店、市役所	面の一つととらえる	1
	一団の土地として考え、機能する。 多目的に展開できる土地		
	自己承認感もらえる所	コミュニティ	1
	どんな自分でも受け入れてもらえる場所		
	わくわくできる場所		
	学校、施設		
	高齢者、障がい者ごちゃまぜ		
	ほっとできる場所		
	教育の充実 ・待機児童 ・学童保育		
魅力ある市 をつくる	まちづくり、自治会、ボランティア団体の発展、リーダーシップ		
	自治力アップする所		
	情報発信機能 様々な情報を市民へ 市民が自然環境について学ぶことができる庁舎	存在が学びになる	1
産業振興	美濃加茂市のランドマーク みんなが集まる場所	美濃加茂といえどなる場	1
	ケア部門の仕事は市が担当して働く人を保証し、確保する	福祉部門	1
安心安全な まち	災害時の拠点 緊急時の対応ができる		3
	災害時に重要な拠点となるべき →それには人材の育成が必要	ハードだけでなくソフトも (人材、リーダーシップ)	1
	防災に優れた市民生活を守る市民の命を守る立場に立つ		2
	人材を市に求めるだけか。 ほかの関係機関に求めるのか。 職員にたよるだけでなく人材を育てる		
	防災時、市庁舎のみの機能だけでなく、ほかの関係の機関の統合をあわせたものを希望		2

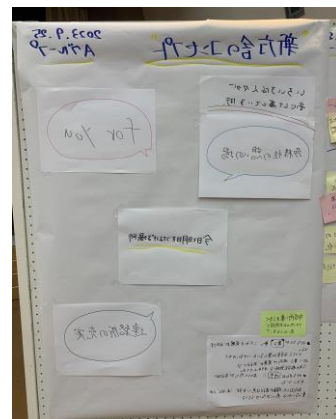
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
便利なまち	歩いて散歩がてら立ち寄れるところ	各地に権限機能を充実	
	市の役割は 10 年でいいが、建物は土地と共に 30 年先を見越したまちづくり		
	便利な市役所 交通面、機能面		
	連絡所など強力なサポート 連絡所ができること増		1

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
広い公園の一角に立つ新庁舎	高台から見渡せるように
わくわく集まるあじさいタウン	あじさいの花のようにそれぞれが咲く
・命と暮らしを守る新庁舎 ・安心便利な新庁舎	安心、安全
・みんなの新庁舎 ・みんな尊い存在と認め合い のんびり聴いて話そう 川、森、山を愛でながら もうワクワク止まらない新庁舎	相談に来て、ワクワクして帰る
・次世代新庁舎 ・未来へつなぐ新庁舎	今だけではなく、未来を見据えて
安心コンパクト新庁舎	庁舎はシンプル、ほかに予算を

■9/25 A班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

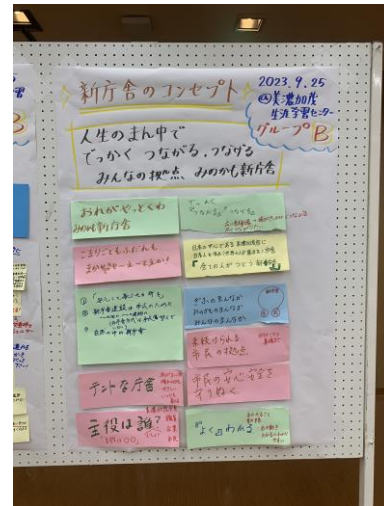
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い まもる行政の存在	発信力		
	対応の均一化	担当者が違うと対応が変わる	1
	たらい回し×	どこに相談してよいかわかりやすく	2
	窓口の一本化		
	一人高齢者		
	駆け込み寺		
	弱い存在の強みを活かす	子育てすると弱者になる環境から強みにできる環境へ	2
地域の まとまり	IT化（DX）	ITで連絡所の機能充実など	6
魅力ある市 をつくる	ワクワクを生み出す場所に		
	本庁舎よりも連絡所の機能充実	相談しやすい	4
	住民福祉の充実・向上		
産業振興	新自由主義に負けるな！職員が怯えている	商工会議所に市役所が負けている	
	新庁舎周りのまちづくり		
安心安全な まち	安心安全な防災拠点		1
便利なまち	ペーパーレス		
新庁舎の 機能（※）	交流の拠点		
	食堂があると言い		
	ミニ県庁のようなものかどうかと	物や形に拘らない	
	広いスペース、明るい空間	プライバシーの確保	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
今日と明日をつなげる場所	
→多様性の思いの場	
→いろんな人々が安心して暮らせる街	
→For You	
→連絡所の充実	
皆さんが集まることに拘る意味が分かりません	市役所に集まらなくても他の公共施設で良いんじゃない？
防災に本当に関心があるのか疑問です	

■9/25 B 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い 行政の存在	明るくきれいで入りやすい。		
	市民の誰もが集える場所	市民も、職員も！	5
	休憩できる場所。	社食・食堂	
	待ち合わせスポット・カフェ・広場等	妊婦さんが静かにゆっくりできるところ。	
	こどもの待機場所	こどもを見守りながら居る場所	
	相談に気軽に行ける。	市民活動しやすい。	
地域の まとまり	職員が自発的に動ける。		
	職員の働きがいがある庁舎		
	職員の声が届く。		
	職員が活力ある庁舎		1
	取り上げられない市役所は、一つの建物場所であるべき。		
	新しい庁舎建設が、そこで働く職員の意識改革を求める。		
	にぎやかなまちづくりのために庁舎計画を立て、強引に推し進めたことは何人なのか？		
	いろいろ出される市民の要望は、縛ることになる。（意見は意見として列挙して施策として活かしてほしい。）		
魅力ある市 をつくる	まちのシンボルになる目立つ建物がほしい。	他市の人が「美濃加茂」をわかるような場所を作してほしい。	
	こどもがいても手続きしやすい。		
	新しいまちづくり拠点。市の中心的存在。	・ 将来を見据えて用地を決めよう！！ ・ 50 年先、100 年先を見据えた建物	1
	図書館と新庁舎を一緒にできませんか？	・ 交流拠点になる。 例：岐阜メディアコスモス ・ 市役所の「ついでに」図書館に行けたら良い。→交流の場所にもなる。	
産業振興	起業相談、企業サロン	既存の組織としては「姫 biz」がある。	
	商談の場	商工会を新庁舎に入れる。	
	サテライトオフィス	既存のものは、商店街にはある。	

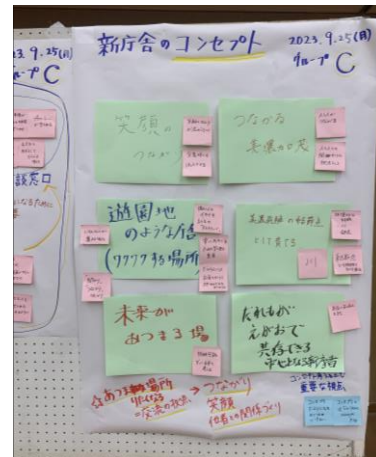
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	避難所	市民が災害時に行ける！	3
	防災拠点	絶対もちこたえる！	1
	駐車場でイベントができる。	イベントもできる。 →交流	
	大きな駐車場	全国から応援に来てくれた時に受け入れられる。	4
	テポドンから身を守る。	地下を作る。 →災害時のシェルターになる。	
	新庁舎は安全安心な防災拠点となることが大前提。		
	自動車社会に適応した広い駐車場	旧計画業務基本は概ね集約されているのに、なぜ実行計画でできないのか。	
便利なまち	駐車場から庁舎へベルトコンベアで行ける。	車椅子が通れる広い廊下を作ってください。	
	ドライブスルー		
	バリアフリー		1
	トイレがわかりやすい	トイレを広くしてほしい。 天井を高くしてほしい。	
	分かりやすい動線	バリアフリー	
	シンプルで目的を遂げやすい。		
	目的の場所がわかりやすい。		
	どの課に行けば良いかすぐわかる。		
	デジタルの拠点	・人間の価値を出していくべきだ。 ・いかに人が幸せに暮らせるかを軸にしよう！！	
	一緒にデジタルに慣れる。	・交流のきっかけになる。 ・気軽に尋ね合える。	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
おれがやってくわ、みのかも新庁舎	
困りごとと普段もまかせときゃーえーて、えか！	
安心して暮らせる町を	
新庁舎建設は市民のために	一つの地に、一つの建物を。（分庁舎方式は市民が望んでいない。）
自然の中の新庁舎	
テントな庁舎	・雨が降っても晴れの日も優しい。 ・いつでも集える。
主役は誰でしょう？「主役は〇〇」	・美濃加茂市の全員 ・職員 ・企業 ・市民
でっかく「つながる」「つなげる」	・広い駐車場→場がきっかけにつながる。 ・広くつながりたい。
全ての人が集う新庁舎	日本の中心である美濃加茂市に。日本人を含め（世界の人が集まる）庁舎。
ぎふのまんなか、みのかものまんなか、みんなのまんなか	生から死までの真ん中にある新庁舎
来続けられる市民の拠点	ゆりかごから墓場まで
市民の安心安全を守り抜く	
「よく」わかる	・市のやること ・動線 ・市の動き ・わかる→わかりやすい

■9/25 C 班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い もる行政の存在	市民とつながる		
	市民に寄り添う	庁舎に来たくてもこれない人の相談にのる 例) DX、職員が外に出ていく	1
	多様性を受け入れる環境	色んな人を受け入れられるように	
	暮らしの拠点	子育て、相談窓口、福祉、介護など様々な分野における拠点	1
	相談機能の充実 安心して相談できる場の設定	色々な事情がある人の相談の受け入れ	3
		プライバシーが守られる	
		たらいまわしにされない 相談者などがこどもを預かってもらえる場所	
地域の まとまり (庁舎の役割以外)		相談機能を充実するうえで、仕組みばかり整えても意味がない 対応する職員のスキルが重要であり、職員のキャリアアップ（スキルアップ）が重要	
		外国の方は新庁舎に関心を持っているか 人口の10%近くの外国人がいるため、その意見も重要	
魅力ある市 をつくる		自治会に加入する人が少ない	
	市のイメージUP	建物自体に魅力がある	1
	市のシンボリック建物	例えば、ただの箱のような形の建物だと思いたくない、市産材を使用するなど特色を生かした魅力ある建物にしてほしい	
	働く人が活き活きできる場所	働きやすい→モチベーションにつながる 働く人の笑顔が増える	5
	ハード（建物・外形）よりソフト	魅力ある市をつくるためには、ソフト（サービスの質等）の方が重要である	

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
魅力ある市をつくる	こどもが行きたいという場所 (ヒマつぶしに行ける場所)	新庁舎建設について、無関心な市民が多いという現状は、普段から庁舎に足を運ぶ機会がないことに要因の一つがあると思う。こどもの頃から何度も足を運んでいれば、庁舎への関心をもてるようになるはず	2
		庁舎に関心が持てるような工夫の例 ・ 1 F にレストランやテナントなどがあって、庁舎のある建物に入りやすい工夫をする ・ ガラス張りにした議会を 1 F や 2 F に置いて、市政に興味を持たせる工夫をする ・ 庁舎のレストランやカフェなどで、議員さんとなつなされる（話す機会などがある）	
産業振興		目につく場所に市の P R（庁舎 1F など）	
		市に関わってくれる企業とのつながり（オンラインなども活用して、より広く自由につながってほしい）	
安心安全なまち	防災の中心（ハード的）	災害時にびくともしない	3
	災害時の司令塔		
便利なまち	交通の便がいいこと	車社会なので、庁舎を建設するうえで必須の条件となる	2
	駐車場が広いこと		
その他 (分散と集中について) (※)		証明書の発行は支所やコンビニでもできるため、機能としては分散しても OK	
		来庁者の利便性を考えて一か所に集中すべき部署もある (例えば相談をしにいったその担当課が別の場所にあるとなると大変)	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
笑顔のつながり	笑顔が新たな笑顔をつくり、笑顔のつながりが広がっていく
	笑顔のつながりがある庁舎は、災害時にもホッとできる
つながる美濃加茂	人と人がつながる
	人と人の関わりの拠点として
遊園地のような庁舎（ワクワクする場所）	働く人のイキイキがこどもの「行きたい」につながる
	遊園地は楽しく遊ぶために乗り物の管理などをしっかりしている
	市庁舎も、楽しく遊べるための管理が重要
	だからと言って、お金をかけて大きいものをつくってほしいわけではない
	いろんな人が集まる場所
未来が集まる場	「関わり」「つながり」のきっかけになる場所であってほしい
	ずっと未来を考え続ける場所 持続可能にもつながる
美濃飛騨の結節点として育てる	美濃加茂市の地理的な特徴が川と鉄道の結節点があるということ
	結節点という特徴を生かす、育てる
だれもがえがおで共存できる中心となる新庁舎	お互いに支えあえるまち

■9/25 D班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い 行政の存在	住人の期待、相談によりそう行政であってほしい	相談安心	2
	なぜそうなるか立場をよくみて小さなことでも考え取り合ってほしい		
	子どもがいても安心な待合場所		
	子ども、高齢者、色んな人がのんびり過ごせるスペースもある		
	職員がフットワークが軽く外へ行ける組織づくり	解決までのスムーズさ	
	市役所の仕事の見直し		
	困ったことをスカッと解決できる所		
	職員も安心して働くことができる		
	市民中心、市はサポート		
	誰もが安心して相談に行けること		1
	情報共有の場	意見の分析、理解	
地域の まとめ	加茂野の連絡所は子どもが集まっている	連絡所との関係性	2
	連絡所で解決できる幅を増やす		
魅力ある市 をつくる	時代が変わっても無駄なスペースがなく使えること →柔軟なレイアウト		
	あまりお金がかかっていないこと →他のことにお金を使えるから	予算	
	お金のかからない新庁舎にしたい		1
	庁舎は商売ではない。 にぎわいづくりは別		
	会議室やミーティングが気軽に無料でできる場所		1
	明るいフロア		
	アベマキを使用した木造		
	ホッと一息コーヒーを飲める場所がある		
	影色をながめながらゆっくりと食事がとれる場所		
	安全な場所、みんなが集まりやすい場所（車社会で）		
	観光の際のパーキングになる		
	人が集まるところを作って、その一角に市役所がある といい	シンボル化しない	1
	公園の中にある庁舎		1
	市役所は市の顔であってはいけない。 市役所は市民のためのもの。市の顔は市民		2

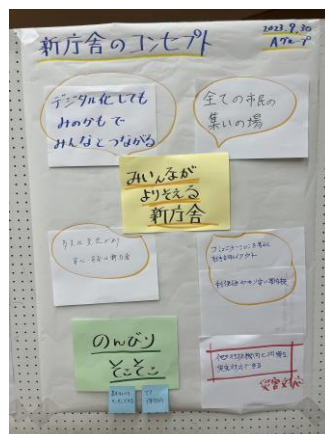
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
産業振興	イベントホールを庁舎に		
	城にする		
	ホテル機能		
	バイキングの朝食も食べられる		
安心安全な まち	災害時に対策本部として機能すること (電源、水、強い建物)		
	防災対策本部 被災時にしっかりと動ける		
	お金を安くする方法 ①前平公園は市の所有 ②すべて条件がそろっている 【疑問】前平の年間の利用者数		
	市民が納得できる場所 市所有の前平公園		
	位置を真ん中にしてハブにする	ゾーニング (庁舎→商業地・住居→生産地)	
便利なまち	車、バス、自転車、徒歩で行きやすい (逃げ場としてふさわしい)		

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
自然を大切にしたいゆとりのある環境 共存し合う(つどう)夢のある新庁舎	アベマキ、杉、松、木材建築の活用 代替、再利用できる
道の駅 美濃加茂市役所	・アベマキ造りの道の駅 ・そこで農作物を売る農家、新しい店 ・周りにある里山公園で遊ぶことも ・その一角にあるアベマキ造りの新庁舎 ・自然と人が集まる場所
水のような市役所	・普段意識しない。でも必要なもの ・すぐそばにある ・形を自由に変えられる ・人が集まるオアシス ・時代や技術に合わせた柔軟なレイアウト ・みんなにとって大事なところ でもそんなに肩肘張らないゆるやかな場所
市民モールみのかも みんなで のんびり かかわって もりあげよう	・ショッピングモールのようにワクワクする所がたくさんあって、人が自然に集って、かつ、安心できる場所 ・アベマキを使ってあたたかな雰囲気
①安全な場所 ②税金で作るため安く作る →結果前平公園につくる	市の土地を有効活用

■9/30 A班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

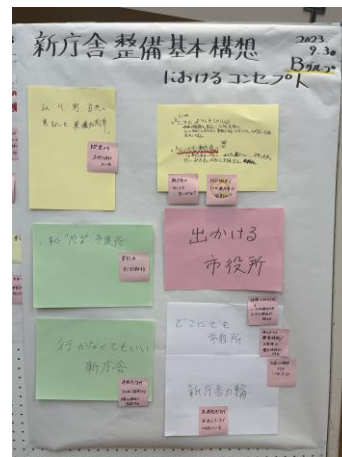
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い守る行政の存在	受けられる支援をすべての市民に知らせる	声なき声が聞き取れる	3
	社会的弱者の見守り	支援が必要な人に情報が届く	
	相談の多様化に対応する		
地域のまとまり	自治会加入率が低い	地域の活動が下火になっている	2
魅力ある市を作る	市民が誇れるなにかひとつ		
	ふらっと立ち寄り話ができるアゴラのような広い場所（集会所）		1
	相談やおしゃべりに立ち寄りやすい明るいデザイン		1
産業振興	美濃加茂の農地がなくなっていく中、今後の食料は問題ないか		
安心安全なまち	生活を守るための防災はどうする		1
	新庁舎建設は10年後で確定か？	10年間地震が来ないとは限らない	1
	防災拠点としての機能	安全な場所に庁舎を	2
便利なまち	弱者（外国人、こども、高齢者）への配慮のある市役所	ユニバーサルデザイン	4
	来庁者の利便性を高める機能	来庁者がわかりやすく説明してほしい	
	多言語対応	外国籍の方と一緒に暮らしていく、外国籍の方にも情報が伝わるように	
	職員はサービス業だと認識してほしい	窓口など案内をわかりやすく	1
	一般の市民が多文化共生を受け入れられるのか	外国籍の方が戸建住宅に住むようになったが自治会には加入しない	
	市職員、一般市民、年齢隔たりなく使いやすい		1
	窓口の一本化		
	DX化（IT）		
	DXが進む中全員が使うことができるか	デジタルが苦手な人も困らない仕組み	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
みいんながよりそえる新庁舎	
→デジタル化してもみのかもでみんなとつながる	
→すべての市民の集いの場	
→多文化交流があり安心・安全な新庁舎	
→コミュニケーションを考えた新庁舎レイアウト	
→利便性わかりやすい案内板	
のんびりそこそこ	基本なんでもそこそこできる
	でも保守的
他の行政機関と円滑な災害対応できる	災害対応

■9/30 B班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い 行政の存在	新庁舎をなるべく一か所にまとめてもらいたい。来庁するのに便利		
	窓口が一本化されている。ワンストップに集約されている。		
	総合受付が説明しやすい。行先が分かりやすい。動線が見える化されている。	床に行先を示すラインが引かれている、など。	
	各連絡所の格上げを望む。支所に格上げをして本庁への確認などなく決定権を持たせてもらいたい。	連絡所で判断/決定ができるようになる。	4
	「市民に寄り添う」は職員の方が出かける/出向き、出られるようになること。	顔が分かる職員が支所にいる状態を望む。	1
	新庁舎に一本化ではなく、支所/連絡所に分散されている。	現場に近いところで職員が働くことで、より具体的/実働的になる。	
		新庁舎に求める役割が申請から相談に変化していくのであれば、連絡所の方が充実していくことが良いのでは？	
	作業ではなく、仕事をしてほしい（＝価値を生み出す）		1
	職員が行きやすい、働きやすい職場環境や配置を考える。	職員の働きやすさを求めることで、結果的に市民によりサービスを提供できるようになる	1
	職員の働きやすさ	職員も楽しく働けることが大切。	
	議員の方が住民とワークショップなどを開催し、その声を拾って議会に届けられるようになるとよい。		
地域の まとまり	太田、古井地区以外の山間部に対しての援助をしてほしい。山間部は草刈りなどのボランティア活動がある		
魅力ある市 をつくる	環境配慮をした新庁舎建設を。SDGs 未来都市としての連携	新庁舎のありかたとして SDGs を意識したもの、そうしたコンセプトを大切に	
	連絡所や支所の充実において、空き家などをリノベーションして活用するなど SDGs 的な取り組みになる		
	既ににぎわいがある場所、拠点になっているところに新庁舎を建設するのも良い。		
	新庁舎が拠点になって、周辺がにぎわい活性化していくということも考えられる		
産業振興	企業誘致に力を入れて市税を潤してほしい。		1
	農業に従事する高齢者への対応	田畑の継承問題や農業振興に力を入れる	

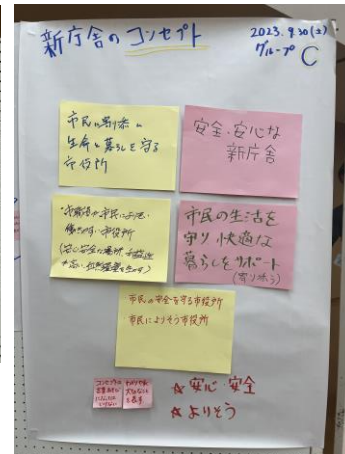
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
安心安全なまち	防災拠点	災害時にも機能する新庁舎	
安心安全なまち／ 便利なまち	災害時に果たす役割が機能的に実行できる庁舎	役割が明確になっており、災害時に機能する	1
	高齢者の人と市役所が連絡が取れる	日ごろから顔が見える関係づくり	
	DX 化。庁舎にいかなくても良い。		1
便利なまち ／ 新庁舎に 求められる 役割や サービス (※)	横ぐしの情報連携	役所内の情報共有がスムーズにできている。 業務の連携が取れている	
	機能的にも複雑ではない庁舎		
	時代に合わせてフレキシブルに変形できる庁舎		1
	乗合タクシーサービスがある		
	一家に一台 PC を配布し、市役所とつながるようにする。市役所サービスが受けられるアプリを開発する		
	防災の司令塔としての機能（対応のまとめ役）		
新庁舎に 求められる 役割や サービス (※)	横断的に連携することが必要な業務		
	専門的な相談機能。情報の集約機能		
	音声で話したことが意見として AI で文字化・集約され、市民の意見としてまとめられる。	市民の声をより気軽に市政に届けられるサービスとして	4

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
山、川、街、自然に恵まれた美濃加茂市	自然豊かな立地にあるとよい。
すぐ"やる"市役所	実行力がある市役所、すぐに行動する
出かける市役所	市民が市役所に行くのではなく、市が市民・地域に出てくる。 →市役所機能の分散・地域化
行かなくてもいい新庁舎	連絡所や支所などで相談でき、必要なときには新庁舎に訪問できる。
ミニマム・シンプル＆フレキシブル。 将来の機能を見据え、シンプルな形に。そして時代に合わせて変形できるフレキシブルに対応可能な庁舎にする。	大きな道路に面しているなど、交通が確保できることは大切。
どこでも新庁舎 1つの新庁舎はいらない・・・は乱暴だけど・・・支所の充実を行い、新庁舎の役割を洗練する	新庁舎はひょっとするとなくてもよいのかもしれない。
どこにでも市役所	必要な情報が安全な場所にクラウド化され、どこからでもアクセスできるようになると、ハード（建物）がなくなっても、どこでも市役所の機能を担うことができるようになる。
	再生エネルギーなどの発電機能を備えることで災害時の電力供給が行える。（電力が途切れて機能しないということを防げる）
新庁舎の輪	各連絡所や支所がネットワークでつながり、全体として「新庁舎の輪」ができている

■9/30 C班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割 ※は新しくできた市の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い もる行政の存在	対応が優しい（話しやすい雰囲気）電話などの対応	何でも聞きやすい	2
	気軽に相談できる（行きたくなるような）		
	利便性の高い行政サービスを提供		2
	自宅申請できる	デジタル化 一方で、市役所は市の思いを受け止める場であってほしい。「HPにあります」とかではなく、一人ひとりのできること、できないことに寄り添ってほしい	
	土・日営業	第2土曜はやってます等	
	時間を長くしてほしい	サラリーマンは平日日中に市役所にいけない	
地域の まとめ	意見なし		
魅力ある市 をつくる	分庁舎は不必要、本庁舎ですべての行政ができる（分庁舎は不便、職員の仕事がしやすい庁舎、連携がスムーズにとれる）	庁舎は分散しない方がいい 本庁舎にすべての機能を集約すれば連携をスムーズにとることができる	3
		職員が働きやすい庁舎＝市民にとって利用しやすい	
産業振興	観光・市民交流の拠点、市のPR	関係人口を増やすために外に対して情報を発信	
安心安全な まち	防災拠点となる市役所（広い駐車場、広いスペースで変化への対応、来場しやすい場所で利便性も確保、自然災害に耐えられる）	温暖化、水害、地震、台風、集中豪雨など 様々な災害に耐えられるように 何が起きるかわからない→変化への対応できるように	5
		消防署が水がつかないところかつ市役所の近くに置くべき	
	スムーズに安全対策対応ができる（物資がすぐ届く）	司令塔	
	いざという時の防災拠点	庁舎がしっかりした作りだと気持ち的に安心	
便利なまち	交通の便が良い		
	駐車場を広く 交通スムーズ		
	その他の意見	あい愛バスを増やしてほしい	
		タクシーパスポートを高齢者に配ってほしい	

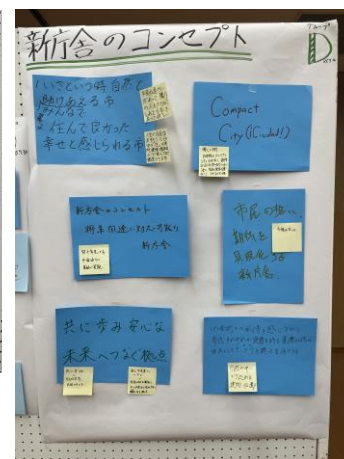
市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
その他 (※)	庁舎に交流の場は必要？→必要ない	庁舎は小さく予算をかけすぎない	
		市役所以外に遊べる交流の場はある	
		逆に市役所以外の使われていない施設を有効活用すべき	
		新庁舎には、交流の場よりも質の高いサービスを求めたい	
		庁舎で市民の人の文化活動を紹介してあるような場あるとよい（集まって話すとかではない市民同士の交流の一つの在り方）	
	変化に対応できる、多目的に使える	その時々によってニーズや必要な機能は変わっていくため、変化に対応できて多目的に使える庁舎であることが重要	3

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
市民に寄り添い生命と暮らしを守る市役所	
市職員が市民によりそい働きやすい市役所（安心・安全な場所、利益性が高い、自然環境を生かす）	
安全・安心な新庁舎	
市民の生活を守り、快適な暮らしをサポート（寄り添う）	
・市民の安全を守る市役所 ・市民に寄り添う市役所	

■9/30 D班

1. ワークショップの様子



2. ワークショップの結果

(1)新庁舎の役割

市の役割	新庁舎の役割	つけたし意見	大事だと思うところ
市民に寄り添い まもる行政の存在	(平日に) 働く人も頼りやすい庁舎	時間的アクセシビリティ	2
	すぐやる課 (松戸のようにワンストップで解決できる課の新設)	窓口の1本化	2
	用件が1箇所ですべて処理できること		1
	タライ回しにされないような対応		1
	周囲の交通状況への影響が少ない		
	DX推進による小さい新庁舎 (各連絡所が相談窓口として機能)	空間的アクセシビリティ	1
	話す内容が他人の耳に入らないこと	プライバシー	1
	個別ブース		
	「すぐやる課」の多文化対応		1
地域の まとまり	自治会退会による地区連携減少への対応	自治のルールづくり	
	自治会と氏子を分けてほしい		
	近くのごみ収集場所を利用しても良い規約づくり		
魅力ある市 をつくる ／産業振興	市のシンボル化		
	高台 (遠くからでもどこにあるか分かる)		
	展望台		
	市内、市外への市の情報発信の中心	市内への発信が自治へつながる。 市外への発信が市の魅力アップにつながる。	1
安心安全な まち	位置		2
	防災の拠点		2
	地盤的に高い場所		
	災害時に応援物資運搬車両がアクセスできる場所		
	防災上安全であること	司令塔となる	
	水害に強い新庁舎 (洪水に強い場所、建物)	洪水の経験を活かす	1
	周りにあまり建物がないところ	空き地を利用した避難が可能	
	駐車場の位置が分かりやすいこと		3
便利なまち	(便利なまちを実現するために) 行政職員が働きやすい庁舎	・庁舎内の動線 ・リモートワーク	

(2)新庁舎のコンセプト

コンセプト	つけたし意見
1. いざという時自然とみんなで助け合える市 2. 住んで良かった幸せと感じられる市	市民の連携があって、隣の人も大切にしたい市であってほしい。 人生で衣食住がそろふこと。その中で「住」は場所、 環境（精神的ムード）で大切に提供できる市
Compact City(Ciudad)	優しい街 日本語のコンパクトシティではなく、英語のほうが意味合いが強い。 多文化共生を兼ねて。（）内はスペイン語
将来用途に対応可能な新庁舎	何十年先でも不自由なく事務が万能
市民の想い、期待を具現化する新庁舎	今後もずっと。 （新庁舎自体が想いを具現化された場所ということではなく、想いを具現化する存在として新庁舎がある）
共に歩み安心な未来へつなぐ拠点	共に歩み＝多文化共生（外国人の方とも）。 安心な未来へつなぐ＝災害時でも安心。ずっと未来まで住みやすいまちを守る拠点
四季折々の風情を感じながら市民それぞれが愛着を持ち美濃加茂の住民として誇りを持って生活できる	自然の中にとけ込める建物、位置！

第2回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

将来の新庁舎の役割を検討する。また、それを踏まえ、新庁舎のコンセプトを考える。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 67 名

③ 実施日時

① 2023 年 9 月 24 日（日）14:00～17:00

② 2023 年 9 月 25 日（月）18:00～21:00

③ 2023 年 9 月 30 日（土）14:00～17:00

④ 実施場所

生涯学習センター201

⑤ アンケート回収状況

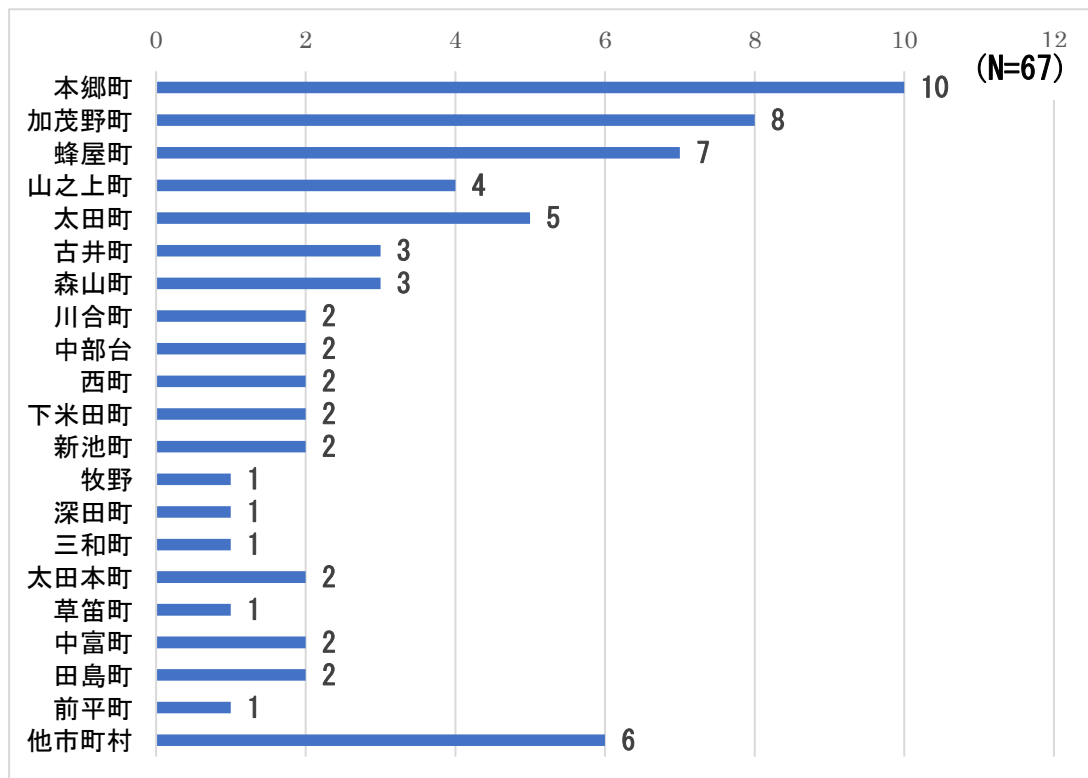
51 件 回収（紙：33 件、Google フォーム：18 件（10 月 3 日㍻））

2. ワークショップ参加者の属性

(1) 住所

本郷町が最も多く、加茂野町、蜂屋町が続いた。

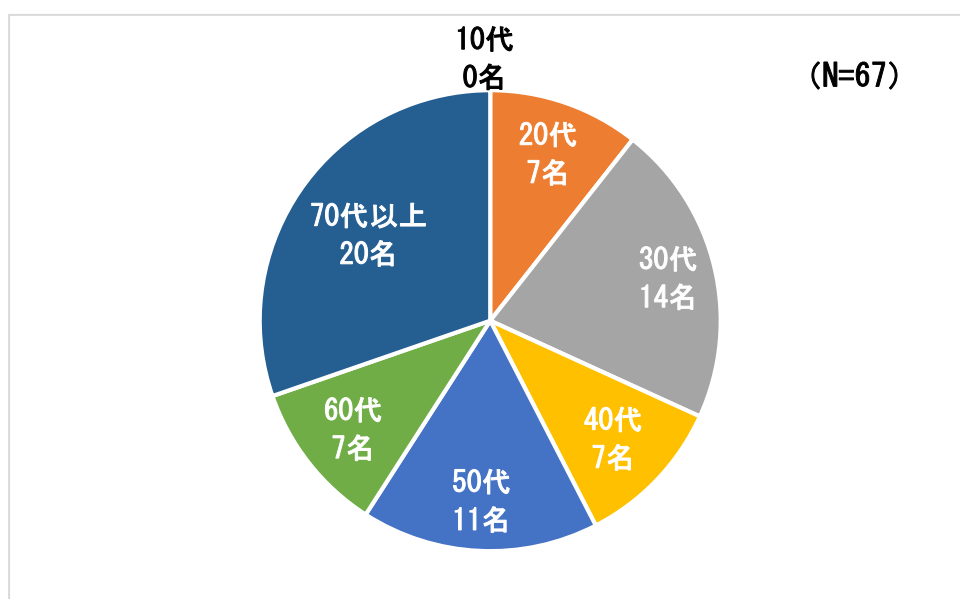
図表 1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上が最も多く 20 名、次いで 30 代が 14 名、50 代が 11 名と続いた。

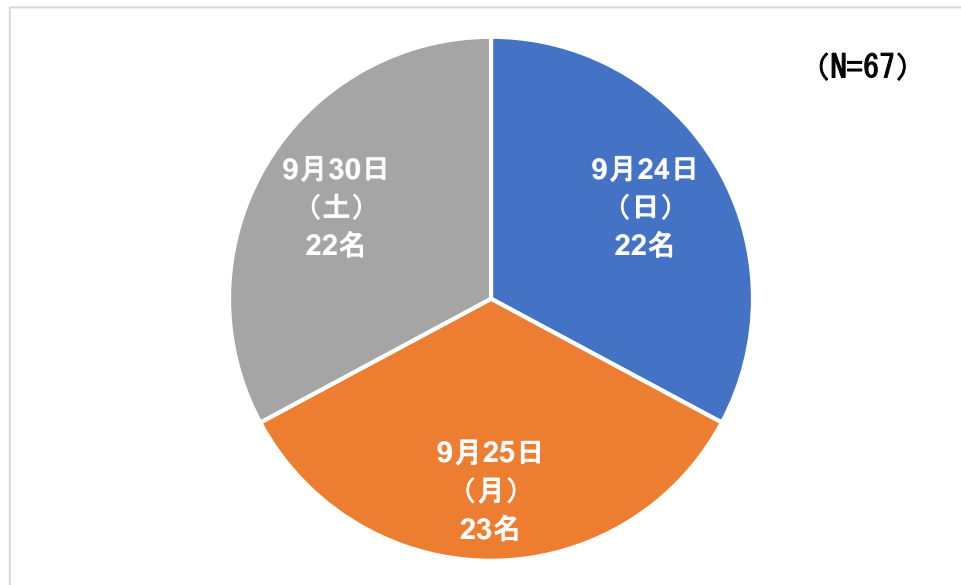
図表 2 参加者の年代



(3) 参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、各日程満遍なく、参加があった。

図表 3 参加日別参加人数



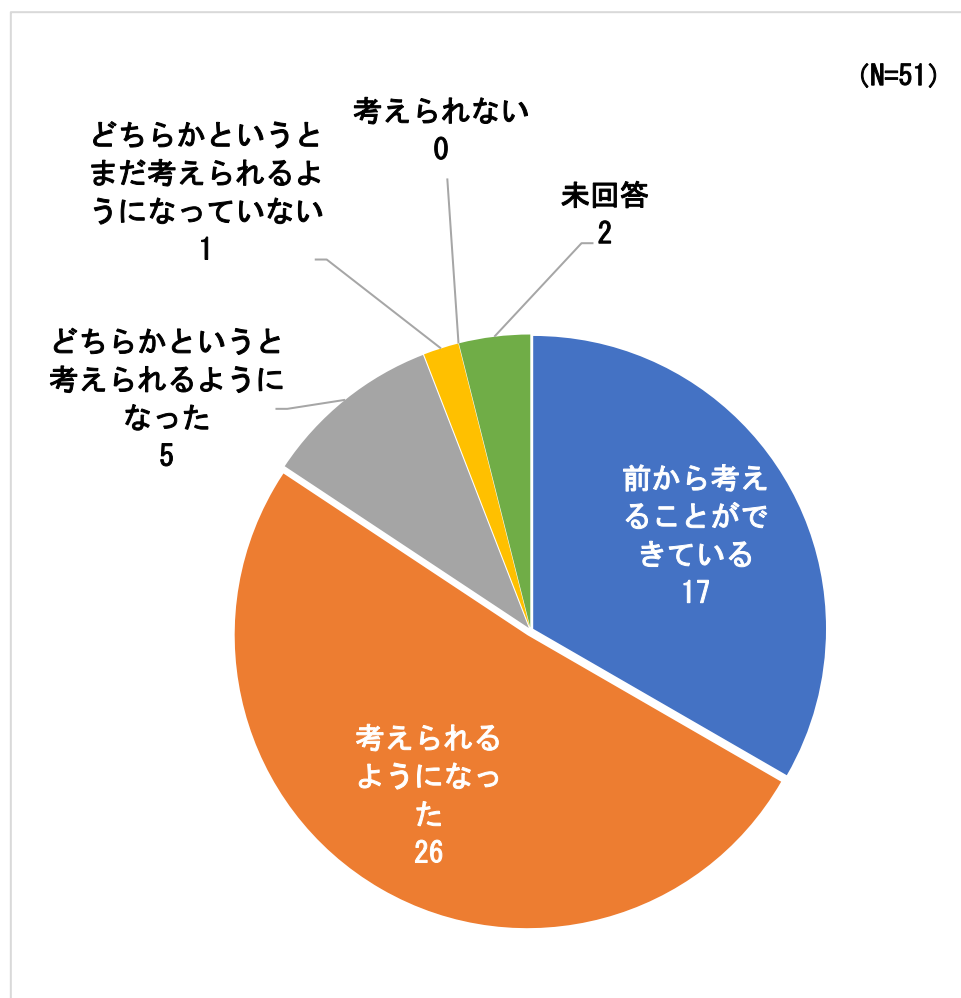
3. アンケート結果

問1.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができていた」が続いた。「前から考えることができていた」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができていた	17
考えられるようになった	26
どちらかというと考えられるようになった	5
どちらかというともまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 4 「新庁舎の役割」について

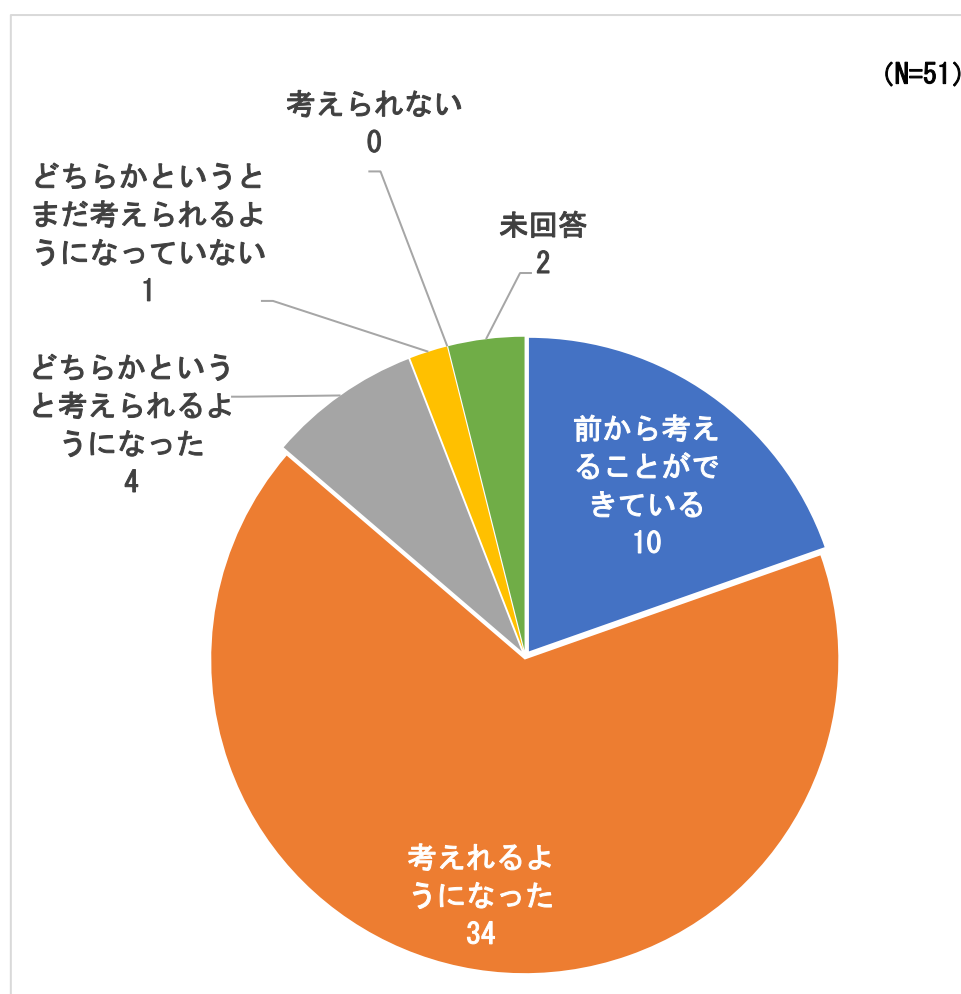


問2.「新庁舎のコンセプト」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができていた」が続いた。「前から考えることができていた」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができていた	10
考えられるようになった	34
どちらかというと考えられるようになった	4
どちらかというともまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 5 「新庁舎のコンセプト」について



問3. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

「安心して市民が集える場所」といった、市民が行きやすく、安心して利用できる庁舎という意見が多く出された。一方で、「コスト」に関して、費用をかけすぎないことや、新庁舎に最低限必要な役割・機能のみを持たせることについての意見が出された。また、ワークショップについて、他者の意見から自身の考えを再考できたといった意見もあった。

【安心して市民が集える場所】

- ・市民が集える場所でありたい
- ・行きやすい役所
- ・市民が安心して集える場所、もっと気軽に立ち会える場所
- ・皆が安心、安全に行ける庁舎を望みます
- ・だれでも気軽に
- ・安心安全な新庁舎には、しなやかボディ&市民のますます対話力
- ・市民の安全、安心な暮らしを守る
- ・安心して相談できる
- ・「となりの新庁舎」

【使いやすい新庁舎】

- ・すべての人（市民・職員・企業等）が使いやすい新庁舎

【住みやすい市】

- ・日本一の住みやすい市になってほしい

【分庁舎】

- ・どこでも新庁舎というキャッチフレーズ

【立地】

- ・立地条件

【見越した計画】

- ・50年後100年後を見越した計画が必要である

【ユニバーサルデザイン】

- ・妊娠から出産まで何十回病院に通うかを考えて、私は中部医療センターにこども課があってよかったと思う。それに、あじさい広場があるから、園の手続き等のときよかった。ユニバーサルデザインの1つだと思います。

【災害時の対応】

- ・新庁舎の役割として一番必要な事、防災拠点としての機能、他行政機関と円滑な災害対応ができるようにしておく、又、災害発生時の対応として民間会社等と協定を結んでおく。
- ・災害に強い建物と言う意見も聞かれたが、美濃加茂市民の防災意識がそれほど高いとは思えない。美濃加茂に限らず消防団に問題があるのは認識しているが、これほど消防団に人が集まらないのは、防災の優先順位はそれほど高く無いのでは。地震で倒れなくて、川水に流されなくて建物だけ残っていても動ける人員がいなくては。見学できていないので間違っているかもしれないが、文化の森の管理棟二階には、緊急時の会議室が整備済と聞いている。

【共生する庁舎】

- ・若者と高齢者の共生する庁舎
- ・行政として「住民福祉の充実・向上」を図る政策を出す。但し、当然ながら公正・公平の精神を忘れない！

【市民】

- ・庁舎がシンボルになるのではなく、市民が主役になれるような市役所であること

【コスト】

- ・Bグループ（9/30）の考えに共感できた。連絡所の強化、新庁舎に注力しすぎる。コストをかけすぎるのはちがうと思う。
- ・要望を詰め込みすぎてコストをかけすぎないこと
- ・新庁舎には、行政手続きの事務をする場所、将来や過去の事業や予算の検討や検証ができる様、資料や書類などが安全に確実に保管できる場所であれば十分だと思います。
- ・人が集まれる場所は既に沢山ある。いろいろな団体や組織、市役所の各課、自治会などが行事をしても、思うように人は集まらない。新庁舎に多目的ホールの様なものを組み込めば一時は賑わうかもしれないが長くは続かない。
- ・前回のワークショップで、9割以上の方が年に1回市役所へ来るぐらい、市役所へくる頻度は低い。ところがみなさん、市民が集う場、まるでサッカーやライブに集まるような所に新庁舎なってほしいと言う。広くて立派な施設づくりはお金がどれだけかかるか？結局できるのは地味なものになり、市民（ワークショップ参加者）はがっかりしてしまうのではないか。

【市民協働】

- ・市関係者（役職員、市民、市議員）目的をもった共同の働きを求める
- ・地方自治に係わる規則などがあるかもしれないが、市議会議場も閉会中は一般市民が会議室などとして使えたら良いと思う。固定された机や革張りの椅子が必要だとは思わない。

【プライバシーの確保】

- ・問題を抱え相談に来た市民の個人情報もしっかりと保護できるだけのスペースは必要だと思います

【ワークショップ】

- ・人それぞれ種々雑多な意見がある、その話を聞いて自分の考えを再考する機会が得られた
- ・様々な意見があるけど、みんな言いたいことは近いと思った
- ・多様な意見
- ・市役所メインという視点をやめてみるのもおもしろいと思う
- ・コンセプトは DNA ですから、沢山有れば良いと思います。この中でシンボルになるスローガンの言葉が見つければ幸いです。
- ・R4 に実施したアンケートに必要な事がまとまっていると考えます。大切にすべき視点の中にコンセプトのヒントがあり、現庁舎にもとめるものの中に新庁舎にもとめる答えがあると思います。
- ・コンセプトは全体を貫く基本的な概念です。初めてコンセプトを考える方にとっては難しかったかもしれません。
- ・コンセプトについてもう少し説明があった方が良いと思いました。スタバは第3の場所のコンセプトをもとに立地、インテリア、使うカップ、接客方法等を決めている。
- ・特別に報酬も無いのに自身の意志で応募して平日の夕刻に集まった参加者(の意見)はとても貴重だと思います。ですが、皆が集まるとか災害に強いとか、当たり障りの無いと言うか聞きさわりが良い意見が多い様に感じられた。
- ・最後発表後の意見確認は不要だった。それぞれのグループで議論をし出したことに否定的な話や今回のテーマとは異なる話がでてきてしまい後味が悪いものとなってしまった。
- ・多文化共生、防災等、どれも重要な様々な意見があるため、うまくまとめる手腕が必要

【新庁舎整備】

- ・広報誌などに載せて各家庭で、学校で、会社で話しあえるといい
- ・市民はもとより、市職員の本職ならびに活力を新庁舎建設を機に原点に立ち帰る好機としてとらえ、職員の意識改革も併せて啓蒙に努力、新庁舎計画に反映していただきたい。
- ・立地場所選定に時間がかかりすぎ
- ・このようなステップが必要でしょうか？
- ・建設までのステップが長すぎるように思います

【周知】

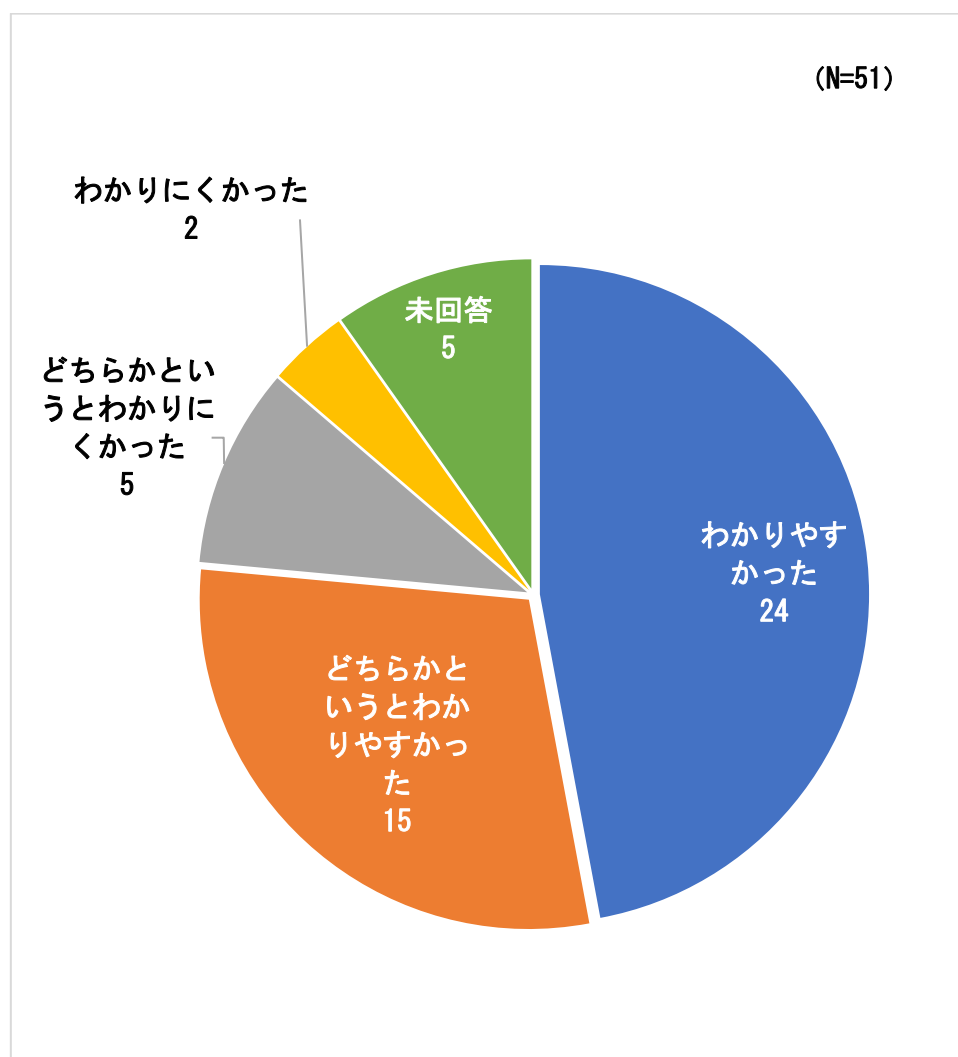
- ・未来へつなぐ新庁舎、次世代新庁舎として話し合ったが市全体に周知していつているか？

問4. 本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=51】
わかりやすかった	24
どちらかというとわかりやすかった	15
どちらかというとわかりにくかった	5
わかりにくかった	2
未回答	5
合計	51

図表 6 ワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。（今後の運営で参考とさせていただきます。）（自由記入）

今回は事前に情報提供資料の送付を行っていたため、当日の情報提供時間の短縮を求める意見が多く出された。また、役割とコンセプトについて、違いのイメージが付きにくく話しにくかったという意見が出された。

【進め方】

- ・ザックリとした結論など誰にも出せないテーマで第1回を費やすのなら、だんだん具体的な設問になってきた第2回は参加者の意見も具体的になってくるので、step2 と step3 は2日に分けたほうが良かったのではないかと思います。担当課、担当者は大変だと思います。
- ・1番最後の各グループの発表の時に、意見を聞かれたが無くしても良いと思いました
- ・新庁舎の役割はほぼ決まっていると思います。新庁舎のコンセプトが重要だと思うので、ここについてもっと時間をかけて話し合いたいです。ここで話し合った内容の情報共有が大切だと考えます。

【新庁舎の役割とコンセプト】

- ・参加者には step2 の新庁舎の役割と step3 の新庁舎のコンセプトの相違がキチンと把握できていない様に感じられた
- ・役割の範囲なのかコンセプトの範囲なのか判断が難しくどのタイミングで発言すると良いのか戸惑った。ファシリテーターには、その意見は後半のコンセプトの時間で改めてなどと整理して進行してほしい。

【情報提供】

- ・最初の情報提供が長い
- ・事前に送られた資料と同じ内容のパワーポイントなので必要性を感じない
- ・資料がバラバラだと見にくい、探しにくい、1冊にまとめて欲しい
- ・次第は前に掲示して、1人ずつはいらないと思う（ペーパーレスにして）
- ・紙が多いと思う、もったいない
- ・次第の2番情報提供について、話が少し長いと感じた。郵送書類で確認できるので、もう短縮しても良いかと感じた。意見を捻出するのに時間を要する。第一回のワークショップの内容をホームページで事前に見ていれば、話すことをまとめてワークショップに臨むことができる。しかし、ホームページを全く見ていない人にとっては、郵送された書類をみて臨むことになる。今回、郵送書類が届くのが遅かったと感じたので、もう少し早いといいかもしれない。
- ・いままでの問題点の説明が不足している

【グループトーク】

- ・グループトークしだすと、ざわざわして声が聞き取りにくい
- ・テーブルの間隔が近すぎて声が聞き取りにくいので、もっと離すか、小グループに分けて隣室で説明はリモートで聞くのはどうか？
- ・チーム内で話す声が聞き取りにくかった。テーマから外れた意見もあったように思う。

【参加者以外】

- ・職員の方が多すぎるのではないかと感じました
- ・外野の方（市議、職員）はお静かにして頂きたい
- ・話し合い中に両サイドに立たれると威圧感を感じる

【子育て世代】

- ・もう少しバランス的に、若い女性の意見が欲しいです。特に子育て世代！

【新庁舎整備】

- ・新庁舎の立地場所から入ってほしい
- ・新庁舎建設のためのポイントをついた話し合いかということを考えると考えさせられる
- ・この先どうやって進んでいくかわかりにくいです
- ・ワークショップで出た意見を出来るだけ多くを取り上げて実施して欲しい
- ・大風呂敷広げるのは夢があるが、どうするの？現実の庁舎は夢の遊園地、アミューズメント施設の中にあるようにはならず、どう終着、おとしどころつくるのか心配。
- ・200人/55000人=0.36% 周知率、市民が理解したことを確認すべき！！

【ワークショップの感想】

- ・ファシリテーターが場の空気をほんわかさせてくださいます。ありがとうございます。
- ・分かりやすかった
- ・良いと思います
- ・前よりわかりやすい

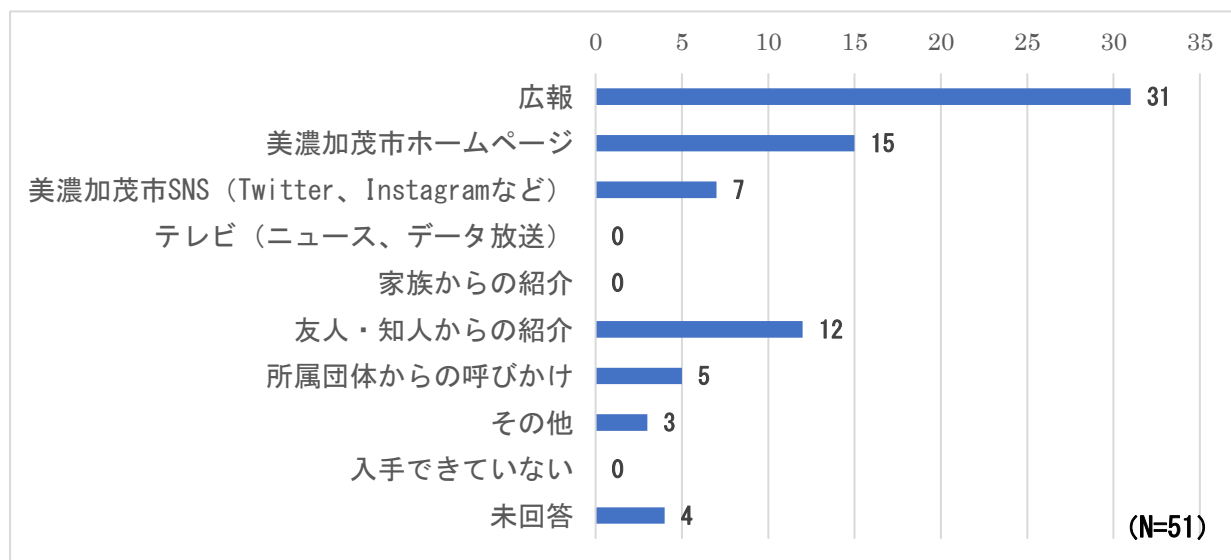
問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

第1回ワークショップ時同様、「広報」から情報を入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「友人・知人からの紹介」が続いた。

その他の意見では、「すぐメール美濃加茂」「会社にチラシ」という意見もあった。

	回答者数【N=51】
広報	31
美濃加茂市ホームページ	15
美濃加茂市 SNS (Twitter、Instagram など)	7
テレビ (ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	12
所属団体からの呼びかけ	5
その他	3
入手できていない	0
未回答	4
合計	77

図表 7 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



▼その他意見 (自由記入)

- ・すぐメール美濃加茂
- ・会社にチラシ

問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。
(自由記入)

新庁舎に対し、様々な観点から意見が出された。建設費だけでなく、維持管理費（ランニングコスト）も考慮して検討して欲しいといった意見があった。

また、今後の検討について、現庁舎や他市町村の見学や市内イベント時で周知を行うなど、より市民の皆さんに認知頂くための方策を頂くことができた。

【庁舎】

- ・開放感があり、見渡しやすい建物だと良いと思います。駐車場が広く、食事が出来る場所や庭園、市民の集いやすい場所であっても良いかと思います。
- ・一階のみですべての課があって、歩いていけるバリアフリーの市役所であってほしい。他に新庁舎建設について市民は賛成しているのか？物価高で生活が苦しい市民が多いのではないかな？
- ・分庁舎式はよくない
- ・心の支えとなる居場所（気楽に相談できる場所、何人も自由に活用できる場所。）、災害にも脅かされない存在であってほしい。市役所に勤める職員が使いやすく、居心地の良い場所で仕事ができるようにしてほしい。（住民サービスでストレスが溜まると思うので、少しでも軽減できるような施設を。職員が使える食堂やフィットネス、カフェ、福利厚生を充実。）
- ・規模→自由につかえるスペース、待合スペースのニーズをどこまで満たすのか？一カ所に大、中、小、規模の建物か？サテライトか？

【立地】

- ・やはり北側の高台に（あじさいの丘付近）
- ・新庁舎のみの土地ではなく、30年後を見越した計画が必要
- ・場所の確保を優先してほしい
- ・場所→駅前商業ビル問題の方向性を決めてから考える？デジタル化により駐車場の不安は不必要になるかも、サテライトになれば不要。

【災害対策】

- ・防災で重要なのは停電したときの各地との連絡をどうするのか。公共の通信では限界があると思います。
- ・庁舎は駅前ではなく水害の心配もなく、市民や県内から車で来やすく駐車場の大きな場所に移転すべきである。

【職員の働きやすさ】

- ・職員の働きやすい環境が第一である

【予算】

- ・一時的な建設費だけでなく、維持管理を続ける予算も大切だと思う。高層階の建物だと、窓拭き一つ考えても都会の専門業者に依頼しないといけない、空調設備などの修理や交換でも大型の重機が必要になってくる。低層階(出来れば平屋)の建物であれば、窓拭きはシルバー人材センターで出来る。設備の管理や補修も市内の電気工事店、水道工事店で対応出来る。
- ・市民の憩いの場合は、別に公民館などで対応すべき、市庁舎に期待するとコスト増になります。今日の話し合いでも、同様の意見が多数派でした。用地選定が難問ですね。
- ・予算→どの位？ランニングコストも考えて、50年後、100年後の財政は？次の新庁舎問題の時の事も考える必要がある。

【市民の意見】

- ・旧基本計画に寄せる市民の意見は新庁舎建設への市民の意見とほぼ同じであることに気づく。基本理念の「にぎわいのある町の核」として新庁舎建設を強引に決め、市民をまどわせたことは認め難い。市民の判決が下されたのに相変わらず駅前庁舎建設を市民、市当局に主張するスタンスは許し難い。しかし市民が選んだ議員たちだ。屈せず市民の願いを貫徹していただきたい。
- ・だれでも、気軽に、バリアフリー、市民の声を聞け

【駅前再開発】

- ・美濃太田駅南口の再開発も同時に進めてほしい

【美濃加茂市の魅力】

- ・今日参加して改めて美濃加茂市の魅力は公園にあると確信しました。観光の目的としてのまちなか自然公園はどうでしょう。リバーポートパークのようなコンセプトで既存の公園を魅力あるパークに変えていくのです。新庁舎の隣にも音楽フェス等が出来るような公園を併設したいですね。今回も皆さんと意見を出し合える素晴らしい機会を与えて下さってありがとうございます。

【前回計画】

- ・早めにどうして駅前に決めたのか、又、それが不評だったのか、わかってもらえているのか知りたい。別の候補地が、なぜいけなかったのか、コンパクトシティのこういう条件を知りたい。いろいろ出てくる可能性のある土地について、そこではダメな理由を前もって知りたい。

【新庁舎整備検討】

- ・計画を前倒してでも、早く新庁舎を建てるべきだと存じます
- ・みんなの新庁舎であるがゆえに、みんなが知っているか？周知ができているか、つたえただけではないか？本当に伝わっているか？受け取った側は本当に理解しているの

か？市の一方的にならないぞ！！

- ・概略設計以降も大事、利用する外来者、市民にとっても日常的に使う職員にとっても、このツメが甘いという感じのする市庁舎もある。真剣につめてほしい。
- ・ワークショップが形式だけで終わることのないようにする。3～4年内に完成したい。
- ・新庁舎が完成して、コンセプト通りの建物(器)が出来たね！と言えるといいですね。最近近くでも新しく庁舎が出来ています、少しでも多く見学して参考にしてください。仕事から愛知県と岐阜東濃エリアの全ての市役所、役場へ2ヵ月に1回は伺います。おそらく参考に成る庁舎もあると思います。宜しくお願いいたします。

【ワークショップ/話し合い】

- ・ワークショップは良い方法だと思いました
- ・話し合いで大切なこと、テーマ・今回のコンセプト
- ・平日の18時開始はなかなか辛い。土曜日や日曜日でも日程にあるというかもしれないが、まだ水田や畑の仕事の残る時期なので、土日の昼間は無理だという人もいると思う。広く沢山の人の意見を聞く場がワークショップだと思うが、第1回よりもテーブルも参加者もが少ないのは開始時間の影響もあるのではないかな。2回に分けて19時開始の方が参加しやすいのでは。もちろん違う環境で生活されている人がいることはわかっていますが、市職員や市議会議員ではなく、参加者中心で時間設定してほしい。次回に応募しても当選するかどうかわからないので、沢山書きました。
- ・若者の意見も必要。学校でワークショップをやって欲しい。
- ・1回目に比べて参加者が少なく残念に思った
- ・テーマがわかりにくい面があるのではないかな？

【今後の検討方法】

- ・他市町村の評判の良い庁舎、施設を見学するツアーを企画して欲しい。個人では見学しにくい。
- ・突撃インタビューをする。街に出て、井戸端会議してる人、集りに参加して意見を聞く→スーパー・駅前・こども食堂・いきいきサロン、市民フェスなど人が集まってる所へ行って、話を聞く（認知度を高める為）。
- ・現在の庁舎内を知る必要があると思う→見学して良い所悪い所を洗い出してはどうか？時間がとれなければ、ビデオ撮影してプロジェクターで流す、利用者の目線で動線を確認してみてもどうか？

【感想】

- ・次回も参加したいです
- ・できあがるのを楽しみにする市民が増えていくといいですね
- ・次回ワークショップで意見します
- ・これからも一緒になって考えていきます！！
- ・色々な話を聞けてよかったです

- ・今回の意見を反映して欲しい
- ・意見を聞く場をつくってくださり、ありがとうございます
- ・この度はこのような場を設けてくださりまして誠にありがとうございます。本当にありがたいことです。他の人の話を聞くことで、自分の考えに幅が広がる、豊かになると感じます。私は対話文化がますます美濃加茂市の特色になると嬉しいと思いました。何かと大変かと思いますが、参加者がわちゃわちゃ楽しんでいれば周りの人も覗いてみようかなあと思われると思います。引き続き楽しく参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。
- ・ステップ5新庁舎の複数候補地等の選定ワークショップで色々な面から色々な意見をのべさせて頂きたく思っています。1. 防災拠点としてどこが一番いいのか 2. ライフサイクルコストの最適化、利便性 3. 災害時に対応出来る広場の設置、庁舎はコンパクトでも広い駐車場を確保（敷地面積の広い候補地） 4. 長く円滑に使い続けることが出来る新庁舎 5. 議会運営を高める市民力、行政に関心が薄いように思われる。努力いただいていますので、今後期待しています。

新庁舎整備に係る経緯と今後について

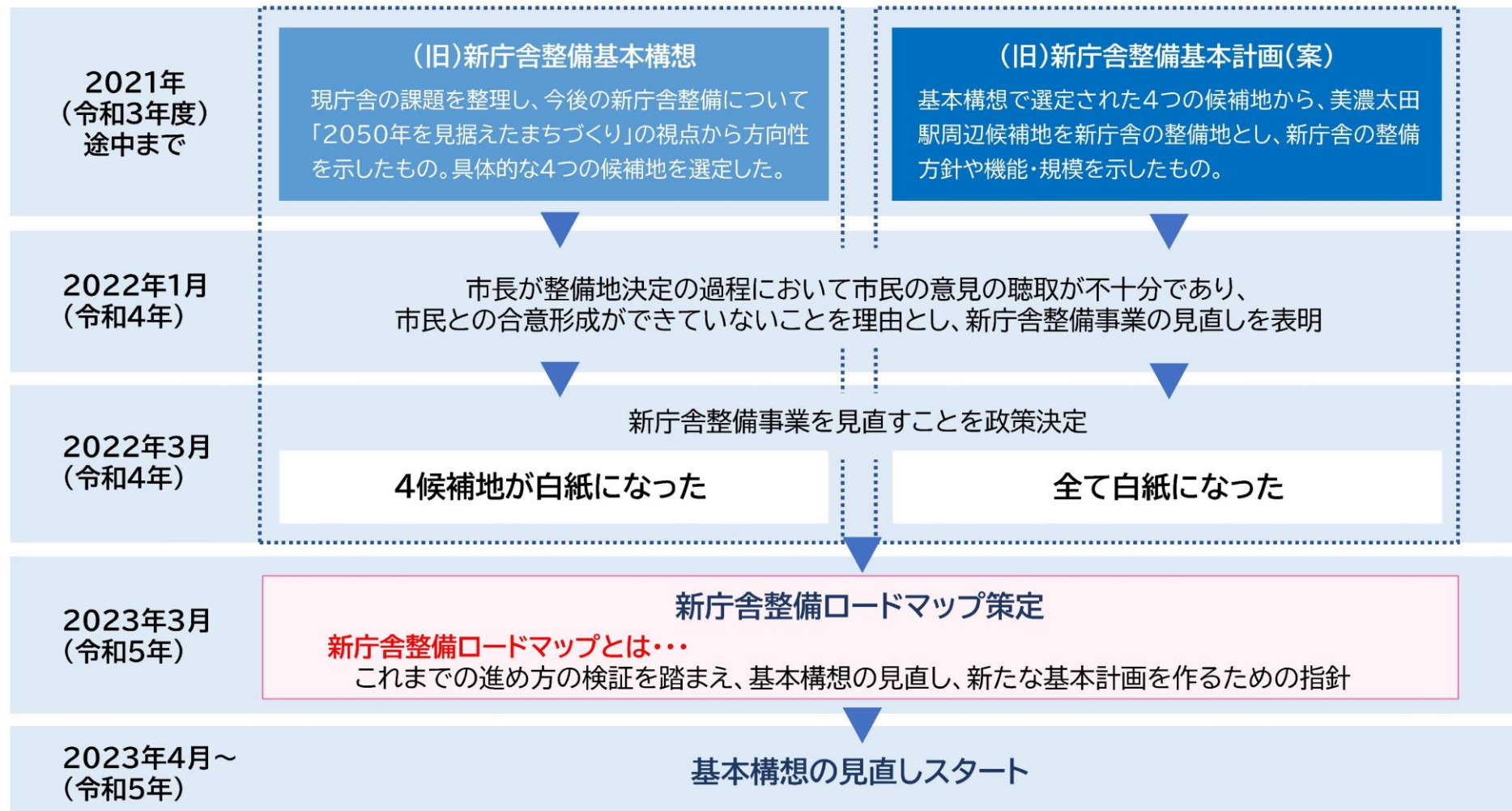
美濃加茂市 新庁舎整備ロードマップ

令和5年3月

見直しの経緯

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

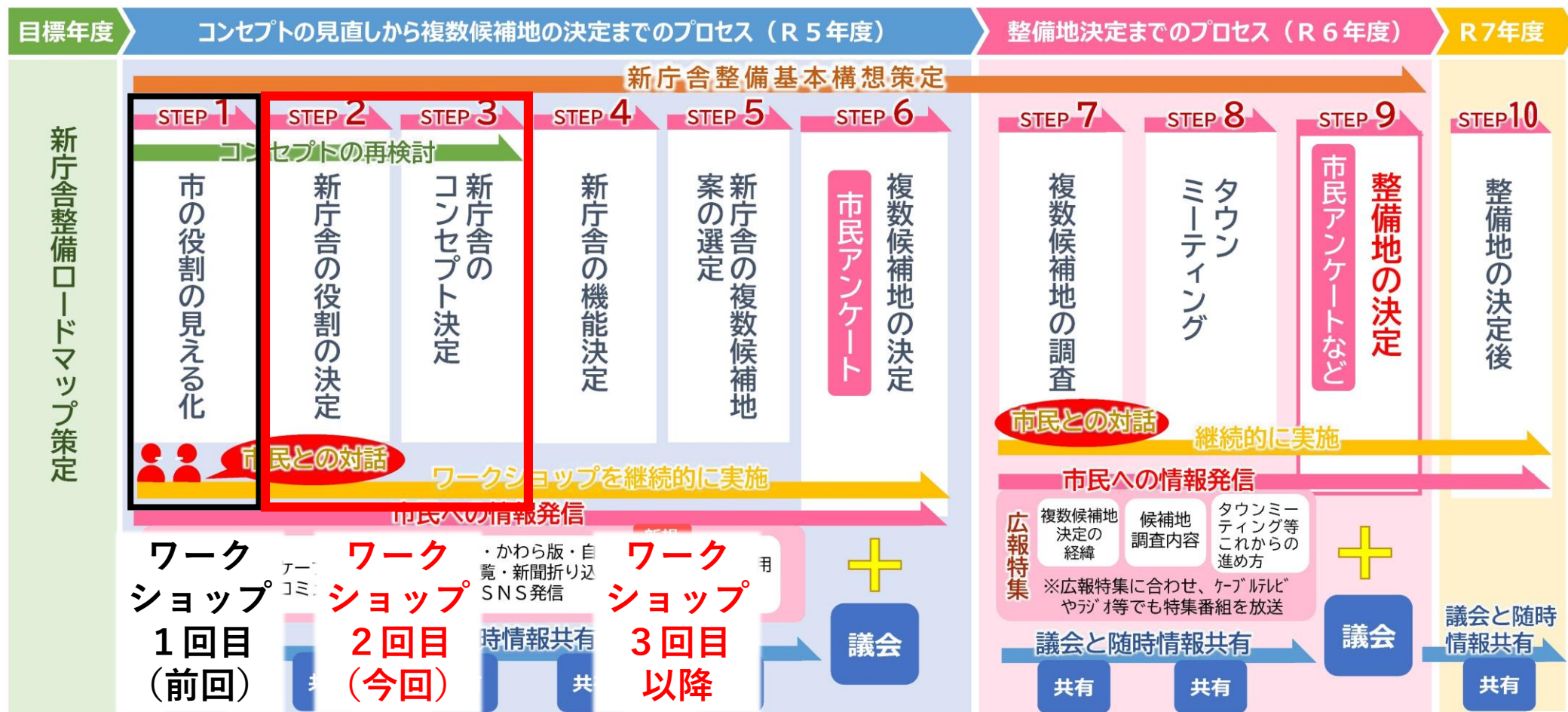
(2) 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



ワークショップの実施計画

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス 市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。



前回のワークショップ <市の役割>

■STEP1「市の役割の見える化」

「10年後の市の役割」をテーマに参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。

①個人でフセンに意見を書き出す



②意見をだしあう



③シールで大事だと思うものに投票



④グループの意見を発表！



市民ワークショップ				おでかけ ワークショップ
7/23(日)	7/26(水)	7/29(土)	計3回	計10回(9月20日時点)
30人	31人	27人	計88人	計170人

今回のワークショップのテーマと目的①

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 2 新庁舎の役割の決定

STEP 1 で考えた、市の役割を踏まえた上で、新庁舎の役割を検討します。コロナ禍を経た社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ見直しを行います。

STEP 2 で実施すること

市民との対話
(ワークショップ)

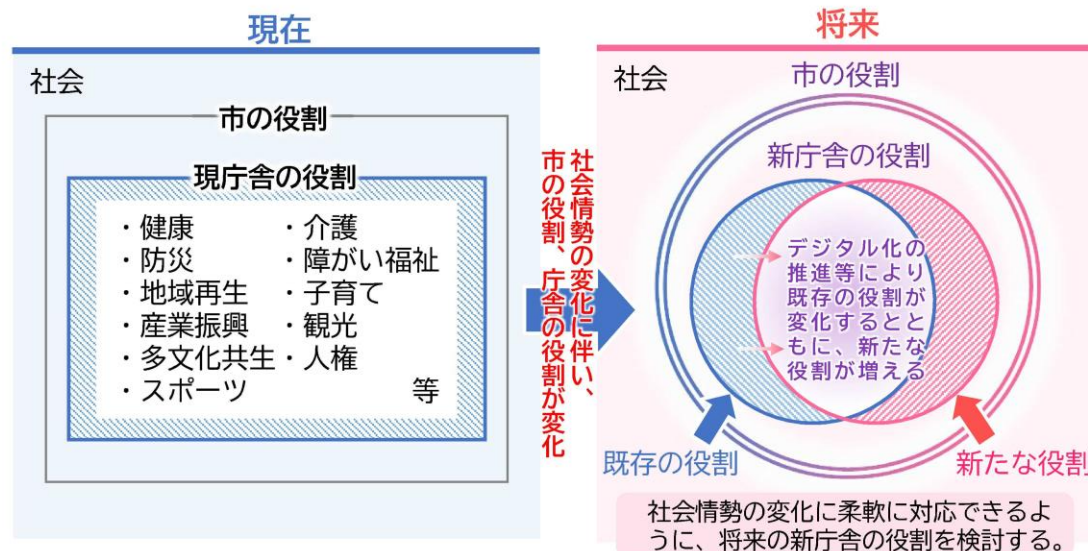
市民の
役割

年代・性別・居住地の様々な美濃加茂市民のモデルを考え、モデルごとの将来・行政との関わり・美濃加茂の魅力を考えながら、そのモデルが5年、10年先の希望を実現するためのストーリーをつくりあげる。それぞれのストーリーから市に何が求められるか、新庁舎はどのような役割を持つ必要があるのかをワークショップ形式で考える。

市職員
の役割

ワークショップに参加し、職員としての立場で考えを発信していく。また、各担当課が専門性を発揮し、まちづくりに関して市としての方針を示す。

R5年度					
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定



今回のワークショップのテーマと目的②

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 3 新庁舎のコンセプト決定

STEP 1・STEP 2による市の役割、新庁舎の役割を明示したうえで、新庁舎のコンセプトを再検討し決定します。

STEP 3で実施すること
.....
市民との対話
(ワークショップ)

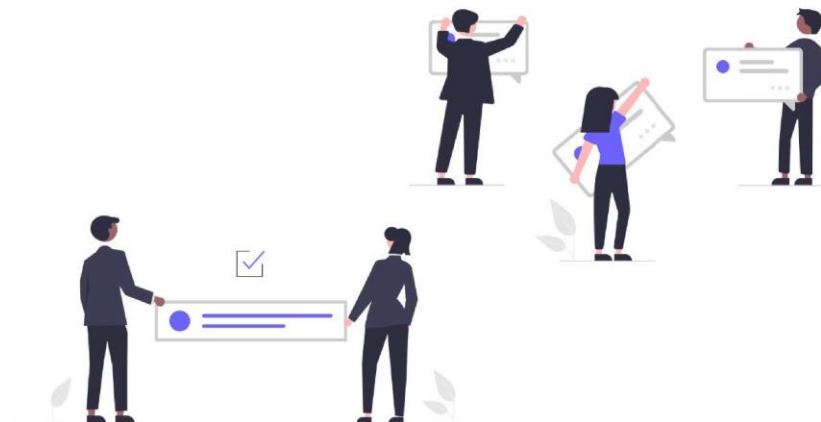
市民の
役割

ワークショップの中で（旧）新庁舎整備基本構想のコンセプト案を再検討し、新たなコンセプト案を提言する。

市職員
の役割

市民の意見を踏まえ、新たなコンセプト案を決定する。

R5年度					
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定



<第1回WSの振り返り> 市の役割



第一回WSまとめ

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- 安心安全なまちづくりをする存在であること
- 多様な人が暮らす美濃加茂市で…
こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが
共存できるまちを支える存在であること

市民に寄り添い、 まもる行政の存在

市と市民との協働・声が届く・
福祉・厚生・多文化共生・議会

地域のまとまり

自治体・まちづくり協議会・
人口減による機能低下への対応・
まちづくり意識

魅力ある市をつくる

こども・若者・挑戦する人・
文化や自然との共生・人口増・
地域の盛り上げ・憩い・交流

産業振興

企業・農業・地元産業・
税収アップ・雇用

安心安全なまち

防災・情報が得られる・
生活を守る・命を守る

便利なまち

DX(デジタル化)推進・交通・
連携・スムーズな行政サービス

<新庁舎の役割・コンセプト>



市役所ってどんなところ？

【市役所のしごと】

1. 市民サービス

- ・市民の窓口・市民相談

結婚の手続き

困りごと相談

2. 市政を動かし、発展させる

- ・市政運営、議会
- ・防災拠点

道路の維持管理

農業・林業のサポート

3. みんなで市をつくっていく

- ・市民とつながる
- ・まちとつながる

若い人を応援！

市民協働や子育てサポート

地域イベントへの参加・協力

窓口相談

情報発信

会議や打ち合わせ

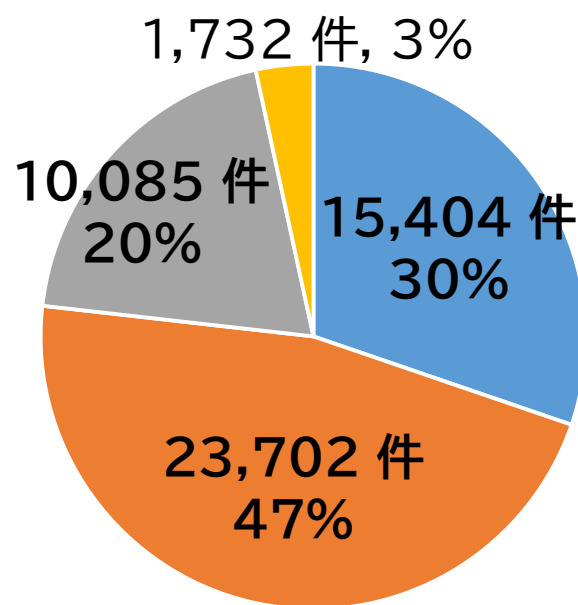
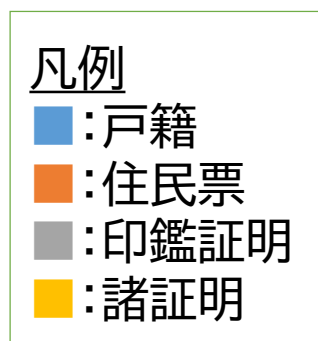
市民ワークショップ

市役所って どんな人が来る？

平成29年度に実施した新庁舎市民アンケートでは、
来庁した方の**76.1%**が市民窓口サービスを目的としています。

■申請目的の来庁

令和4年度市民課窓口での戸籍・住民票等交付数



計50,923件

令和4年度の市民課窓口での証明書の交付件数
(自動交付機除く)のうち、
97%は戸籍、住民票、印鑑証明です。

将来、証明書交付のデジタル化が進むと、自宅等
から申請が可能になり、来庁の必要がなくなる
かもしれません。

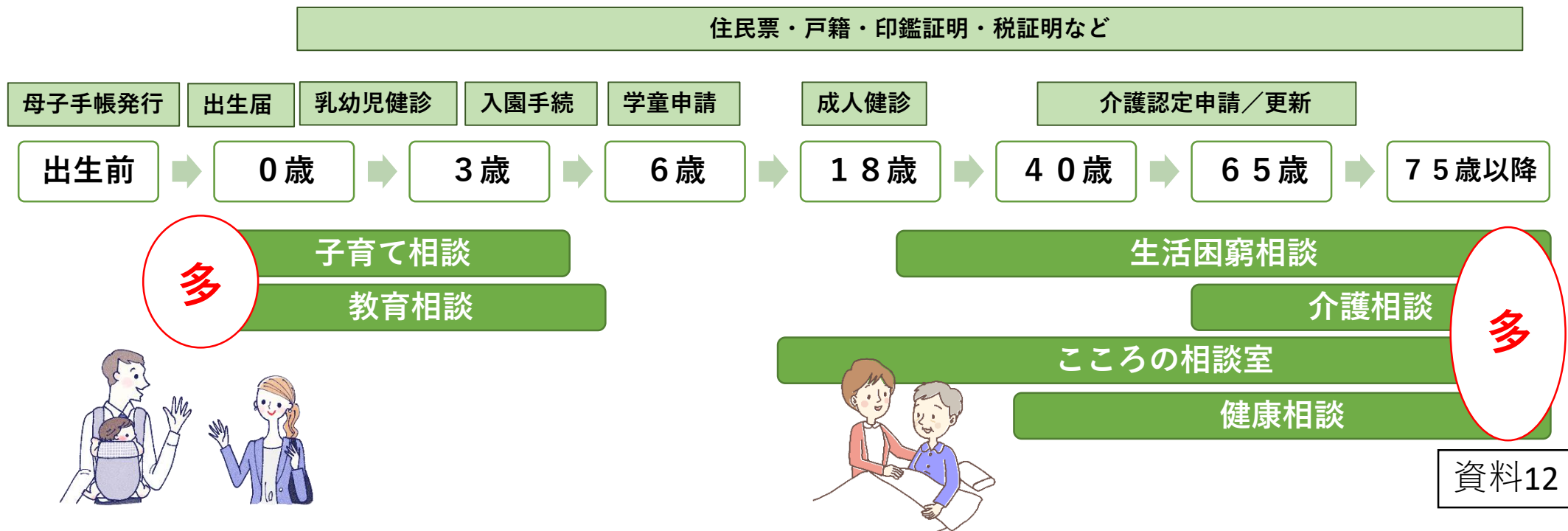
市役所って どんな人が来る？

■相談目的の来庁

一生の間で、みなさんは様々なタイミングで市役所へ来庁されます。

近年、高齢化や共働き世帯の増加に伴い、
高齢福祉課や子育て支援課などの**相談件数が増加傾向**にあります。

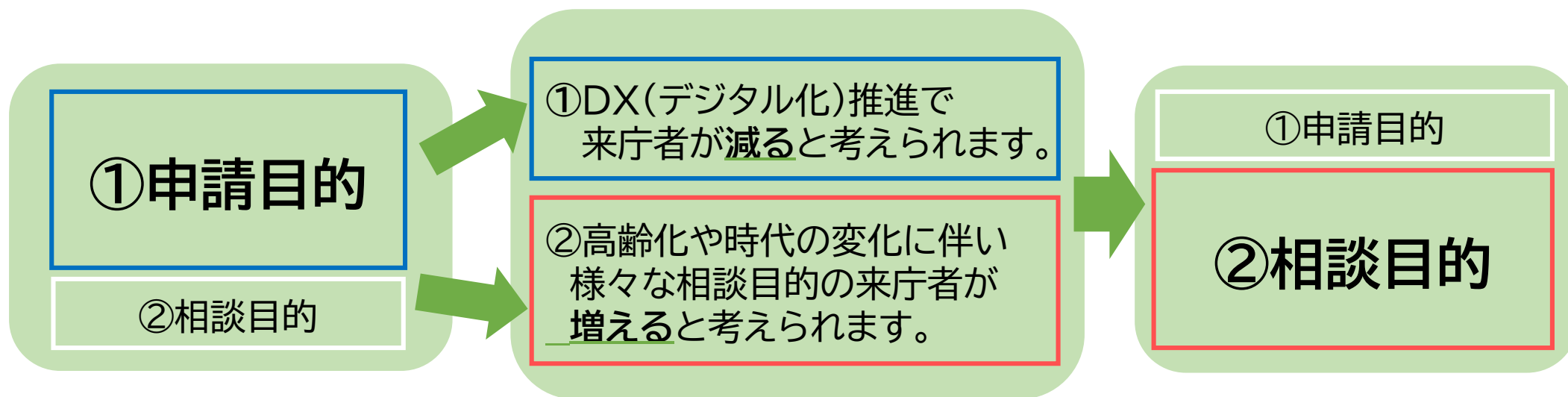
また、経済状況の悪化やストレスを抱える人の増加により、福祉課や健康課への**相談も多く**あります。



市役所って どんな人が来る？

■これからの市役所は何のために必要か？

いままでは申請目的で来庁する人が多くいましたが、DX(デジタル化)推進によって、今後は**申請目的の来庁者が減り**、現在増加傾向にある、各課への**相談目的の来庁者が増える**と予想されます。



どんな人が
これからの市庁舎にくるだろう。
未来の庁舎の役割を
考えてみよう

(旧)基本構想で考えた 新庁舎の役割

【理想とする未来の美濃加茂市】

2050 年になっても
みんなが幸せを感じることができる市役所のあるまち

＜未来に届けたいタネ＞(理想の実現のための市役所の役割)

- ・災害にとっても強い／防災
- ・みんなが使いやすい
- ・市民が一日過ごせる
- ・ほっとできる
- ・自由に使うスペース
- ・ビジネス交流
- ・将来の変化に対応できる
- ・情報発信基地
- ・まちの中に人に流れができる
- ・楽しい広場
- ・地球にやさしい
- ・ユニバーサルデザイン
- ・子育てサポート
- ・開放的な建物
- ・憩いの場所
- ・アクセスが良い

新庁舎の役割 1

すべての市民の
くらしを守る

新庁舎の役割 2

みんなの活動を
サポートする

新庁舎の役割 3

美濃加茂市の
魅力そのものを
向上させる

＜新庁舎の位置づけ＞

従来の市役所という概念のない、市民のよりどころとなる場所



まちまるごと市役所 「ふりかえればそこにある あなたに寄り添う」

(旧)基本構想で考えた 新庁舎のコンセプト

(旧)新庁舎整備基本構想におけるコンセプト

【新しい市役所づくりの基本理念】

みんなのまあるいまちづくりひろば

- ・市民が主人公となって日常を豊かに過ごすことができるまちづくりを行う拠点
- ・美濃加茂市を訪れる人々が魅力を感じるまちづくりを行う拠点

【基本理念を実現するための5つの基本方針】

まちが元気になる庁舎

- ・にぎわいをうむ
- ・人が行き交い、商いが育まれる
- ・美濃加茂暮らしを楽しむ

安全で安心な庁舎

- ・災害に耐え、市民の暮らしを守る
- ・地域防災拠点として機能する

すべての人にやさしい庁舎

- ・利用しやすい
- ・働きやすい
- ・バリアフリー
- ・ユニバーサルデザイン

市民が集う開かれた庁舎

- ・市民活動ができる
- ・市民が気軽に関わり活動できる
- ・ふらっと寄れる憩いのある空間

持続可能な庁舎

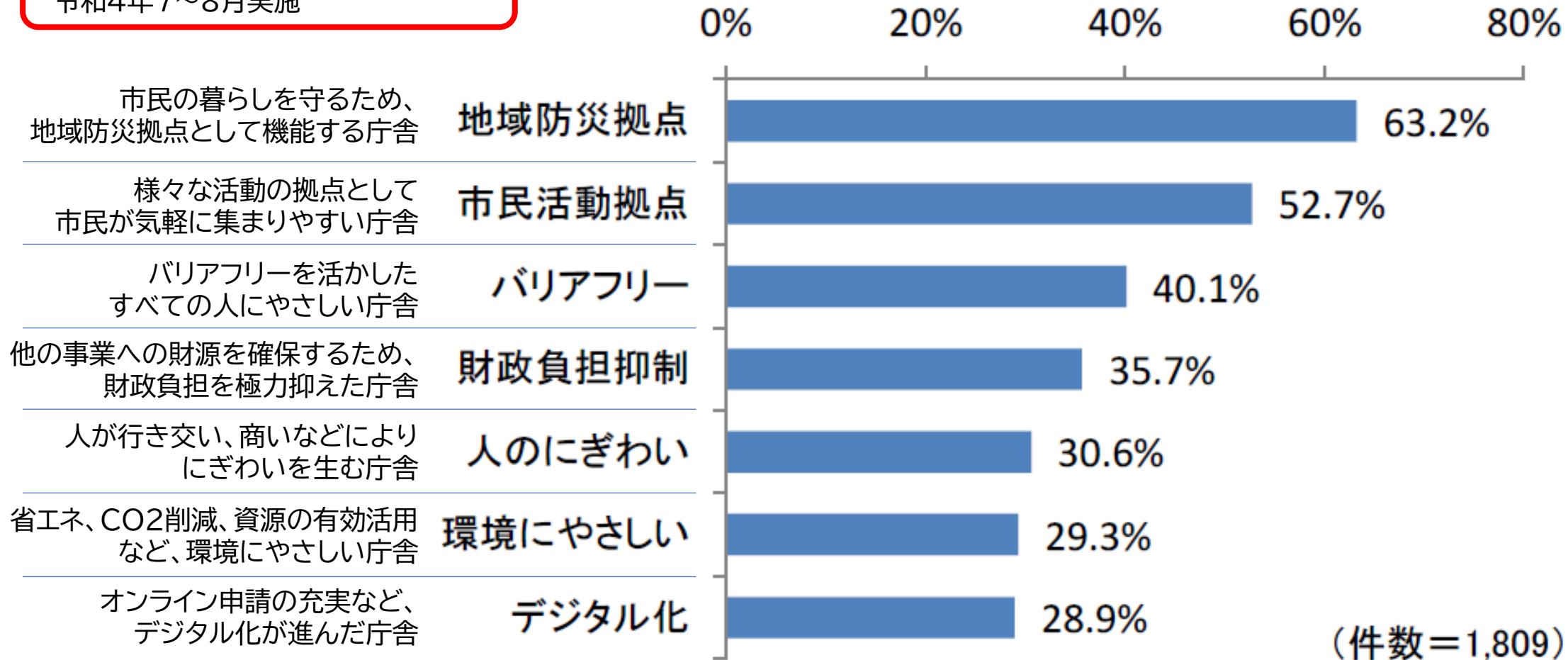
- ・環境負荷の低減
- ・自然環境を活かす
- ・社会ニーズや高度な技術への柔軟な対応



このコンセプトについては、市民アンケートの結果やコロナ禍を経た社会情勢の変化、デジタル化の進展による新しい行政サービスのあり方を踏まえ、再度市民の皆さんと検討して作っていきます。

新庁舎整備において大切にすべき視点は？

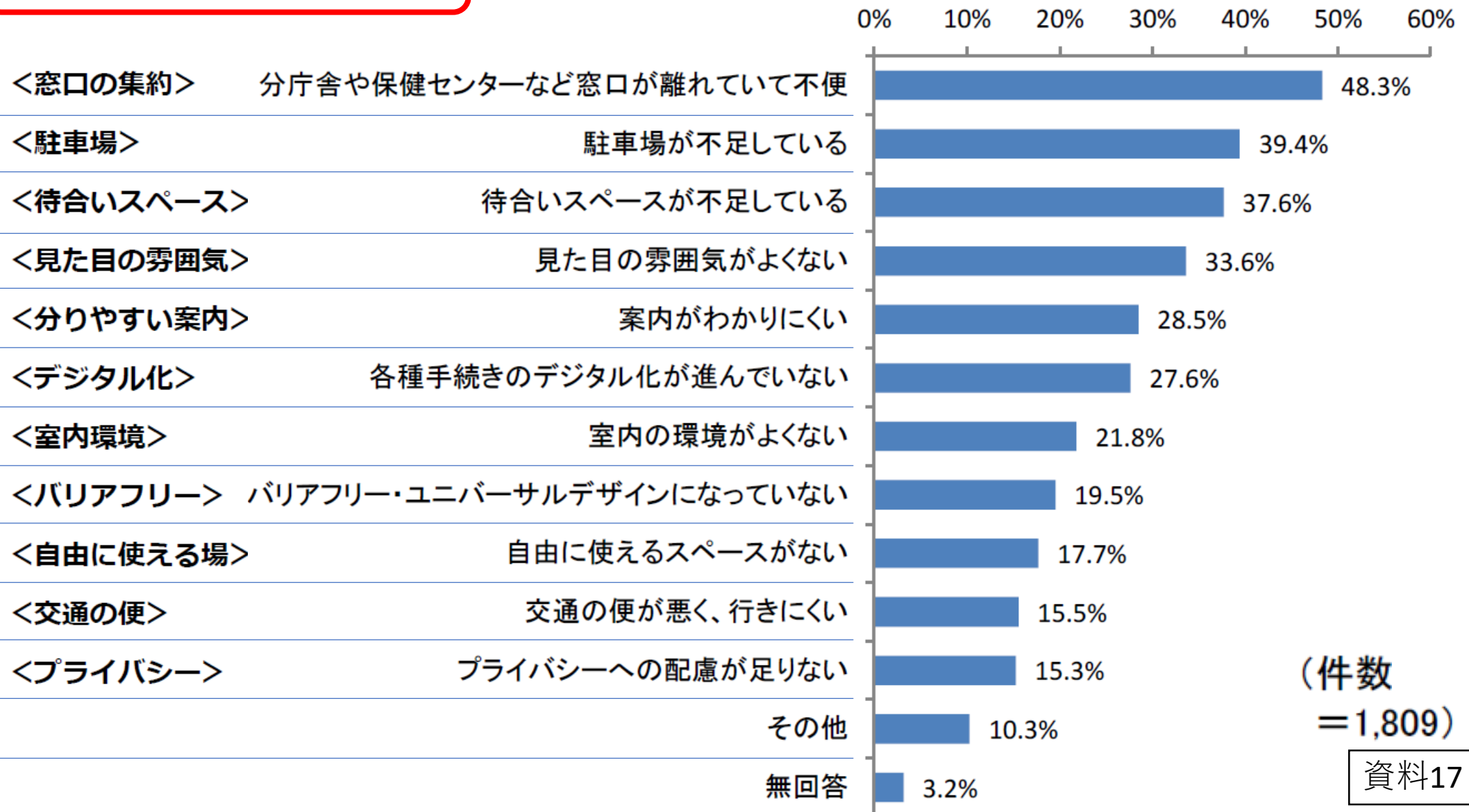
＜新庁舎に関する市民アンケート＞
令和4年7～8月実施



(件数＝1,809)

現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分は？

＜新庁舎に関する市民アンケート＞
令和4年7～8月実施



新庁舎の役割・機能の関係（例）

前回



今回



次回

市の役割 (第1回WSより)	新庁舎の役割（例）	新庁舎の機能（例）
・安心安全なまち	・災害時の司令塔となる	・災害対策室 （人員待機・通発信機器） ・地震に強い建物
・魅力ある市をつくる	・市民と協働する ・まちづくりを考える	・ミーティングスペース ・会議・相談室 ・市民が集まれる空間
・便利なまち	・市民サービスを提供する （申請手続き） ・情報を発信する	・集約された窓口 ・働きやすい執務空間 ・DXに対応する設備
⋮	⋮	⋮

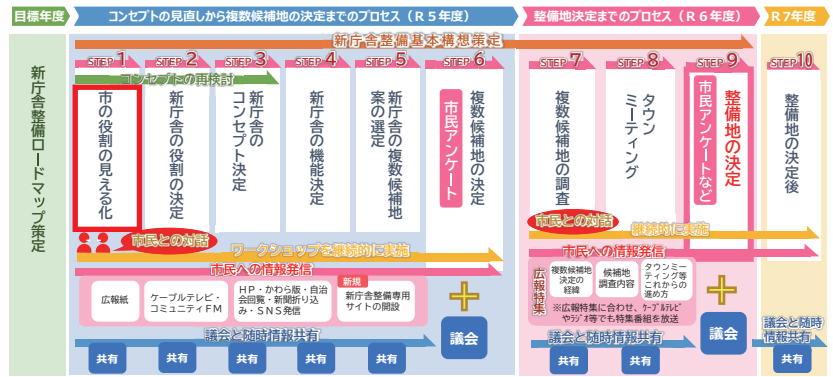
みんなの新庁舎 第1回市民ワークショップを開催しました！

美濃加茂市
みんなの新庁舎
かわらばん vol.1第1回市民
ワークショップ

新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、基本構想を見直すことにいたしました。

新庁舎整備基本構想の再策定は「新庁舎整備ロードマップ」に沿って進めていきます。

今回、みんなの新庁舎 第1回市民ワークショップを開催いたしましたので、その結果をお知らせいたします。



【今後の新庁舎整備の進め方（新庁舎整備ロードマップより）】

第1回は7月23日（日）、26日（水）、29日（土）に開催しました。今回はSTEP 1「市の役割の見える化」を行うため、「10年後の市の役割」をテーマに、事前応募頂いた合計88名の参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。おでかけワークショップは9月6日時点で9回実施し、合計152名の方と意見交換をさせていただきました。ワークショップ後に実施したアンケートの回答結果については、回答いただいたうちの89%の方が「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」と回答し、市の役割について多くの市民の皆様と共通認識を持つことができました。



「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- ❗ 安心安全なまちづくりをする存在であること
- ❗ こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できる
まちを支える存在であること

①

市民に寄り添い、
まもる行政の存在

市と市民の協働・声が届く・福祉・厚生・多文化共生・議会

②

地域のまとまり

自治会・まちづくり協議会・人口減による機能低下への対応・まちづくり意識

③

魅力ある市をつくる

こども・若者・挑戦する人・文化や自然との共生・人口増・地域の盛り上げ・憩い・交流

④

産業振興

企業・農業・地元産業・税収アップ・雇用

⑤

安心安全なまち

防災・情報が得られる・生活を守る・命を守る

⑥

便利なまち

DX（デジタル化）推進・交通・連携・スムーズな行政サービス

ワークショップ参加者の主なご意見は裏面をご覧ください。

新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochosha.jp/>

発行者：美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

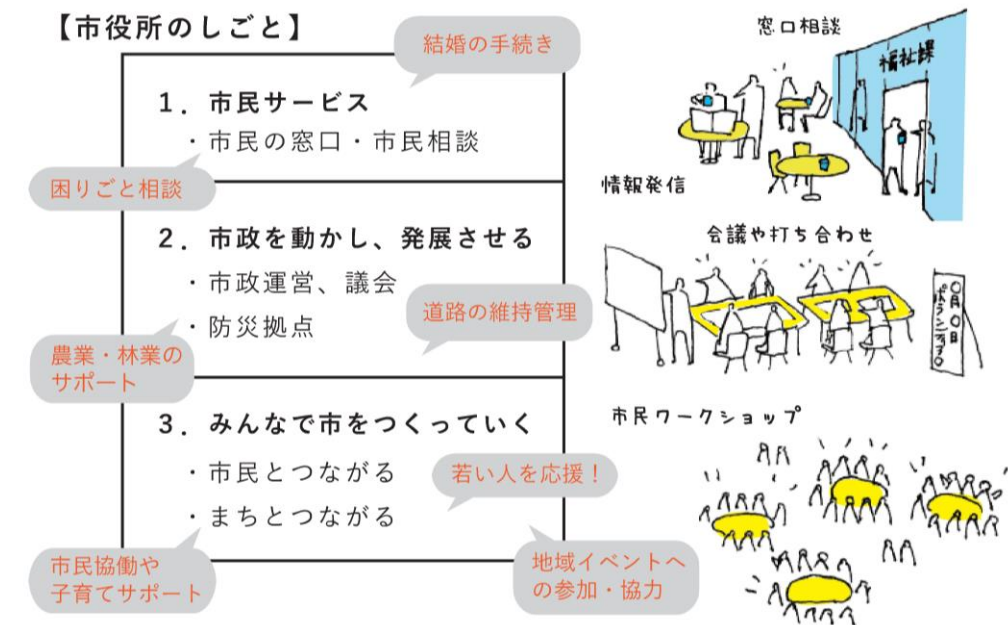
新庁舎整備
情報サイト

【第1回市民ワークショップ参加者の主なご意見】

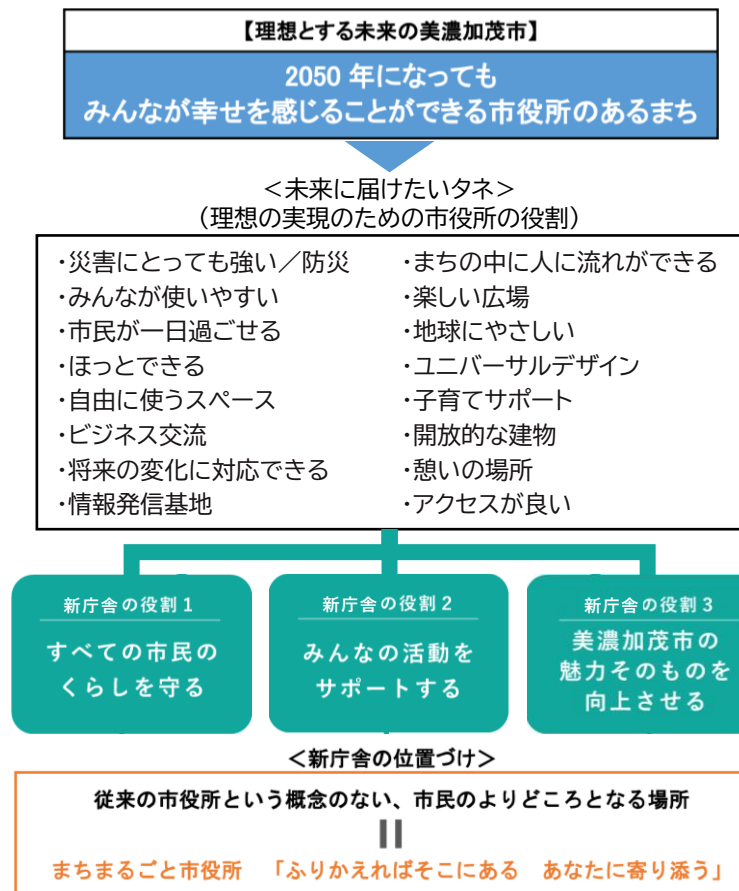
①市民に寄り添い、まもる行政の存在	<ul style="list-style-type: none"> ●市と市民の協働 <ul style="list-style-type: none"> ・市と市民が協働する（市民のつながりを強化する） ●声が届く <ul style="list-style-type: none"> ・市民や地区の希望を公的機関として、限られた財源の中でできる限りきいてくれる存在。 ・困った時にスムーズに助けてくれる存在。 ・市民に寄り添う市の職員。 ●福祉・厚生・多文化共生 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活を守る・護る存在 ・介護や健康を安心して提供すること。 ・こどもや子育て世代から高齢者・障がい者が共存できるまち。 ●議会 <ul style="list-style-type: none"> ・市議員の定数を減らす。 ・市議員、若い議員、女性議員の定数の決定。
②地域のまとまり	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・まちづくり協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が減ることへの対応 ・各地域のまちづくり協議会が活発に活動することで、まちの活性化をはかる。 ●人口減による機能低下への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市に住む人が減り、街の機能が低下することへの対応 ●まちづくり意識 <ul style="list-style-type: none"> ・若い人達が市を作っていくことが必要。 ・生きがいを持って暮らせるまちづくり。
③魅力ある市をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●こども・若者・挑戦する人を支援する <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの健康を守る存在であってほしい。 ・大人たちが美濃加茂市についてよく考える姿を見て、こどもたちも美濃加茂市への愛着がわくような市 ・挑戦したい人を全力で応援する。 ●文化や自然との共生 <ul style="list-style-type: none"> ・新旧が美しく混ざり合う街（自然も街も）としたい。 ●人口増 <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増加するような魅力のある市としたい。 ・こどものある世帯が増えるような市にする。 ●地域の盛り上げ <ul style="list-style-type: none"> ・地域が盛り上がるイベントの企画（季節問わないイベント） ●憩い・交流 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が憩いの場として使える場所がほしい。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・美濃太田駅を美濃加茂駅と変えることで市をPRできるとの意見がある。 ・高齢者が自動車がなくても（移動手段がなくても）買い物ができる。
④産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ●企業・雇用 <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携をして雇用を生むことを望んでいる。 ●農業・地元産業 <ul style="list-style-type: none"> ・農業や林業の後継者がおり、地元の産業が続く状態を求めている。 ●税収アップ <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地をもっと活用して市の税収アップしてほしい。 ・工場誘致に力を入れてほしい。
⑤安心安全なまち	<ul style="list-style-type: none"> ●防災・生活を守る・命を守る <ul style="list-style-type: none"> ・市民を守るために庁舎を安全、安心な場所に整備してほしい。 ・安心安全に使える場所として公共施設（学校・体育館・文化会館等）の整備が必要 ・災害時に市民の生活を守ることが最も重要である。 ・安心して暮らせる安全なまちづくりが必要である。 ・防災に強い体制づくりが必要である。
⑥便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ●DX（デジタル化）推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市の手続き等のデジタル強化をはかり、市のサービスを便利に利用できるようにする。 ・デジタル化を推進して、オンライン手続きやハンコ廃止等で市役所に出向かず申請できる。 ●交通 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が来やすい場所に市役所が欲しい。 ●連携・スムーズな行政サービス <ul style="list-style-type: none"> ・市役所機能を1か所に集約して、使いやすいようにしてほしい。 ・枝分かれした窓口（案内たらいまわし）ではなく、1つの窓口でわかるようにしてほしい。 ・市の行政サービスについて、周知してほしい。 ●コンパクトな新庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は、機能性をコンパクト（県庁、他市はスッキリした庁舎になっている）とする。 ・新庁舎は、ムダな機能はつけない。

今回のテーマは「新庁舎の役割」・「新庁舎のコンセプト」です。
ここでは、市役所のいまの姿や、昨年度までに考えられてきた未来の姿を掲載しています。これらを参考に、みんなで新庁舎の姿を考えましょう！

市役所って どんなところ？



(旧)基本構想で考えた 新庁舎の役割



市役所って どんな人が来る？

市役所には、どんな目的で来る？

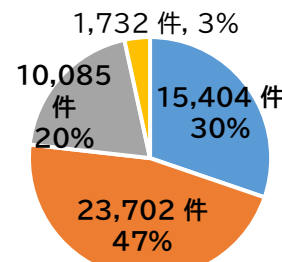
平成29年度に実施した新庁舎市民アンケートでは、来庁した方の**76.1%**が**市民窓口サービス**を目的としています。

■申請目的の来庁

令和4年度市民課窓口での戸籍・住民票等交付数

凡例

■：戸籍
■：住民票
■：印鑑証明
■：諸証明



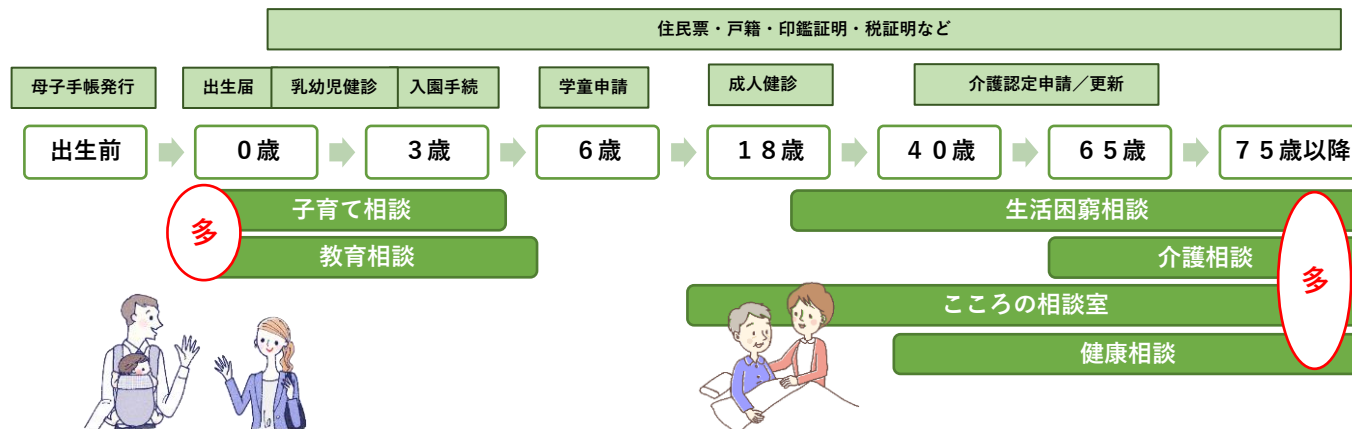
令和4年度の市民課での証明書の交付件数(自動交付機除く)のうち、97%は戸籍、住民票、印鑑証明です。

将来、証明書交付のデジタル化が進むと、自宅等から申請が可能になり、来庁の必要がなくなるかもしれません。

■相談目的の来庁

一生の間、みなさんは様々なタイミングで市役所へ来庁されます。

近年、高齢化や共働き世帯の増加に伴い、高齢福祉課や子育て支援課などの**相談件数が増加傾向**にあります。また、経済状況の悪化やストレスを抱える人の増加により、福祉課や健康課への相談も多くあります。

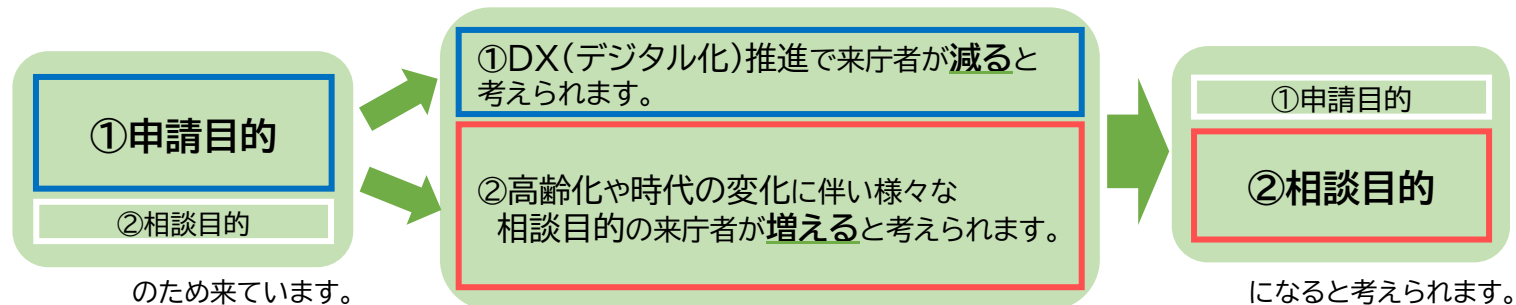


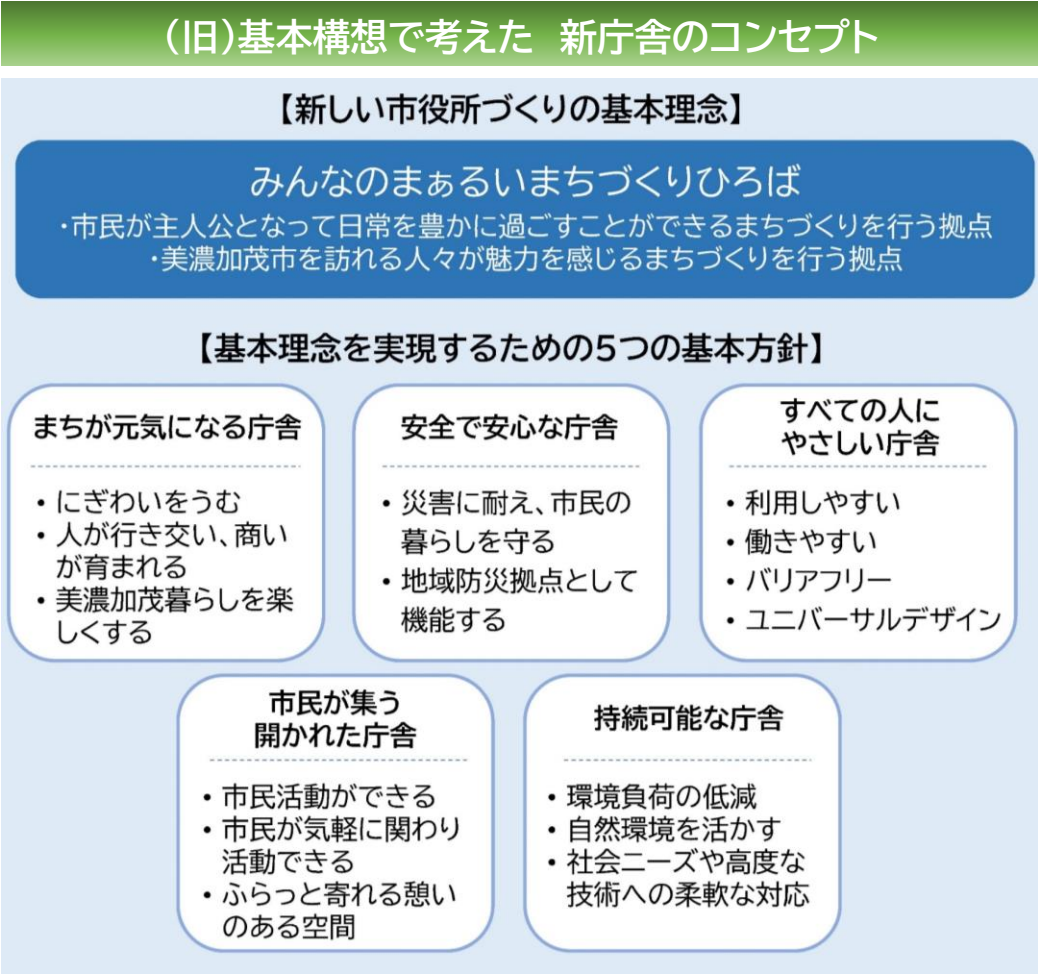
これからの市役所は何のために必要か？

■いままで、市役所へは…

■これからは…

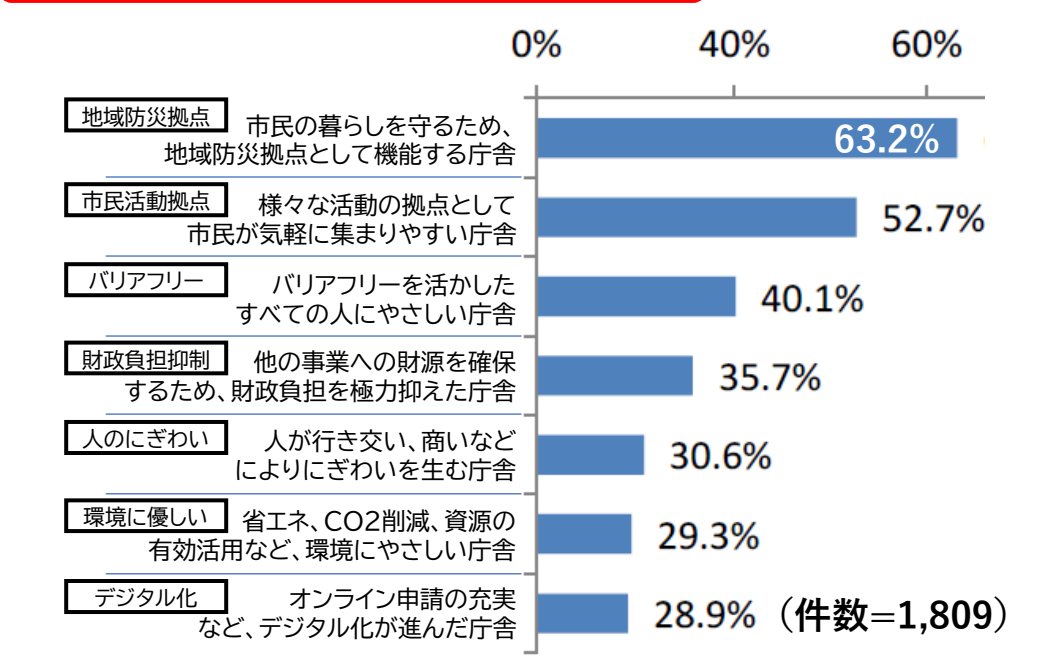
■そのため…





新庁舎整備において大切にすべき視点は？

<新庁舎に関する市民アンケート> 令和4年7～8月実施

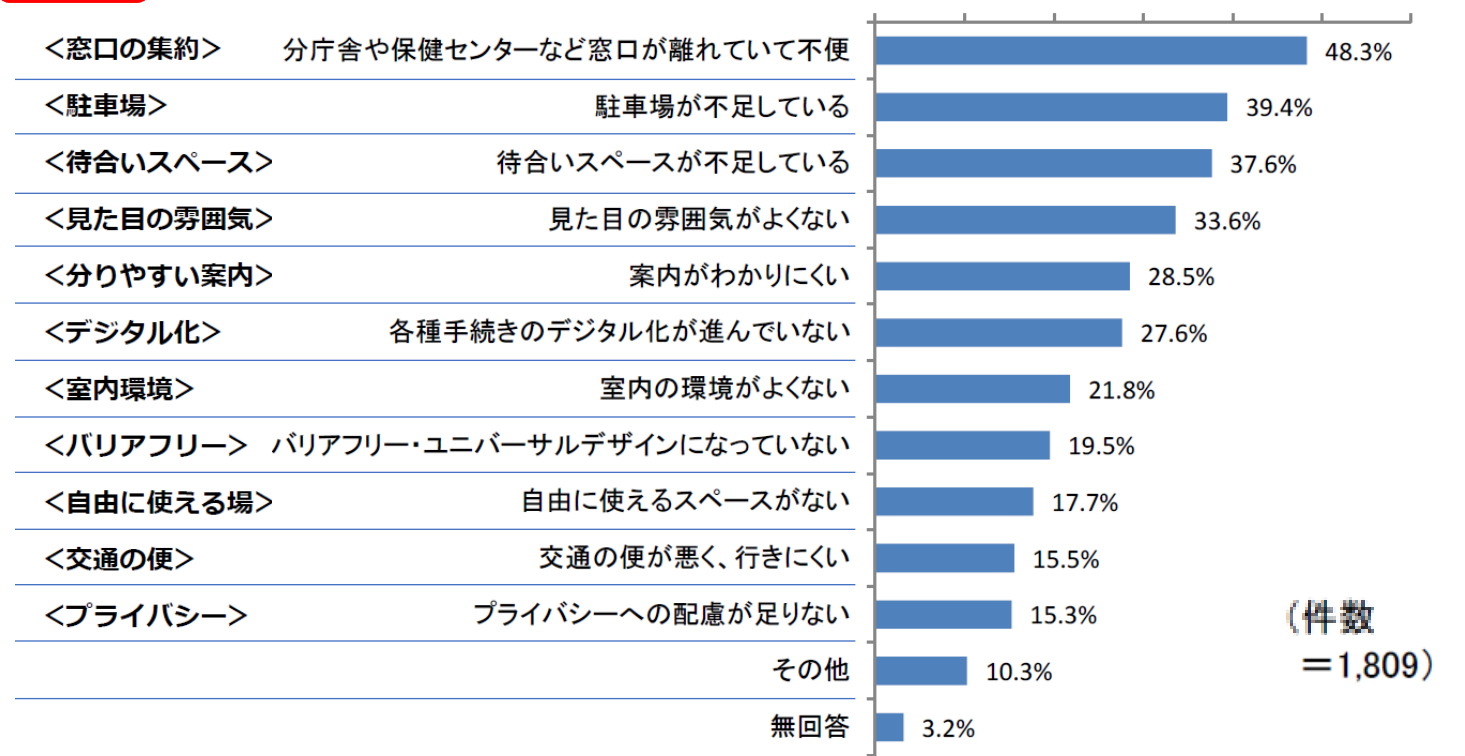


新庁舎の役割・機能の関係（例）

前回	今回	次回
市の役割 （第1回WSより）	新庁舎の役割（例）	新庁舎の機能（例）
・安心安全なまち	・災害時の司令塔となる	・災害対策室（人員待機・通発信機器） ・地震に強い建物
・魅力ある市をつくる	・市民と協働する ・まちづくりを考える	・ミーティングスペース ・会議・相談室 ・市民が集まれる空間
・便利なまち	・市民サービスを提供する（申請手続き） ・情報を発信する	・集約された窓口 ・働きやすい執務空間 ・DXに対応する設備
⋮	⋮	⋮

現在の市役所本庁舎に足りないと感じる部分は？

<同左>



リバーポートパーク美濃加茂(美濃加茂市)

RIVER PORT PARK
Minokamo

PLAY WITH THE EARTH
FOR THE FUTURE



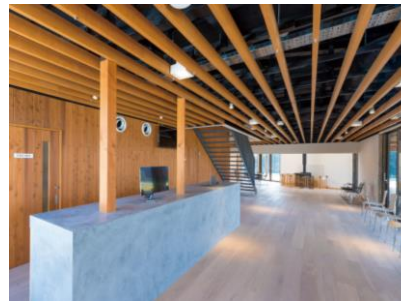
リバーポートパーク
RIVER PORT PARK
美濃加茂
CONCEPT

人と人・川と街をつなぐ
地球と遊べる街、美濃加茂を発信する公園

「のんびり過ごす」「楽しむ」「癒される」といった公園本来の機能に加え、レジャーとフィットネスをテーマとし、川、森という環境を活かしながら「自然と寄り添うライフスタイル」を提案します。

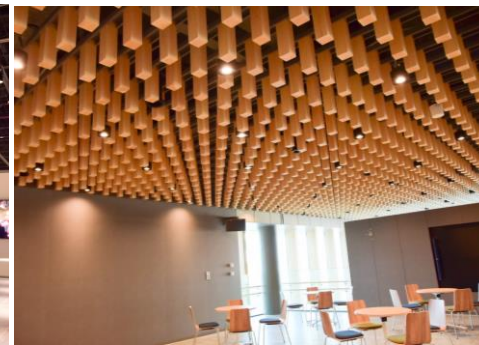
都心部近郊で本格アウトドア体験 『まちなかアウトドア』

名古屋から1時間、本格的な川のアクティビティや海外スタイルのBBQを楽しむことができる。またフィットネス場としての利用が可能な『まちなかアウトドア』の拠点。





岐阜県新庁舎

コンセプト
 ~Consept~
 『県政の拠点』
 『清流の国ぎふの象徴』



1 県民の暮らしを守る

通常建物の1.5倍の耐震性を確保
 5階に危機管理フロアを配置するとともに、
 ライフラインの複線化や浸水対策を実施

災害対策本部 建物の揺れを軽減させる装置

2 地域の魅力を発信する

「清流の国ぎふ」のショーウィンドーとして、
 外壁にタイル、内装にヒノキ、
 美濃和紙をはじめとする
 県産材・県産品をふんだんに活用



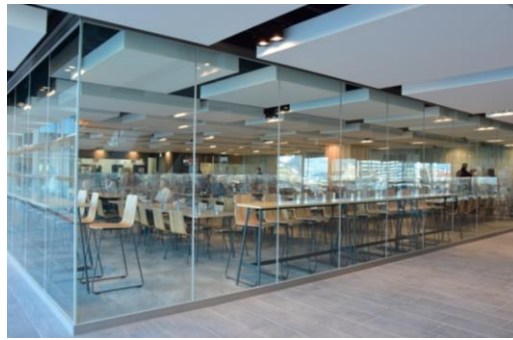

1階「GALLERY GIFU」 行政棟エントランス

3 環境負荷やライフサイクルコストを低減させる

再生可能エネルギーの活用、
 省資源対策などにより、旧県庁舎に比べ、
 単位面積当たりの
 温室効果ガス排出量を43.6%削減




ひさしを用いた自然採光 太陽光を庁内電力に活用



～5つのコンセプト～

1

にぎわいを生む
魅力ある新庁舎

みんなの広場 カオカオの拡充、
開放的なエントランスモールと
多目的な市民交流スペース

2

都市や歴史、自然と
調和する新庁舎

ぎふらしさを
想起させる建築、
豊かな緑の整備

3

快適で
安全な新庁舎

ユニバーサルデザインの採用、
様々な利便施設の
設置

4

いのちと暮らしを
守る新庁舎

高度な防災拠点機能、
立体駐車場や
防災広場の活用

5

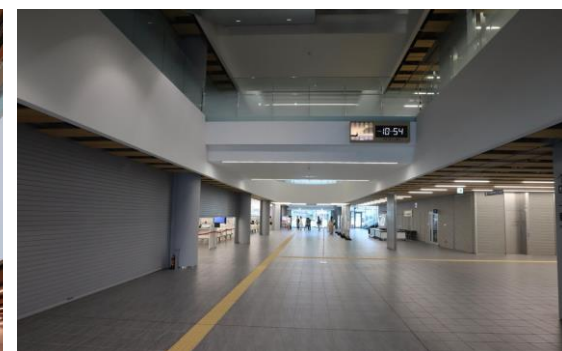
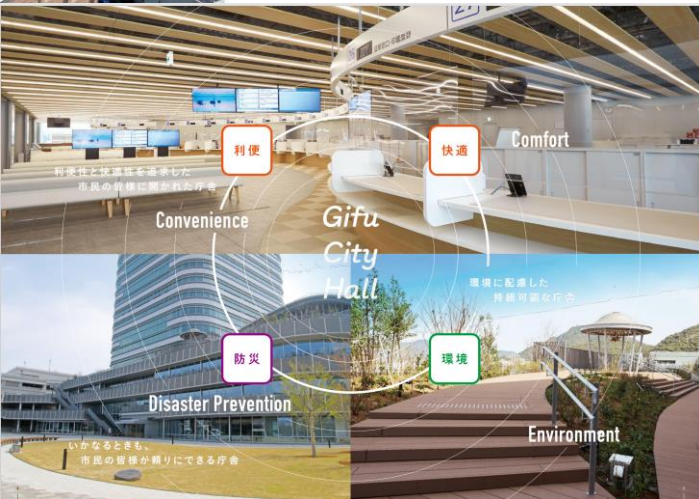
持続可能で
長寿命な新庁舎

再生可能エネルギーの活用、
ライフサイクル
コストの削減

基本理念

市民に親しまれ
長く使い続けることを
前提とした新庁舎

岐阜市新庁舎



レストラン 2階:北東側

開放的なテラスを備え、
みんなの広場 カオカオからの
アクセスも良いレストラン。



(3) 第 3 回市民ワークショップ

第3回 市民ワークショップ 結果概要

テーマ:「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに沿って、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、ワークショップを開催しました。第3回のワークショップは「新庁舎の機能」「新庁舎の複数候補地案」をテーマに、全3日間の日程で実施しました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

	1日目	2日目	3日目
日時	令和 5 年 12 月 2 日(土) 15:30~18:30	令和 5 年 12 月 3 日(日) 14:00~17:00	令和 5 年 12 月 7 日(木) 18:00~21:00
場所	生涯学習センター201	生涯学習センター201	生涯学習センター201
参加人数	15 人	18 人	24 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. ウォーミングアップ
お題:「情報提供資料の説明を聞いて気付いたこと」
5. グループワーク
お題:「新庁舎の機能」「複数候補地の選定」
6. 全体発表
7. おわりに



(3)参加者募集の概要

- 対象:市内在住・市内在勤の中学生以上
- 定員:36 名/回×3 回
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEB フォーム(QR コード)、持参、郵送、電子メール)
- 申込期限:11 月 21 日(火)〆切
- 募集方法:広報折込チラシ(1 万 4 千人)、市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、公共施設・民間事業者の合計 74 施設への掲示、太田町交差点角 LED 広告

(4)事務局

- 事務局:美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1) 全体の傾向

各開催日において、新庁舎の役割をもとに「新庁舎の機能」を、市内全域における基本的な立地の条件や主な市有地周辺のエリアをもとに「新庁舎の複数候補地案」を考えていただきました。

「新庁舎の機能」の全体の傾向として、施設や設備のハードとしての機能だけではなく、職員同士や自治体同士の連携や市民同士の交流、市民と職員の関わり方に関するご意見が多く出されました。

特に新庁舎の役割のうち「働きやすい環境」に対しては、庁内の縦割りをなくし、横のつながりを大切にできることといった意見が出されました。また、新庁舎の役割のうち「災害時の拠点」に対しては、拠点とするための停電対策や防災機能に加え、連絡所等の市内他拠点や周辺自治体との連携を図ることという意見が出されました。新庁舎の役割のうち「デジタル化」に対しては、デジタル化に賛成する一方で、デジタルが苦手な人も困らない仕組みやデジタルに馴染んでいけるような機能を求める意見が出されました。

「新庁舎の複数候補地案」の全体の傾向として、各候補地に対して、「災害に対する安心感」「市内全域や人口集中地区からの利便性」「土地の取得費や建設費」の観点からのご意見が多く出されました。利便性については公共交通機関による来庁だけでなく、自家用車での来庁を想定し、駐車場用地が周辺にあるかどうかについても議論がされました。市民からの提案として、施設の相互利用や利用者の利便性向上のため、既存施設周辺(みのかも健康の森・中部国際医療センター(健康プラザ)・みのかも文化の森・総合福祉会館・ぎふ清流里山公園・岐阜県立国際たくみアカデミー・前平公園内等)が提案されました。

第3回市民ワークショップ意見 （「新庁舎の役割」に対する「新庁舎の機能」）

【STEP4 新庁舎の機能】 ■第3回市民ワークショップでは、下記機能(例)や機能に関するご意見を出していただきました。そのご意見を「新庁舎の役割」ごとに整理しました。

新庁舎の役割：誰もが利用しやすく、必要なサービスがスムーズに 提供される

新庁舎の機能(例)

- 受けられる支援の情報が必要な人に届く仕組み
- 市外へ市の魅力を発信する仕組み
- 市へ伝えたいことを伝えられる機能(例:音声の自動文字起こしで聴取等)
- 市民の文化活動を紹介するような展示スペース
- オンラインの相談窓口

- プライバシーの保護
- 本庁舎より連絡所が機能充実
- 庁舎内の動線を明確にする
- 駐車場でイベント開催
- 新庁舎と図書館を一緒にする

機能に関する意見

- 議会が近い存在になる工夫(聞きやすい傍聴席・議員との面接・議場の有効活用等)
- 受けられる支援や仕組みの発信
- 必要な情報を各自が取りにいける機能・仕組み
- 市や、市民のこころのシンボルになるもの・建築
- 交通の便が良い新庁舎
- 他の施設との併設
- 市民の展示スペース
- 人が集まり、くつろげる広場
- リラックスできるカフェや勉強スペース
- 交流の場は既存施設を用いる/併設しない
- 自然がある / イベント開催
- 相談にタイムリーに対応できる(人員配置の工夫・集約など)
- プライバシー保護の仕組み・工夫
- 相談の総合窓口・コンシェルジュ

新庁舎の役割：子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、どんな人でも受け入れられる

新庁舎の機能(例)

- 多言語対応 / 視覚・聴覚障がい対応
- 子育て世代も利用しやすい(子どもの遊び場併設等)
- 高齢者も移動しやすく、わかりやすい
- ユニバーサルデザイン
- 誰もが気軽に利用できるスペース

機能に関する意見

- 連絡所や地域の核となる施設(学校等)での相談などの対応
- 外国の方の専用窓口 / 託児スペース
- 案内役コンシェルジュやタブレット
- どんな人でも行きたくなる・行きやすい
- 目的地に行きやすい工夫・動線
- 困りごとの相談ができる/たらい回しされない
- 大人だけでなく、子供も集まり助けられる場所
- 小さい子供が遊べる場所
- 外国の方との交流の場

新庁舎の役割：災害時の拠点として、緊急時の対応ができる

新庁舎の機能(例)

- 災害対策本部
- 災害時に拠点として活用できる大きな駐車場
- 浸水対策
- FM放送局
- シェルター
- 災害時の電源確保

機能に関する意見

- 災害時、拠点として機能が発揮できる
- 他拠点・他地域と連携する仕組み
- 災害時活用できる広い敷地
- 避難場所・シェルターとしての活用
- インフラ(電気・水等)の確保
- 無線・衛星
- 災害時に安全な道路交通の確保
- その他防災対策(かまどベンチ・マンホールトイレ・テント等)
- 災害時の事業継続の計画(BCP)

新庁舎の役割：業務効率の向上につながる環境の充実

新庁舎の機能(例)

- 職員がストレスなく働けるよう、多目的な要素をいれる(休憩スペース・コンビニ・カフェ等)
- 横ぐし(部署間)の情報連携を取りやすくする
- リモートワークの導入

機能に関する意見

- 職員の求める庁舎環境
- 部・課を超えた連携のしくみ
- 機能の集約
- 職員も市民も利用できる食堂・コンビニ等
- 職員のリフレッシュになる機能・環境(休憩スペース・自然と共生した環境)
- 職員の教育・スキルアップ
- デジタル化に対応できる職員
- 業務のデジタル化(押印廃止・セキュリティ強化)

新庁舎の役割：環境の変化に対応できる庁舎

新庁舎の機能(例)

- リモートワークの導入

機能に関する意見

- フレキシブルに使える建築
- 50年100年先を想定して諸問題を考えたい
- SDGsの拠点・モデル化を通じて市内へ発展

その他

- 市の魅力のPR ・PRを上手にする(アンテナショップなど)
- 美濃加茂のマークを作り特産物に貼る、庁舎にちりばめる
- 5年以上先の新庁舎を待たず、できるものは実現して

新庁舎の役割：平日に働く人も頼りやすい

新庁舎の機能(例)

- 事前予約ができる、便利な相談窓口
- 起業相談
- 商工事業者と連携した機能

機能に関する意見

- 起業したい外国人の方への相談や説明窓口
- オンライン相談・書類確認

新庁舎の役割：申請等の手続きがオンラインでできる

新庁舎の機能(例)

- LINE等のSNSやホームページとの連携
- デジタル化と合わせた連絡所の活用
- デジタルが苦手な人も困らない仕組み(一緒にデジタルに慣れることができるスペース)
- オンライン申請(自宅でも申請可)

機能に関する意見

- オンライン相談・オンラインで書類確認
- デジタルになじめる機能・仕組
- リモートの活用による集約された窓口
- デジタルが苦手な人でも困らない機能・仕組み

新庁舎の役割：行政機能ができる限り集中させた建設費を抑えた庁舎

新庁舎の機能(例)

- ワンフロアの総合窓口

機能に関する意見

- 全ての機能がコンパクトで一か所に集まっている
- リフレッシュ機能は庁舎内でなく近くに設ける
- 連絡所について、各地域で対応できるように整備
- 市の負担がどれくらいになるのか見える化してほしい
- 建設費に対する財政計画

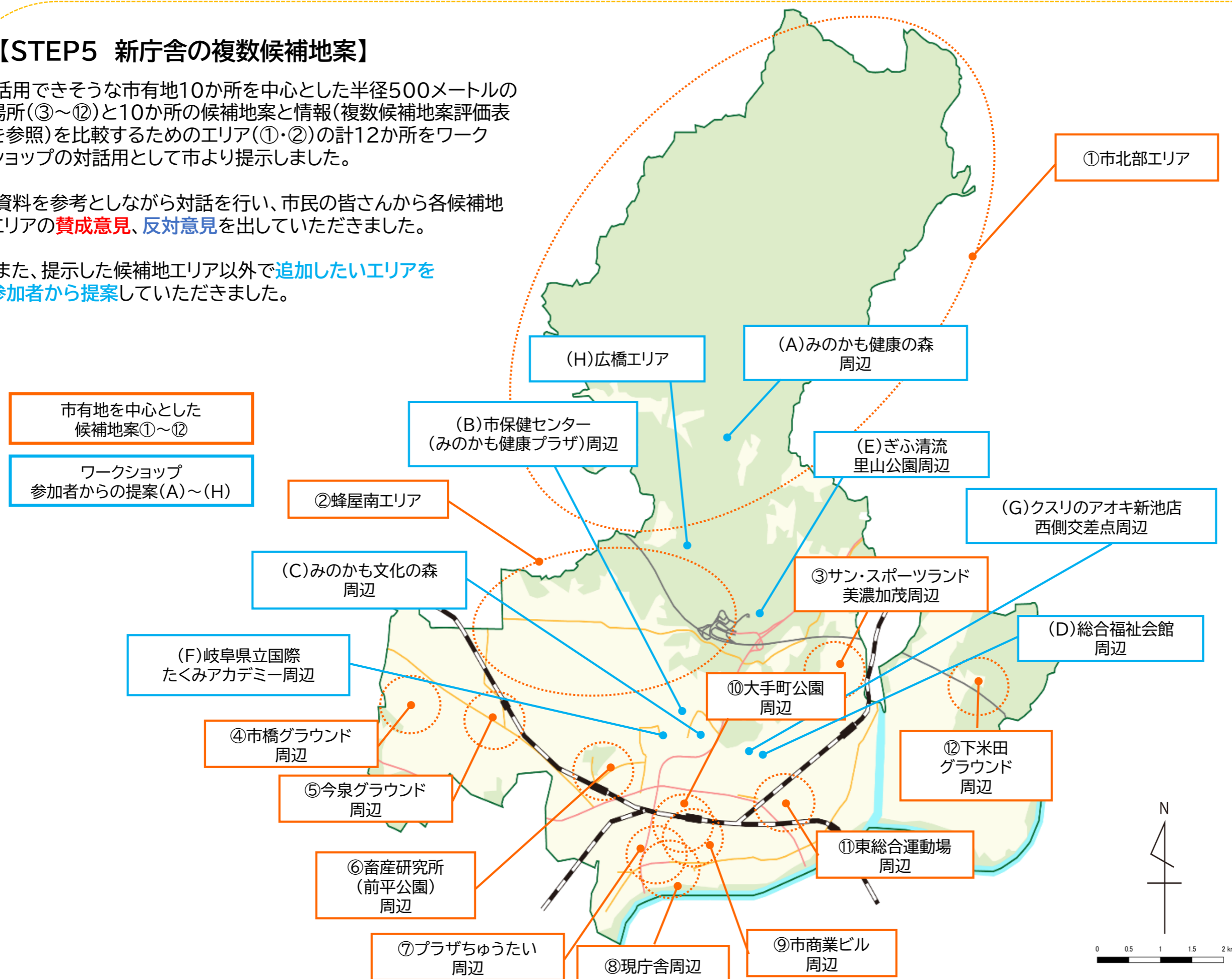
第3回市民ワークショップ 新庁舎の複数候補地案に対して出たご意見

【STEP5 新庁舎の複数候補地案】

◇活用できそうな市有地10か所を中心とした半径500メートルの場所(③～⑫)と10か所の候補地案と情報(複数候補地案評価表を参照)を比較するためのエリア(①・②)の計12か所をワークショップの対話用として市より提示しました。

◇資料を参考としながら対話を行い、市民の皆さんから各候補地エリアの賛成意見、反対意見を出していただきました。

◇また、提示した候補地エリア以外で追加したいエリアを参加者から提案していただきました。



■ワークショップ参加者のご意見 一覧(重複意見を除く)

番号	エリア	市民の意見
1	市北部 エリア	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・田んぼが多く、土地が十分にある。(市有地ではないが。あまり北へは行かないあたりがよいのでは。)・移住も見込める・伊深地区(将来の人口減少による市町村合併を考えての立地)・自然が豊かで森がみえるので、庁舎に行く度に心が癒される。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・設置場所を決めにくい・土砂災害のリスクがあるのではないかな？
2	蜂屋南 エリア	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・土地が安く、大きく空いている。・地盤が硬く、液状化もしにくい。・浸水の心配がない。・人口増加も北へ移動しており、市の発展になる。・環境が良く、里山を体感できて里山千年構想とつながる。・緊急輸送道路や国道、高速道路が近く、交通の便が良い。・中部国際医療センターが近い。・堂上蜂屋柿のPR <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・設置場所を決めにくい・交通はあとから整備される・新たに土地購入が必要 <p>.....</p> <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ヤマザキマザックの周辺の農地はどうか？
3	サン・スポー ツランド 美濃加茂 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・保健センターが近い。・高位段丘にあり、水害が少ない。・高速道路が近い。・市有地が広い。・放棄地の果樹園が多い。(買収しやすいのではないかな。)
4	市橋 グラウンド 周辺	<p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・敷地面積が狭い
5	今泉 グラウンド 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・平地で造成・建築費用を抑えることが出来る。・浸水や土砂崩れが少なく、災害の心配がない。・都市部を避ければ、災害時などに混乱しない。・今泉周辺は人口増加中(加茂野地区には1万人／5万5千人が住んでいる。)・駅が近い(美濃太田駅から2駅でいける)・穏やかな風景が広がっている。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・敷地面積が狭い。・今の中心部からは少し離れているのではないかな？・土地が十分に確保できるだろうか？

番号	エリア	市民の意見
6	畜産研究所 (前平公園) 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・市有地で広い敷地面積が確保できる→交流の拠点でも使いやすく、災害に強く、駐車場も十分に確保できる。→敷地面積が確保できるから市役所機能を集約でき、仕事しやすい。・災害対策一番重視。・道路整備もしやすい。・地盤が強固で高台のため、浸水害等の災害に強い。・中部国際医療センターや公園からも近いので、市の主要な施設が集約される。・自然環境が良い。・駅にも近くアクセスが良い。・輸送路が近く、災害時の対応に適している。・緑が多く、来訪者や職員が気持ちよく過ごせる。ストレスが減り、こころのゆとりが増す。・消防本部も移動できるほどの広さ。・中部国際医療センターに近い。・前平グラウンドを含む公園と一体化。・インターや工業団地が近いから、企業・産業支援もしやすいのでは。・公園やスポーツ施設があるエリアのため交流の拠点にもなる。・前平公園単独でも考えられるが、畜産研究所と一体的に市庁舎関連施設として整備することもできる。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・一部、液状化の可能性がある。・道が狭く、渋滞がひどいエリアなので避けたい場所。→道路の整備が必要・斜面なので造成費用心配。・国の道路を整備しない限りNO！交通量がものすごい。・公園がなくなると現在の利用者はさみしいと感じるだろう。・前平公園は都市公園なので、無くすとなると新たに公園を別の場所に作る必要がある。
7	プラザ ちゅうたい 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・道路がきちんと整備されているし、人口も多々たくさんの人が行きやすい。・体育館も含めた複合施設になるといい。・災害を恐れるよりも普段の使いやすさを考えたい。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・現状、浸水害の影響あり、危険性が高い。
8	現庁舎周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・現庁舎周辺の人が逃げ込める場所としての避難所の機能。・市有地があるので、買収の必要がない。・近くに病院があり、利便性が高い。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・浸水害の影響あり→災害対策本部としての機能を果たせるか心配。・駐車場面積が少なく確保しにくい。・交通が混雑。 <p>.....</p> <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・市合併時の各連絡所の充実を図る前提ならOK。・再建中の庁舎移転が可能かどうか？

番号	エリア	市民の意見
9	市商業ビル 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・交流の拠点として、駅に近いのはプラス・買収の必要がない。・駅前活性化。・ランドマーク的な高層ビル。駐車場や市役所スペースの他、賃貸スペースを取り企業などの誘致をするなど柔軟に活用する。・大型のコンベンション施設としても活用する。そのためにも駅に近い方が良い。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・狭いから駐車場が確保できない。・交流の拠点としては、今の状況を見ると人が集まらないから難しい。・浸水害の影響あり、災害時に情報発信等の機能を発揮できないのでは・道路拡張などの整備が必要 <p>.....</p> <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
10	大手町公園 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・広い市有地の土地があるから、買収の必要がない。・道路からのアクセスが良く、駅に近い。市の真ん中。→多治見を参考に再開発を見越した開発をする。・商工会が近くにあり連携しやすい。・現庁舎周辺より標高が高く、災害が少ない・利便性が高い。・コンパクトにすることで、小さな土地でも十分に収まるのではないかな。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・駐車場が確保できるか？・美濃太田駅の再開発が必要ではないかな？・災害の拠点には狭い。・駐車場の購入費用が心配である。 <p>.....</p> <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・⑨と⑩で分庁舎方式にして両方をつないで利用する案もあるのでは。
11	東総合 運動場周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・利便性。・災害の危険性少ない。・広い市有地がある。・人口が多いので、便利になるといい。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・用途地域的に難しい。・交通量の増加が心配。・建物＋駐車場の確保は難しい。
12	下米田 グラウンド 周辺	<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・自然豊かで庁舎に行く度に心が癒される。・里山千年構想とつながっている。 <p>.....</p> <p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none">・市街地から離れすぎている。

■ワークショップ参加者のご意見 一覧（重複意見を除く）

番号	エリア	市民の意見
9 + 10	9(市商業ビル 周辺) +10(大手町 公園周辺	〈賛成意見〉 ・買収の必要がない。 ・広い土地があるから。
A	みのかも 健康の森 周辺	〈賛成意見〉 ・自然豊かな場所
B	市保健センター (みのかも健康 プラザ) 周辺	〈賛成意見〉 ・山だから土地代が安い。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。 ・市役所への相談が多い子育ての関連施設近くが良い。 ・保健センターが近い。
		〈反対意見〉 ・市有地が無いので、新たな土地購入が必要。
		〈その他〉 ・中部国際医療センターの北西部・マザック第二工場の北側が良い。 ・みのかも文化の森周辺が良い。 ・中部国際医療センター「以外」が良い。(絶対ダメ！)
C	みのかも 文化の森 周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センター付近である。 ・災害が少なく、利便性がたかく、医療も充実している。
D	総合福祉 会館周辺	〈賛成意見〉 ・福祉会館に近い。 ・福祉関連の相談が多いので関連施設近くに。
		〈反対意見〉 ・用途指定あり。 ・文教地区。

番号	エリア	市民の意見
E	ぎふ清流 里山公園 周辺	〈賛成意見〉 ・市街地から近く、利便性も悪くない。 ・美濃加茂のシンボル＝自然というイメージに一致している。 ・斜面のままの建物で良い。 ・自然との調和を大事にしたい。 ・自然豊かな場所。 ・SDGs、今は森の中に施設ができる時代。 ・ぎふ清流里山公園とのコラボで令和の楽市に。 ・ぎふ清流里山公園と駐車場の共用。 ・里山と庁舎の融合にチャレンジ。 ・ヤギを飼う。 ・ビオトープ。 ・中部国際医療センターやみのかも文化の森とEVの公共交通機関で結ぶ。 ・森や山と共生する里山の役場。 ・交通の要(東海環状道、R41)で周辺自治体と連携しやすい。 ・家族で行く身近な場所。 ・里山の役場。 ・低層階の木造建築 ・駅から遠くても公共交通を整備すれば良い。
F	岐阜県立 国際たくみ アカデミー 周辺	〈賛成意見〉 ・中部国際医療センターの横 幹線道路がある。 ・広い土地がたくさんありそう。 ・医療センターのヘリポートを活用できるのでは。 ・高台＝防災拠点としてふさわしく、液状化の心配がない。
G	クスリの アオキ 新池店 西側交差点 周辺	〈賛成意見〉 ・土地が広い 田んぼなので土地代も安い 排水ができる ・ちょうど市の中心の場所なので、どこからでも行き来しやすい ・主要道路からのアクセスはよさそう。
		〈反対意見〉 ・市の所有地ではないので、土地買収などにお金がかかる
		〈その他〉 ・山之上町 クスリのアオキ北側の田んぼのエリア。 ・クスリのアオキ北側の林エリア

番号	エリア	市民の意見
H	広橋エリア	〈賛成意見〉 ・自然がある。

第3回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

市の役割、新庁舎の役割・コンセプトを踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討する。その上で、候補地案について検討する。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 57 名

③ 実施日時

① 2023 年 12 月 2 日(土)15:30～18:30

② 2023 年 12 月 3 日(日)14:00～17:00

③ 2023 年 12 月 7 日(木)18:00～21:00

④ 実施場所

生涯学習センター201

⑤ アンケート回収状況

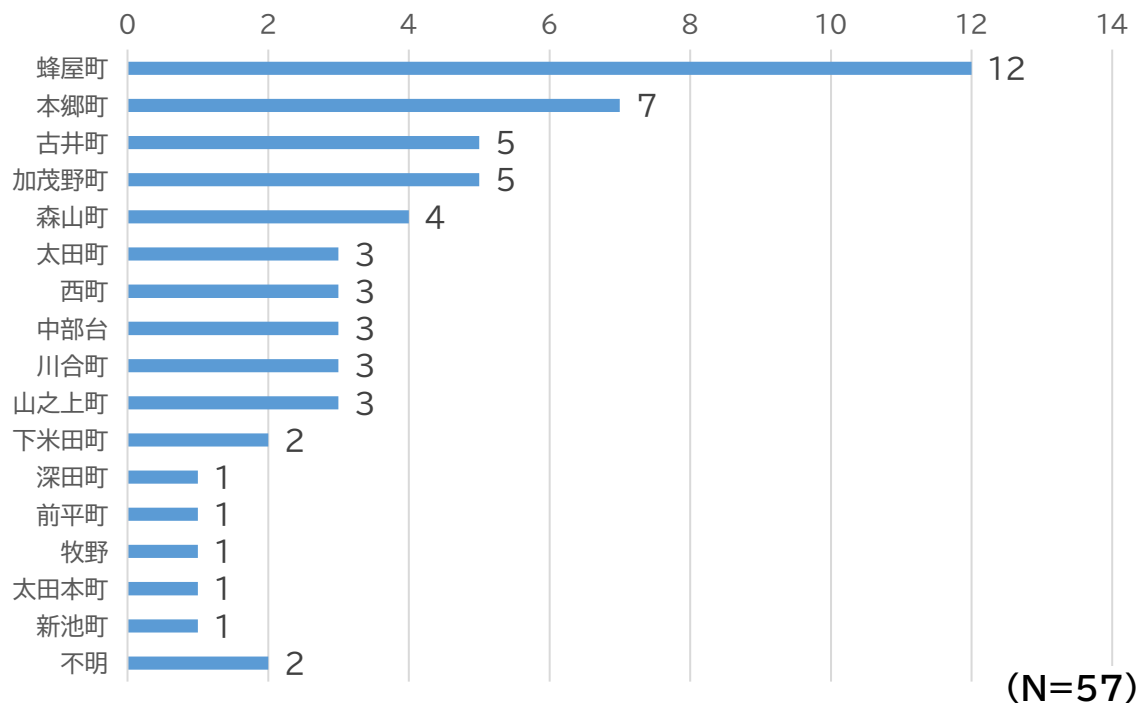
45 件 回収(紙:30 件、Google フォーム:15 件(12 月 15 日×))

2. ワークショップ参加者の属性

(1) 住所

蜂屋町が最も多く、本郷町、古井町、加茂野町が続いた。

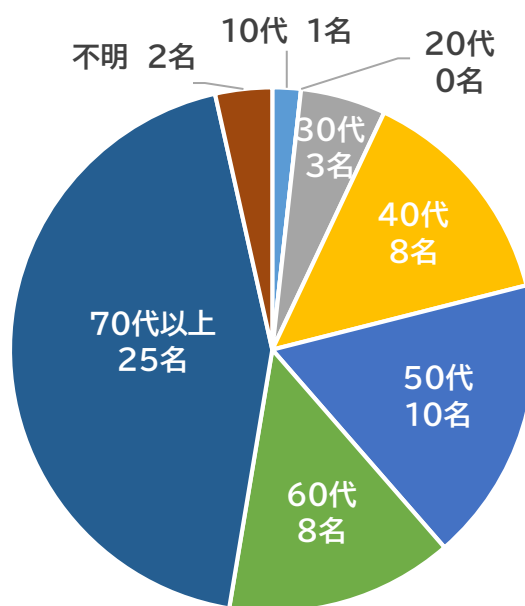
図表 1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上が最も多く25名、次いで50代が10名、40代と60代が8名と続いた。

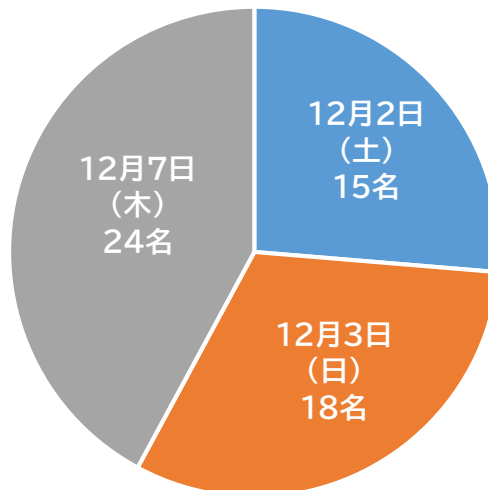
図表 2 参加者の年代



(3)参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、平日の12月7日(木)が24名で最も参加者が多かった。

図表 3 参加日別参加人数



(N=57)

3. アンケート結果

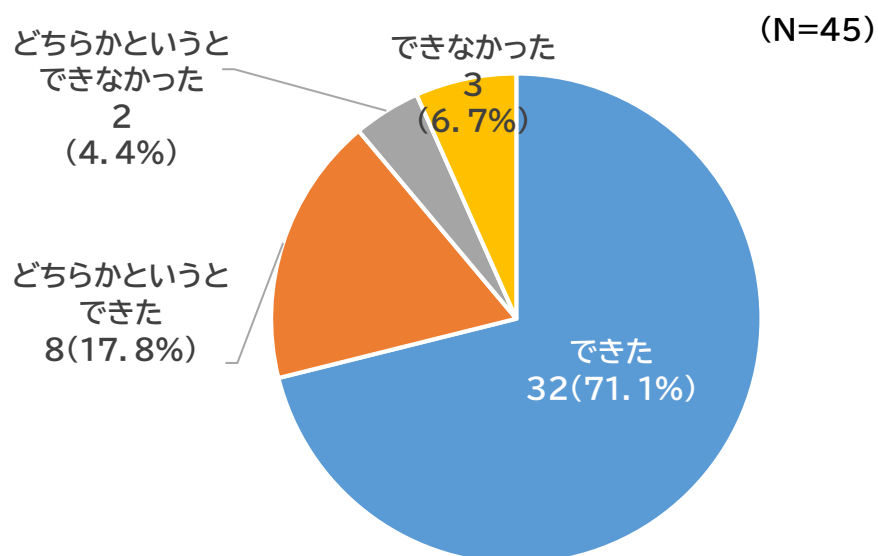
問1. ワークショップに参加されることへ価値を感じることができましたか。

a.情報収集ができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、88.9%の参加者がワークショップに参加して、情報収集ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	32
どちらかというとできた	8
どちらかというとできなかった	2
できなかった	3
未回答	0
合計	45

図表 4 情報収集ができたか

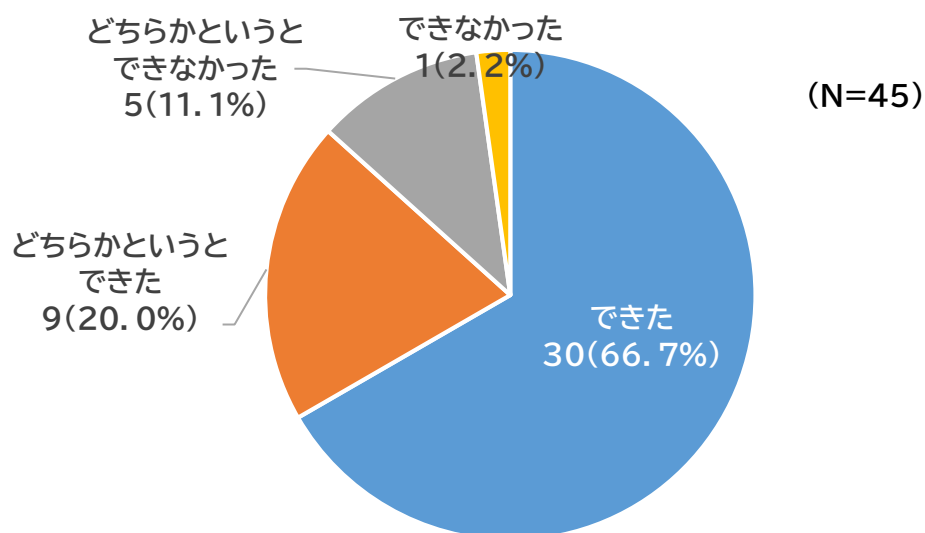


b.市民同士や市職員との対話ができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86.7%の参加者がワークショップに参加して、市民同士や市職員の対話ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	5
できなかった	1
未回答	0
合計	45

図表 5 市民同士や市職員との対話ができたか

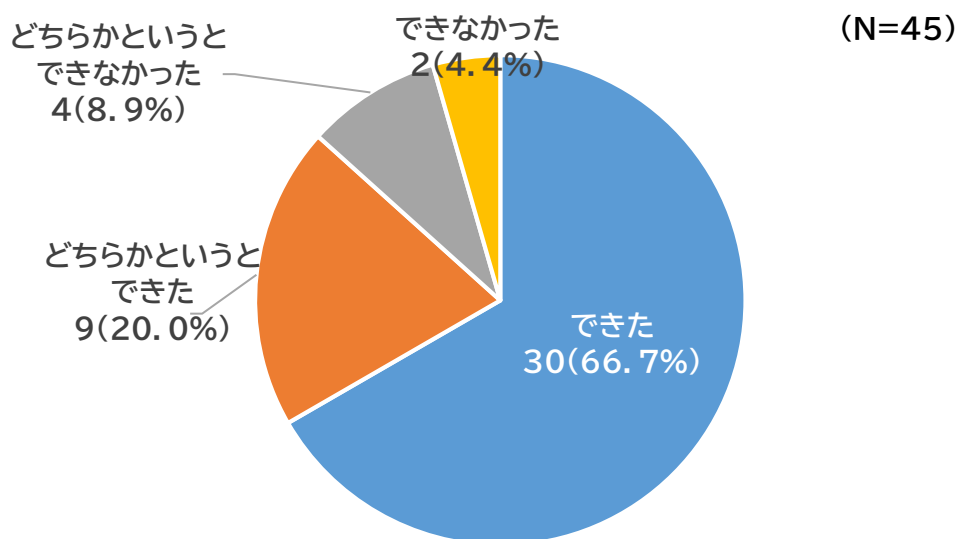


c.新庁舎事業に関わることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというとできた」が続いた。「できた」と「どちらかというとできた」を合わせると、86.7%の参加者がワークショップに参加して、新庁舎事業に関わることができましたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	30
どちらかというとできた	9
どちらかというとできなかった	4
できなかった	2
未回答	0
合計	45

図表 6 新庁舎事業に関わることができましたか

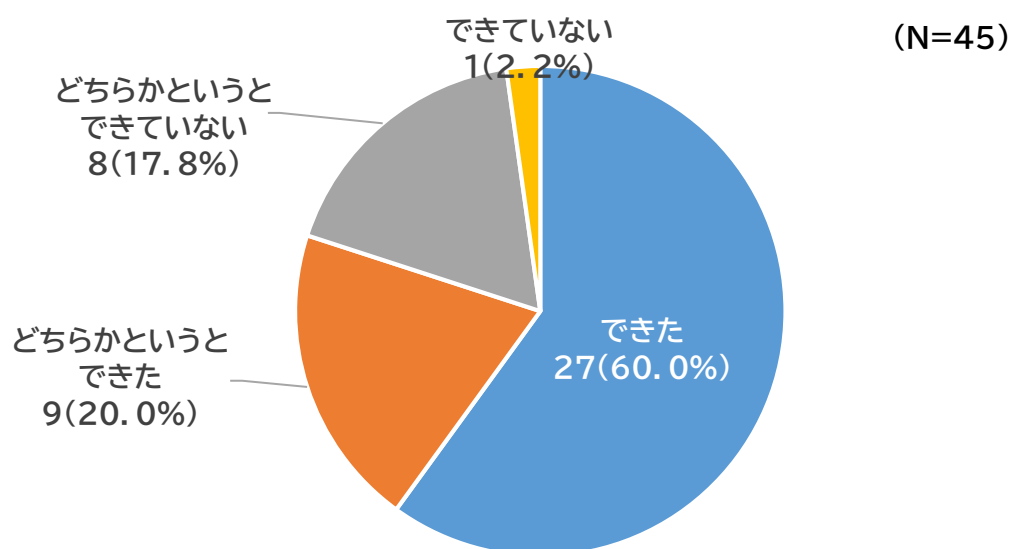


問2. ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができましたか。

「できた」が最も多く、次いで「どちらかというときた」が続いた。「できた」と「どちらかというときた」を合わせると、80.0%の参加者がワークショップに参加して、納得のいく候補地案への評価ができたと回答した。

	回答者数【N=45】
できた	27
どちらかというときた	9
どちらかというときていない	8
できていない	1
未回答	0
合計	45

図表 7 ワークショップへ参加して、納得のいく候補地案への評価をすることができたか



問3. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の機能・複数候補地案に必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

新庁舎の機能については、コンパクト化に関する意見が多く出された。複数候補地案については、各候補地での庁舎建築の在り方や、建設にあたり具体的に考慮すべき点が出された。また、整備を進めるにあたり、ワークショップ出席者に限らない多くの市民の意見を聞くことを求める意見が出された。

【土地の確保】

- ・緊急の場合のヘリ等の発着地としても広い敷地の確保が望まれる。過去に新成人が空から視察できたという、うらやましい事もあり、広さが望まれる。
- ・市有地である。土地の確保が有利。
- ・土地の確保
- ・1 一箇所で事が済む庁舎が望ましい。2 職員、公用車、来庁者の駐車場が敷地内にある事。3 借地でない事。4 余裕の有る敷地の確保。

【防災】

- ・自分の考えは、コンパクトで災害に強い庁舎です。市民アンケートでは経費面も合わせて聞いてください。
- ・防災拠点となると利便性、発展性が指針になると思います。
- ・50年・100年を見とおす。高台が良いと思う。

【コンパクト】

- ・現在の連絡所の充実を計りコンパクトに。
- ・議場、対面相談窓口、防災指揮所及び避難所は必須とし、事務及びバックオフィス機能はDX化し分散処理する事で市庁舎に来なくてもリモートサービスを受けられる様になり必然的に箱はミニマムになる。

建築は森との共生、里山の役場らしく県内木材を多用した低層の建物を個別に作る事でフレキシブルに増殖出来るようにする。

象徴としての大箱では無く、機能を環境に融和させ、かつ持続的に維持(屋根上ソーラー、電動バス、グリーンカーテン、ビオトープ、里山ガーデンなど)出来る市庁舎を期待。

- ・大きな建物は要らないと感じました。必要だと思ったことは、地域の連絡所、学校・図書館などの一角を小さな分庁舎とすることです。

【複合用途】

- ・交流スペース、職員さんの働きやすさを重視してカフェまたは勉強スペースが機能として必要だと感じた！

【将来性】

- ・庁舎は長い時代(時間)と共に変化する建物で無くては成らないと考えました。

【市のシンボル】

- ・市のシンボルとしての役割も考慮すると良い。

【候補地案】

- ・前回市長選で美濃太田駅はダメと判断されています。美濃加茂市の今後の発展を考えれば美濃太田駅北側が良いと思います。
- ・既存の価値観ではなく、新たな新天地として、三和、伊深を候補に入れる視点も大切だと思いました。
- ・自然との調和のある庁舎が必要だと感じた。大きな箱物でなくても、1・2階建ての建物がその敷地内にいくつかある方が良いと感じた。
- ・自然との調和、里山に庁舎があると良い理由
 - …純粋にワクワクする。
 - …ただ無機質な箱物をつくるよりも、自然と調和して思いのある庁舎を作る方が今後の歴史を繋いで、新たに歴史を作っていく為にも良いと思うし、市民としても庁舎を守るのに貢献したいと思える。
 - …市役所で働く方がより生き生き働ける。

【懸念点】

- ・グラウンドを潰すのはやめて下さい。スポ少野球で練習、試合に使います。小学生が自転車でも通える地域の大切なグラウンドです。その他に、園庭の狭い保育園、幼稚園が運動会をしたり、近くの高校が部活に使用しています。災害時には避難所になります。なので、グラウンドは残して下さい。
 - 畜産試験場になる場合、豚の慰霊碑を小さくてもいいので、建てて下さい。
 - 前平公園辺りが、工場の車が多くて子どもの事故があると、おっしゃっていた方がみえました。大切な子どもの命です。早急に対策して下さい。もし新庁舎を建てる場合にも、周辺の道路編成もしっかりやって下さい。
 - 大手町公園周辺に行く道に鉄道下を通るアンダーパスがあり、大雨の時は通行止めになるので、よくないのでは。

【他市事例】

- ・参加するにあたって、北方町、各務原市の庁舎と可児市の mano を見学して来ました。北方町はコンパクトで親しみやすい遊び心のある自然を感じられる素敵な庁舎でした。
 - 各務原市は街中でデジタル案内や飛行機のマークを色んな所に散りばめて、まさに各務原だなと感じました。各窓口ブースの案内板は大きな文字や色でお

年寄りにも分かりやすい案内でした。隣接してまちづくり課があって色々な催し物が出来るスペースがあり、市民もまちづくりに参加出来そうな感じでした。

可児市の駅前に隣接された mano はこども課等が入った施設ですが、ゆったりしていて贅沢な気持ちにさせてくれました。学生の勉強スペースもあり、駅を利用する学生の待ち時間等には最高だと思いました。そこで駅北の大手町公園は庁舎には少し狭いので、可児市の mano の様な施設を建てると、子育て支援に取り組んでいる美濃加茂市を強くアピールできるのでは無いかと感じました。子供だけでなく皆が集えるスペースも取れそうです。庁舎は別の場所にしっかりと事務ができる様、区別するのも良いかなと、感じました。

【市職員】

- ・市職員の充実を図って下さい。
- ・市職員の主体性。

【まちづくり】

- ・日本人、美濃加茂市民としてどのようなまちづくりをしていくか、をみなさんで考えていきたい。

【費用】

- ・具体的な費用
- ・財政面の資料があると考えの視点がもっと広がったと思う。商業施設(前回の案)の案との比較が話題となったか。

【整備の進め方】

- ・第3回、第2回ワークショップで民主的に市民の声を聞き良くまとめられている。その内容はブレがなく市職員の意識改革も重要であることが提起されたことが大切だと考える。よくぞ2回目のワークで取りまとめていただいたことに敬意も表します。より良き「みのかも」未来(将来)の活力を市民に訴えていくには大切なことです。
- ・新庁舎が皆さん(市民の皆さん)の大切なものです。力を合わせて良いものにしたいです。
- ・夢を語れる代表が必要
- ・ワークショップの意見を生かして下さい。市議の方も参考にしてください。
- ・住んでいる人の意見が重要と思います。
- ・最初は自分の意見を話すことが出来ないかと思いましたが、ファシリテーターやグループメンバーのおかげで意見がスムーズにでたと思います。
- ・全ての候補地に必ず課題があるので、その解決を含めて検討して下さい。

- ・ワークショップに参加される多くの方の意見を聞いたり、今後実施されると思われるアンケート結果を重視する事が必要であると思いました。基金はどの程度あてられるのか、市債は確保されるのか、確保されたとしたら金額は県国からの助成金を出来る限り補助が受けられるようにして下さい。
- ・もう少したくさんの方の意見が必要であると感じた。参加者が限られているような気がする。ワークショップ以外の方法を考えてはどうか。
- ・機能(外観や景観を含む)と候補地は、とても分けては考えられないと思いました。テーマがだんだん具体的になってきて、参加者の意見も説得力が増してきた様に思います。参加者が、第1回開催以前から思っていた事が、やっと他の人に伝えられるという感じでしょうか？それぞれが推す、それぞれの候補地も理由を聞くと一定の納得をします。特化した機能を持つ庁舎建設を目指す場合はこの候補地以外は考えづらい、またはこの候補地に建設する庁舎にはこの様な機能を重視する、といった様に機能と候補地には密接に関連していると思います。市民にアンケートとして問う場合は、こういう機能を備えた庁舎をここに作る、この場所にこういった外観の庁舎を作るという様に、機能と候補地を合わせて質問してはどうでしょうか？

【情報提供】

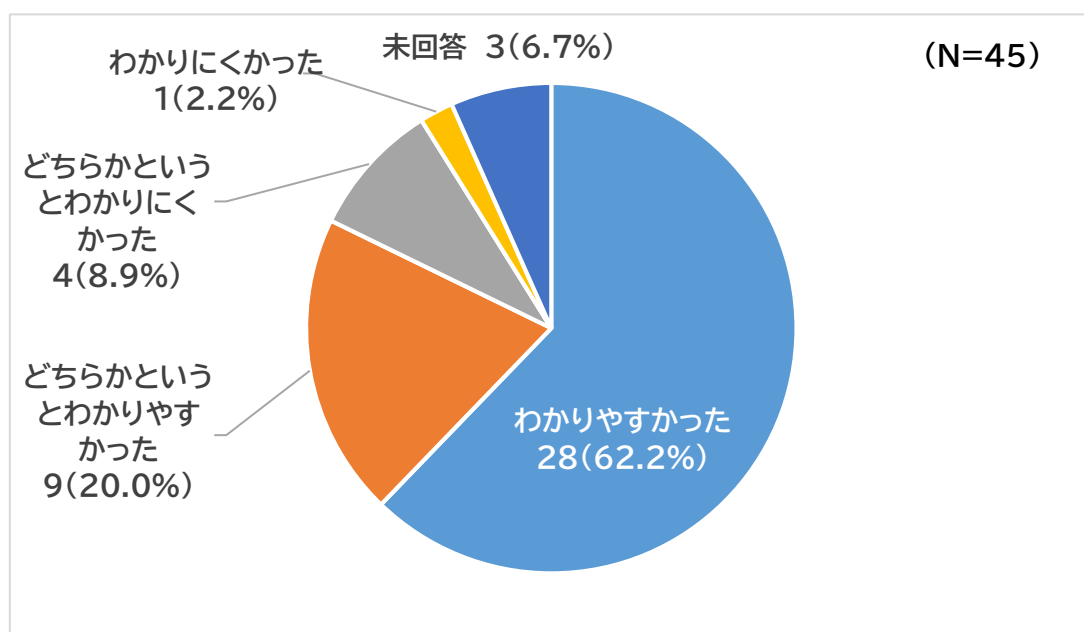
- ・参考資料がたくさんあって良かったです。それを礎に考えることができました。今日、参加した者だけでなく幅広く知らせていくことが大切だと思います。

問4. 本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=45】
わかりやすかった	28
どちらかというとわかりやすかった	9
どちらかというとわかりにくかった	4
わかりにくかった	1
未回答	3
合計	45

図表 8 ワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。(今後の運営で参考とさせていただきます。)(自由記入)

グループワークについて、意見を出しやすくすることや、話し合いに集中できるようにすることを求める意見が出された。第2回市民ワークショップについてのアンケートで市民から課題点として挙げられた、情報提供の長さについての意見は出されなかった。資料については、事前の読み込みのアピールが必要との意見が出された。

【高評価】

- ・3回目に参加してわかりやすくなりました。
- ・1回目より2回目の方がわかりやすくなり、だんだんと市民と市の職員さんのコミュニケーションをとれてきて嬉しく思いました。
- ・今回のでOK
- ・現段階ではOKだと思います。
- ・特になし(時間的にやむ得ない)
- ・わかりやすくまとめて頂きありがとうございます

【時間配分】

- ・最後に30分くらい話し合う時間がほしい。
- ・候補地案資料2が細かくて読む時間がなかった。郵送の資料に入れて、事前に欲しかった。
- ・他の開催日、他のテーブルの途中経過も気になります。グループ発表が終わって、解散の挨拶の後で、希望する人は他のテーブルの気になる箇所などを質問したり確認したりできる時間が少しあっても良いのではないですか？

【グループ分け】

- ・グループに分かれて少人数なので意見が出し易い。他の方の意見も聞き易い。
- ・なかなか意見が言いにくい。グループで意見がまとまると他の意見は言いにくい。
- ・初めて参加した人と3回目の方との認識の違いに少し違和感がありました。これまで10年後の美濃加茂市について色々話し合ってきたが、一つにまとめるではなく色々な意見がある中、では場所を選びましょうと言う流れでしたが、初めて参加された方は「何のビジョンも無く場所選びはどうか」と、これまでのワークがなかった様な入り方だったので、初参加者は一つのテーブルにし、新たな意見を発表される方が、ファシリテーターも進行しやすい様に感じました。熟したチームも新しいチームもお互いの意見に感心すると思いますし、新しい考え方も出しやすいのではないかと感じました。

【進行】

- ・グループのファシリテーターはもう少し議論の方向性でかじってを取ってほしい。候補地案の所は迷走した。

【参加者の年代】

- ・若い人が少ない(いなかった)のが残念(B グループ)

【市職員】

- ・市の職員は市民へのサービス業として考え、市民から求めているものを聞くことも大切だが、市民に何をしたいかという市の職員としての主体性の元に運営してくださると、より参加したくなると思います。

【その他】

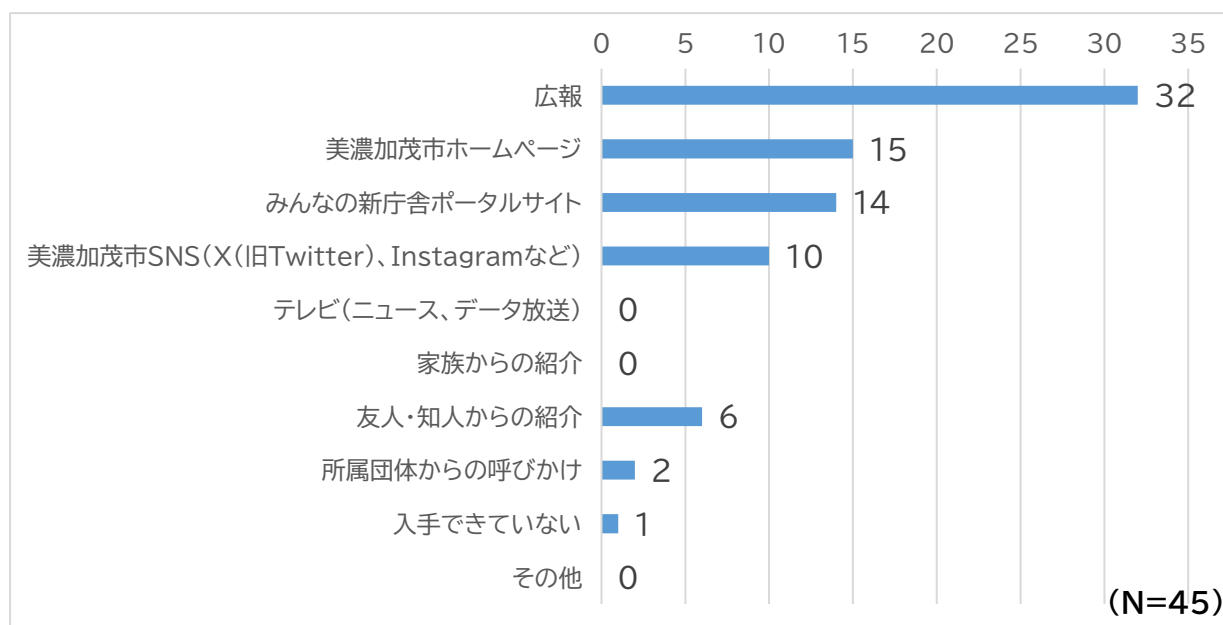
- ・①初参加者もいるので必ず自己紹介をきちんとさせるべき。今回途中で発言を遮られ尋ねられるような事があった。
- ・②未だに駅前の地主の個人名を出して批判する者がメンバーに数名いたが、それにより話の本質がズレる可能性を心配する。
- ・③参加者同士の組み合わせはなるべく重複させない方が適してるかと思う。
- ・④事前の資料を見ていないかのような参加者がいたが、資料送付時にもう少し事前の読み込みをアピールするべきである。
- ・現実的に市民の意見がどこまで届くのか？解りにくかった。
- ・各テーブルのファシリテーターの方は、本当によくやって下さいます。とっても有難いです。ファシリテーターが参加者に意見を求めた時、傍聴の男性の方がその参加者に話しかけて、中断しました。また、別の女性の方が、話し合い中、参加者に名刺を渡して話していました。時間が限られている大切な話し合いを邪魔しないで欲しいです。終わってからやって欲しいです。
- ・水谷先生の笑顔にいつも癒されます。さまざまな市民を優しく受け入れてくださいますお姿が私にとっての大きな学びとなります。

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

第2回ワークショップ時同様、「広報」から情報を入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)」が続いた。

	回答者数【N=45】
広報	32
美濃加茂市ホームページ	15
みんなの新庁舎ポータルサイト	14
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram など)	10
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	6
所属団体からの呼びかけ	2
入手できていない	1
その他	0
合計	80

図表 9 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記入)

新庁舎の機能については、防災のために必要なものやユニバーサルデザインをはじめ、様々な意見が出された。また、長期目線での候補地の選定や、庁舎完成後も含めた対話の継続を求める意見も出された。また、他市事例を実際に見たうえで書かれた、新庁舎整備に対する意欲がうかがえる意見も出された。

【新庁舎の機能】

- ・美濃加茂市の福祉が向上する事を大前提でサテライトの在り方も含め、機能を検討して下さい。
- ・災害対策本部対策室の設置、危機管理室の配置。
- ・情報・通信設備の設置。
- ・耐震性の確保
- ・市民の安全安心を確保するために広い一時避難スペースの確保(現在の学習センターでは狭い、災害への対応避難経路をはっきりしておく)
- ・非常用電源設備の確保(避雷装置の設置を含む)
- ・飲料水の貯蓄装置の設置
- ・災害発生時に、消防車両等の緊急車両が活動できる敷地内スペースを確保する。
- ・防災システムの活用、被災状況の把握(地域の防災組織や関係機関と連絡を取り、対応できるように通信設備を配置する)
- ・浸水対策
- ・非常食・防災資材の備蓄(大きな防災倉庫)
- ・総合案内の設置(庁舎内に案内表示)できればあらゆる年齢層に対応できるように案内係を置く。
- ・ディスプレイを備えた番号案内の採用(住民票等頻繁に利用される窓口は、法務局等で採用しているような、番号札方式がよいのでは)
- ・個室型相談室の設置(プライバシーに考慮した)
- ・市民生活に係る窓口は1階とする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮した庁舎、すべての人が安心で、使いやすい施設の整備。
- ・利用者へ配慮した駐車スペースの確保、専用駐車場から正面玄関入口までの歩道にアーケードを設置する
- ・エレベーターは車いすが回転できる広さとする
- ・廊下は車いすがすれ違える広さを確保する。
- ・多目的トイレの設置
- ・CO2 排出量の低減を図る、環境にやさしい庁舎。(再生エネルギーの活用、自然エネルギーの活用)再生エネルギーの活用について、自然採光・通風の確保、

太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用をして断熱性・気密性の向上を図る。

- ・施設(庁舎)の長寿命化を図る、耐久性の高い材料設備機器
- ・コンパクトシティ
- ・防犯対策、防犯カメラ。緊急通報装置の設置
- ・来庁者・職員の安全管理、セキュリティ対策(入退出の管理)
- ・規模では無く市民ファーストでの機能。内閣府の未来都市認定を受けて SDGs に即し未来に向けて持続性の有る市庁舎を願う。

【設備・構造】

- ・新庁舎に人が集まりやすい事。
- ・コンパクトにしすぎない事。
- ・行きたい必要な部署を分かりやすくしてほしい。
- ・一つの窓口で要件が済ませるようにしてほしい。
- ・通路やトイレのバリアフリー化
- ・市民同士の交流の出来る場所・休憩できる場所を設置する。
- ・十分な駐車場の確保。
- ・ライフサイクルコストを少なくできる場所を選ぶ、コンパクトな庁舎。
- ・市政情報や観光情報の発言一覧コーナー
- ・図書館を同じ敷地内に建設する。でなければ市職員・議員が調査研究できる市・議会図書室の設置。
- ・議員と面接できる応接室の設置。
- ・議場の有効活用、閉会中、傍聴席の整備。

【候補地】

- ・候補地の選定にあたって複数の意見(場所)を出せとの呼びかけは適切ではない。2.3 と無視して提起したが非常に不満。ワークショップの市民の意見に応えられ、建設土地代金もいらず一番安く市民の大方の意見を叶えられ建築できる土地は前平区である。それ以外の土地は考えられない(複数候補地を挙げて議論するといろいろ困難をきたす。)
- ・改めて駅南が無かったのは残念。
- ・市有地が無くても今後のまちづくりが大切である。用地は建設費の1/10程度であると思います。新しい候補地をのぞみます。
- ・数年前に作成いただいた、候補地別の 60 年間のライフサイクルコスト(経済性)の見直しをしていただきたい。A 実現性(土地、建物(新庁舎)、その他)B 発展性(将来の街づくり)C 経済性(60 年間のライフサイクルコスト(初期整備費用+維持管理費))
- ・安全性及び災害対策機能が確保できる場所(浸水被害の低い場所)
- ・十分な駐車場が一か所で確保でき、交通渋滞が起きない場所

- ・来庁者の必要な手続きがワンストップで行うことが出来る場所、①一緒にあるとよい施設、市民が使える会議室交流施設 ②レストラン、カフェ③銀行、ATM ④図書館又は図書コーナー⑤多目的スペース(ギャラリー物産展ミニコンサート) 第3回ワークショップで頂いた、候補地資料①②③は細かく調査され、詳しく作成されていて大変役に立ちました。ありがとうございました。
- ・畜産試験場跡地には、農業系の大学を持ってきたら、大学生とか若い人が通って来てくれたら町が元気になりそう。
- ・さて、先日、各務原市役所、北方町役場、岐阜県庁(前を通っただけ)、多治見駅北分庁舎に見学しに行きました。その私の実感からの候補地を選んでみました。ご報告いたします。結論→12

根拠①大きな庁舎は要らない、なぜなら・中に入るのに緊張する。・広いフロアにたくさんの職員さんがいて、カウンターに座ると、皆さんがこちらを見ているような感覚になり緊張する。

根拠②自然豊かな場所で自然に溶け込む庁舎にすればリラックスできる、なぜなら・北方町役場は三階建てで一番自然素材が使われていて市民に寄り添ってくださっていることを感じた。さすが！”まちの住み心地ランキング”岐阜県 No.1 の町役場と感じた(でもフロアは広すぎる)・近くに米田白山、さくらの森があり散策ついでに市役所に寄られる・市街地から遠いのが実はメリットで市民の健康向上に繋がる。市内各地に小さな分庁舎があれば遠くても問題はない・自然を大切にする庁舎の姿は市民へのメッセージとなり、市民自身の自己承認感アップに繋がる。

根拠③土砂災害警戒区域ではあるが小さな分庁舎が機能していれば、庁舎が崩れたとしても市民は自分たちで何とかする力、自治力が備わっているから大丈夫、なぜなら小さな分庁舎の機能アップのためには、地域のみなさんとの対話が必要であり、対話を重ねるうちに馴染みの関係が生まれ、それが地域愛となるから。

【将来性】

- ・市民に選択した理由を経済性ばかりでなく、長期的視点も含めて説明されたい。
- ・まずは広い土地を探すこと。50年先100年先のことを考えて災害のない土地を選ぶこと。
- ・未来を見越した新庁舎を望みます。

【地域活性化】

- ・新たな新天地で人の流れが出来、美濃加茂市が発展してゆく方向を目指してほしいです。
- ・建設時の時代をあらわし、日本の歴史・文化に沿った施設であって欲しいです。最先端であり、日本の美しさを考えていきたい。

- ・新庁舎は美濃加茂市のシンボルであって欲しい。緑に囲まれた所も大切にして欲しい。若い人達が自慢できるデザインにもして欲しい。住みやすい美濃加茂をアピール出来る庁舎であって欲しい。

【防災】

- ・災害に強い新庁舎にしてほしい

【市職員の働きやすさ】

- ・職員が市民のことを考えながら仕事に専念できるような環境作りの観点をもう少し持って頂きたい。やはり一番市役所を使うのは職員さんだと思います。職員さんの目線が市民の目線となるように、組織内で階級もクロスしながら、コミュニケーションをとってはどうか??頑張ってください。応援しております。

【他市事例】

- ・美濃加茂市ラインに市長からのメッセージで、こんな機能があるよとか参考になるものを持って来て～何とかと言うのを拝見して、実際に他の庁舎を見学に行きました。北方町役場は隣に防災公園があり、かまどベンチがありました。各務原市役所は近くに元々広い公園があります。新しい庁舎でもあり、経済性環境配慮、ユニバーサルデザイン、機能的効率的に考えられていました。岐阜県庁舎にも、芝生の広場があったのには驚きました。柱が建ってあり、有事の際には何かに使われると思われます。他の庁舎を拝見して、美濃加茂市の庁舎がどうなるかますます楽しみになりました。これからも市民との対話を継続的に実施と、ロードマップに記載してありますので、実施をよろしくお願いします。

【整備の進め方】

- ・早く建ててほしい(生きているうちに見たい!)
- ・多数意見に引きずられず、よく検討してください。(市長の一般意志?)連絡所の活用の意見もありました。周辺部の地区はそちらが大事かもしれません。
- ・土地・建物でしか対応できないこと、導入する設備で対応できること。ハード対策とソフト対策といった層別化もして下さい。
- ・一部の人だけの意見が集約されていく不安がある。
- ・私も含めて市民は勝手な事を言うが、実際には年に一度庁舎に行くくらいかと思う。だから市役所で働く人の意見をもっと聞いてみたい。実際に働くその方々が生き生きとした場所になれば、よりパフォーマンスがあがると思う。庁舎整備が完了した後にも、1年毎にワークショップを行い、良い庁舎(市政)を作るには?のワークショップを開催していく事が大事だと思った。一市民としては、前市長の時に一度決まった新庁舎の案が廃案になって良かったと思います。長丁場でかなり大変な取組だと思いますが、頑張ってください。私の思い

通りの場所や建物にならなくてもいいです。作った後に、この場所にして良かった、この建物にして良かったと思えるように建てた後の行動がより大事だと思います。私も少しでも貢献できるように頑張ります。

- ・東中学校や加茂高校でワークショップを開催したとありました。現在の中学生や高校生の意見にとっても興味がありますどこかの機会で紹介してもらえませんか？毎回このアンケートには時間をかけて力を込めて書いていますが、読んでいただけていますか？資料を残すために、手書きだとパソコン入力の際に一度は目を通すと思いますが、メール送信だとコピーするだけなので。

【ワークショップ】

- ・楽しくワークショップが出来て大変良かったと思いました。職員さんも親切に教えて頂きありがとうございました。
- ・皆さんとても熱心に意見を出されて、あらためて美濃加茂市ってすごい！と思いました。こうしたワークショップを開いて下さり職員さん方には本当に頭が下がります。本当に疲れさまでした。
- ・多くの市民の方に参加していただけるワークショップの設置をしていただきたい。

【その他】

- ・人口密度の中心も大切ですが、地理的に美濃加茂市の中心的場所に建設して欲しい。建設費も重要だが維持管理費、修繕費の事も考えて建設して欲しい。例えば、平屋造りとか。
- ・現庁舎の跡地でも、立体駐車場であれば災害のヘリポートになる。お祭りの駐車場に使える。身体障がい者や高齢者の見学場所にできる。
- ・現庁舎のままだいい。生涯学習センターがあるので、市役所関連の会議や集合に使える。
- ・現庁舎が空地になった場合数年間、現庁舎周辺は衰退するのでは 美濃加茂市は無駄に広い土地をかかえ込み、岐阜県に貸していた土地が返却されたらレンタル料が無くなりむしろマイナスになるのでは？
- ・日頃から何かとお世話になりましてありがとうございます。当日の資料についても、あれだけ丁寧な資料を作成するに、どれほどの時間をかけられたのかと、思い感謝の気持ちでいっぱいです。愛があれば大丈夫。I LOVE ME、I LOVE YOU、I LOVE MINOKAMO、I LOVE 地球。
- ・他市の事例を見学をして感じたことは、新庁舎、建てて終わりじゃないんだな、みんなで育み合っていくものなんだなということです。何年経っても古さが味わいになるような、みんなで可愛いがれる可愛い庁舎になることを私は夢描いています。

新庁舎整備に係る経緯と今後について

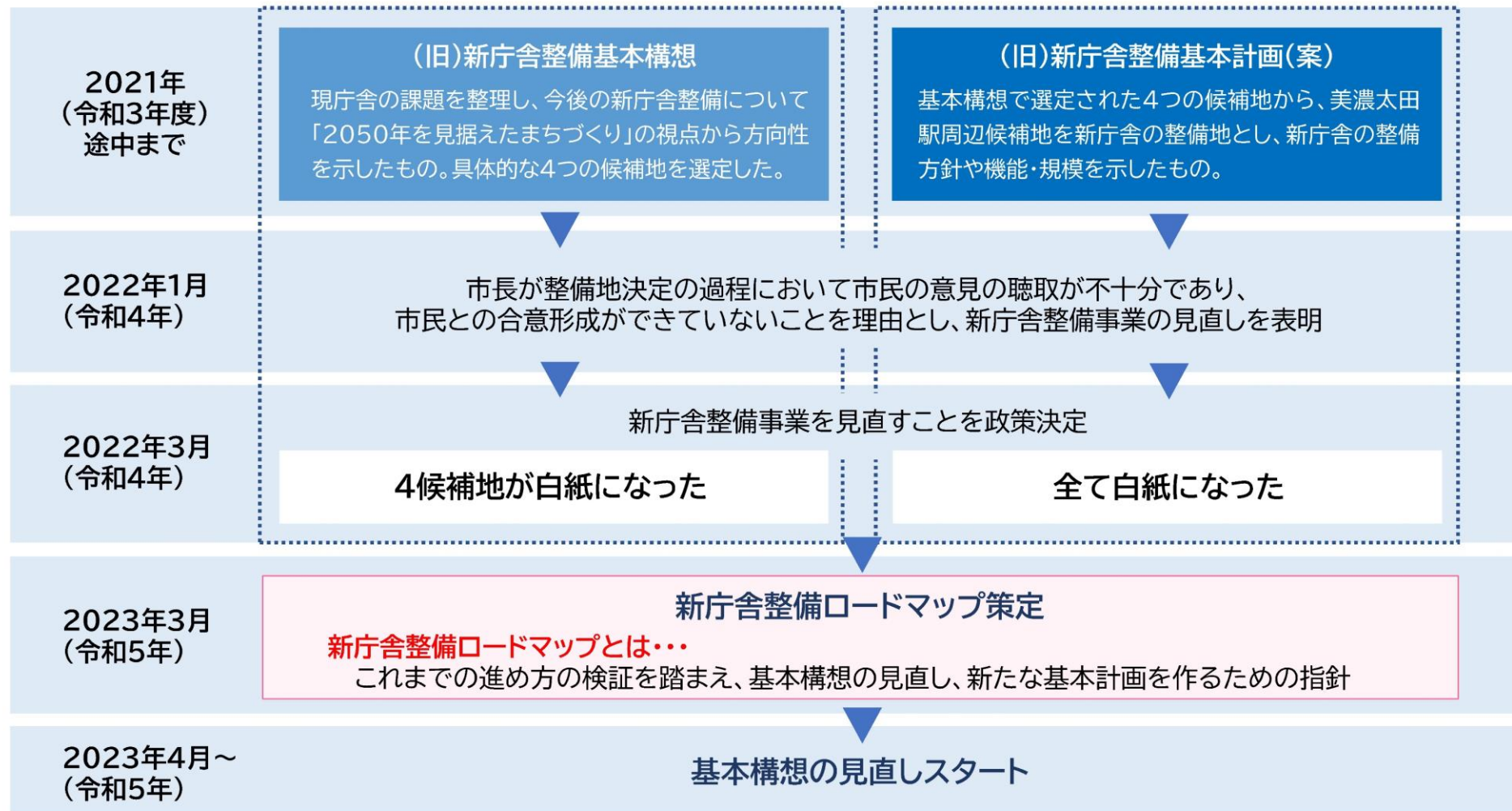
美濃加茂市 新庁舎整備ロードマップ

令和5年3月

見直しの経緯

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

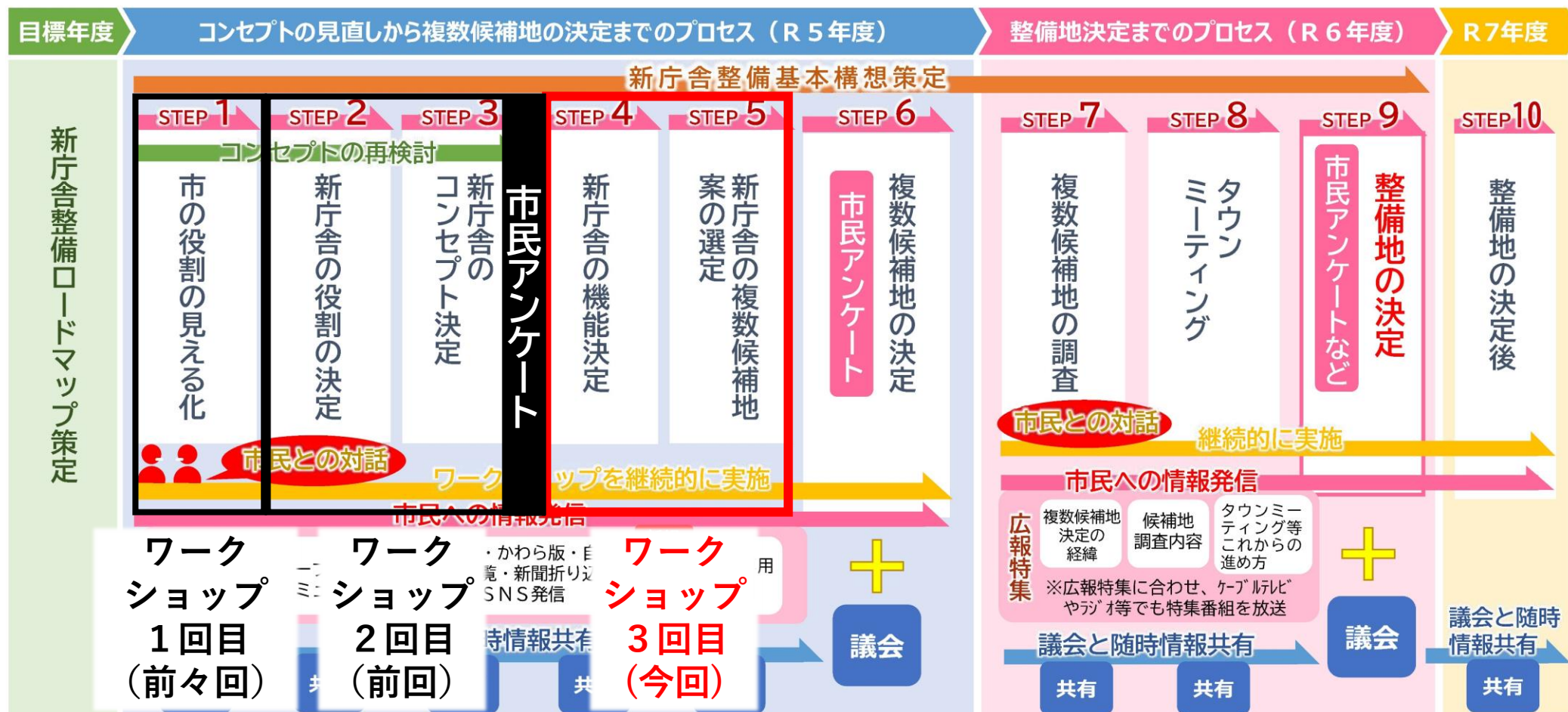
(2) 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



ワークショップの実施計画

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス 市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。



第1回市民ワークショップ <STEP1>

■STEP1「市の役割の見える化」

「10年後の市の役割」をテーマに参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。

①個人でフセンに意見を書き出す



②意見を出し合う



③シールで大事だと思うものに投票



④グループの意見を発表！



第1回市民ワークショップ				おでかけ ワークショップ
7/23(日)	7/26(水)	7/29(土)	計3回	計10回(9月20日時点)
30人	31人	27人	計88人	計170人

第2回市民ワークショップ〈STEP2,3〉

■第2回市民ワークショップ STEP2「新庁舎の役割」 STEP3「新庁舎のコンセプト」
「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに参加者のみなさんと意見を出し合いました。

①個人で意見を書き出す



②意見を出し合う



③まとめ



④全体発表



■東中学校で中学3年生、加茂高校で高校2年生を対象に市や新庁舎に係るワークショップを行いました。

第2回市民ワークショップ				おでかけ ワークショップ	東中学校3年生 ワークショップ	加茂高校2年生 ワークショップ
9/24(日)	9/25 (月)	9/30(土)	計3回	計16回 (11月28日時点)	2回	1回
22人	23人	22人	計67人	計268人	281人	236人

今回のワークショップのテーマと目的①

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 4 新庁舎の機能決定

STEP 1～3による、市の役割、新庁舎の役割、コンセプトを踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討します。

STEP 4で実施すること
.....
市民との対話
(ワークショップ)

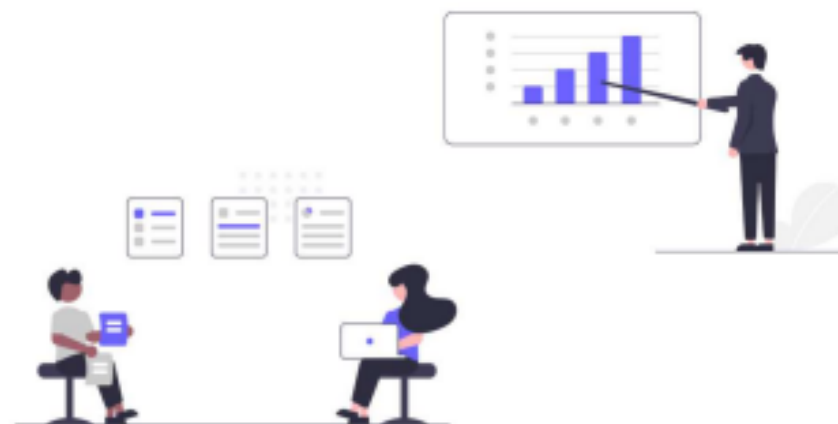
市民の
役割

ワークショップの中で社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスを踏まえ新庁舎に必要な機能を検討する。

市職員
の役割

新庁舎の機能を検討する前に、前提条件の整理を行う。市民とともに新庁舎に必要な機能を検討し、機能を決定する。

R5年度					
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定



今回のワークショップのテーマと目的②

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 5 新庁舎の複数候補地案の選定

STEP 4 で決定した新庁舎の機能や、課題の実現性、市の方針を踏まえた上で、複数候補地案を検討・提示します。その上で市民との対話により候補地案を吟味し、必要であれば、市民は前提条件が踏まえられた別の候補地案を市に提言します。

STEP 5 で実施すること
.....
市民との対話
(ワークショップ)

市民の
役割

市が提案した新庁舎の候補地案を吟味する。前提条件が踏まえられた新たな候補地案がある場合は市に提言を行う。

市職員
の役割

前提条件を踏まえた候補地案について複数検討する。その後市民から新たな候補地案が提言された場合は、前提条件を満たしているかどうか検証し、候補地案に含めるか検討し、候補地案を選定する。

R5年度					
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定



<第2回市民ワークショップの振り返り>

新庁舎の役割

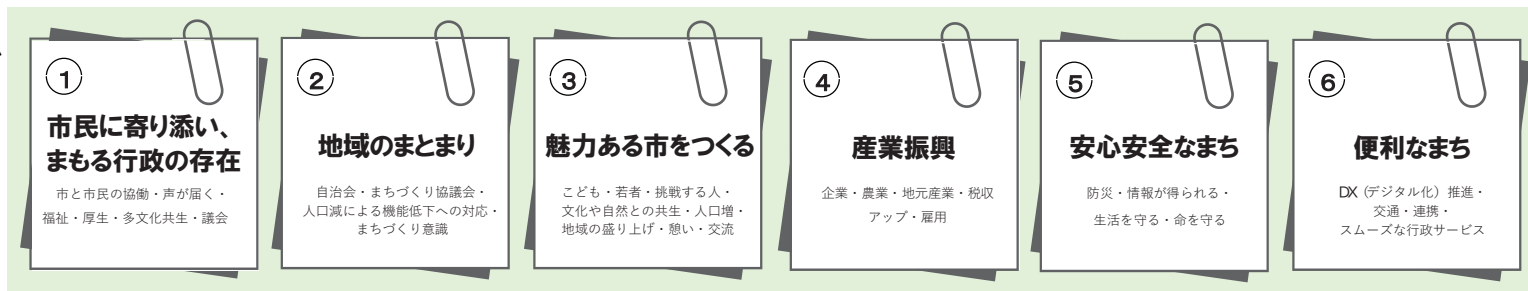
新庁舎のコンセプト

第2回市民ワークショップまとめ

STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに新庁舎に必要な役割を考えました。

第1回市民ワークショップで考えた「市の役割」⇒



STEP2 全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

STEP2【代表的なご意見】(抜粋)

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシー**が守られて、**安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく**、生き生きできる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

第2回市民ワークショップまとめ

STEP3 「新庁舎のコンセプト」 概要

- ・ 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3 全体の傾向

- ・ すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- ・ 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- いつでもだれでも相談できる**頼り**になる新庁舎
- 気軽に集いつながる新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- 新しい時代に対応できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプル**なコンパクト新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- みんなが使いやすい**心と身体**のバリアフリー新庁舎
- 美濃加茂の**自然**を活かした心地よい新庁舎
- **地域**の中心となる、**シンボル**的な新庁舎
- **職員**が生き生きできる**働きやすい**新庁舎

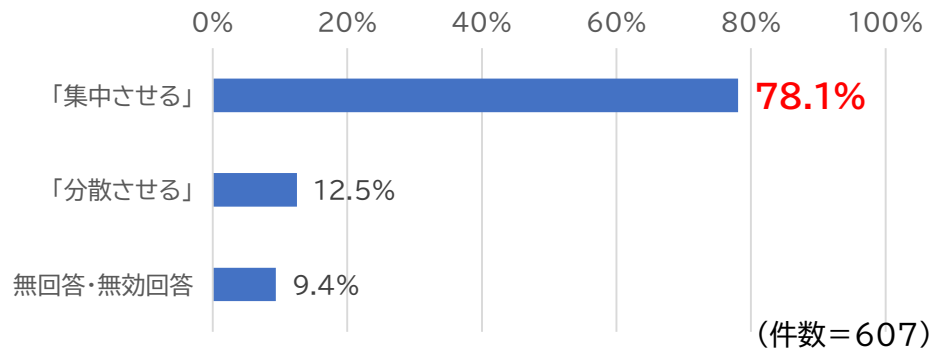
市民アンケート結果

■第2回の市民ワークショップ(STEP2・STEP3)をふまえ、新庁舎の役割等について、市民全体の傾向を把握するため、無作為抽出した市民1,500人を対象にアンケートを行いました。(回収数:607人)

STEP2 「新庁舎の役割」に対する市民アンケート結果

ワークショップで出された相反する役割について、どちらを重要と思うか選択いただきました。

●市役所機能を「集中させる」／「分散させる」

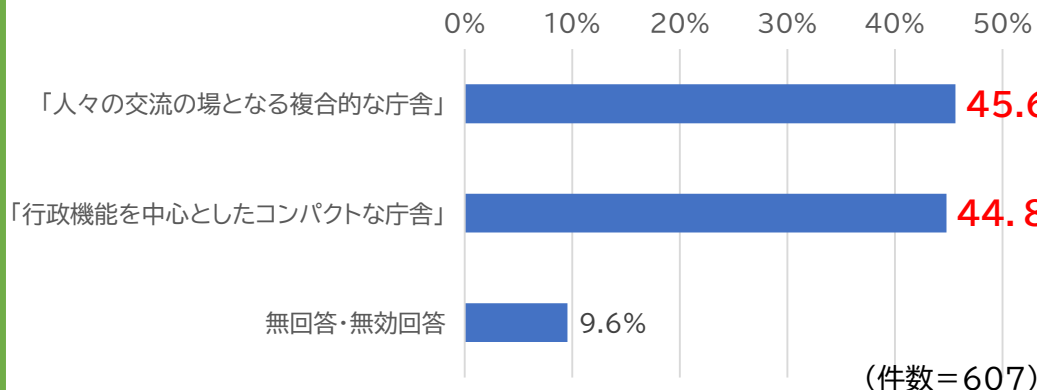


・**全年代・全地域において、市役所機能を「集中させる」が過半数を占めました。**

・「集中させる」を選んだ理由は「1か所で市役所の用事を済ませられるとよい」が1位となっています。

・「分散させる」を選んだ理由は「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」と「市役所の建物規模を抑えられる(既存の施設を利用し建設費を抑える)とよい」が1位となっています。

●「人々の交流の場となる複合的な庁舎」／「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」



・「複合的な庁舎」と「コンパクトな庁舎」はおおよそ半数ずつに意見が分かれました。

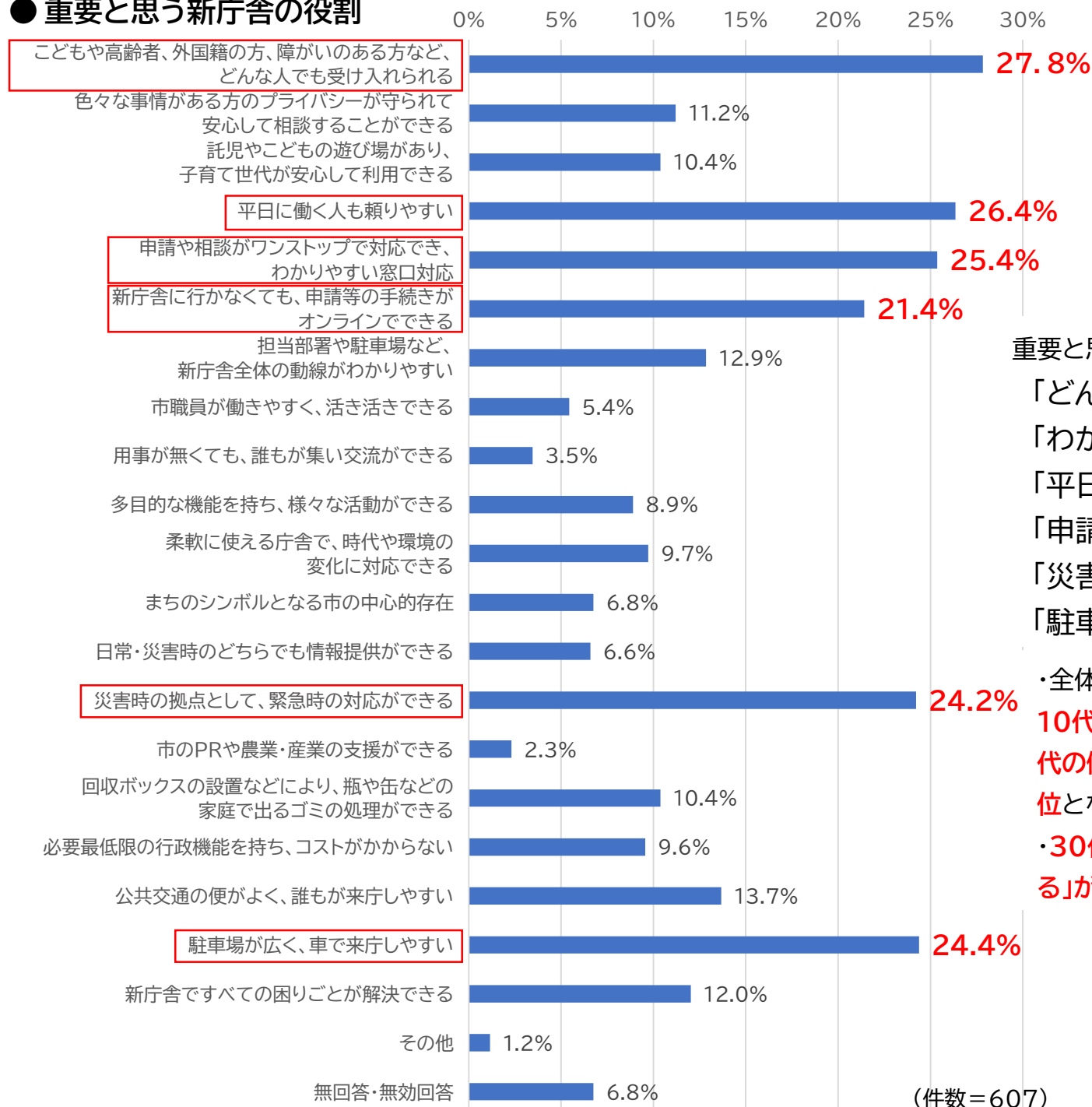
・**20代以下では「複合的な庁舎」が過半数を占め、30代以上は20代以下と比べると、「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」の割合が大きくなりました。**

・「複合的な庁舎」を選んだ理由は「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が1位となっています。

・「コンパクトな庁舎」を選んだ理由は「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」が1位となっています。

ワークショップで考えた新庁舎の役割について、重要と思う項目を選択いただきました。

● 重要と思う新庁舎の役割



重要と思う新庁舎の役割として下記が多く選ばれました。

「どんな人でも受け入れられる」

「わかりやすい窓口対応」

「平日に働く人も頼りやすい」

「申請等の手続きがオンラインでできる」

「災害時の拠点」

「駐車場が広く、車で来庁しやすい」

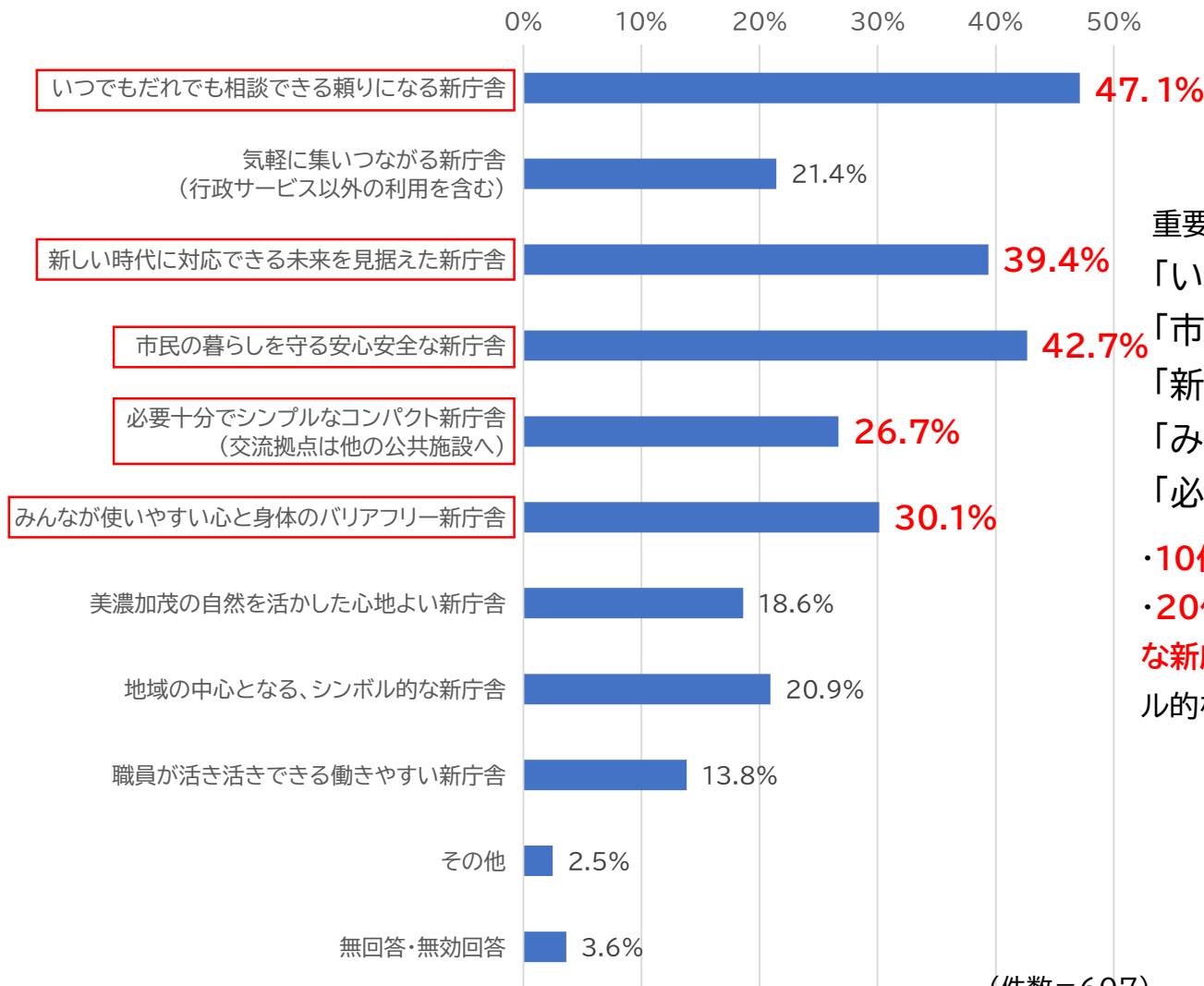
・全体で最も高い「どんな人でも受け入れられる」は
10代・80代以上で1位となっており、20代～50
代の働く世代では「平日に働く人も頼りやすい」が1
位となっています。

・30代以下では「子育て世代が安心して利用できる」が3位と全体よりも高い順位となっています。

市民アンケート結果

STEP3 「新庁舎のコンセプト」に対する市民アンケート結果

ワークショップで考えた新庁舎のコンセプトについて、重要と思う項目を選択いただきました。



(件数=607)

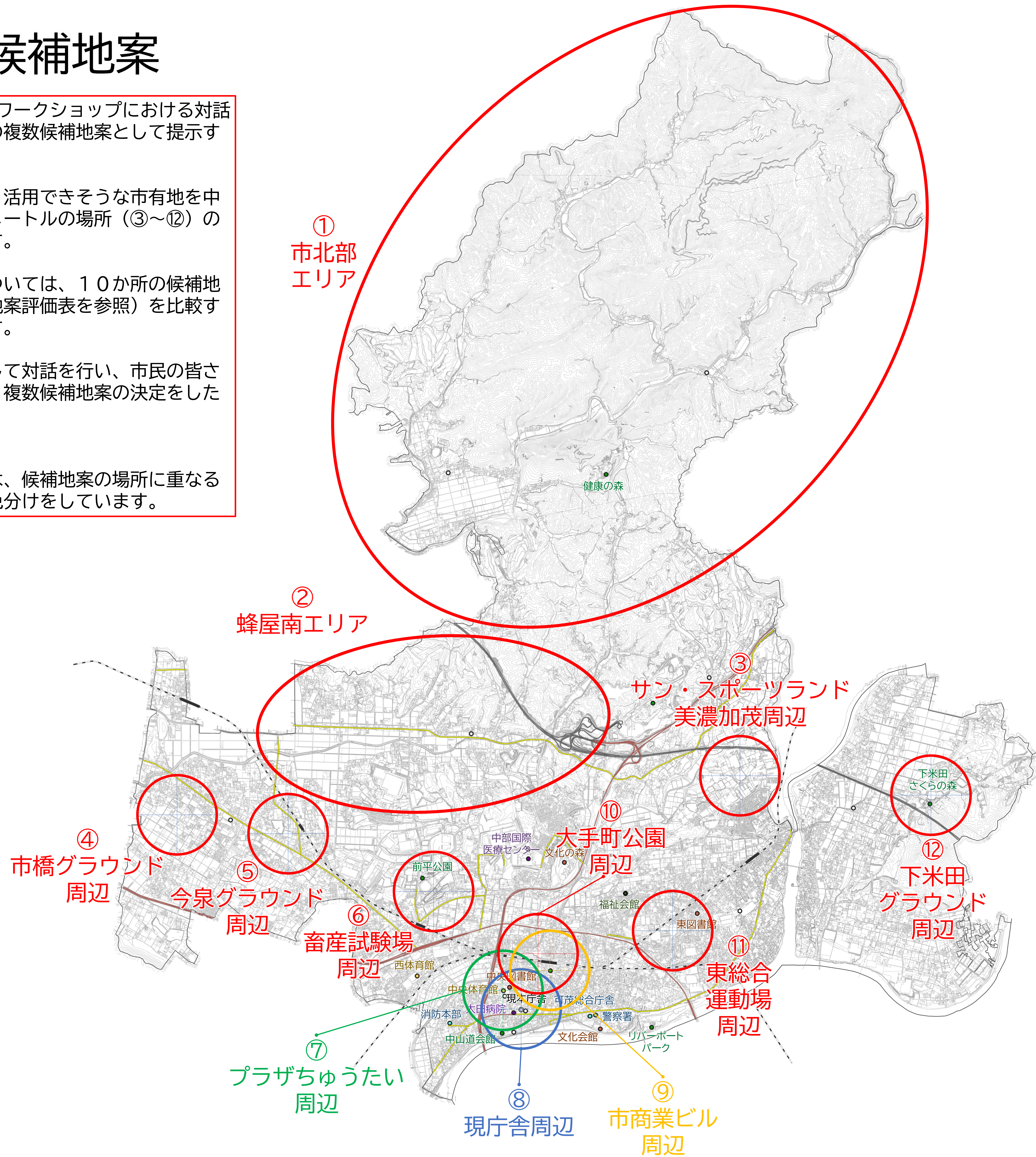
重要と思う新庁舎のコンセプトとして下記が多く選ばれました。
「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」
「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」
「新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎」
「みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎」
「必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎」
・10代では「気軽に集いつながる新庁舎」が2位となっています。
・20代以下と70代以上では、「地域の中心となる、シンボリックな新庁舎」が5位以内となっており、30代～50代よりもシンボリックな新庁舎を重要と思う人の割合が高くなっています。

候補地案資料①

なお、候補地案は、活用できそうな市有地を中心にした半径５００メートルの場所（③～⑫）の１０か所としています。

この資料を参考にして対話を行い、市民の皆さんからの声を反映し、複数候補地案の決定をしたいと考えています。

※ ⑦～⑩については、候補地案の場所に重なる部分があるため色分けをしています。



複数候補地案評価表

候補地案資料②

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		市北部 エリア	蜂屋南 エリア	サン・スポーツ ランド美濃加茂 周辺	市橋グラウンド 周辺	今泉グラウンド 周辺	畜産試験場 周辺	プラザ ちゅうたい 周辺	現庁舎周辺	市商業ビル 周辺	大手町公園 周辺	東総合運動場 周辺	下米田 グラウンド 周辺
総合評価		▲	▲	△	△	△	○	○	○	○	○	○	▲
		・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎を建てられる市有地がない	・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害、液状化の危険性がある ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地がない	・市街地及び鉄道駅から離れている ・土砂災害、液状化の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地からやや離れるが、鉄道駅が徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さいが、液状化の危険性が高い ・緊急輸送道路は整備されている ・庁舎＋駐車場が確保できる市有地がある	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・庁舎を建てられる市有地があり、駐車場も周辺で確保可能	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・市有地以外で駐車場の確保が必要	・利便性が非常に高く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響があるが、緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地に近く、鉄道駅も徒歩圏内にある ・浸水害の影響は小さく、緊急輸送道路は整備されている ・駐車場の確保の検討が必要	・市街地及び鉄道駅から離れている ・浸水害の影響は小さいが、土砂災害の危険性があり、また、緊急輸送道路から離れている ・駐車場の確保の検討が必要	
		○： 15点以上 △： 10～14点 ▲： 9点以下											
利便性	市街地（D I D地区）からの距離	▲	▲	▲	▲	▲	△	○	○	○	○	△	▲
	2車線道路との接道	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	△
	鉄道駅からの距離	▲	▲	▲	▲	△	△	○	○	○	○	△	▲
災害	浸水害	計画規模降雨	△	△	○	○	○	○	▲	▲	▲	○	△
		想定最大規模降雨	△	△	○	△	△	△	▲	▲	▲	△	△
	土砂災害	▲	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	▲
		警戒区域が広域に分布	警戒区域が一部あり	警戒区域が一部あり	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	警戒区域が広域に分布
	液状化（南海トラフ地震）	△	▲	▲	△	▲	△	○	○	○	○	○	○
		一部で可能性あり	広域で可能性あり	全域で可能性あり	一部で可能性が高い	全域で可能性が高い	一部で可能性が高い	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし
緊急輸送道路	▲	△	▲	△	△	△	○	○	○	○	○	▲	
用地	市有地	▲	▲	○	△	△	○	△	△	△	△	△	△
		市有地なし	市有地なし	サン・スポーツランド美濃加茂（23,922㎡）	市橋グラウンド（7,963㎡）	今泉グラウンド（約9,000㎡）	畜産試験場（約60,000㎡）	プラザちゅうたい（12,748㎡）	現庁舎（7,179㎡）	市商業ビル（3,608㎡）	大手町公園（約7,700㎡）	東総合運動場（11,348㎡）	下米田グラウンド（9,000㎡）
	用途地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○
		無指定地域	無指定地域、第二種低層住居専用地域、第一種住居地域、工業地域、工業専用地域 ※一部建設不可の地域あり	無指定地域	無指定地域	無指定地域	無指定地域	無指定地域	第二種住居地域、近隣商業地域	第二種住居地域、商業地域	商業地域	第二種住居地域	第一種住居地域、第二種中高層住居専用地域 ※事務所等の床面積が1,500㎡を超えるものは建設不可
駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）	▲	▲	○	△	△	○	○	△	△	▲	△	△	△
		用地取得が必要	用地取得が必要	市有地のみで平面駐車場が確保可能	・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	市有地のみで平面駐車場が確保可能	・敷地内で立体駐車場など検討が必要 ・現庁舎敷地、分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	分庁舎敷地や周辺敷地（現在の職員駐車場など）で確保可能	市有地以外で敷地確保など検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要	・敷地内で立体駐車場など検討必要 ・敷地外で駐車場を確保する場合は用地確保検討必要
評価点		6	7	12	12	12	16	16	16	15	16	15	9

※評価基準の△・▲は、新庁舎建設の際に配慮（費用、時間等）が必要になる可能性があることを示したものであり、建設できないことを表すものではありません。

評価基準

候補地案資料③

評価視点	選定指標		評価基準		
			○：2点	△：1点	▲：0点
利便性	市街地からの距離		エリアの50%以上が市街地（D I D地区）に属する。	エリアの中心が市街地（D I D地区）まで2km圏内。	市街地から離れている。
	2車線道路との接道		市有地が2車線道路と接道している。	市有地が2車線道路と接道していない。	－
	鉄道駅からの距離		エリアの中心からJRの駅までの距離が800m以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からJRの駅までの距離が1,600m以内（徒歩20分以内）、長良川鉄道の駅までの距離が800m以内（徒歩10分以内）	エリアの中心からJRの駅までの距離が1,600m超（徒歩20分超）、長良川鉄道の駅までの距離が800m超（徒歩10分超）
災害	浸水害	計画規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
		想定最大規模降雨	エリア全域で浸水の影響がない。	エリアの50%未満に浸水の影響がある。	エリアの50%以上に浸水の影響がある。
	土砂災害		エリア全域で土砂災害の影響がない。	エリア内の一部に警戒区域が分布する。	エリア内の広域に警戒区域が分布する。
	液状化（南海トラフ地震）		エリア全域で液状化の影響がない。	エリアの50%未満に液状化の可能性がある。	エリアの50%以上に液状化の可能性がある。
	緊急輸送道路		第一次緊急輸送道路（高速道路の場合はIC）がエリア内に整備されている。	第二次緊急輸送道路がエリア内に整備されている、または、エリアの中心から第一次緊急輸送道路まで1km圏内。	緊急輸送道路がエリア内に整備されていない。
用地	市有地		エリア内に2.1ha以上の市有地がある。	エリア内に2.1ha未満の市有地がある。	エリア内に庁舎を建てられる規模の市有地がない。
	用途地域		庁舎建設に影響する用途制限なし。	－	庁舎建設に影響する用途制限あり。
	駐車場の確保（来庁者用、公用車、職員用）		エリア内の市有地のみで平面駐車場（1.8ha）が確保できる。	エリア内の市有地では平面駐車場が確保できないが、立体駐車場の整備や周辺敷地（現在の職員駐車場）で駐車場が確保できる。	用地の取得が必要。

新庁舎の役割(第2回ワークショップの主な意見)

第2回市民ワークショップで出された主な **新庁舎の役割** とその役割を果たすために必要な機能(例)

第3回市民ワークショップでは、STEP4で機能のご意見を出していただき、そのご意見を踏まえSTEP5で候補地案に関するご意見を出していただきます。

《新庁舎の役割》 情報発信・集約

新庁舎の機能(例)

- ・ 受けられる支援の情報が必要な人に届く仕組み
- ・ 市外へ市の魅力を発信する仕組み
- ・ 市へ伝えたいことを伝えられる機能(例:音声の自動文字起こしで聴取等)

《新庁舎の役割》 交流の拠点

新庁舎の機能(例)

- ・ 市民の文化活動を紹介するような展示スペース
- ・ 駐車場でイベント開催
- ・ 新庁舎と図書館を一緒にする

《新庁舎の役割》 働きやすい環境

新庁舎の機能(例)

- ・ 職員がストレスなく働けるよう、多目的な要素をいれる(休憩スペース・コンビニ・カフェ等)
- ・ 横ぐし(部署間)の情報連携を取りやすくする
- ・ リモートワークの導入
- ・ 庁舎内の動線を明確にする

《新庁舎の役割》 どんな人にも対応可能

新庁舎の機能(例)

- ・ 多言語対応
- ・ 視覚・聴覚障がい対応
- ・ 子育て世代も利用しやすい(子どもの遊び場併設等)
- ・ 高齢者も移動しやすく、わかりやすい
- ・ ユニバーサルデザイン
- ・ 誰もが気軽に利用できるスペース

《新庁舎の役割》 災害時の拠点

新庁舎の機能(例)

- ・ 災害対策本部
- ・ 災害時に拠点として活用できる大きな駐車場
- ・ 浸水対策
- ・ FM放送局
- ・ シェルター
- ・ 災害時の電源確保

《新庁舎の役割》 企業・産業支援

新庁舎の機能(例)

- ・ 起業相談
- ・ 商工会と連携した機能
- ・ 特産品のPR

《新庁舎の役割》 困りごとの相談

新庁舎の機能(例)

- ・ 事前予約ができる、便利な相談窓口
- ・ 本庁舎より連絡所が機能充実
- ・ オンラインの相談窓口
- ・ プライバシーの保護

《新庁舎の役割》 デジタル化

新庁舎の機能(例)

- ・ LINE等のSNSやホームページとの連携
- ・ デジタル化と合わせた連絡所の活用
- ・ デジタルが苦手な人も困らない仕組み(一緒にデジタルに慣れることができるスペース)
- ・ オンライン申請(自宅でも申請可)

STEP5 基本条件の整理 情報提供資料

- この資料は、STEP5のグループワークで複数候補地案を考えるにあたって、市内全域における基本的な立地の条件を表したものです。

●目次

利便性

①	〔基礎知識〕立地に関する法律	P1
②	主要な施設の立地	P1
③	人口分布	P2
④	人口集中地区（DID）	P3

災害

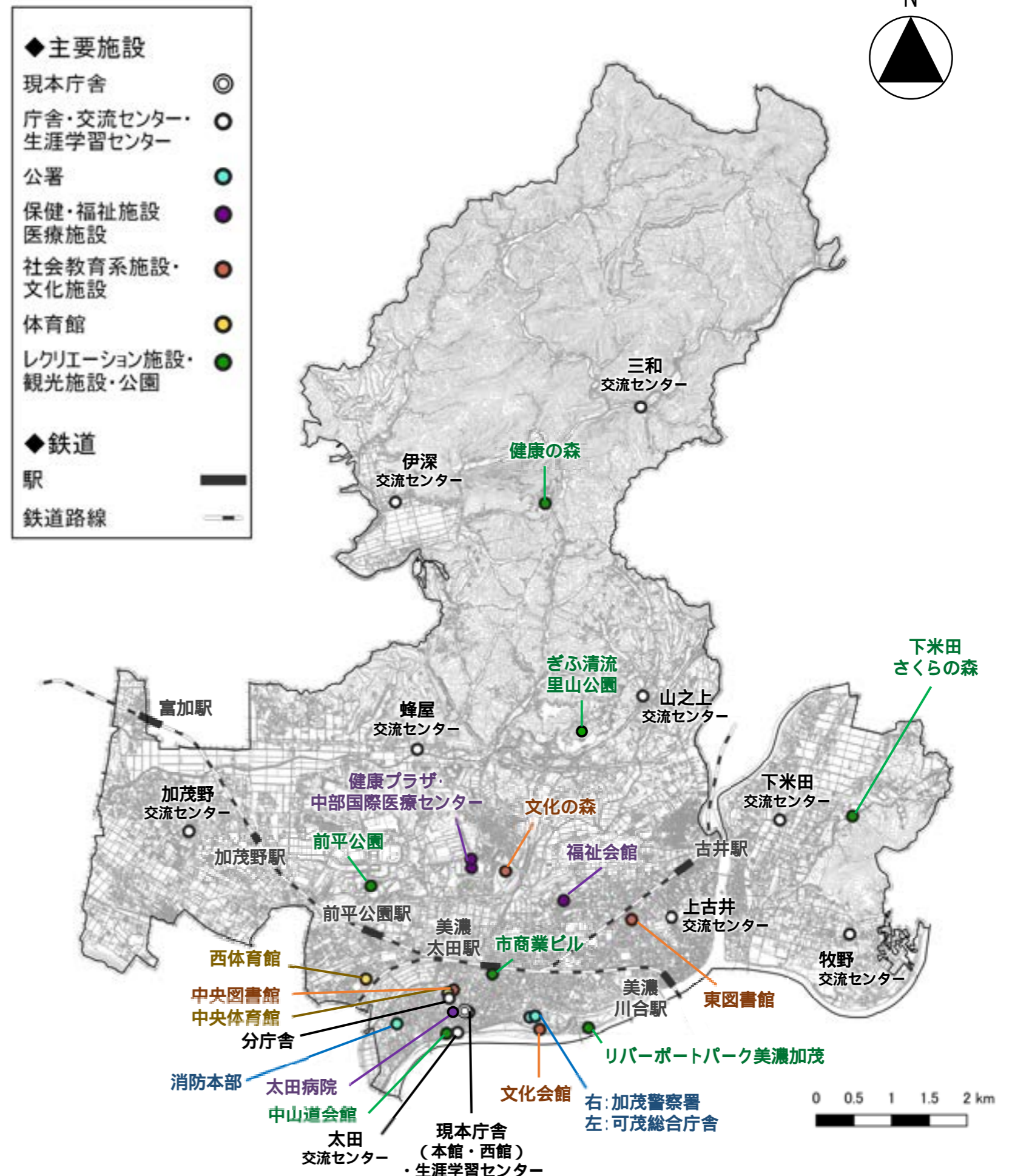
①	想定浸水深（計画規模降雨）	P4
②	想定浸水深（想定最大規模降雨）	P5
③	土砂災害の恐れのある地域	P6
④	液状化の恐れのある地域	P7
⑤	緊急輸送道路網	P8

参考

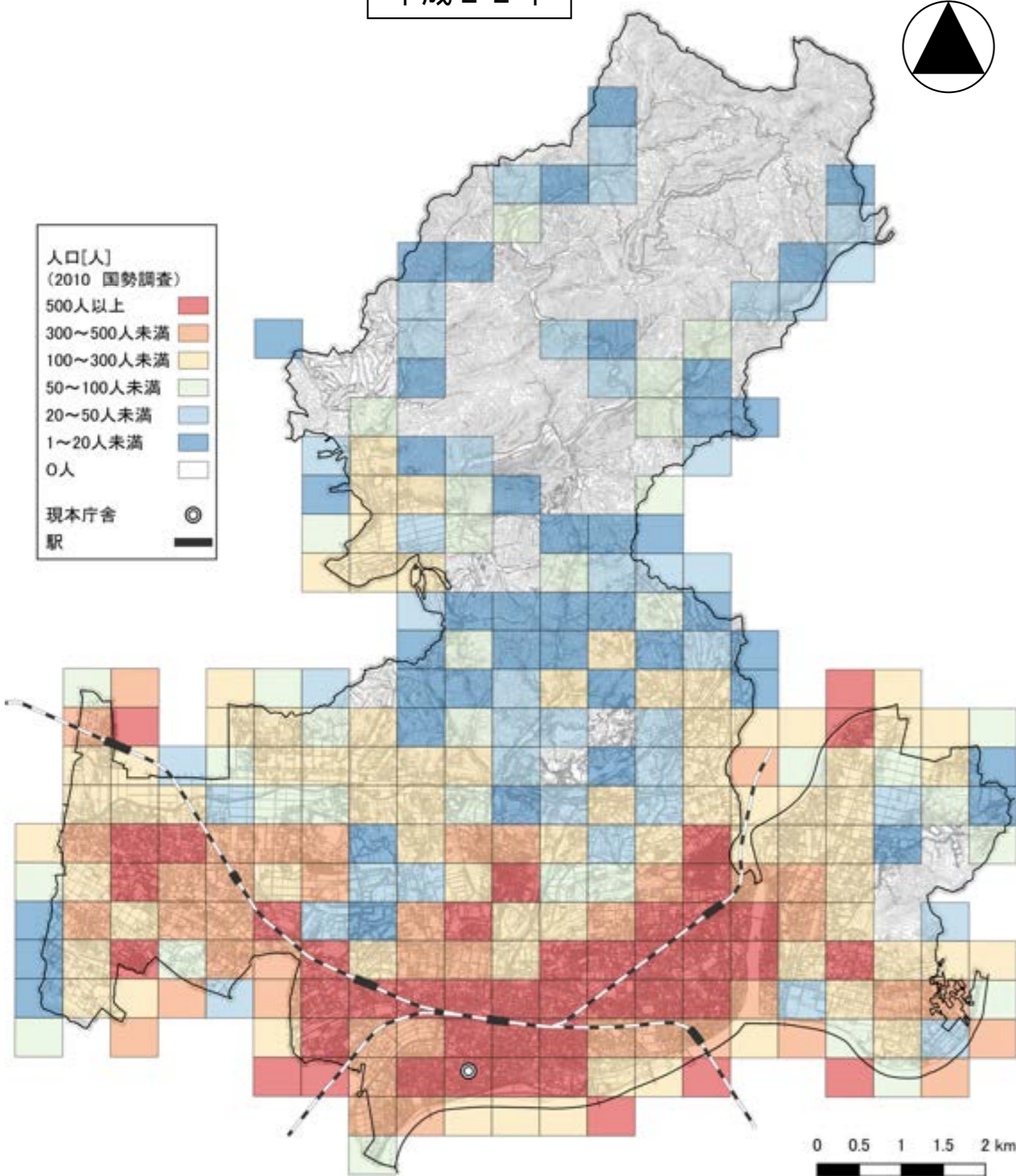
①	建設地・規模	P9
②	工事費	P9
③	立地適正化計画	P10
④	都市計画区域 用途地域	P10
⑤	農業振興地域内 農用地区域	P11

- ・第4条第2項〔事務所の設置又は変更〕
前項の事務所（市役所）の位置を定め又はこれを変更するに当っては、**住民の利用に最も便利**であるように、**交通の事情、他の官公署との関係等**について適当な**考慮**を払わなければならない。
- ・庁舎の立地は、法律により、**利便性を考慮**することが定められています。

- ・ 第1条〔目的〕
この法律は、**国家機関の建築物**の位置、構造、営繕及び保全並びに一団地の官公庁施設等について規定して、その災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進とを図ることを目的とする。
- ・ 第5条第1項〔庁舎の位置〕
庁舎は、それぞれの用途に応じて、**公衆の利便と公務の能率**上適当な場所に建築しなければならない。
- ・ 官公庁施設の建設等に関する法律は、**国家機関の建築物**について定めた法律ですが、庁舎の立地について、地方自治法と同じく**住民の利便性**に加え、**職員の働きやすさ**を考慮することが定められています。

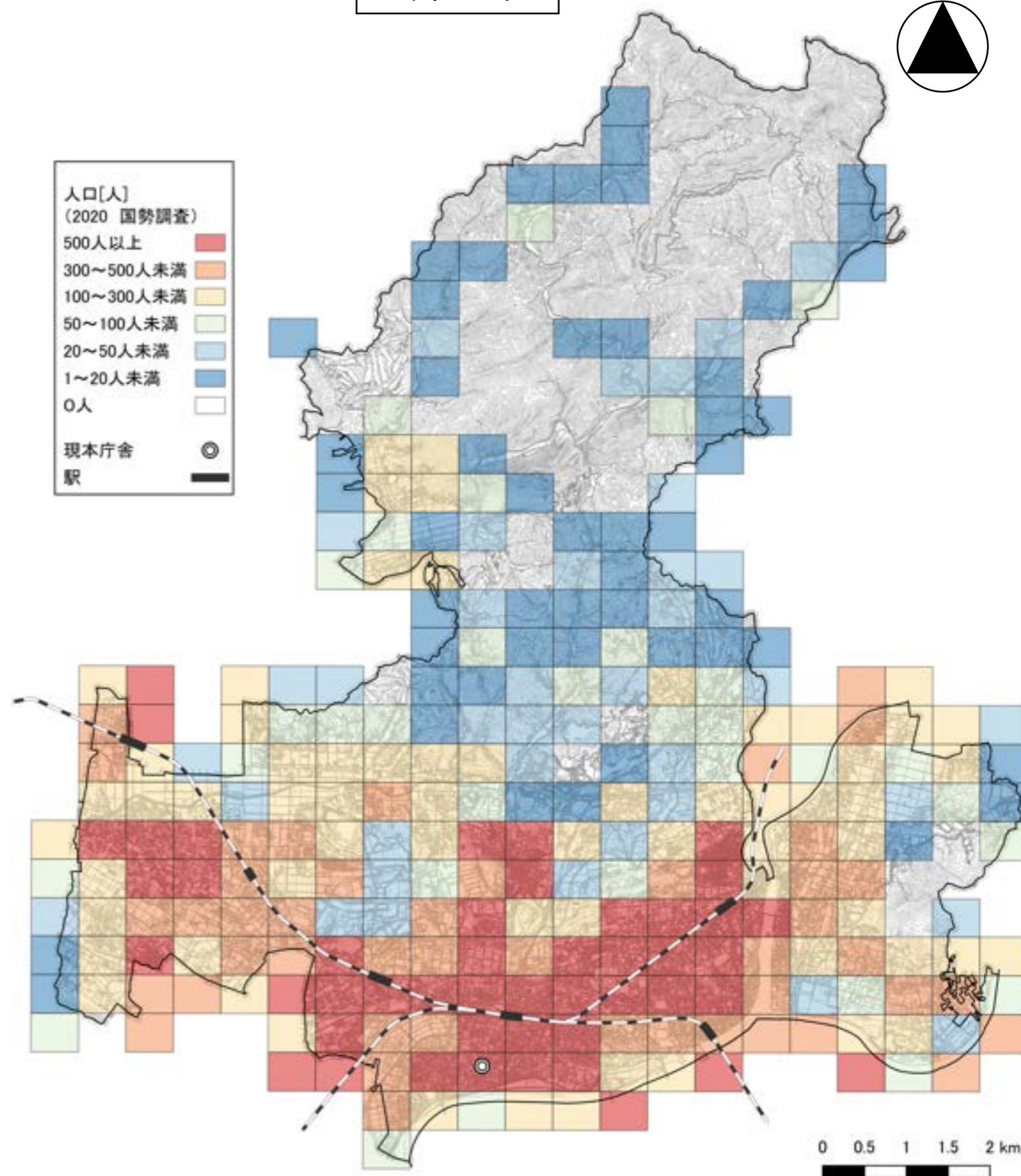
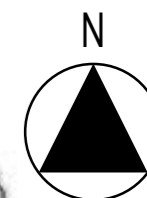


平成 2 2 年



出典:「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロード-小地域-国勢調査-2010年-4次メッシュ(500mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[2023/11/16に利用]

令和 2 年



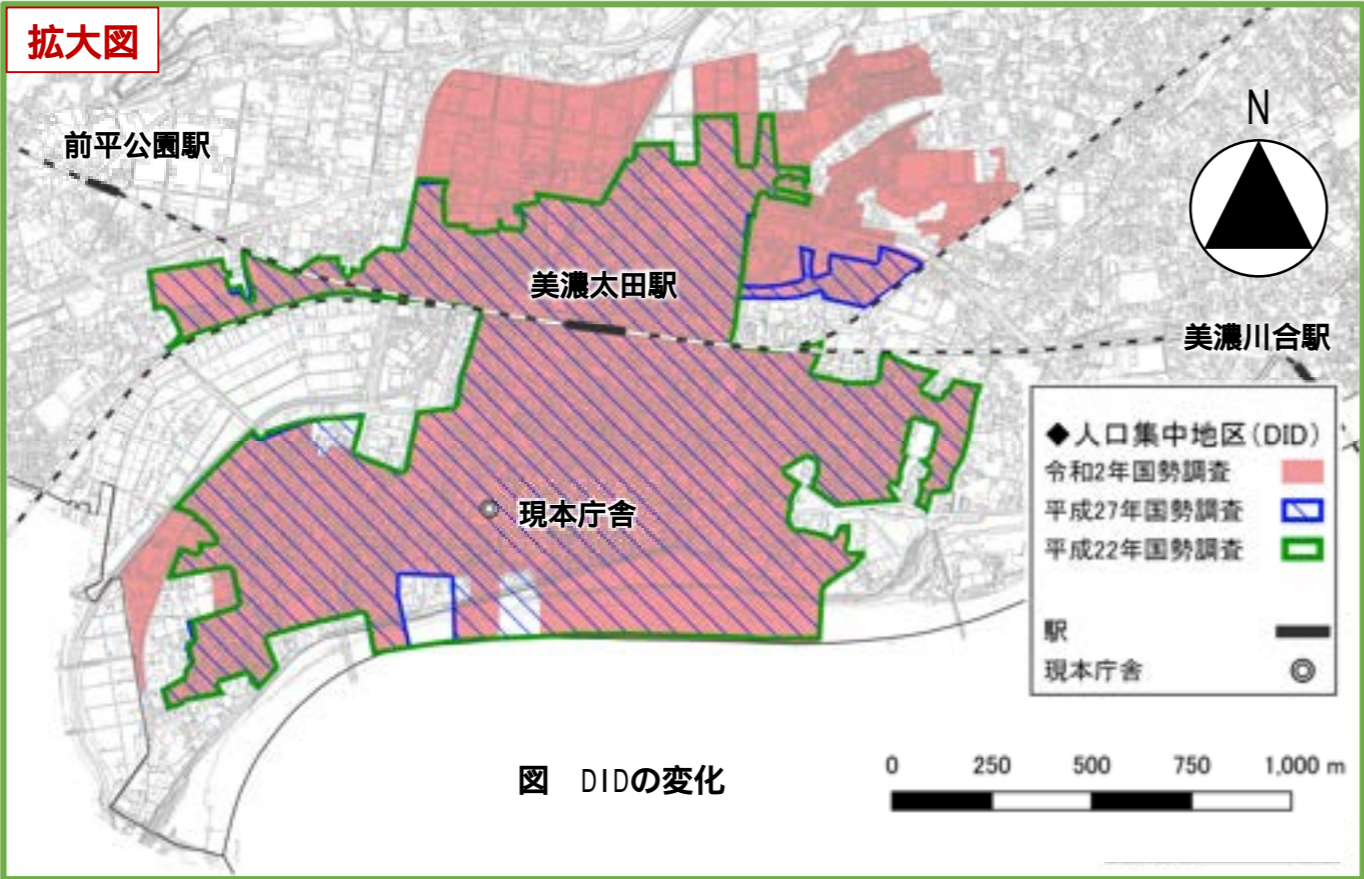
出典:「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、統計地理情報システム、
境界データダウンロード-小地域-国勢調査-2020年-4次メッシュ(500mメッシュ)
-人口及び世帯を利用して作成[2023/11/16に利用]

人口集中地区（DID）とは

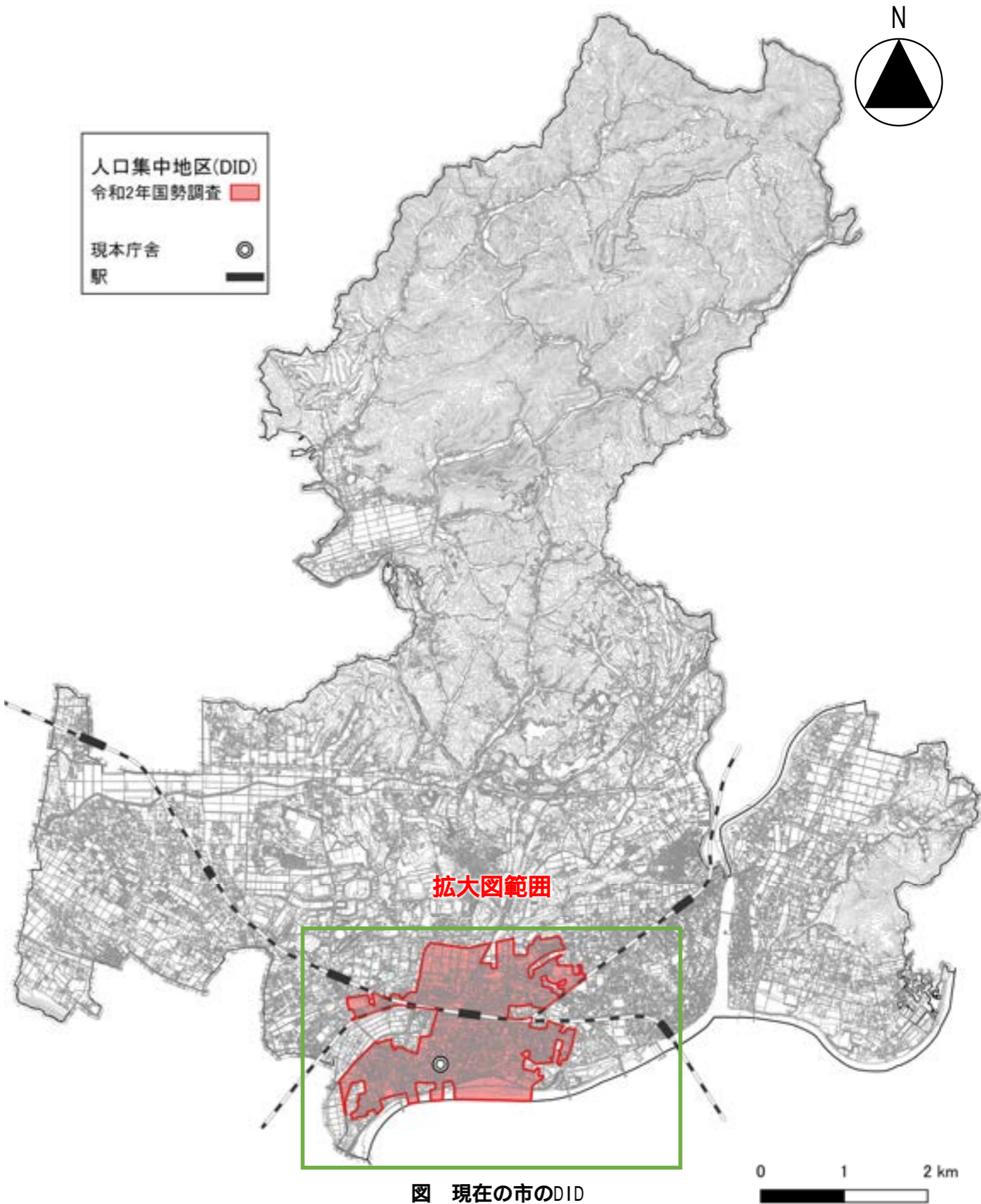
- 人口密度が1km²当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のことです。

市の人口集中地区

- 人口集中地区は、美濃太田駅の北側に広がっており、近年徐々にその面積は増加しています。



出典：「政府統計の総合窓口（e-Stat）」、統計地理情報システム、境界データダウンロード-小地域-国勢調査のうち、2020年・2015年・2010年の、人口集中地区-世界測地系平面直角座標系・Shapefileを利用して作成[2023/10/17に利用]



計画規模の降雨とは

- その川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。
- 河川の流域の大きさや、氾濫が想定される範囲などを考慮して定めたもので、河川毎に個別に定めています。

木曽川の洪水浸水想定区域（計画規模）

- 木曽川の計画規模降雨は、100年に1回程度の確率で発生する降雨であり、木曽川流域の範囲で平均して2日間で295mmの雨が降ることを想定しています。
- 右上地図は計画規模降雨で氾濫した場合の浸水想定です。現本庁舎では0.5～3.0mの浸水が想定されています。
- 計画規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間**は**4時間未満**と想定されています。

浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。
- 建設が予定されている新丸山ダムは、9・28水害と同規模の河川水量においても安全に水を流すことを目標としており、今渡ダム下流地点では約2.7mの水位低下効果が見込まれています。
- 木曽川以外の河川の情報、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。



- ・飛騨川

・加茂川

・蜂屋川

・詰田川

・大洞川

・甘屋川
- ・太市川

・納古川

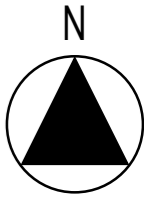
・深渡川

・飯田川

・川浦川



計画規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で295mmの雨が降ることを想定しています。



出典：美濃加茂市ハザードマップ、水害ハザードマップ作製の手引き（国土交通省）を加工して作成

想定最大規模の降雨とは

- 想定しうる最大規模の降雨のことです。「想定最大規模」の降雨規模は、基本的には**1000年に1回程度**（1年の間に発生する確率が1/1000(0.1%)以下の降雨）を想定しています。

木曽川の洪水浸水想定区域（想定最大規模）

- 例として、木曽川の想定最大規模降雨による浸水が想定される区域は右上の図の通りです。
これは、木曽川流域の範囲で平均して2日間で527mmの雨が降ることを想定しています。
- 右上地図は想定最大規模で氾濫した場合の浸水想定です。
現本庁舎では10.0～20.0mの浸水が想定されています。
- 想定最大規模降雨により木曽川が破堤した場合の**現庁舎周辺の浸水継続時間**は**21時間未満**と想定されています。

浸水継続時間とは、氾濫水到達後、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間のことです。

- 木曽川以外の河川の情報、新庁舎ポータルサイトに掲載しております。以下QRコードからご確認ください。



- ・飛騨川

・加茂川

・蜂屋川

・詰田川

・大洞川

・甘屋川
- ・太市川

・納古川

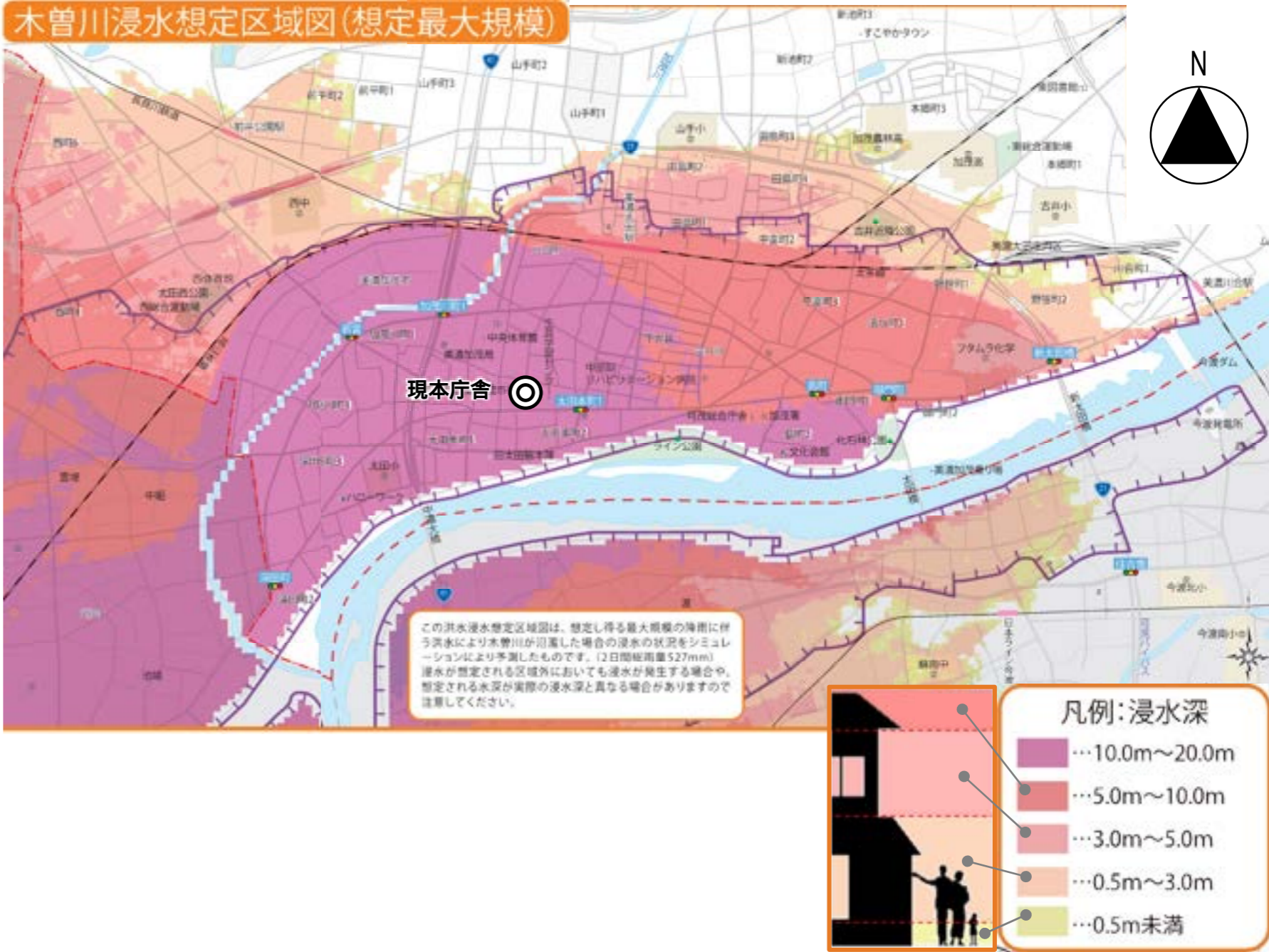
・深渡川

・飯田川

・川蒲川



想定最大規模降雨：
木曽川流域の範囲で平均して2日間で527mmの雨が降ることを想定しています。



土砂災害とは

- 大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりする自然災害のことです。
- このうち、右の地図では「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の恐れのある地域を示しています。

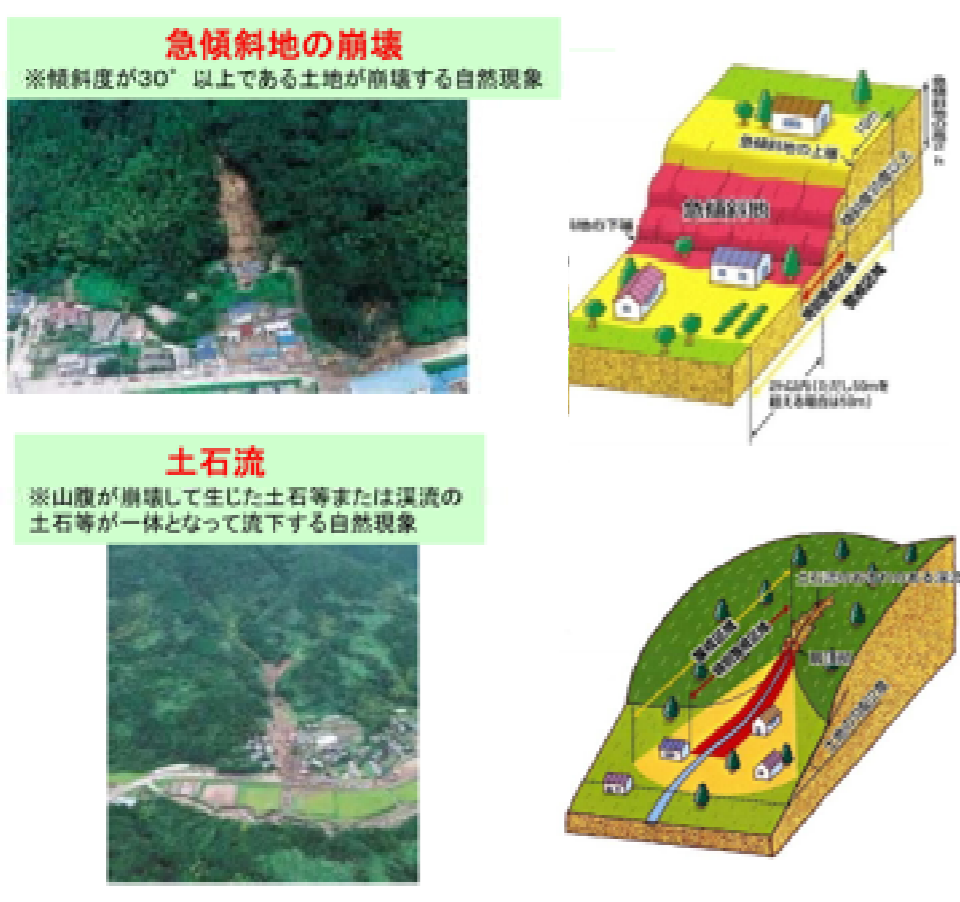


図 急傾斜地の崩壊と土石流の説明

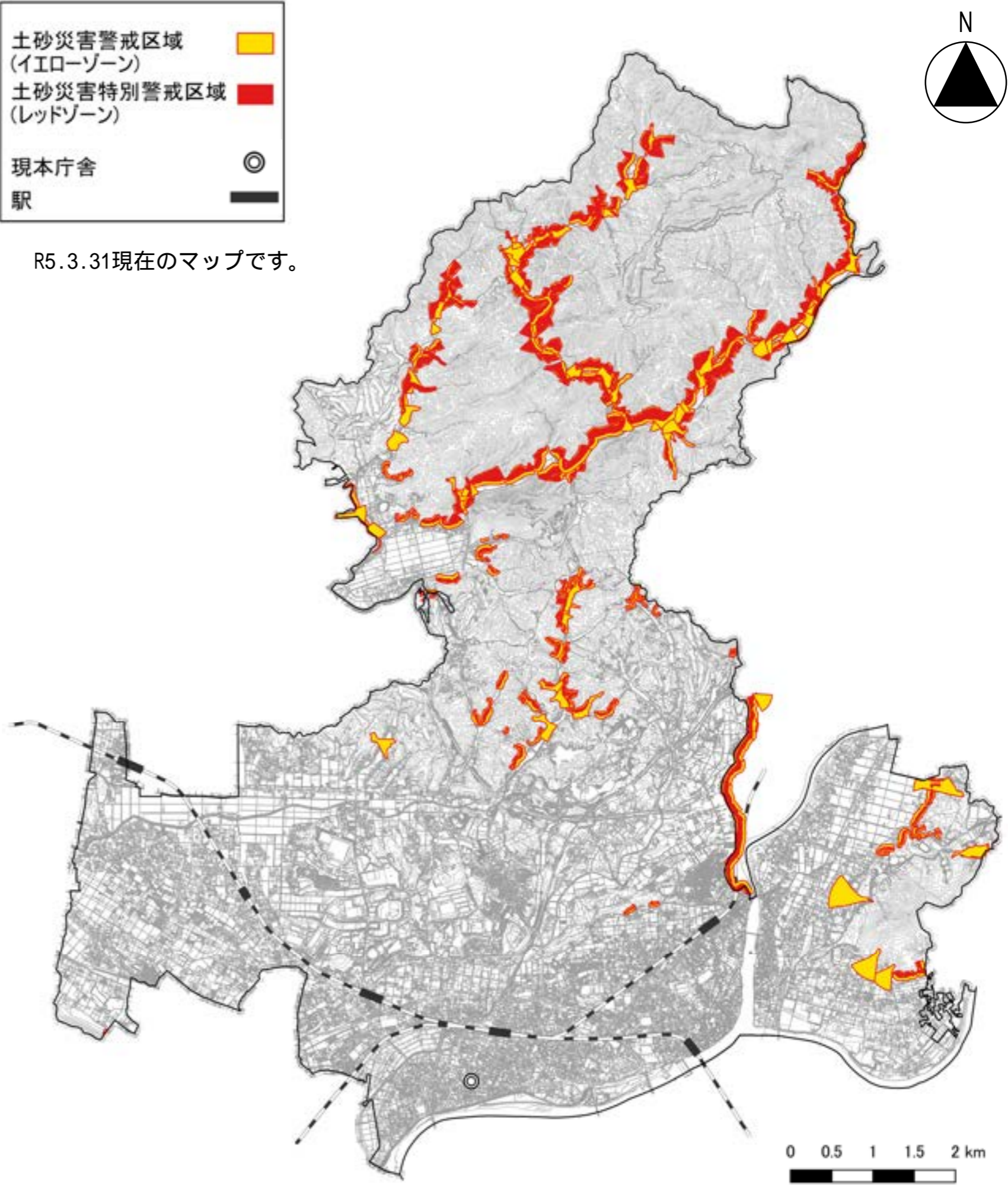
出典:「土砂災害防止法の概要」(国土交通省,H23.8)より抜粋
https://www.mlit.go.jp/river/sabo/dosyahou_review/01/110803_shiryo2.pdf

レッドゾーン・イエローゾーン

- 土砂災害のおそれのある地域は、土砂災害防止法に基づきイエローゾーンとレッドゾーンに分けられます。
- どちらの区域内にも新庁舎は建設しないことが望ましいと考えられます。

表 各ゾーンに対する新庁舎建設の考え方

区域	[イエローゾーン] 土砂災害警戒区域	[レッドゾーン] 土砂災害特別警戒区域
説明	土砂災害のおそれがある地域	土砂災害の恐れのある地域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある地域
土砂災害防止法上の方針	危険の周知、警戒避難体制の整備	特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等
新庁舎建設における考え方	この区域内には建設しないことが望ましいと考えられます。	



災害 液状化の恐れのある地域

液状化とは

- 地震が発生して地盤が強い衝撃を受け、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことです。
- 液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、また、それまで安定していた地盤が急に柔らかくなるため、その上に立っていた建物が沈んだり（傾いたり）、地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんできたり、地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生します。

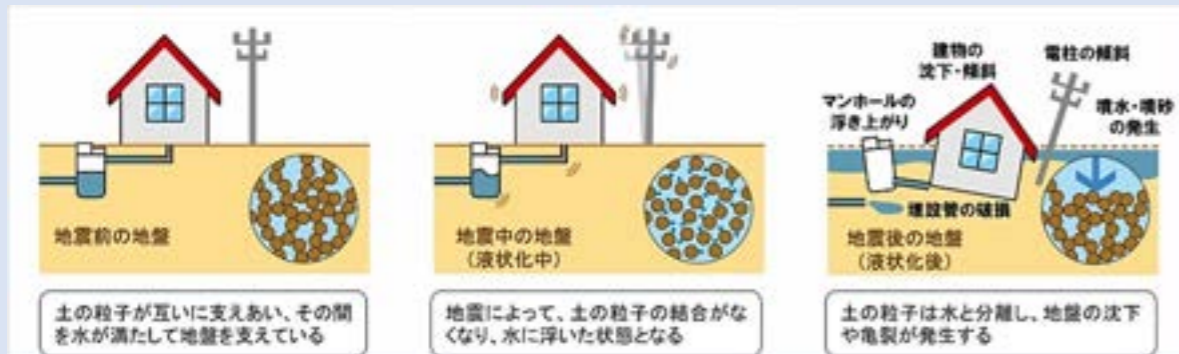


図 液状化のしくみ

出典:「液状化現象について」(国土交通省)より抜粋
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html[2023.5最終更新]

液状化対策

- 液状化の「可能性が高い」地域、「可能性がある」地域に建設する場合は、地盤改良などの対策を講じる必要があります。



写真 1-1 住宅地の噴砂の状況



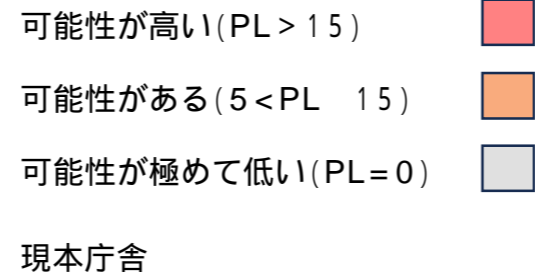
写真 1-2 地下埋設物の浮き上がり



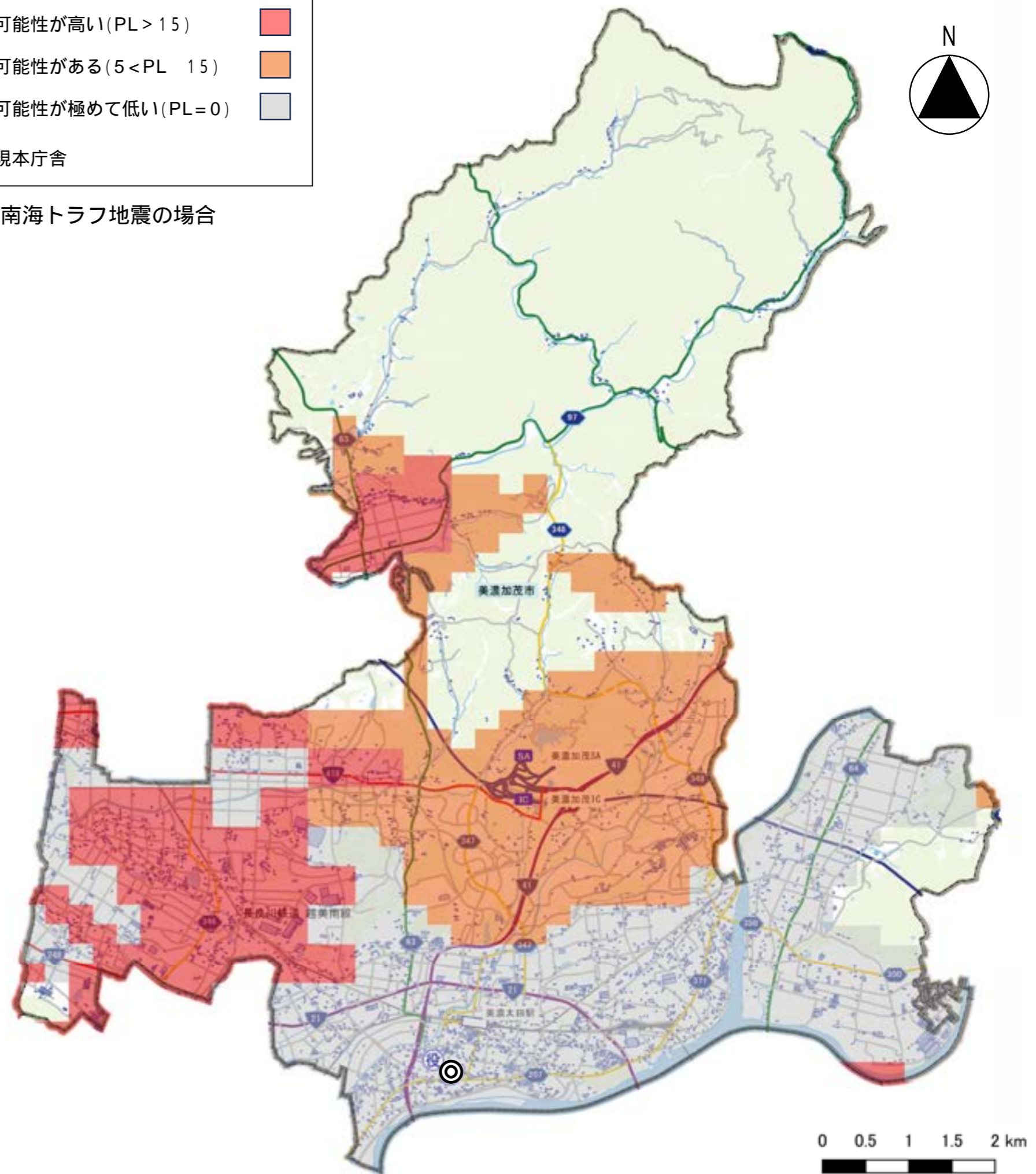
写真 1-3 建物の傾斜被害

図 液状化の被害

出典:「市街地液状化対策推進ガイドンス【本編】」(国土交通省都市局都市安全課,R1.6)より抜粋
<https://www.mlit.go.jp/common/001123039.pdf>



南海トラフ地震の場合

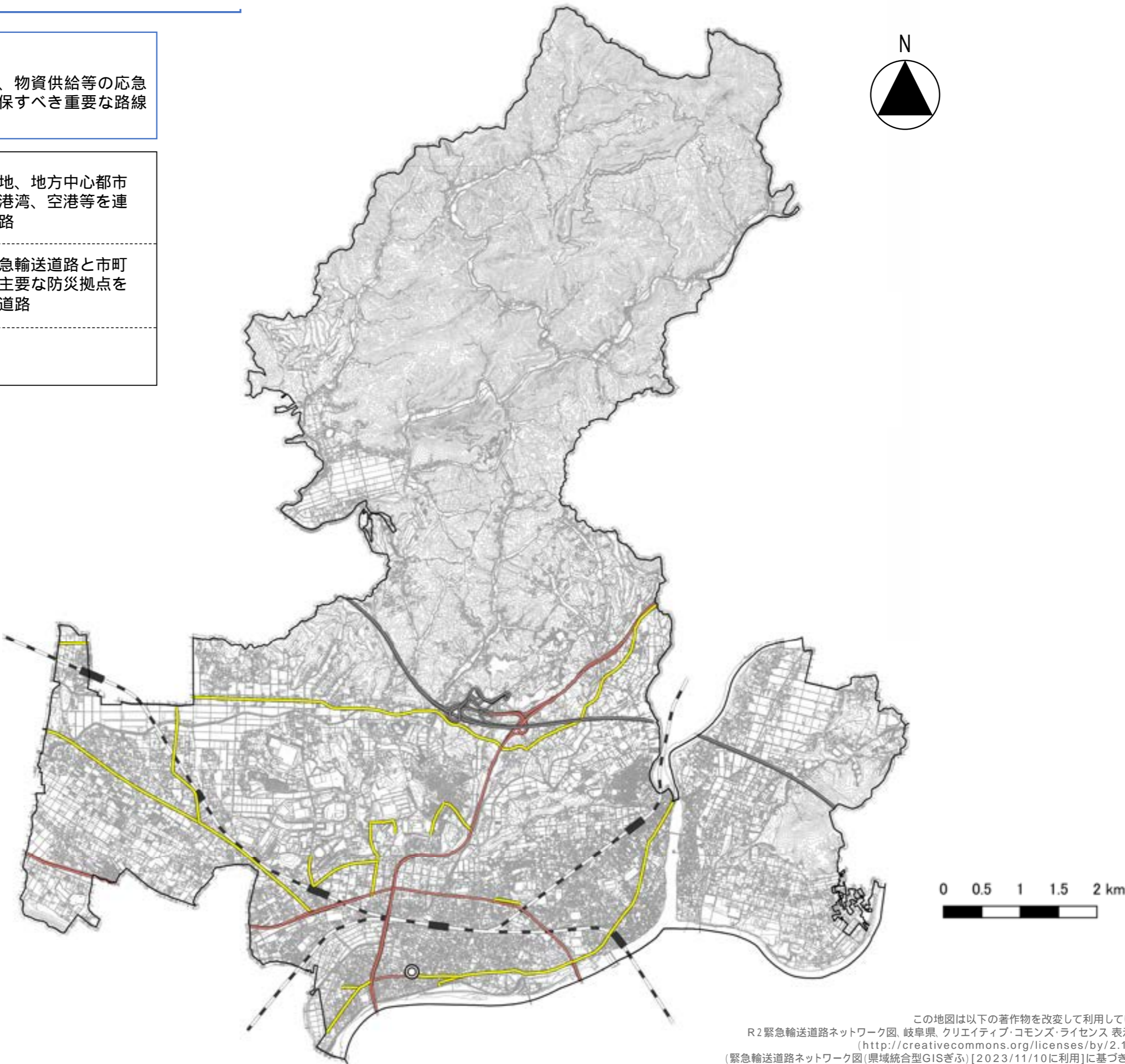


出典:岐阜県地震危険度マップ 液状化危険度分布図(県域統合型GISぎふ)を加工

緊急輸送道路

- 災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線のことです。

第1次	<div></div>	県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路
第1次(高速道路)	<div></div>	
第2次	<div></div>	第1次緊急輸送道路と市町村役場、主要な防災拠点を連絡する道路
現本庁舎		



参考① 建設地・規模

●建設地

- 新庁舎の建設地は、市有地であればコストを抑えることができます。

●必要な規模

- 新庁舎は、本庁舎（本館・西館）・分庁舎を統合した規模を想定します。
- 駐車場は、来庁者用及び公用車、職員用（計 約570台）を想定します。すべて平面駐車場で確保する場合、面積は約1.4ha必要となります。

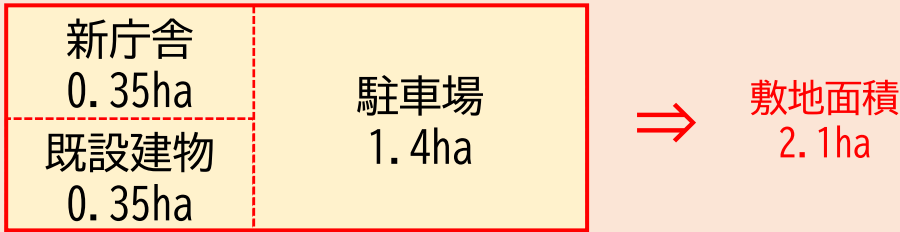
駐車场面積の算定

	台数	×基準面積※	=駐車场面積
来庁者用・公用車	230台	25㎡/台 (通路部分を含む)	5,750㎡
職員用	337台		8,425㎡
合計	567台		14,175㎡

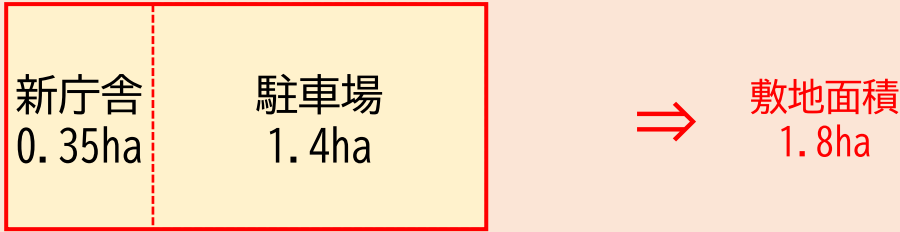
※基準面積は「平成22年度地方債同意等基準運用要綱」（総務省）による

- 新たな敷地において、敷地内で建替えを考えた場合、
駐車场面積 + 新庁舎面積（3階建てを想定） + 既設建物面積
1.4ha 0.35ha 0.35ha
より、2.1ha程度の敷地面積が必要となります。

※既設建物は新庁舎建設後に取壊し、新庁舎工事中も必要駐車台数は確保するものと想定します。



- 新たな敷地において、庁舎建設と駐車場確保を考えた場合、
駐車場面積 + 新庁舎面積（3階建てを想定）
1.4ha 0.35ha
より、1.8ha程度の敷地面積が必要となります。



参考② 工事費

●工事費

- 建物本体の工事費は、概ね55～60億円を見込んでいます。算定根拠は下に示します。
(この金額には、地盤改良、造成工事、外構工事のほか、庁舎建設の周辺環境に伴う道路や水路等の基盤整備、現庁舎の解体工事、防災拠点機能、市民交流機能、備品購入、職員駐車場の確保に関する費用は含まれません)

<算定根拠>

- ① 床面積
国土交通省及び総務省の基準に基づき算出すると、約8,500～9,800㎡となります。ただし、防災拠点機能や市民交流機能はここに含まれません。
※今後、現庁舎の実態調査等により面積は増減する可能性があります。
- ② 床面積あたりの工事費
近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価は平均で約47万円、最大で約51万円です。
事例の工事時期から現在までに工事費は約1.27倍高騰していることから、
(約47～51万円) × 1.27 = 約60～65万円を想定します。

近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価

	完成	建物本体の工事費 ※	÷床面積	=床面積あたり工事費	(参考) 人口 (令和5年4月)
土岐市役所	R1	約40億円	9,703㎡	約41万円	55,514人
大垣市役所	R1	約104億円	20,806㎡	約50万円	158,676人
各務原市役所	R5	約76.9億円	16,238㎡	約47万円	145,311人
羽島市役所	R3	約49.4億円	9,706㎡	約51万円	66,729人

※市町村によっては、本体工事費に
地中熱設備や液状化対策工事などが含まれている

床面積あたり工事費： 平均値～最大値 約47～51万円/㎡
工事費高騰分（1.27倍）を見込み （約47～51万円） × 1.27 = 約60～65万円/㎡

- ③ 建物本体の工事費
①床面積の平均 × ②床面積あたり工事費より、概ね55～60億円の見込みとなります。

①床面積	×②床面積あたり工事費	=建物本体の工事費
9,150㎡	約60～65万円/㎡	約55～60億

立地適正化計画とは

- 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で、住宅と生活サービスに関連する医療、福祉、商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りながら、公共交通と連携したまちづくりを進めるものです。
- 現計画は2020～2040年の20年後を展望した計画です。5年をめどに見直します。

都市機能誘導区域とは

- 医療・福祉・商業などの都市機能を誘導・集約し、効率的な都市サービスの提供を図る区域です。
- 美濃加茂市では、美濃太田駅周辺、古井駅周辺、蜂屋南地区の3エリアを位置づけ、都市の活力（にぎわい・回遊性など）を向上させる機能を備えた都市拠点となることを目指しています。
- 現行の計画では、市役所は美濃太田駅周辺地区に誘導することとしています。
- 新庁舎を都市機能誘導区域外に建設する場合、立地適正化計画の変更・見直しの必要性を検討することとなり、多くの時間と労力がかかります。



図 都市機能誘導区域とそれぞれの誘導施設

都市計画区域とは

- 都市計画法に基づき、市街地を中心として、一つのまとまった都市として整備・開発または、保全する必要のある地域です。

用途地域とは

- 計画的な市街地を形成するために、建築できる建物の種類や用途の制限を定めた地域です。
- 美濃加茂市では、12の用途地域その他、特別用途地区（用途地域に重ねて地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護などの実現を図る地区）と特定用途制限地域（用途地域が定められていない区域の良好な環境を形成・保持するための区域）が指定されています。

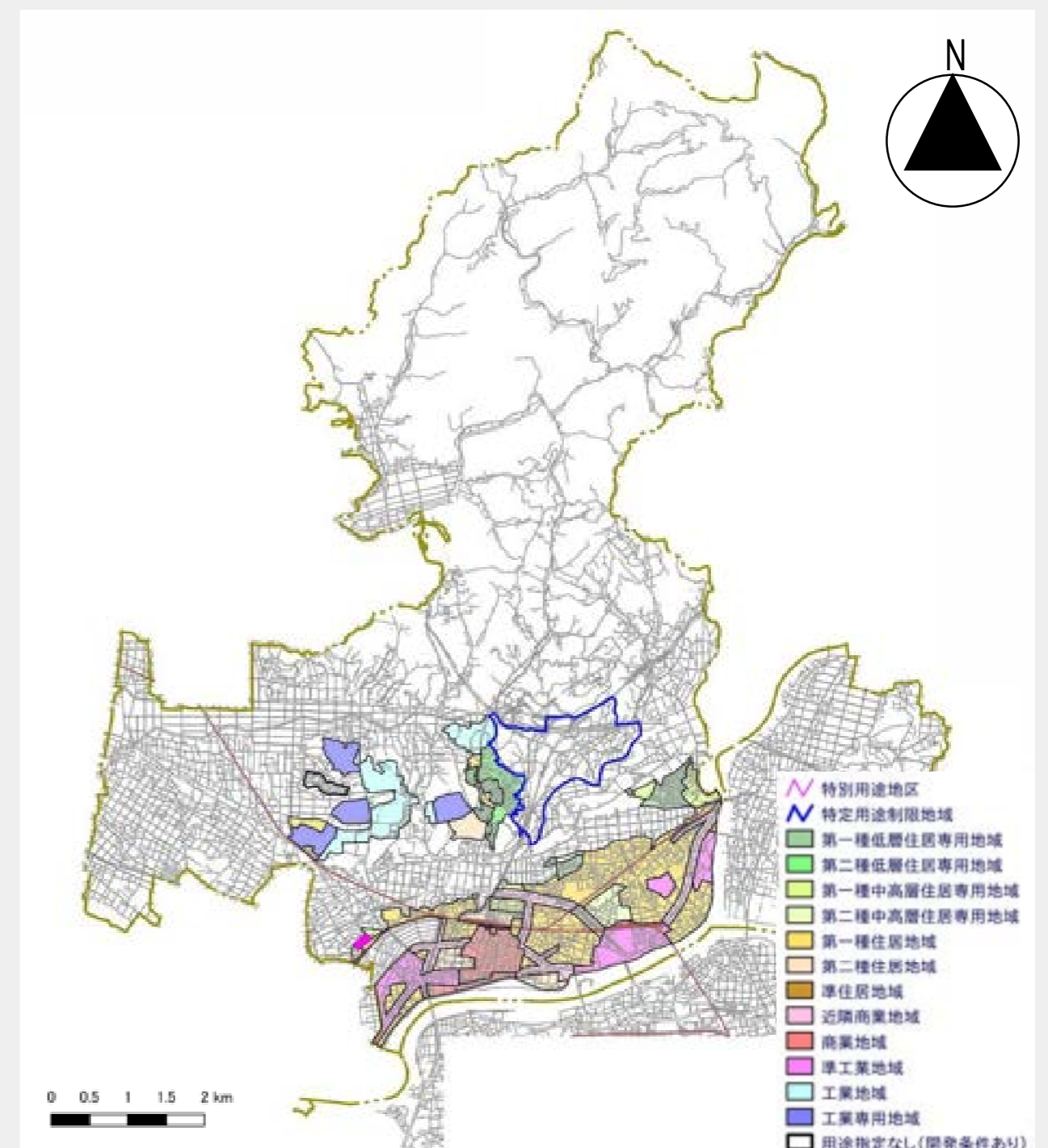


図 都市計画総括図

農業振興地域とは

- 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の振興を図るべき地域として都道府県知事が指定する地域です。

農用地区域とは

- 農業振興地域のうち、今後10年以上の長期にわたり農業上の利用を確保し、農業振興を図っていこうとする土地の区域です。
- 農用地区域に指定された土地は原則、農業上の用途以外に利用できません。
- 新庁舎を農用地区域に建設しようとする場合、一定の条件を満たしたうえで手続きを行う必要があります。

(4) 子育て世代対象ワークショップ

子育て世代対象ワークショップ 結果概要

テーマ:「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、市民ワークショップへの参加が難しかった子育て世代の方に向けて、託児も可能な市民ワークショップを開催しました。今回は、「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」をテーマに話し合いたくさんのご意見を頂きました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

- 日時:2024 年7月 10 日(水) 10:00~11:30
- 場所:みのかも健康プラザ研修室
- 参加人数:10 名
- 託児利用者数:4名

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ウォーミングアップ
お題:「情報提供に対する感想、今日に期待すること」
4. グループワーク
お題:「子育てにやさしい新庁舎の機能を考えよう」
5. 全体発表
6. おわりに



(3)参加者募集の概要

- 対象:小学生以下のお子さんをお持ちの方(夫婦での参加可)
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEB フォーム(QR コード)、電子メール)
- 申込期限:7月 2 日(火) 〆切
- 募集方法:市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市 LINE、美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)、すぐメールみのかも、新聞、子育て支援センターInstagram、ファミリーサポートセンターLINE、リオラ Instagram、保育園、小学校のメール

(4)事務局

美濃加茂市 総務部 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1)全体の傾向

ハード面に関する意見の傾向として、駐車場の歩道スペースを広くすることや移動のしやすさといった安全面、ワンフロアで手続きが完結でき、移動しなくてもよい窓口の配置、小さな子どもと一緒に連れて行くことができる託児スペースやキッズスペース、親同士や子ども同士の交流場所の整備といった意見が出されました。

ソフト面では、オンラインでスマホから手続きできるシステム、本庁舎で手続きや相談が全てできるよう整備してほしいといった相談機能の充実や窓口の集約に関する意見が出されました。

ハート面では、職員に話しかけやすい雰囲気づくり、子育て世代が安心して行ける雰囲気づくりといった職員に対する意見が出されました。

※ハード面:建物・設備等

ソフト面:利用方法・サポート等

ハート面:想い・考え方等

(2)全体の結果概要

①新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
食堂	ハード	食堂(定時は職員・市民、長期休暇は子どもに展開)	子ども食堂 休みの日に食事を作らなくても良い!		2
駐車場	ハード	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの大変。雨の日も、、、 立体駐車場あり! 駐車場からのアプローチ。不自由な人でも歩きやすいように		1
	ハード	歩いてすぐにつける駐車場(小さい子を連れて)	歩道のある駐車場		1
	ハード	ベビーカーが広がるスペース。道路が狭いと危ない			1
	ハード	屋根付きおもしろい駐車場あるといい			1
	ハード	授乳室は区切らず長イスで話せるように			1
ゆっくりできるスペース	ハード	子供と一緒にしてくれる(行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流も生まれるスペースが欲しい		1
	ハード	子供のころから親しめる	中庭アスレチック 小学生にあがった子と未就学児一緒に遊べる場所		1
	ハード	休憩できる場所	離乳食自販機		2
窓口	ハード	窓口も必要(プライバシーの観点から)	総合案内 ドライブスルー窓口		1
	ハード	ワンフロアで手続きできる			1
	ハード	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい			3
手続き	ソフト	スマホで家から手続きができる仕組み、QRコード化			1
他施設と併設	ハード	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)			2
バス、自転車	ハード	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、 目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい レンタルサイクルでも○		1
分庁舎	ハード	分庁舎は移動が大変1つにまとめてほしい			1
雰囲気づくり・声かけ	ハート	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ		3
部署の連携	ソフト	他部署同士連携してほしい			1
その他	ハード	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか? 子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい 電話も別になっている		1
	ハード	ベビーベッドが受付やブースの近くに欲しい	受付の待ち時間に子供というスペース		2
	ソフト	ネット予約待ち時間の表示			2

②新庁舎の機能(ハード)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
雰囲気づくり・声かけ	室内の明るさ(入ると何か不安になる)		
	どの窓口に相談したら良いかわかりやすく		
分散	子どもをみる時間があるので近い方が良い		
駐車場	駐車場が広い	車幅が狭いとあぶない	
	屋根付きおもしろい駐車場あるといい	ベビーカーも安心	
託児	託児所のある市役所ってあるのかな？保育士さんがいてくれるといい	ファミサポ的な機能	
		託児の機能のある市役所	
他施設と併設	図書館がとなりにある	本が好きな子どもや大人がつどいやすい	
		ついでに市役所に行ける	
	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)		
窓口	窓口も必要(プライバシーの観点から)	総合案内	
		ドライブスルー窓口	
	ワンフロアで手続きできる		
	明るい場所にして欲しい		
	移動が楽。バリアフリー窓口から窓口	窓口は1つで役所側が動くが良い！	
	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい		
情報発信	市のイベントなどの情報がまとまっているスペース		
受付環境	キッズスペース		
	荷物置き場		
	ベビーベッドが受付やブースの近くに欲しい	受付の待ち時間に子供というスペース	
子どもを連れていきやすい	小さな子どもを連れて行きやすい庁舎(託児、少しさわがしくても気にせずいられるなど)		
	託児ができる		
	子どもによっては預けられない子がいる	子どもも大人の話も聞いている、子どもに聞かせたくない話もある(遊び場があれば、気をまぎらわせる)	
休憩	休憩できるところ	離乳食自販機	
	コミュニティの場になる		
	ショッピングモールにある子どもを遊ばせながら休憩できる場所		
	子どもを見ながらや、テーブルを使いたいときに、座れるところなどいろいろできるところがあるといい		
ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインもとり入れつつ、おしゃれな外観、内観が行きたくなる庁舎にしたい		
	庁内雰囲気、課ごとに違っていいと思います		
	子ども向けの課は明るい雰囲気にするとか		

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
ゆっくりできるスペース	授乳室は区切らず長イスで話せるように		
	託児スペース(手続き中に一時的)	授乳室のサイズはワンフロアに大きく、子どものスペースをつくるのもあり	
	子供が一緒に行ってくれる(行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流も生まれるスペースが欲しい	
	子供のころから親しめる	中庭アスレチック 小学生にあがった子と未就学児一緒に遊べる場所	
分庁舎	分庁舎は移動が大変 1つにまとめてほしい		
バス、自転車	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い	
		バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、	
		目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい	
		レンタルサイクルでも○	
駐車場	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの大変。雨の日も、、、	
		立体駐車場あり！	
		駐車場からのアプローチ。不自由な人でも歩きやすいように	
	入り口が分かりやすい		
	駐車場危なくないように		
	歩いてすぐにつける駐車場(小さい子を連れて)	歩道のある駐車場	
食堂	食堂(定時は職員・市民、長期休暇は子どもに展開)	子ども食堂	
		休みの日に食事を作らなくても良い！	
その他	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか？子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい	
		電話も別になっている	
	通路はベビーカーを引きながらすれちがうことができるといい	出かける前に時間がかかる(トイレ、ぐずるなど) 子供を連れて移動が大変	
		市役所に来るまでが大変	

③新庁舎の機能(ソフト)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
窓口	市役所に行くことを最低限にして欲しい		
ソフト	スマホで家から手続きができる仕組み、QRコード化		
	学生たち向け情報配信		
交流	親同士の交流、相談		
ユニバーサルデザイン	子ども向け(子ども課)来庁者向けの設備(タブレット、動画視聴できると子供もあきない。おもちゃだと衛生的管理もあるので)		
バス、自転車			あい愛バスに自転車を乗せれるようにしてほしい
雰囲気づくり・声かけ	窓口の職員が他の人を対応しているときに、案内してくれる人がいると良い		
部署の連携	他部署同士連携してほしい		
受付環境	子連れで落ち着いて話せる環境		
休憩	テーブル(休憩用)		
分庁舎	本庁舎で手続き相談等すべてできる		
情報発信	市の情報が届かない、受け取ることができない(忙しい、気にとまらない)		
	保育園など小、中、高の子どものお母さんなど対象者別に情報発信をしてほしい		
その他	離乳食を販売している		
	ウォーターサーバー		

④新庁舎の機能(ハート)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	
雰囲気づくり・声かけ	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ	
	入り口に入るとすぐに声かけてもらえるとうれしい		
ハート	子どもに「しー」と言われなくてもよい雰囲気	子育て世代が安心していける雰囲気	

(3)グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの 貼られた 枚数
食堂	ハード	食堂(定時は職員・市民、長期 休暇は子どもに展開)	子ども食堂 休みの日に食事を作らなくても 良い!		2
駐車場	ハード	安全な駐車場	駐車場が広いと入口を探すの 大変。雨の日も、 立体駐車場あり!		1
	ハード	入り口が分かりやすい	駐車場からのアプローチ。不 自由な人でも歩きやすいよう に		
ゆっくりできる スペース	ハード	授乳室は区切らず長イスで話 せるように			1
	ハード	託児スペース(手続き中に一 時的)	授乳室のサイズはワンフロア に大きく、子どものスペース をつくるのもあり		
	ハード	子供が一緒に行ってくれる (行きやすい場所)	ゆっくりくつろぎながら交流 も生まれるスペースが欲しい		1
	ハード	子供のころから親しめる	中庭アスレチック 小学生にあがった子と未就学 児一緒に遊べる場所		1
窓口	ハード	窓口も必要(プライバシーの 観点から)	総合案内 ドライブスルー窓口		1
	ハード	ワンフロアで手続きできる			1
	ハード	明るい場所にして欲しい			
	ソフト	市役所に行くことを最低限に して欲しい			
ソフト	ソフト	スマホで家から手続きができ る仕組み、QRコード化			1
	ソフト	学生たち向け情報配信			
	ハート	今の子供たちが美濃加茂市に 住みたいと思ってもらえる様 に			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの 貼られた 枚数
交流	ソフト	親同士の交流、相談			
	ハート	職員と市民が友になれる	相談しやすい関係に		

■B 班

1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
ユニバーサルデザイン	ハード	ユニバーサルデザインもとり入れつつ、おしゃれな外観、内観が行きたくなる庁舎にしたい			
	ハード	庁内雰囲気、課ごとに違っていいと思います			
	ハード	子ども向けの課は明るい雰囲気にするとか			
	ソフト	子ども向け(子ども課)来庁者向けの設備(タブレット、動画視聴できると子供もあきない。おもちゃだと衛生的管理もあるので)			
他施設と併設	ハード	図書館がとなりにある	本が好きな子どもや大人がつどいやすい ついでに市役所に行ける		
	ハード	児童館まではいかなくても、子どもたちが下校後遊びに行ける場所(子どもと市役所を結びつける)			2
駐車場	ハード	駐車場が広い	車幅が狭いと危ない ベビーカーも安心		
	ハード	屋根付きおもしろい駐車場あるといい			1
子どもを連れていきやすい	ハード	小さな子どもを連れて行きやすい庁舎(託児、少しさわがしくても気にせずいられるなど)			
	ハード	託児ができる			
	ハード	子どもによっては預けられない子がいる	子どもも大人の話聞いてる、子どもに聞かせたくない話もある(遊び場があれば、気をまぎらわせる)		
バス、自転車	ハード	車以外の移動手段で行きやすい	あい愛バスが通るところが良い		1
			バス停に駐車場が無い。スペースも無さそう、、、		
			目的地とバス停に距離があるので自転車を持っていきたい		
			レンタルサイクルでも○		

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの 貼られた 枚数
	ソフト			あい愛バスに自転車を乗せれるようにしてほしい	
窓口	ハード	移動が楽。バリアフリー窓口から窓口	窓口は1つで役所側が動くといい！		
	ハード	窓口1つでいくつも申請、相談できる窓口があるといい			3
雰囲気づくり・声かけ	ハード	室内の明るさ(入ると何か不安になる)			
	ハート	訪れた時に話しかけやすい雰囲気づくり	職員側からも声かけ		3
	ハード	どの窓口に相談したら良いかわかりやすく			
	ハート	入り口に入るとすぐに声かけてもらえるとうれしい			
	ソフト	窓口の職員が他の人を対応しているときに、案内してくれる人がいると良い			
部署の連携	その他	保健師さんが家に来てくれる日とポイントを受けるための面談の日程がかぶっていた			
	ソフト	他部署同士連携してほしい			1
分散	ハード	子どもをみる時間があるので近い方が良い			
	その他			三和交流センターでできる手続きが増えてほしい	
その他	ハード	新庁舎はすべての課がひとつの建物に入るのですか？子ども子育て関係の課は今のままですか	健康プラザなのか市役所なのか分かりづらい 電話も別になっている		1
	その他			働いていなくてもはいれる幼稚園増やしてほしい、、、(近くの幼稚園に入れなかった)	

■C 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの 貼られた 枚数
駐車場	ハード	駐車場危なくないように			
	ハード	歩いてすぐにつける駐車場 (小さい子を連れて)	歩道のある駐車場		1
	ハード	ベビーカーが広がるスペース。 道路が狭いと危ない			1
受付環境	ハード	キッズスペース			
	ハード	荷物置き場			
	ソフト	子連れで落ち着いて話せる環境			
	ハード	ベビーベッドが受付やブース の近くに欲しい	受付の待ち時間に子供という スペース		2
	ソフト	ネット予約待ち時間の表示			2
休憩	ハード	休憩できる場所	離乳食自販機		2
	ハード	コミュニティーの場になる			
	ハード	ショッピングモールにある子どもを遊ばせながら休憩できる場所			
	ハード	子どもを見ながら、テーブルを使いたいときに、座れるところなどいろいろできるところがあるといい			
	ソフト	テーブル(休憩用)			
ハート	ハート	子どもに「しー」と言われなくてもよい雰囲気	子育て世代が安心していける雰囲気		
分庁舎	ソフト	本庁舎で手続き相談等すべてできる			
	ハード	分庁舎は移動が大変 1つにまとめてほしい			1
情報発信	ソフト	市の情報が届かない、受け取ることができない(忙しい、気にとまらない)			
	ソフト	保育園など小、中、高の子どものお母さんなど対象者別に情報発信をしてほしい			
	ハード	市のイベントなどの情報がまとまっているスペース			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの 貼られた 枚数
託児	ハード	託児所のある市役所ってある のかな？保育士さんがいてく れるといい	ファミサポ的な機能		
	ハード		託児の機能のある市役所		
その他	ソフト	離乳食を販売している			
	ソフト	ウォーターサーバー			
	ハード	通路はベビーカーを引きなが らすれちがうことができると いい	出かける前に時間がかかる (トイレ、ぐずるなど) 子供を連れて移動が大変		
			市役所に来るまでが大変		

子育て世代ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

令和5年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった現在子育て中の方々に、「子育てにやさしい新庁舎の機能」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

② テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード（建物・設備等）に関することを主なテーマとする。ソフト（利用方法・サポート等）、ハート（想い・考え方等）に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③ 対象

子育て世代 10名

④ 実施日時

2024年7月10日（水）10：00～11：30

⑤ 実施場所

みのかも健康プラザ研修室

⑥ アンケート回収状況

8件 回収（紙：2件、Google フォーム：6件（7月17日ㄞ））

2. アンケート結果

問1. 本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=8】
満足	6
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	0
合計	8

問2. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

	回答者数【N=8】
美濃加茂市ホームページ	1
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	0
美濃加茂市 LINE	2
美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)	0
すぐメールみのかも	3
新聞	0
子育て支援センターInstagram	0
ファミリーサポートセンターLINE	1
リオラ Instagram	1
保育園・小学校のメール	2
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	2
所属団体からの呼びかけ	1
未回答	0
合計	13

問3. 本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

- 市役所が手続きだけでなく、コミュニティの場にもできないかという意見もあり、人が集まれる機能もできるといいと思いました。他の世代の意見も知りたいです。
- 候補地が4箇所に絞られたということ。
- 市役所や市長に任せるのではなく、市民自ら声を上げ、市政の方向を認知することが大切だと再認識した。
- 新しくなるといいなと思った
- 新庁舎整備にあたって様々な世代の市民の意見を反映しようと努力されていると感じました。
- 移設場所の候補、まだ決め兼ねている
- より多くの市民に新庁舎整備に関心を持ってもらって、意見や要望を出してもらいたいけど、関心を高めることが課題なのかなと感じました。オンラインで済む手続きはオンラインにして、市役所窓口は相談に行く場所、とか、各課の窓口に移動して手続きするのではなくて一つの窓口で済ませられるようにするとか、これまでの市役所を前提にしていとは思いつかないことで新鮮に感じました。
- いろんな方みえますが、子育て世代の意識、重要だと思う。いろんな意見がきけてよかった

問4. 言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

- この町に住んで良かった、これがあるからこの町に引越した、この制度があるから…と他市町村と比べて人は移動すると思います。現時点の美濃加茂市は子育てに特化した法律制度や施設は他市町村に比べて少ないと思います。未来の市政を運営するためには、子育て世代がすみやすい魅力ある町づくりが必要だと思います。子育て世代が魅力を感じる町にするためにも、その魅力を新庁舎に詰め込んでも良いと思います。
大垣市や各務原市、本巣市、他にもあると思いますが、どの新庁舎も同じような配置図で子育て世代に関しての大きな改革はしてないように感じました。他市町村との違いを出すためにも、その点において美濃加茂市の新庁舎は切り込んで欲しいです。
例えば
1フロア全て子育て関連施設にする。
 - ・未就学児～小学生が遊べる空間を設ける（屋内遊具施設）
 - ・食堂（職員や市民、子どもは格安でご飯が食べられる空間）
 - ・市長の話の中にも、子育て施設を新庁舎に作るのか、別のところにつくるのかという話もありました。他の施設を作ろうとしても、また時間とお金がかかるので、確実に建設予定の新庁舎に子育てに対して特化した施設を作って欲しいです。

- 新庁舎整備とは離れますが、各自治会と市との連携や運営に対してもっとうまく繋がれると良いなと思っています。2年前自治会の班長をしましたが、災害時支援が必要な家庭のリストには独居老人のことしか書いておらず、他にも障がいのある子どものいる家庭や小さい子どものいる家庭など、地域住民の情報がもっとあると良いなと思いました。同じ自治会の発達障がいの子供をもつ方は様々な支援を受けたり、消防にも連絡していたにも関わらず、自治会には情報提供されていませんでした。
- 託児を利用してまで参加してくださった方に感謝。自家用車がなくてもアクセスしやすいようにお願いします。
- 場所について。

問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

- 進行状況を詳しく知っていく機会がほしい

問 6. 美濃加茂市は令和 6 年 2 月に子育て支援に関するアンケートを実施いたしました。その結果、子ども教室の実施について、特に学習支援や運動指導などの取り組みで利用したいという意見が多く寄せられました。

学習支援や運動指導の取り組みについて、具体的に期待する内容やご意見がございましたら、自由にご記入ください。

【学習支援】

- 夏休みの宿題を教えてもらえたり、前学期でわからなかったところの復習
- ソロバン教室、英語教室、プログラミング習い事のようなことができる
- ネイチャー体験。蜂屋小など山に隣接しているところは、昆虫や草花などの観察する。学校ごとで特色を出す
- 日本の伝統文化、茶道、書道、花道
- 同級生だけでなく上下のお友達とかかわれるプログラムがあるといいです。
- 小学校で学んだ勉強の復習（親だと素直に話を聞いてくれないので、こういったのでやってもらえるとありがたいなと思います）
- 必要だと思う。特に子供は休みでも親が仕事という場合もあるので、市の施設で行っていただけると安心感がある。
- 利用しやすい場所や日程で実施があれば参加したいです。

【運動指導】

- ダンス、マット体操、レクリエーション、球技、走り方教室
- 部活動のような感じで取り組めるといいなと思います。
- スポーツではなく、運動習慣に繋がりそうなストレッチや筋トレ。勝ち負けのあるスポーツは苦手でも、ストレッチや筋トレならみんなでするのも楽しいという子いるのではと思います。一緒に食事バランスのことも学べると過度なダイエットなどへの対策にもなるのかなと思います。みんなで体育館でだるまさんがころんだとかでも楽しめるかとも思います。
- 学区外の友達とも交流できるのはとても良い
- 逆上がりや縄跳びなど苦手なことにも楽しく取り組めると良いと思います。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。



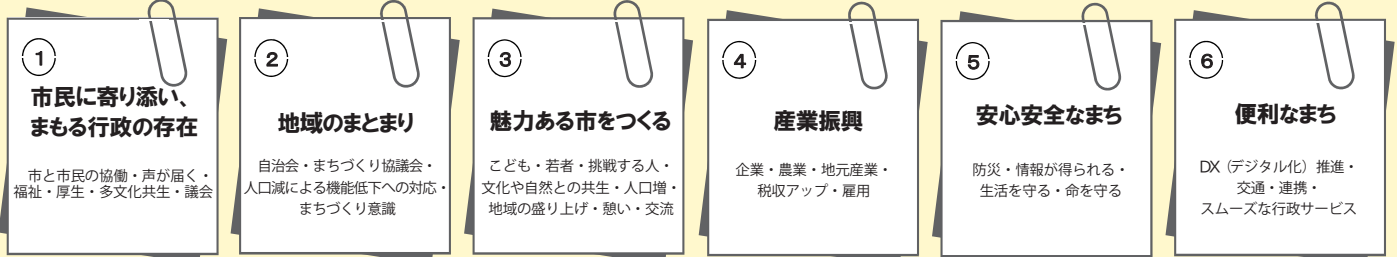
市の役割について（STEP1）

第1回市民ワークショップ(令和5年7月)は「10年後の市の役割」をテーマに行いました。これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- ① 安心安全なまちづくりをする存在であること
- ② こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・



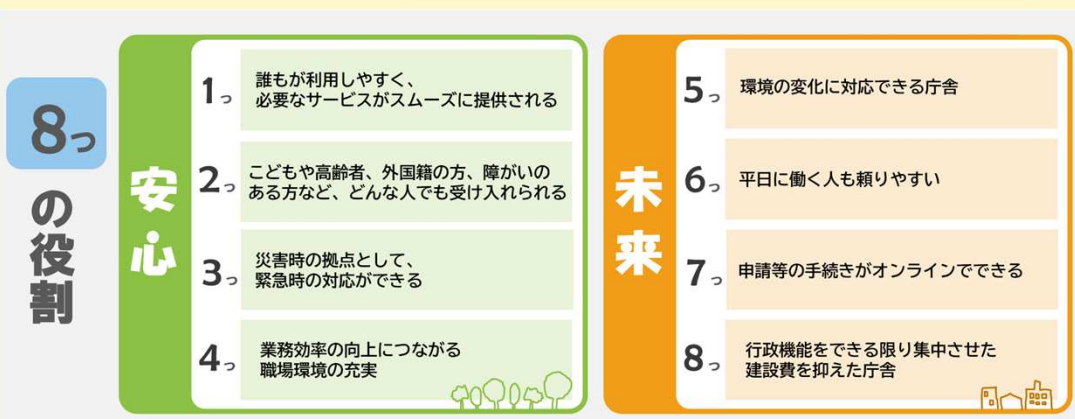
新庁舎の役割・コンセプトの決定（STEP2, 3）

第2回市民ワークショップ(令和5年9月)のご意見や1,500人市民アンケート(令和5年11月)の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept
新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

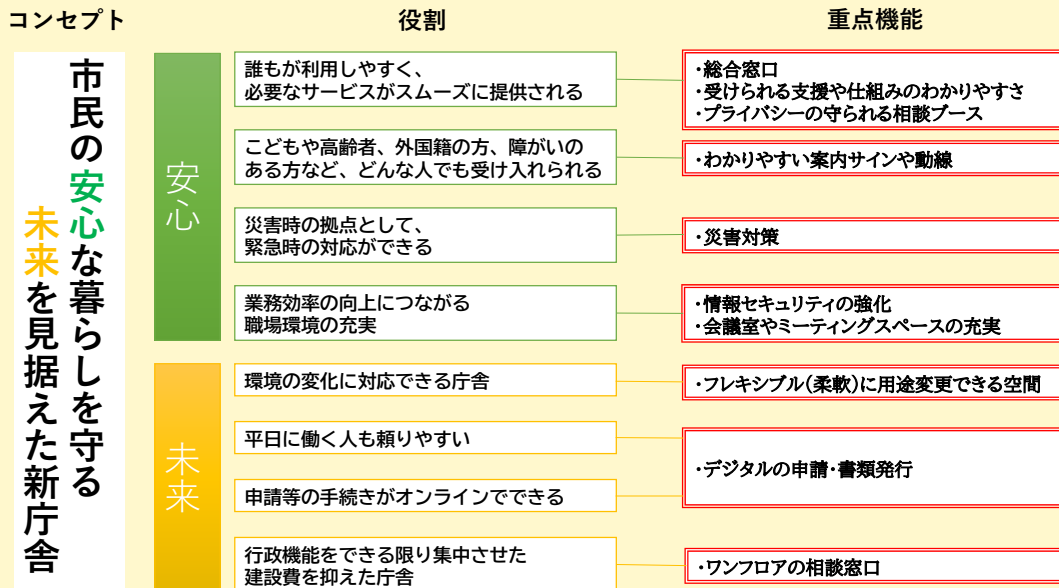
未来を見据えた新庁舎



新庁舎の機能決定 (STEP4)

第3回市民ワークショップ(令和5年12月)のご意見や4,000人市民アンケート(令和6年2月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度(重要度)の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ



新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1~10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1~9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で十分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！



新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochosha.jp>

発行者:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



みんなの新庁舎
ポータルサイト

これまでのワークショップで出た機能の例

総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、ワンストップ(1つの窓口)だけで手続きが完結させることができ、利用者の移動負担を軽減できる。



プライバシーに配慮した窓口

パーテーションや半個室の相談ブースを設けることで、相談者のプライバシーを守りながら相談や手続きができる。



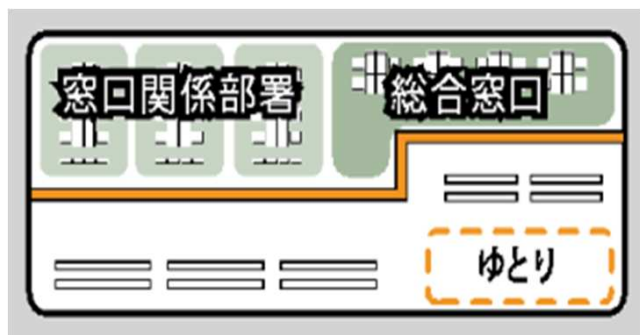
ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、お子様連れの方など多様な方に配慮した、だれもが安心して利用できる分かりやすいデザインとする。



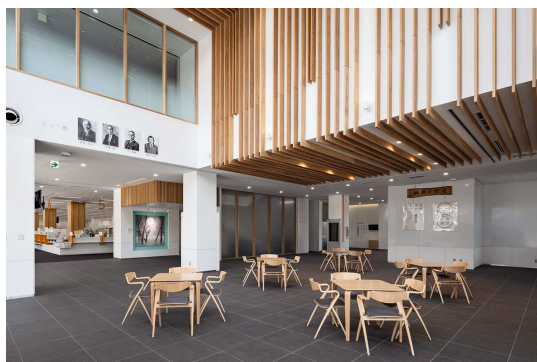
ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに集約し、来庁者の移動を少なくして、利便性の向上を図る。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを目指して、庁舎内に市民が集い、交わる市民交流スペースを設置。



市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の特産物、特産品のPR及び購入をしたり市政情報を得る場となる。



～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。



授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。



～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。



デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。



～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）



バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場の設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。



(5) 外国人市民対象ワークショップ

外国人市民対象ワークショップ 結果概要

テーマ:「こんな市役所だったらいいな」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各STEPに基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、市民ワークショップへの参加が難しかった外国人市民の方に向けて市民ワークショップを開催しました。今回は、「こんな市役所だったらいいな」をテーマに話し合い、たくさんのご意見を頂きました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

- 日時:2024年7月27日(土)15:00~16:30
- 場所:生涯学習センター202
- 参加人数:13名(ブラジル、フィリピン、ベトナムなど)

グループワーク

テーマ:「こんな市役所だったらいいな」

①個人で意見を書き出す



②グループで共有



③まとめ



④全体発表



(2)開催内容

1. あいさつ

2. 情報提供

3. ウォーミングアップ

お題:「自己紹介、情報提供に対する感想」

4. グループワーク

お題:「こんな市役所だったらいいな」

5. 全体発表

6. おわりに

(3)参加者募集の概要

- 対象:美濃加茂市に住んでいる又は働いている中学生以上の外国人市民
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(電話、WEBフォーム(QRコード)、電子メール)
- 申込期限:7月19日(金)〆切
- 募集方法:市HPへの掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市LINE、美濃加茂市SNS(Instagram、Facebook)、外国人向け広報、多文化共生Instagram、多文化共生Facebook、派遣会社へのチラシ配布

(4)事務局

美濃加茂市 総務部 新庁舎整備推進課

2. 結果の概要

(1) 全体の傾向

ハード面に関する意見として、複雑で多種多様な手続きを要する市役所において、外国人の方がより分かりやすく手続きを行えるように総合窓口やワンストップ窓口の設置をしてほしいという意見が多く出されました。また、外国人の方が日本語や日本文化について学んだり、日本人との交流スペースを求める意見も全体として出ています。

ソフト面では、窓口での多言語対応のための翻訳機やタブレットの設置の他、災害放送や市からの情報など必要な情報が現状として届いていない、あるいは多言語対応されていないことへの不安の声が上がり、安心して暮らすために整えて欲しいという意見が出されました。

ハード面では、多国籍の人が住む美濃加茂市だからこそ、それぞれの文化を理解し、配慮して欲しいといった意見が出されました。

全体を通して、現状の問題や課題を踏まえた上で、より分かりやすい案内や窓口対応、安心して暮らすための設備の見直しといった意見が多く出されました。

※ハード面:建物・設備等

ソフト面:利用方法・サポート等

ハード面:思い・考え方等

(2) 全体の結果概要

① 新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリ	ハード: 緑 ソフト: 水色 ハード: ピンク その他: オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
総合案内	ハード	総合受付がほしい	どこに何があるかわからない		6
	ハード		1つの建物に集めてほしい		
災害	ソフト	さいがいほうそう、日本語わからない	あとから見れるアプリがあるけどみんな知らない		1
	ソフト		災害についてわからない。どんな準備?どんな被害?		
	ソフト		がいこくじんむけせみナー外国人向けセミナーあるけど、参加する人が限られている		
つながり	その他	市民のなかでリーダーをつくる	じちかい、つな自治会と繋がる		2
ぜいきん税金の仕組み	ソフト	ほけん、ぜいきん、かつこく保険。税金。各国の	せいかつ、るーる、そとくに生活のルール。外国との税の仕組みの違いを説明		1
じょうほうはつしん情報発信	ソフト	みのかもし美濃加茂市に、はじめて来たがいこくじん、にほんじん、ふく外国人(日本人も含む)に市のルールを伝える場所	し、るーるをしっかりと伝える		3
	ソフト	こくさいこうりゅう国際交流の拠点となる場所。そこには外国人が気軽に立ちよれ、相談ができる。又、他の外国人、団体とも連携がとれるための席もあると良い			
	ソフト	けいばん、じゆう、りよう掲示版(自由に利用できるもの)。コミュニティ。自営業者の紹介			
	ソフト	しゃくしょ、こうりゅう市役所から交流する場がほしい(ボランティア等)			
	ソフト	こみゅにけーしょんコミュニケーションをとりたい。日本を理解していく場			
	ソフト	Facebook、LINE などコミュニケーション			
	ソフト	ぽーたるとさいとポータルサイトが古い	いんすたぐらむもたくさん更新してほしい		4

カテゴリ	ハード: 緑 ソフト: 水色 ハード: ピンク その他: オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーる の貼られた枚数
まどぐち 窓口の てつづ 手続き	ソフト	がいにくじん 外国人の課を訪れる人は、日中に働いている人が多いので開庁時間の拡張	まどぐち じかん かくちよう 窓口の時間の拡張。 どにち かいちよう 土日の開庁		2
	ソフト	てんにゆう てんしゅつ 転入・転出。 ぜいきんてつづ 税金手続き	わんぷろあ てつづ ワンフロアで手続きできる		
しせつ せつび 施設・設備	ハード	おくじよう れすとらん かふえ 屋上にレストラン・カフェ			2
つうやく 通訳・やさしい日本語	ソフト	さいん ちゆうしやじよう くるま サイン(駐車場や車いすなど)	やさしい にほんご やさしい日本語が良い		2
	ソフト	30 か国のひとに つうやく 対応するのは難しい			
こどもすべーす 子供スペース	ハード	おや てつづ 親が手続きをしているとき、子どもがあそべるスペース			2
	ハード	3才以下の子どもを見てくれる場所			
	ハード	てつづ 手続きのときに子どもが待てるスペース			
まどぐち 窓口	ハード	わんすとつ まどぐち あたら ワンストップ 窓口を新しい市役所に。			1
	ソフト	翻訳用タブレットの調子によって話が伝わらないことがある			1
	ソフト	びようき せつめい むずか 病気の説明が難しい			1
	ソフト	さいがいじ ひなんじようほう 災害時に避難情報を早く提示してほしい			1
	ソフト	そうだん おお ぶしは つうやく 相談の多い部署に通訳の職員を固めて配置してほしい			1
	ソフト	ごみ ぶんべつ ゴミの分別をわかりやすく			1
がいにく ぶんか 外国の文化	ソフト	にほん しみん がいにくしみん 日本の市民と外国市民が交流できる機会			1
	ハード	がいにくじん ぶんか りかい 外国人の文化を理解し、配慮してほしい。			1
	ハード	がいにくせき しみん にほんご 外国籍の市民が日本語・文化を学べる場所。日本のみなさんも他の国のことにふれあえるところがあると良いです。			2

かてごり二 カテゴリー	は二ど みどり ハード: 緑 そふと: みずいろ ソフト: 水色 は二ど: ピンク ハート: ピンク その他: オレンジ	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけだし意見	その他	あかしーる 赤シール は の貼られ まいすう た枚数
じどうほいく 児童保育	そふと ソフト	にんかがいまいくえん しやくしよ 認可外保育園に市役所か ほいくし しょうかい しえん ら保育士を紹 介・支援し てほしい			2

②新庁舎の機能（ハード）

かてごりー カテゴリー	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたし意見	その他
そうごうあんない 総合案内	そうごうけつけ 総合受付がほしい	どこに何があるかわからない	
		1つの建物に集めてほしい	
わかりやすい窓口案内 まどぐちあんない	ぶらいばしー ブライバシー		
こども	こども 子供のあそび場	まなか 真ん中あたりにあったらいい	
		えほんとかあそべるスペース	
つながり	ふあみりーれすとらん かふえ ファミリ－レストランかカフェがあり、職員と市民も気楽にできる場所		
しせつ せつび 施設・設備	こいんろっかー コインロッカー		
	しやくいん しみん つか しむ 職員・市民の使えるジム		
	おきょう れすとらん かふえ 屋上にレストラン・カフェ		
こどもスペース 子供スペース	おや てつづ 親が手続きをしているとき、子どもがあそべるスペース		
	さいいか こ み 3才以下の子どもを見られる場所		
	てつづ 手続きのときに子どもが待てるスペース		
まどぐち 窓口	わんす とつぶ まどぐち あたら ワンストップ窓口を新しい市役所に		
	ゆったり すごせる まちあい かんきょう ゆったり過ごせる待合環境		
がいこく ぶんか 外国の文化	がいこく てんじかい ひら こうりゅう 外国の展示会を開いて交流する場所		
	いろいろな くに ぶんか もの てんじ いろいろな国の文化や物を展示できるスペース		
	しやくしよ し 市役所からも知ってほしい事を伝えられる場所		
	がいこく せき しみん にほんご ぶんか 外国籍の市民が日本語・文化を学べる場所。日本のみなさんも他の国のことにふれあえるところがあると良いです。		
じどうほいく 児童保育	こそだ はいりよ かんきょう 子育てに配慮した環境		
その他	しんりょうじよ 診療所	しみん はな 市民とちゃんと話してくれる びょういん 病院	

③新庁舎の機能(ソフト)

かてごりー カテゴリー	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたし意見	その他
わかりやすい窓口案内 まどぐちあんない	そうだんいん なに 相談員。何をしたいか聞いてく れる人がいてくれるといい	ちか かの課とのつながり	
		まどぐち ひと すうねん かん 窓口の人、数年で変わってしまう	
こ 混まないように	しみん かん こ 市民課が混まないために用紙に きこゆう 記入するのではなく、機械化して ほしい	ねっと ネットからでも手続きができる	
		こんびに しよるい と コンビニからでも書類が取れるこ とをみんなにどう伝えるか	
はつしん 発信	ぽーたるとさいと がふり ポータルサイトが古い	いんすたぐらむ もたくさん かいしん インスタグラムもたくさん更新して ほしい	
さいがい 災害	さいがいほうそう にほんご 災害放送、日本語わからない	あとからみれる あぶりがああるけどみ んな知らない	
		さいがい 災害についてわからない。どんな じゆんび 準備？どんな被害？	
		がいこくじんむけせみナーあるけど、さんか 外国人向けセミナーあるけど、参加 する人 限られている	
ぜいきん しく 税金の仕組み	ほけん ぜいきん かつこく 保険。税金。各国の	せいかつ るーる そと くに ぜい 生活のルール。外国との税 の仕組みの違いを説明	
じょうほうはつしん 情報発信	みの かもし 美濃加茂市に、はじめて来た がいこくじん にほんじん かく 外国人(日本人も含む)に市の ルールを伝える場所	し るーる をしっかり づたえる 市のルールをしっかりと伝える	
	こくさいこうりゆう きよてん 国際交流の拠点となる ばしょ。そこには外 国 人が気軽に たちよれ、相談ができる。又、他 の外 国 人、団体とも連携がと れるための席もあると良い		
	はいじばん (じゆうにりよう できる もの)。 こみゆにていー じえいきようしゃ 掲示板(自由に利用できる物)。 コミュニティー。自 営 業 者 の 紹 介		
	しやくしよ こうりゆう ば 市役所から交流する場がほしい (ボランティア等)		
	こみゆにけーしよん コミュニケーションをとりたい。 にほん りかい ば 日本を理解していく場		
	Facebook、LINE など こみゆにけーしよん コミュニケーション		
まどぐち てつづ 窓口の手続き	がいこくじん かん 外国人の課を訪れる人は、日中 に働いている人が多いので かいちようじかん かくちよう 開庁時間 の拡張	まどぐち じかん かくちよう どにち 窓口の時間の拡張。土日の 開庁	
	てんにゆう てんしゆつ ぜいきんてつづ 転入・転出。税金手続き	わんぷろあ てつづ ワンフロアで手続きができる	
つうやく 通訳・やさしい日本語	さいん ちゆうしゃじよう サイン(駐車場)	やさしい にほんご よ やさしい日本語が良い	
	30 か国の人に通訳で対応す るのは 難 しい		

かてごりー カテゴリー	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたし意見	その他
もどぐち 窓口	ほんやくようたぶれつと ちようし 翻訳用タブレットの調子によつて話 が伝わらないことがある		
	びようき せつめい むずか 病気の説明が難しい		
	しょう がい の しゅるいべつ まどぐち わ 障がいの種類別に窓口を分けて、わかりやすく、話しやすくしてほしい		
	さいがいに ひなんじようほう はや 災害時に避難情報を早く提示してほしい		
	そうだん おお ぶしよ つうやく 相談の多い部署に通訳の職員を固めて配置してほしい		
	はな ことば 話す言葉によってブースを分けてほしい		
	ごみ ぶんべつ ゴミの分別をわかりやすく		
	もっと あか ふんいき がある しやくしよ もっと明るい雰囲気がある市役所が良いと思います。		
がいこく ぶんか 外国の文化	にほん しみん がいこくしみん こうりゆう 日本の市民と外国市民が交流できる機会		
じどうほいく 児童保育	にんかがいほいくえん しやくしよ 認可外保育園に市役所からほいくし しょうがい しえん 保育士を紹介・支援してほしい		

④新庁舎の機能(ハート)

かてごりー カテゴリー	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたし意見	その他
がいこく ぶんか 外国の文化	がいこくじん ぶんか りかい はいりよ 外国人の文化を理解し、配慮してほしい。		

⑤新庁舎の機能(その他)

かてごりー カテゴリー	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたし意見	その他
つながり	しみん 市民のなかでリーダーをつくる	じちかい つな 自治会と繋がる	
その他	じぎょうたちあげ 事業立上コンサルタント	どんな じゅんび ひつよう 準備が必要→ しみん わ ひと 市民に分かってる人がいるといい	

(3)グループごとの結果の概要

■A班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能 (まとめ)

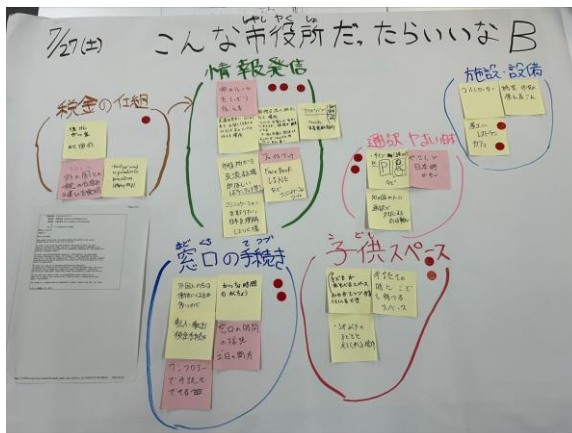
※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

かてごりー	ハート:みどり ソフト:みずいろ ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーるの 貼られた 枚数
総合案内	ハート ハート	総合受付がほしい	どこに何があるかわからない 1つの建物に機能を集めてほしい		6
わかりやすい 窓口案内	ソフト ソフト ハート	相談員。何をしたいか聞いてくれる人がいてくれるといい	近くの課とのつながり まどぐちひと、すねんかわってしまう	つうやくひとやくわりしごと 通訳の人の役割と仕事(業務)の範囲	
混まないように	ソフト ソフト	市民課が混まないために用紙に記入するのはなく、機械化してほしい	ネットからでも手続きができる コンビニからでも書類がとれることをみんなにどう伝えるか		
発信	ソフト	ポータルサイトが古い	インスタグラムもたくさん更新してほしい		4
災害	ソフト ソフト ソフト	災害放送、日本語ではわからない	あとからみえるアプリがあるけどみんな知らない 災害についてわからない。どんな準備?どんな被害? がいこくじんむけせみなー外国人向けセミナーがあるけど、参加する人が限られている		1
子ども	ハート ハート	子どものあそび場	真ん中あたりにあそび場 えほんとかあそべるスペース		

かてごりニ カテゴリー	はーど: みどり ソフト: 水色 はーど: ピンク その他: オレンジ	しゅみん いけん 市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーる 赤シールの は 貼られた まいすう 枚数
つながり	その他	しゅみん リーダー 市民のなかでリーダーをつくる	じちかい つな 自治会と繋がる		2
	はーど	ふぁみりーれすとらんか ファミリーレストランか かふゑがあり、しゅくいん カフェがあり、職員と しゅみん きらくす 市民も気楽に過ごせる場所			
その他	はーど	しんりょうじょ 診療所	しゅみん はな 市民とちゃんと話してくれ る病院		
	その他	じぎょうたちあげ 事業立上コンサルタント	じゅんび ひつよう どんな準備が必要→ しゅみん わ 市民に分かってる人がい るといい		

■B班

1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能 (まとめ)

※大事なと思うところに 1人3枚赤シールを貼付。

かてごりー	はニド: みどり ソフト: みずいろ ハート: ピンク その他: オレンジ	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーる 赤シールの 貼られた まいすう 枚 数
ぜいきん の 仕組み	ソフト	保険。税金。各国の	ぜいかつ のルール。そのとくに 生活のルール。外と の税の仕組みの違いを 説明		1
じょうほうはつん 情報発信	ソフト	みのかもし 美濃加茂市に、はじめて来 たがいこくじん(日本人も含 む)に市のルールを伝える 場所	市のルールをしっかりと伝 える		3
	ソフト	こくさいこうりゅう きよてん 国際交流の拠点と なる場所。そこには がいこくじん きがた 外国人が気軽に立ちよ れ、相談ができる。又、 ほか がいこくじん だんたい 他の外国人、団体とも れんけい せき 連携がとれる席もあると 良い			
	ソフト	はいじばん じゅう りよう 掲示板(自由に利用できる もの)コミュニティ。 じえいぎょうしゃ しょうかい 自営業者の紹介			
	ソフト	しやくしよ こうりゅう 市役所から交流する場 の提供がほしい (ボランティア等)			
	ソフト	こみゅにけーしょん コミュニケーションをとりた い。日本を理解していく場			3
	ソフト	Facebook、LINE など こみゅにけーしょん コミュニケーション			

カテゴリ	はーど: 緑 ソフト: 水色 はーど: ピンク その他: オレンジ	市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーるの 貼られた 枚数
まどぐち てつづ 窓口の手続き	ソフト	がいこくじん か 外国人の課を訪れる人 は、日中に働いている ひとが多いので かいちようじかん かくちよう 開庁時間の拡張	まどぐち じかん かくちよう 窓口の時間の拡張。 どにち かいちよう 土日の開庁		2
	ソフト	てんにゆう てんしゅつ 転入・転出。 ぜいきんてつづ 税金手続き	わんぷろあ てつづ ワンフロアで手続きできる		
しせつ せつび 施設・設備	はーど	こいんろっかー コインロッカー			
	はーど	しやくいん しみん つかいじむ 職員・市民の使えるジム			
	はーど	おくじよう れすとらん・かふえ 屋上にレストラン・カフェ			2
つうやく やさしい 通訳・やさしい 日本語	ソフト	さいん ちゆうしゃじよう くるま サイン(駐車場や車 いすなど)	やさしい にほんご やさしい日本語が良い		2
	ソフト	こく ひと つうやく 30か国の人に通訳で たいおう 対応するのは 難しい			
こどもすべーす 子供スペース	はーど	おや てつづ 親が手続きをしていると き、子どもがあそべる すべーす スペース			2
	はーど	さいいか こ 3才以下の子どもを見てく れる場所			
	はーど	てつづ こ 手続きのときに子どもが待 てるすべーす スペース			

■C班
1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能 (まとめ)

※大事なところ、おもうところに1人3枚赤シールを貼付。

かてごりニ カテゴリー	はニド: みどり ソフト: みずいろ はニド: ピンク その他: オレンジ	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見	その他	あかしーる 赤シールの 貼られた 枚数
まどぐち 窓口	はニド	ウンスドツツ 窓口を新 しい市役所に			1
	ソフト	ほんやくようたぶれつと 調子によって話がつな わらないことがある			1
	ソフト	びょうき せつめい 病気の説明が難しい			1
	ソフト	しょう 障がいの種類別に まどぐち 窓口を分けて、わかりやす く、話やすくしてほしい			
	ソフト	さいがいじ ひなんじょうほう 災害時に避難情報を はや 早く提示してほしい			1
	ソフト	そうだん おお ぶしよ つうやく 相談の多い部署に通訳 の職員を固めて配置し てほしい			1
	ソフト	はな ことば 話す言葉によってブースを わけてほしい			
	ソフト	ごみ ぶんべつ ゴミの分別をわかりやす く			1
	ソフト	もつと 明るい 雰囲気がある 市役所が良いと思います。			
がいこく ぶんか 外国の文化	はニド	ゆつたり すごせる まちあい かんきょう 待合環境			
	はニド	がいこく ぶんか 外国の展示会を開いて こうりゅう 交流する場所			
	はニド	いろいろな くに ぶんか もの 国々の文化や物 を展示できるスペース			

かてごりニ カテゴリー	は二ど みどり ソフト: 水色 は二ど: ピンク その他: オレンジ	しみん いけん 市民の意見	つけたし意見 つけたい意見	その他	あかしーる 赤シールの は 貼られた まいすう 枚数
がいこく ぶんか 外国の文化	は二ど	しやくしよ し 市役所からも知ってほしい こと つた ばしよ 事を伝えられる場所			
	ソフト	にほん しみん がいこくしみん 日本の市民と外国市民 が じょうりゆう できるとき が交流できる機会			1
	は二ど	がいこくじん ぶんか りかい 外国人の文化を理解し、 はいりよ 配慮してほしい。			1
	は二ど	がいこくせき しみん にほんご 外国籍の市民が日本語・ ぶんか まな ばしよ にほん 文化を学べる場所。日本 のみなさんも ほか くに のみなさんも他の国のこ とにふれあえるところがあ ると良いです。			2
じどうほいく 児童保育	ソフト	にんかがいほいくえん しやくしよ 認可外保育園に市役所 から保育士を紹 介・支援 してほしい			2
	は二ど	こそだ はいりよ かんきよう 子育てに配慮した環境			

がいにくじんしみんたいしやうわ ニくしよっぶ あんけーとけっか 外国人市民対象ワークシヨップ アンケート結果

1. ワークシヨップ概要

① 目的

れいわ ねんど い しみんわ ニくしよっぶ さんか むづか がいにくじんしみん かたがた
令和5年度に行った市民ワークシヨップへの参加が難しかった外国人市民の方々に、
「こんな市役所だったらいいな」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

② テーマ

しんちやうしや きのう はーど (たてもの せつびとう) かん かん こと おも てーま そふと (りよう
新庁舎の機能で、とくにハード(建物・設備等)に関することを主なテーマとする。ソフト(利用
ほうほう サポート等)、ハート(想い・考え方等)に関することをお話いただいた場合にも、
はーど せつけい おと こ はつげん おく しみん ニーす おきき
ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③ 対象

がいにくじんしみん 13めい
外国人市民 13名

④ 実施日時

2024ねん がつ にち どうようび
2024年7月27日(土)15:00~16:30

⑤ 実施場所

しやうがいがくしやうせん たー
生涯学習センター202

⑥ アンケート回収状況

11けん かいしゅう
11件 回収

2. アンケート結果

問1. 本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=11】
満足	9
やや満足	1
やや不満	1
不満	0
未回答	0
合計	11

問2. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

	回答者数【N=11】
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	4
美濃加茂市SNS(Instagram、Facebook など)	4
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	6
所属団体からの呼びかけ	2
その他	0
未回答	0
合計	17

問3. 本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

- 紙面上ではとても良いことが書かれていますと思いました。仕事(外国人窓口)の質をよくすることに關しては、新たなビルが建つ建たないに關係なく少しずつ実行されるべきです。
- たのしみです
- 外国人の方々の意見もとても価値あるものだと思います。
- 市が外国人のコミュニティに寄り添おうとしているその目的は素晴らしいです。コミュニティの方々が参加しないのは残念です。
- ないです。
- 美濃加茂市ではこのワークショップのような外国人住民を支援するとりくみを行っています。この取り組みは美濃加茂市が外国人を大歓迎していることを強く感じさせます。
- 他の参加者から新しいアイデアを得ることが出来ました。
- とてもすてきで満足です。よろしくお願いします。
- 必要なことは全て含まれていました。

問4. 言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

- 言いたいことはたくさんありますが、時間やまたこのように意見を述べる機会が少ないのかもしれません。例えば、教育や市での登録を行う時の指導について述べるなど。
- 公的な機関が外国人に合わせるべきなのか、それとも逆なのか、どちらでしょう？
- ないです。
- 日本人社会全体が、外国人住民がより豊かで繁栄し健全な日本社会の実現に貢献することができるように支援することを願っています。

問5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

- 良い庁舎が出来上がることを期待しています。
- 将来住人に課される追加の費用がないことを願います。年齢を重ねていつている人たちや通訳など公的な職に就いている人たちのためのキャリアの道があると良いです。
- 楽しみです。
- 外国人住民の意見も重要視している市に感謝したいです。
- 新しい美濃加茂市役所を楽しみにしています。
- 今の状況では建設は非常に良いです。よろしくお願いします。
- 新しい建物を建設するこのプロジェクトに外国人も含めてくださりありがとうございます。ありがとうございました。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。



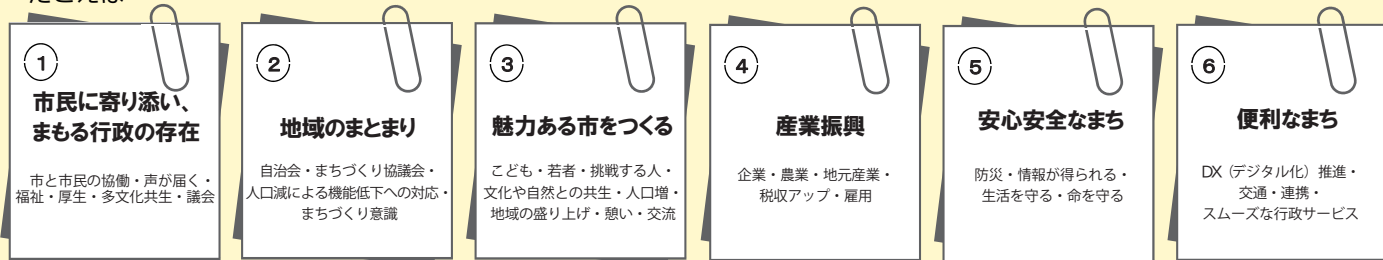
市の役割について (STEP1)

第1回市民ワークショップ(令和5年7月)は「10年後の市の役割」をテーマに行いました。これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- ① 安心安全なまちづくりをする存在であること
- ② こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・



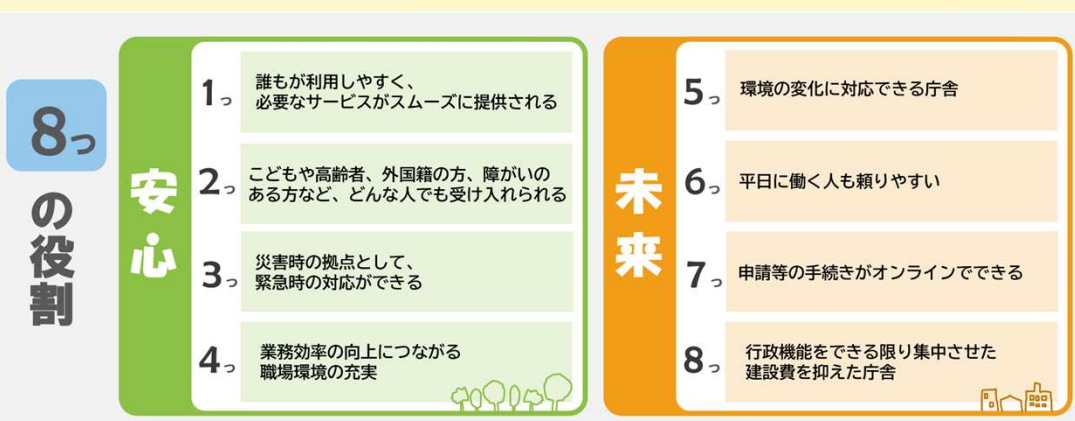
新庁舎の役割・コンセプトの決定 (STEP2, 3)

第2回市民ワークショップ(令和5年9月)のご意見や1,500人市民アンケート(令和5年11月)の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept
新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

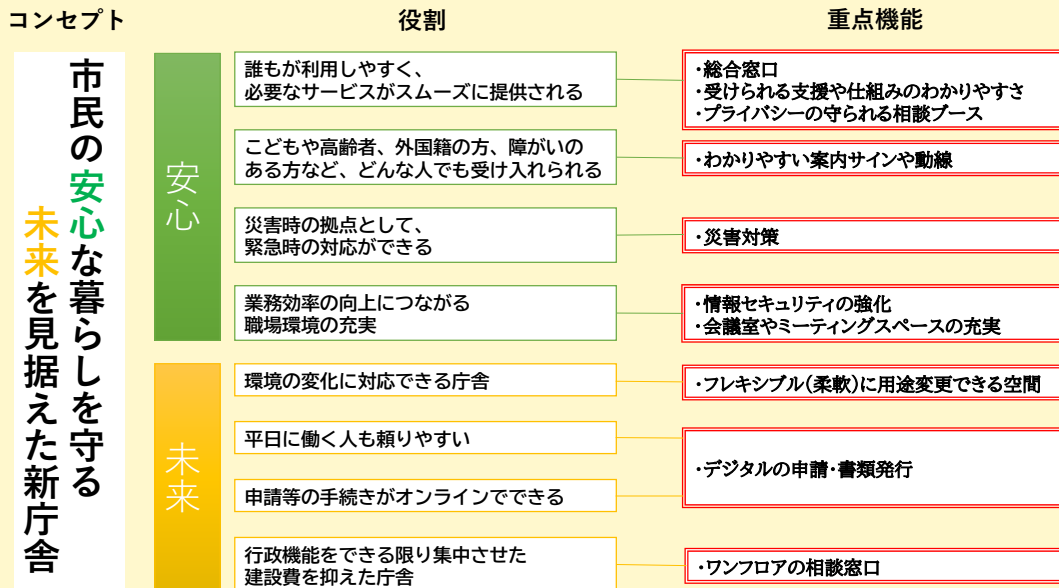
未来を見据えた新庁舎



新庁舎の機能決定 (STEP4)

第3回市民ワークショップ(令和5年12月)のご意見や4,000人市民アンケート(令和6年2月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度(重要度)の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ



新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1~10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1~9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で十分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！



新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochosha.jp>

発行者:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

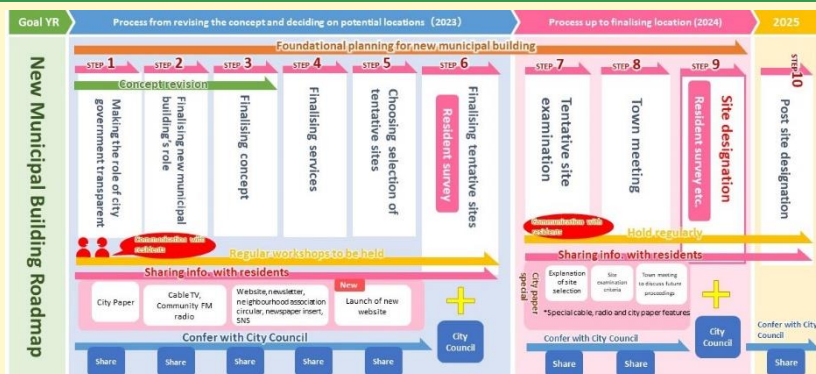


みんなの新庁舎
ポータルサイト

Workshop Information Sheet

A roadmap for the new municipal building construction

To date, resident workshops and surveys have been held in line with the 'New Municipal Building Construction Roadmap' in order to fully reach a consensus with residents on construction. The workshop proposed this time is to create the opportunity for those who may have found it difficult to take part previously (international residents, those with disabilities, and those with small children) the chance to share their opinions.



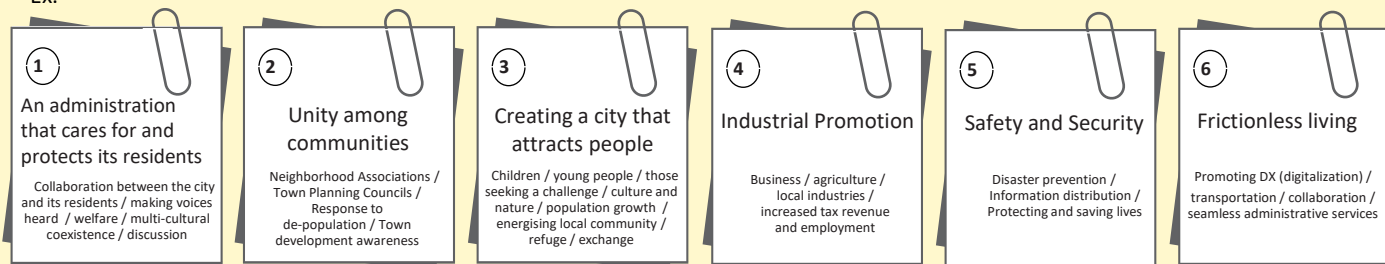
Minokamo City's role (STEP 1)

The first workshop was held (July 2023) under the theme of 'Minokamo City's role in a decade from now'. Participants have come up with what kind of new municipal building would be required based on the city's future role(s) since then.

Most common answers for the role of Minokamo City in 10 years time:

- ❗ To be at the core of creating a safe and peaceful city
- ❗ To be a city that supports harmonious existence between those of all ages, those with disabilities, and international residents.

Ex.



Deciding on the role and concept of the new municipal building (STEP 2 + 3)

The role of and concept for the new building was decided based on feedback from the second resident's workshop (September 2023), the results of a survey of 1,500 residents (November 2023), and interviews with city employees. Construction will continue to be carried out realise a municipal hall that is reliable, can adapt to an ever-changing future, and that provides peace of mind to the residents of Minokamo City.

Concept
Municipal Building
Concept

Protecting **Peace of mind** in daily life

A new municipal building adaptable to the **Future**

8
Roles

Peace of mind

- 1** Accessible for everyone and seamless provision of services
- 2** Can serve the young and old, international residents, those with disabilities, etc.
- 3** A base for times of disaster
Prepared for emergencies
- 4** Strategies for work optimisation
creating a rewarding workplace

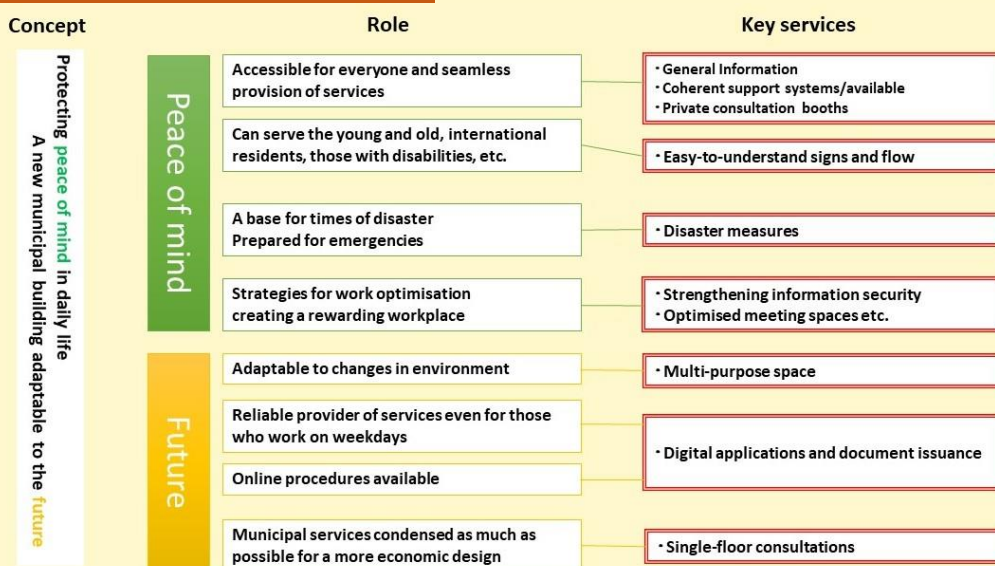
Future

- 5** Adaptable to changes in environment
- 6** Reliable provider of services even for those who work on weekdays
- 7** Online procedures available
- 8** Municipal services condensed as much as possible for a more economic design

Deciding on services to be provided (STEP 4)

Feedback from the 3rd residents workshop (December 2023), results of a 4,000 person survey (February 2024), opinions from city employees were gathered and analyzed in order to determine what services were seen as necessary from the perspective of city residents and employees for the new municipal building. The services that were most frequently answered as necessary were given high priority (importance) and designated as key services.

Role of new municipal building and key services



Excerpts of results related to services provided

Q. Select services you think are particularly important as services at the new municipal building.

*Services selected by 15% or more of all respondents

4,000 Residents (Top 10 responses)

1	General Information (One-stop service)	30.6 %
2	Easy-to-understand signs and flow	30.5 %
3	Support and systems available	27.3 %
4	Disaster Management Office	24.1 %
5	Initial evacuation shelter	21.9 %
6	Large car park (to be used during disaster)	21.9 %
7	Storage (emergency supplies, etc.)	21.5 %
8	Digital applications and document issuance	19.8 %
9	Single-floor consultations	18.4 %
10	Strengthening information security	15.6 %

Staff survey results (Top 9 responses)

* Services especially necessary for residents at the new municipal building

1	General Information (One-stop service)	44.8 %
2	Private consultation booths	39.3 %
3	Easy-to-understand signs, information touch panel	37.3 %
4	Conference rooms and meeting spaces	24.7 %
5	Digital applications and document issuance	23.4 %
6	Spacious toilet	21.4 %
7	Cafeteria, convenience store, etc.	18.8 %
8	Power outage measures (emergency power generation equipment, etc.)	15.9 %
9	Multi-purpose space	15.6 %

A workshop for those whose opinions have not been heard sufficiently in previous workshops (international residents, people with disabilities, and people with young children) will be held so that we can brainstorm together about what kind of municipal building you would like to see in Minokamo!



See below for the latest information on the new municipal building construction
<https://minokamochosha.jp>

Issued by: Minokamo City General Affairs Department
 New Municipal Building Construction Promotion Division

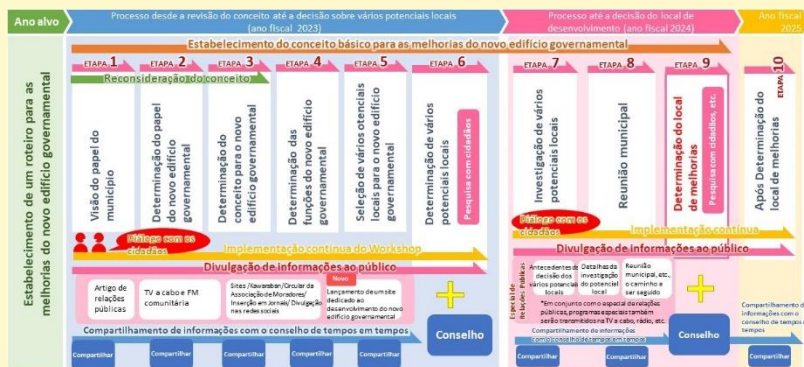


Everyone's New
Municipal Building
Portal site

Material Informativo do Workshop

Roteiro de Melhorias do Novo Edifício Governamental

Até o momento, foram realizados workshops e pesquisas com os cidadãos de acordo com o "Roteiro de de Melhorias do Novo Edifício Governamental", a fim de chegar a um consenso total com os cidadãos sobre as melhorias do novos edifício governamental. Desta vez, será realizado um workshop para ouvir opiniões de estrangeiros, pessoas com deficiência e a geração que cria filhos, que tiveram dificuldade em participar dos workshops para cidadãos.



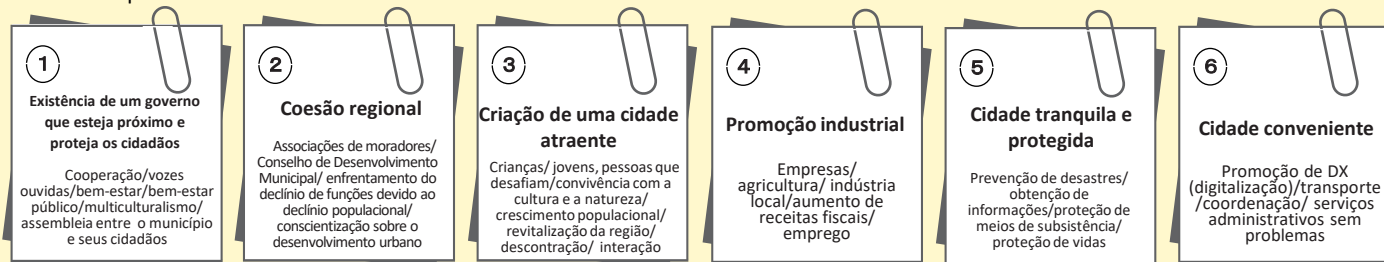
Sobre o papel do município (ETAPA 1)

O 1º workshop para cidadãos (julho de 2023) foi realizado sob o tema "O papel do município daqui a 10 anos". Com base nestes papéis do município, estamos pensando em qual tipo de novo edifício governamental será necessário.

Opiniões representativas sobre "O papel do município daqui a 10 anos"

- ❗ Ser uma entidade que ajuda a criar uma cidade segura e protegida.
- ❗ Apoiar uma cidade onde crianças, adultos, idosos, pessoas com deficiência e estrangeiros possam coexistir.

Por exemplo:



Determinar o papel e o conceito do novo edifício governamental (ETAPAS 2, 3)

Com base nas opiniões do 2º workshop com cidadãos (setembro de 2023), nos resultados de uma pesquisa para 1.500 cidadãos (novembro de 2023) e em entrevistas com funcionários da prefeitura, foram decididos os papéis e o conceito do novo edifício governamental. Com base nesses papéis e conceitos, prosseguiremos com o projeto de melhorias do novo edifício governamental para que seja um edifício no qual os cidadãos possam confiar com tranquilidade e antecipe o futuro em constante mudança.

Conceito
Conceito do Novo
Edifício Governamental

Proteger a vida **tranquila** dos cidadãos

Novo Edifício Governamental antecipando o **futuro**

8
Papéis

Tranquilidade

- 1º** Acessível a todos e com fornecimento tranquilo dos serviços necessários
- 2º** Aberta a todos os tipos de pessoas, incluindo crianças, idosos, estrangeiros e pessoas com deficiência
- 3º** Centro de desastres, capaz de responder a emergências
- 4º** Aprimorar o ambiente de trabalho para melhorar a eficiência operacional

Futuro

- 5º** Edifício governamental que possa responder às mudanças do meio ambiente
- 6º** Fácil de usar mesmo para pessoas que trabalham durante a semana
- 7º** Procedimentos de solicitação, etc. podem ser feitos online
- 8º** Um edifício governamental que centraliza ao máximo as funções administrativas e reduz os custos de construção

Determinar as funções do novo edifício governamental (ETAPA 4)

Com base nas opiniões do 3º workshop de cidadãos (dezembro de 2023) e nos resultados da pesquisa com 4.000 cidadãos (fevereiro de 2024), as funções necessárias foram coletadas e organizadas a partir da perspectiva dos cidadãos e dos funcionários, e as funções do novo edifício governamental foram determinadas. As funções que receberam o maior número de respostas como sendo necessárias foram priorizadas (em termos de importância) e posicionadas como funções prioritárias.

Papel do Novo Edifício Governamental e posicionamento das principais funções



Trechos dos resultados relacionados às funções do novo edifício governamental

P. Selecione os itens que você acha que são particularmente necessários em relação às "funções do edifício governamental ":

*Função da taxa de resposta de pelo menos 15% de todos os entrevistados.

Resultados de uma pesquisa com 4.000 cidadãos (1º ao 10º lugar)

1º	Balcão de informações gerais (serviço em um só lugar)	30.6%
2º	Sinalização de informações e linhas de fluxo de fácil entendimento	30.5%
3º	Apoio e mecanismos disponíveis	27.3%
4º	Escritório de Medidas de Prevenção de Desastres	24.1%
5º	Função primária do abrigo	21.9%
6º	Estacionamento amplo que pode ser usado em caso de desastre	21.9%
7º	Espaço de armazenamento (suprimentos de emergência, etc.)	21.5%
8º	Emissão de solicitação/documento digital	19.8%
9º	Balcão de consultas em um único andar	18.4%
10º	Fortalecimento da segurança das informações	15.6%

Resultados da pesquisa com funcionários (1º ao 9º lugar)

*Funções do novo edifício governamental que são especialmente necessárias para os cidadãos

1º	Balcão de informações gerais (serviço em um só lugar)	44.8%
2º	Cabines de consulta com proteção à privacidade.	39.3%
3º	Sinalização de informações e linhas de fluxo de fácil entendimento, painel de toque de informações	37.3%
4º	Salas de conferências e espaços para reuniões	24.7%
5º	Emissão de solicitação/documento digital	23.4%
6º	Banheiros amplos	21.4%
7º	Cafeterias, lojas de conveniência, etc.	18.8%
8º	Medidas para falta de energia (equipamento de geração de energia de emergência, etc.)	15.9%
9º	Espaços que podem ser reutilizados com flexibilidade	15.6%

Realizaremos um workshop voltado para estrangeiros, pessoas com deficiência e pessoas que criam filhos, cujas opiniões não pudemos ouvir plenamente em workshops anteriores. Vamos pensar juntos que tipo de prefeitura você deseja na sua perspectiva!



Para obter as informações mais recentes sobre as melhorias do novo do edifício governamental:
<https://minokamochosha.jp>

Publicador: Divisão de Promoção de Melhorias de Novos Edifícios Governamentais,
Departamento de Assuntos Gerais da Cidade de Minokamo



Site do portal
"Novo Edifício
Governamental
de Todos"

これまでのワークショップで出た機能の例

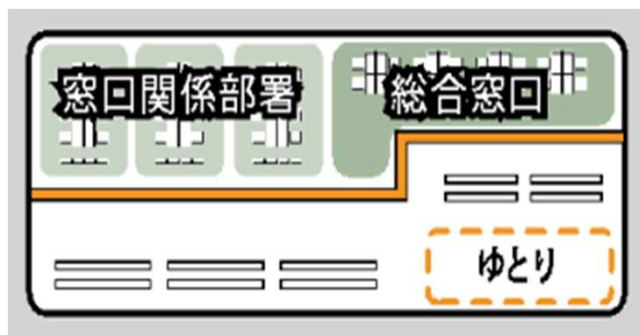
総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、ワンストップ(1つの窓口)だけで手続きが完結させることができ、利用者の移動負担を軽減できる。



ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに集約し、来庁者の移動を少なくして、利便性の向上を図る。



プライバシーに配慮した窓口

パーテーションや半個室の相談ブースを設けることで、相談者のプライバシーを守りながら相談や手続きができる。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを目指して、庁舎内に市民が集い、交わる市民交流スペースを設置。



ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、お子様連れの方など多様な方に配慮した、だれもが安心して利用できる分かりやすいデザインとする。



市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の特産物、特産品のPR及び購入をしたり市政情報を得る場となる。



～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。



授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。



～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。



デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。



～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）



バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場を設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。



Case studies of services provided as a result of previous workshops

General Information Counter

Multiple procedures can be taken care of at this one-stop counter. Thus reducing the burden of visitors having to move to different areas for different procedures.



Privacy-conscious counters

Partitions and semi-private consultation booths were introduced allowing visitor's privacy to be protected during consultations.



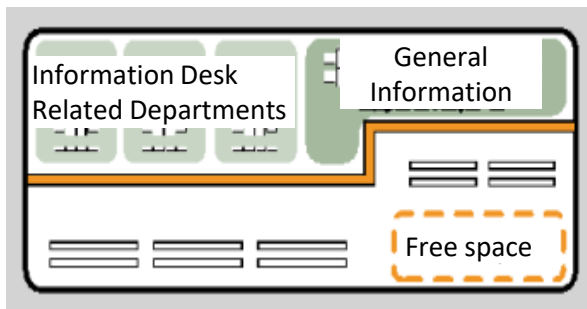
Universal Design

The building is designed to be easily navigated by a variety of people, including the elderly, people with disabilities, international residents, and those with young children.



Single-floor resident services

Services frequently used by residents were consolidated to one floor reducing transfer times between services and becoming more convenient.



Hub for residents

A space was created for residents to gather and interact within the municipal buildings with the goal of creating more liveliness in the town.



Hub for residents and city staff

The antenna shop in Minokamo City promotes and sells local specialties, as well as being a place where visitors can obtain city government information.



For those raising children

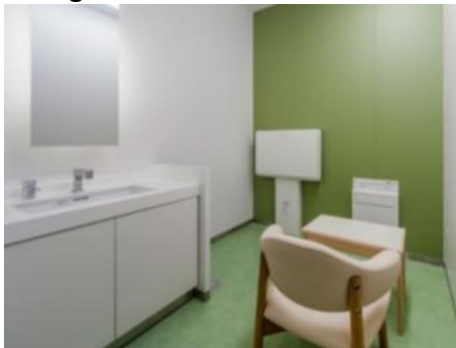
Comfortable waiting areas

Visitors can wait comfortably in the spacious waiting area kids spaces.



Nursing room

Visitors with infants don't need to worry about finding a suitable space with this facility fitted with a baby seat, changing board, hot water for making formula milk etc. available.



For international residents

Easy to understand signage

Simple Japanese (aka yasashii nihongo), English, and Portuguese is used for the signs in the corridors and stairways making it easy for international residents to navigate.



Digital Signage

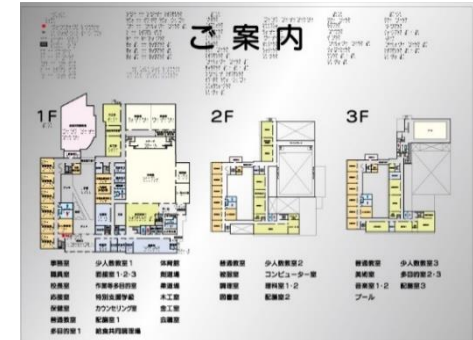
Multilingual support to meet the various needs of visitors that introduces the correct counter to visit, information on events, and resident activities.



For people with disabilities

Audio guide and Braille installed

Facility has been designed taking the needs of visually and hearing impaired visitors into consideration. (Audio guide, Braille, electronic bulletin board, etc.)



Barrier-free buildings

A step-free floor plan, multi-purpose toilets on each floor, and specially allocated parking spots make it easier for wheelchair users and the elderly to visit with peace of mind.



Exemplos de funções de workshops anteriores

Balcão de informações gerais

Mesmo quando vários procedimentos são necessários, o procedimento pode ser concluído em apenas um lugar (1 balcão), reduzindo a carga de viagem do usuário.



Balcão amigável à privacidade

As divisórias e as cabines de consulta semiprivadas permitem que as consultas e os procedimentos sejam realizados com privacidade.



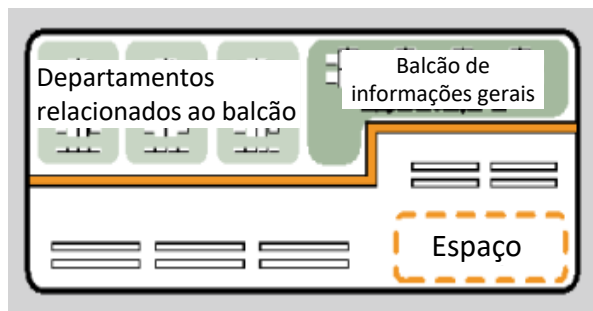
Design universal

O edifício deve ser projetado para ser fácil de entender e seguro para todos, levando em conta uma gama diversificada de pessoas, incluindo idosos, pessoas com deficiência, estrangeiros e pessoas com crianças.



Balcão dos cidadãos em um único andar

A conveniência é melhorada com a consolidação dos balcões usados com mais frequência pelos cidadãos em um único andar, reduzindo o número de visitantes que se deslocam de um lugar para outro.



Espaço de interação entre cidadãos

Com o objetivo de criar vivacidade na cidade, um espaço de intercâmbio cívico para os cidadãos se reunirem e conviverem foi estabelecido dentro do edifício do governo.



Espaço de interação entre cidadãos e funcionários

As “lojas antenas” serão locais para promover e adquirir produtos locais e especialidades da cidade de Minokamo, bem como obter informações sobre o governo municipal.



Geração que cria filhos

Ambiente de espera confortável

Áreas de espera espaçosas, espaços para crianças e outras instalações são fornecidas para garantir que os visitantes possam passar o tempo de espera confortavelmente.



Sala de amamentação

Sala de amamentação com assentos para bebês, provador e instalações de água quente para ajustar o leite e outros produtos também estão disponíveis para quem tem bebês possa utilizá-la com tranquilidade.



Estrangeiros

Sinalização de fácil entendimento

Placas em japonês de fácil compreensão, inglês e português são colocadas nos corredores e escadas.



Sinalização digital

Tem uma função multilíngue para orientar os visitantes ao balcão de acordo com sua finalidade e uma função para informá-los sobre eventos, acontecimentos e informações sobre atividades cívicas.



Pessoas com deficiência

Instalação de orientação por áudio e Braille

Instalações para deficientes visuais e auditivos (orientação por áudio, Braille, sinalização elétrica, etc.)



Edifício com acessibilidade

A planta sem degraus, banheiros multifuncionais em cada andar e vagas de estacionamento bem planejadas permitem que cadeirantes e idosos utilizem as instalações com tranquilidade.



(6) 障がい児者にやさしいワークショップ

障がい児者にやさしい新庁舎整備ワークショップ 結果概要

テーマ:「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップのとおり、各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、これまでの市民ワークショップへの参加が難しかった障がい児者の方に向けて、市民ワークショップを開催しました。今回は、「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」をテーマに話し合いたくさんのご意見を頂きました。

1. 開催概要

(1)開催日時・場所・参加人数

- 日時:2024 年 8 月 27 日(火) 13:30~15:00
- 場所:生涯学習センター201
- 参加人数:17 名

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. グループワーク

お題:「だれにでもやさしい新庁舎の機能を考えよう」

4. 全体発表
5. おわりに

(3)参加者募集の概要

- 対象:美濃加茂市在住又は在勤の障がいのある方(中学生以上)、養護者の方
※養護者とは障がい児者の身の世の世話や金銭の管理を行う家族、親族、同居人、知人などです。
- 申込方法:応募用紙にて参加申込(郵送または持ち込み)、電話、WEB フォーム(QR コード)、電子メール
- 申込期限:8 月 9 日(金) 〆切
- 募集方法:市 HP への掲載、みんなの新庁舎ポータルサイトへの掲載、美濃加茂市 LINE、美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)、すぐメールみのかも、身体障害者福祉協会美濃加茂支部への周知、福祉事業所(社会福祉協議会、地域生活支援センターひびき、カナリヤの家)から施設利用者への周知

(4)事務局

美濃加茂市 総務部 新庁舎整備推進課



2. 結果の概要

(1) 全体の傾向

ハード面に関する意見として、駐車場から市役所入口や建物内の窓口などの移動に対する意見が多く出されました。例えば、駐車場の車用駐車ブロックや通路幅等、駐車場内を移動するときに障がい児者の方でも安全に通行できる配慮が欲しいといった意見や、音声案内を設置して視覚障がいのある方でも移動しやすいように配慮してほしいといった意見が多く出されました。

ソフト面では、申請書の簡潔化やデジタル化に関する意見が出されました。今の手続きでは書類が多すぎる事や、同じ内容を何度も記載しなければならないため、身体への負担があることなどの意見があがりました。

ハート面では、デジタル化が進む中で、障がい児者の方がついていけないことも多いため、便利な機能の中にも障がい児者への配慮を忘れないで欲しいといった意見が出されました。

※ハード面:建物・設備等

ソフト面:利用方法・サポート等

ハート面:想い・考え方等

(2)全体の結果概要

①新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
安らげる・静かな空間	ハード	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい			1
	ハード	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室			1
交流スペース	ハード	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所			1
	ハード	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)			1
	ハード	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい		1
	ハード	市民交流スペース。コンサートのできる場所			1
窓口の見える化	ハード	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリンググループ・タブレット+音声認証アプリ、透明ディスプレイ			2
	ハード	やさしい日本語(小学生くらいの単語)イラストでもいい。			1
デジタル化・効率化	ソフト	オンライン申請拡大(スマホ、PC)移動不要			1
	ソフト	各申請書類、簡素化(指紋認証などで)住所、氏名等			1
誰にもやさしい	ハード	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる 手すり、目の不自由な人にも対応		2
案内	ハード	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示			1
	ソフト	各課窓口に筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状況づくり		1
	ハード	カッコいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので上手くサービスをつないでほしい		2
申請書・書類	ソフト	申請書の簡潔化			1
	ソフト	外国語、各通訳書類を作成する			1
	ソフト	視覚障がい者への市からの封書等。音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げている ヘルパーさん不足でこれから困る		1
	ソフト		点字対応はラグができてしまうのでオンタイムで受けとれない		
認定調査	ソフト	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして残せないか	介護保険の方が簡単になっている	1
			書き方も統一されていない		
			前の情報を探すのも大変		
リラックスして聞き取りできる	ハード	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所		1

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
サービス エリアみたいな トイレ	ハード	トイレの広さ。鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じ ピクトグラムで分かるの か？		1
			車イスが回転できる広さ。オ ストメイト対応。音声案内		
			多目的トイレでもベビートイ レが広がっていると車イス が通れない		
			自動で流れると、準備でき ていなくて濡れるときがあ る→手動がよい		
			鏡に角度がないと見えにく い		
車椅子も 通リやすく 使いやすい	ハード	机やイスなど車椅子に配慮 →高さ、スペース。タッチパ ネルの角度	車いすが通れない		1
			通れない時にイス等をどけ てもらえる→申し訳なく思 ってしまう		
	ハード	市庁舎のアクセス。コミュニ ティバス停。雨天でも OK。 駐車場にも	運転手さんに対応してもら うの申し訳なく思ってしまう		1
			市役所まで直通のバスがな い		
			雨ざらしは困る		
庁舎の位置	ハード	駐車場が広いこと、庁舎か ら離れた所に作らず庁舎に 接近していること	アメリカだとバスのスロー プが自動に出てくる！		1
デジタル化と の共存	ハート	デジタル化は世の流れです が、その流れについていけ ない障がい者、高齢者の事 も考えてほしい			1
	ソフト	各種申請の手続きをタッチ ペンかその他、紙とえんぴつ 以外で			1
エレベーター、 エスカレーター	ハード	エレベーターを増やす。不便 になっている。			1
	ハード	エレベーターの操作をタッチ パネルでなくボタン操作で できると良い			1
庁舎の機能	ハード	庁舎周辺の信号は音響信号 があると良い。点字ブロック はもちろん、横断歩道上に エスコートゾーンを設けてほ しい。			1
	ハード	ワンストップ窓口			1
	ハード	現在の庁舎の横に生涯学習 センターがあり、大変利用価 値がある。新庁舎にはぜひ 現在の生涯学習センターの 集会室、学習室、会議室を備 えて欲しい			1

②新庁舎の機能(ハード)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
安らげる・静かな空間	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい		
	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室		
	長イス、飲み物買える休めるコーナー		
	音に過敏な子、静かな空間での対応手続き		
	掲示物もない方がいい		
	壁で囲まれているなど		
交流スペース	動きたい子どもが保護者と共に待てる空間や場所(手続きできる)		
	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所		
	アート		
	美濃加茂の工芸品や絵画といった展示室があれば		
	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)		
	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい	
	市民交流スペース。コンサートのできる場所		
窓口の見える化	会議室や議場でヒアリンググループ(埋め込み型)例:各務原市役所		
	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリンググループ・タブレット+音声認証アプリ、透明ディスプレイ		
	窓口の見える化:音声認識、次の人がわかる電光掲示板、透明ディスプレイ		
	行先案内、床に表示		
	掲示文についてわかりやすく、ふりがなを打つ。イラストなどあるコーナー		
	やさしい日本語(小学生くらいの単語)イラストでもいい。		
交通	市役所に直通のバスが出るといい!		
誰にもやさしい	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる 手すり、目の不自由な人にも対応	
トイレ	車いすのトイレが2つ以上あるといい、1つ埋まっていると入れない	障がいのないかたも入れるようにする	
	段差。上がれないようになる、こけてしまう。		
	トイレについて、ストーマ対応もないといけない	トイレ分かりやすく、近く	
通路	エレベーターのスペースは広くしてもらえると車イスの方も使用しやすい	車いすの人が通行しやすいような通路設計	
	車いす等が(段差があっても)入れるようにする必要		
案内	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示		
	案内の音声、点字だけでなくボタンを押すとルートがわかる機能があるとわかりやすい(ナビ)	職員の負担、利用者の心の負担も減る	
		だれにでも、分かりやすい案内	
	各課に呼び出し電光掲示板設置	タブレットやテレビ等、色々な方法がある	
		言われても聞こえないと後回しになってしまう	

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
案内	かっこいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので 上手くサービスをつないでほしい	
	市役所へ行った時いろんな窓口ではなく、ひとつで出来る。	手続きそのもののスムーズ化	
プライバシー	広い空間と秘密が守れる相談室		
	プライバシーが守れる相談窓口		
アクセス	総合案内板(音声、点字、映像など誰でも分かりやすい)		
	音声案内		
	入り口にチャイムをつけてほしい(音声案内)		
	音声案内をつけて欲しい(ここは、トイレです等)		
	バス降車場をもっと増やしてほしい	あい愛バス	
	人感センサーでの音声案内		
安全な庁舎	間違っって人の駐車場に入らないように		
	道路からのアクセス。車が多いからこそ点字ブロックなど配慮をお願いしたい		
	トイレをどの階でも同じような場所に設置して欲しい。		
	駐車場の車のどめ。視覚障がいの方が危ない		
	バリアフリー。ユニバーサルデザイン		
分かりやすい窓口	1つの窓口で職員の方が動いて、複数の手続きをしたい。		
リラックスして聞き取りできる	日が当たる	吹き抜けほしい	
	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所	
ピクトグラムで案内を分かりやすく	ピクトグラムの使用(子ども・外国人・聴覚障がい者)	バツと見て分かと◎→案内サイン迷わないように	
サービスエリアみたいなトイレ	トイレの広さ。鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じピクトグラムで分かるのか？	
		車イスが回転できる広さ。オストメイト対応。音声案内	
		多目的トイレでもベビートイレが広がっていると車イスが通れない	
		自動で流れると、準備できていなくて濡れるときがある→手動がよい	
		鏡に角度がないと見えにくい	
	サービスエリア→(特に刈谷)のトイレを目指して！		
車椅子も通りやすく使いやすい	段差がなくフラットな床	わかりやすいフラット→色味によって分かりにくい	
	机やイスなど車椅子に配慮→高さ、スペース。タッチパネルの角度	車いすが通れない	
		通れない時にイス等をどけてもらえる→申し訳なく思ってしまう	
	市庁舎のアクセス。コミュニティバス停。雨天でも OK。駐車場にも	運転手さんに対応してもらおうの申し訳なく思ってしまう	
		市役所まで直通のバスがない	
		雨ざらしは困る アメリカだとバスのスロープが自動に出てくる！	
庁舎の位置	駐車場が広いこと、庁舎から離れた所に作らず庁舎に接近していること		
	美濃太田駅の 2 階と庁舎をつなぐ。使いやすくなる		
	美濃太田駅の寂れがひどい、ぜひ駅前がにぎやかになる新庁舎を望みます		
エレベーター、エスカレーター	庁舎の規模がまだわかりませんが、東西の両方にエレベーター、エスカレーターをつけてほしい		
	エレベーターを増やす。不便になっている。		

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
エレベーター、エスカレーター	エスカレーターがあるとしたら、上り・下りの音声案内がほしい		
	庁舎入口にも音声案内		
	エレベーターの操作をタッチパネルでなくボタン操作でできると良い		
	ボタンに凹凸があった方が分かりやすい		
庁舎の機能	庁舎周辺の信号は音響信号があると良い。点字ブロックはもちろん、横断歩道上にエスコートゾーンを設けてほしい。		
	健康プラザ内にある子育て支援課を、同じ場所に		
	ワンストップ窓口		
	現在の庁舎の横に生涯学習センターがあり、大変利用価値がある。新庁舎にはぜひ現在の生涯学習センターの集会室、学習室、会議室を備えて欲しい		

③新庁舎の機能(ソフト)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
窓口の見える化	いつも対応してくれる職員がわかる と安心。待ち状況とか		
	窓口にいる人(本日対応できる人) の名前がわかるコーナー(壁に掲示 など)		
	外国籍の方でもわかりやすい案内		
デジタル化・効率化	オンライン申請拡大(スマホ、PC)移 動不要		
	市役所は手続業務を効率化し、相談 問題解決型		
	ハンコの全面廃止		
	各申請書類、簡素化(指紋認証など で)住所、氏名等		
案内	各課窓口に筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状 況づくり	
	外国人の通訳者。手話の出来る人を 常におく。	通訳機器なども利用しながら(デジ タル機器)	
	総合窓口、受付タブレットを使用。	使いなれていない人でも	
	耳マーク表示版を分かりやすい場所 に置く。	1回で済むようにしないと車いすな どの人が、大変	
情報共有	自治会に入ってなくても、市の情報 を受け取れるよう教えてくれるサー ビス	防災について(ハザードマップ)も届 く必要がある。	
分かりやすい窓口	各課の移動を各課職員で案内でき る。		
来庁しなくても手続きでき る	来庁しなくても手続きができる(障 がいを持っていても)		
聴覚に障がい	手話通訳者増員		
	呼出しパイプ		
	文字テロップ		
申請書・書類	申請書の簡潔化		
	外国語、各通訳書類を作成する		
	申請書等の役所言葉が難しい		
	視覚障がい者への市からの封書等。 音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げてい る ヘルパーさん不足でこれから困る 点字対応はラグができてしまうので オンタイムで受けとれない	
認定調査	窓口対応。各部署との連携		
	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして 残せないか	介護保険の方が簡単になっている
		書き方も統一されていない	
		前の情報を探すのも大変	
	福祉業務の効率化		
庁舎の機能	昼間来られない人、夜の営業日を設 ける		
	昼と同じ機能がある夜営業		
デジタル化との共存	各種申請の手続きをタッチペンかそ の他、紙とえんぴつ以外で		
	デジタル化と紙面上でも共存できる		
その他	必要な情報を得られる。例えば引 越しに必要な手続きなど。職員さん 把握できていますか？		

④新庁舎の機能(ハート)

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	その他
申請書・書類	精神障がいの方も書類を何枚も書くのがつらい	住所等、同じ内容を何回も書かないといけない	
デジタル化との共存	デジタル化は世の流れですが、その流れについていけない障がい者、高齢者の事も考えてほしい		

(3)グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

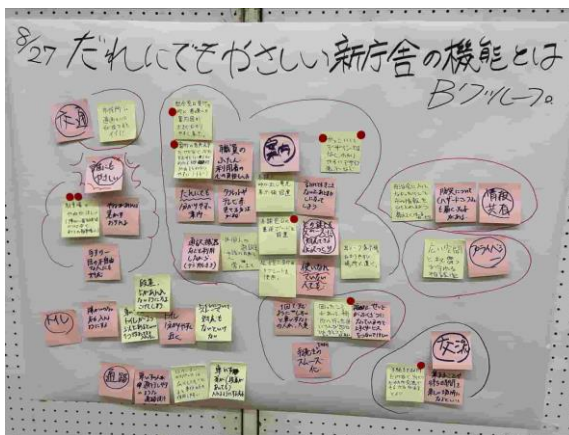
※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼 られた 枚数
安らげる・ 静かな空間	ハード	ガヤガヤできる交流スペースのほかに、静かな休憩スペースもほしい			1
	ハード	静かな刺激の少ない場所で相談できる→個室			1
	ハード	長イス、飲み物買える休めるコーナー			
	ハード	音に過敏な子、静かな空間での対応手続き			
	ハード	掲示物もない方がいい			
	ハード	壁で囲まれているなど			
交流スペース	ハード	動きたい子どもが保護者と共に待てる空間や場所(手続きできる)			
	ハード	起業したい方や物を売りたいと考えている方が試しに販売できる場所			1
	ハード	アート			
	ハード	美濃加茂の工芸品や絵画といった展示室があれば			
	ハード	子どもと市役所が交流できる場を残してほしい(コイのエサやり)			1
窓口の 見える化	ハード	会議室や議場でヒアリンググループ(埋め込み型)例:各務原市役所			
	ハード	見える化:窓口対応、電光掲示板(例:各務原市)、カウンターヒアリンググループ・タブレット+音声認証アプリ、透明ディスプレイ			2
	ソフト	いつも対応してくれる職員がわかると安心。待ち状況とか			
	ソフト	窓口にいる人(本日対応できる人)の名前がわかるコーナー(壁に掲示など)			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼 られた 枚数
窓口の 見える化	ハード	窓口の見える化:音声認識、 次の人がわかる電光揭示 板、透明ディスプレイ			
	ハード	行先案内、床に表示			
	ソフト	外国籍の方でもわかりやす い案内			
	ハード	揭示文についてわかりやす く、ふりがなを打つ。イラス トなどあるコーナー			
	ハード	やさしい日本語(小学生くら いの単語)イラストでもい い。			1
デジタル化・効 率化	ソフト	オンライン申請拡大(スマ ホ、PC)移動不要			1
	ソフト	市役所は手続業務を効率化 し、相談問題解決型			
	ソフト	ハンコの全面廃止			
	ソフト	各申請書類、簡素化(指紋認 証などで)住所、氏名等			1

■B 班

1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能(まとめ)

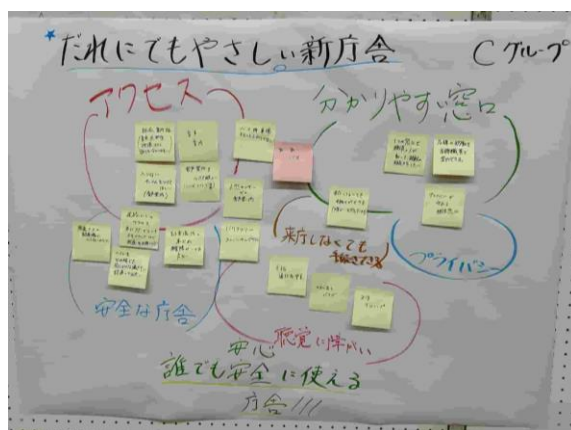
※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
交通	ハード	市役所に直通のバスが出てるといい!			
誰にもやさしい	ハード	駐車場の屋根がほしい(障がい者駐車場だけでなくすべての駐車場に)	屋根があれば急がず降りれる 手すり、目の不自由な人にも対応		2
トイレ	ハード	車いすのトイレが2つ以上あるといい、1つ埋まっているとはいれない	障がいのないかたも入れるようにする		
	ハード	段差。上がれないようになる、こけてしまう。			
	ハード	トイレについて、ストーマ対応もないといけない	トイレ分かりやすく、近く		
通路	ハード	エレベーターのスペースは広くしてもらえると車いすの方も使用しやすい	車いすの人が通行しやすいような通路設計		
	ハード	車いす等が(段差があっても)入れるようにする必要			
案内	ハード	総合窓口受付の所に、各課への案内図が大きく分かりやすく表示			1
	ハード	案内の音声、点字だけでなくボタンをおすとルートがわかる機能があるとわかりやすい(ナビ)	職員の負担、利用者の心の負担も減る だれにでも、分かりやすい案内		
	ハード	各課に呼び出し電光掲示板設置	タブレットやテレビ等、色々な方法がある 言われても聞こえないと後回しになってしまう		
	ソフト	各課窓口で筆談ボードを設置	どの課でもスムーズに対応できる状況づくり		1
	ソフト	外国人の通訳者。手話の出来る人を常におく。	通訳機器なども利用しながら(デジタル機器)		
	ソフト	総合窓口、受付タブレットを使用。	使いこなしていない人でも		
	ハード	かっこいいデザインではなく、わかりやすいデザイン表示など	福祉制度が複雑になっているので上手くサービスをつないでほしい		2
	ソフト	耳マーク表示版を分かりやすい場所に置く。	1回で済むようにしないと車いすなどの人が、大変		
	ハード	市役所へ行った時いろんな窓口ではなく、ひとつで出来る。	手続きそのもののスムーズ化		

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼 られた 枚数
情報共有	ソフト	自治会に入らなくても、市の情報を受け取れるよう教えてくれるサービス	防災について(ハザードマップ)も届く必要がある。		
プライバシー	ハード	広い空間と秘密が守れる相談室			
交流	ハード	手続きする所だけでなく、ゆっくりだれもが交流できるカフェがあるとよい	集まることや待ち時間を楽しめる場所になるといい		1

■C 班

1)ワークショップの様子



2)新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに1人3枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼 られた 枚数
アクセス	ハード	総合案内板(音声、点字、映像など誰でも分かりやすい)			
	ハード	音声案内			
	ハード	入り口にチャイムをつけてほしい(音声案内)			
	ハード	音声案内をつけて欲しい(ここは、トイレです等)			
	ハード	バス降車場をもっと増やしてほしい	あい愛バス		
	ハード	人感センサーでの音声案内			
安全な庁舎	ハード	間違って人の駐車場に入らないように			
	ハード	道路からのアクセス。車が多いからこそ点字ブロックなど配慮をお願いしたい			
	ハード	トイレをどの階でも同じような場所に設置して欲しい			
	ハード	駐車場の車どめ。視覚障がいの方が危ない			
	ハード	バリアフリー。ユニバーサルデザイン			
分かりやすい窓口	ハード	1つの窓口で職員の人が動いて、複数の手続きをしたい。			
	ソフト	各課の移動を各課職員で案内できる。			
来庁しなくても手続きできる	ソフト	来庁しなくても手続きができる(障がいを持っていても)			
プライバシー	ハード	プライバシーが守れる相談窓口			
聴覚に障がい	ソフト	手話通訳者増員			
	ソフト	呼出しバイブ			
	ソフト	文字テロップ			

■D 班

1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能(まとめ)

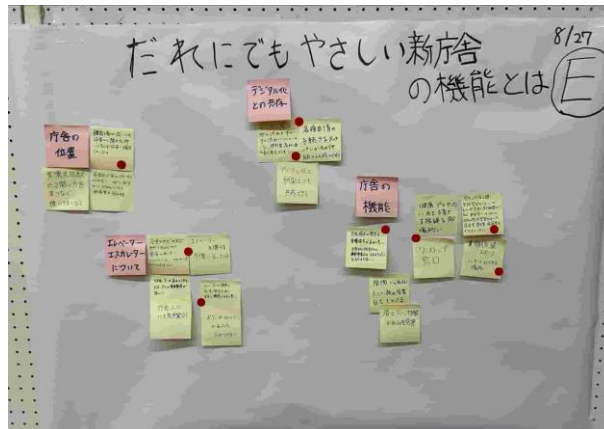
※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
申請書・書類	ソフト	申請書の簡潔化			1
	ソフト	外国語、各通訳書類を作成する			1
	ソフト	申請書等の役所言葉が難しい			
	ソフト	視覚障がい者への市からの封書等。音声コードでの読みあげ	今はヘルパーさんが読み上げている ヘルパーさん不足でこれから困る 点字対応はラグができてしまうのでオンタイムで受けとれない		1
	ハート	精神障がいの方も書類を何枚も書くのがつらい	住所等、同じ内容を何回も書かないといけない		
認定調査	ソフト	窓口対応。各部署との連携			
	ソフト	認定調査。文章の統一化	利用者さんの経歴等をカルテにして残せないか 書き方も統一されていない 前の情報を探すのも大変	介護保険の方が簡単になっている	1
	ソフト	福祉業務の効率化			
リラックスして聞き取りできる	ハード	日が当たる	吹き抜けほしい		
	ハード	緑のある雰囲気・空間	オアシスみたいな所		1
ピクトグラムで案内を分かりやすく	ハード	ピクトグラムの使用(子ども・外国人・聴覚障がい者)	パッと見て分かると◎→案内サイン迷わないように		
サービスエリアみたいなトイレ	ハード	トイレの広さ。鏡の見やすさ	子どもから高齢の方も同じピクトグラムで分かるのか?		1
	ハード		車イスが回転できる広さ。オストメイト対応。音声案内		
	ハード		多目的トイレでもベビートイレが広がっていると車イスが通れない		
	ハード		自動で流れると、準備できていなくて濡れるときがある→手動がよい		
	ハード		鏡に角度がないと見えにくい		
	ハード	サービスエリア→(特に刈谷)のトイレを目指して!			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
車椅子も 通やすく 使いやすい	ハード	段差がなくフラットな床	わかりやすいフラット→色味によって分かりにくい		1
	ハード	机やイスなど車椅子に配慮→高さ、スペース。タッチパネルの角度	車いすが通れない 通れない時にイス等をどけてもらえる→申し訳なく思ってしまう		
	ハード	市庁舎のアクセス。コミュニティバス停。雨天でも OK。駐車場にも	運転手さんに対応してもらおうの申し訳なく思ってしまう		1
			市役所まで直通のバスがない		
			雨ざらしは困る アメリカだとバスのスロープが自動に出てくる！		
その他	ソフト	必要な情報を得られる。例えば引っ越しに必要な手続きなど。職員さん把握できていますか？			

■E 班

1) ワークショップの様子



2) 新庁舎の機能(まとめ)

※大事だと思うところに 1 人 3 枚赤シールを貼付。

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼られた枚数
庁舎の位置	ハード	駐車場が広いこと、庁舎から離れた所に作らず庁舎に接近していること			1
	ハード	美濃太田駅の 2 階と庁舎をつなぐ。使いやすくなる			
	ハード	美濃太田駅の寂れがひどい、ぜひ駅前がにぎやかになる新庁舎を望みます			
デジタル化との共存	ハート	デジタル化は世の流れですが、その流れについていけない障がい者、高齢者の事も考えてほしい			1
	ソフト	各種申請の手続きをタッチペンかその他、紙とえんぴつ以外で			1
	ソフト	デジタル化と紙面上でも共存できる			
エレベーター、エスカレーターについて	ハード	庁舎の規模がまだわかりませんが、東西の両方にエレベーター、エスカレーターをつけてほしい			
	ハード	エレベーターを増やす。不便になっている。			1
	ハード	エスカレーターがあるとしたら、上り・下りの音声案内がほしい			
	ハード	庁舎入口にも音声案内			
	ハード	エレベーターの操作をタッチパネルでなくボタン操作でできると良い			1
	ハード	ボタンに凹凸があった方が分かりやすい			
庁舎の機能	ハード	庁舎周辺の信号は音響信号があると良い。点字ブロックはもちろん、横断歩道上にエスコートゾーンを設けてほしい。			1
	ソフト	昼間来られない人、夜の営業日を設ける			
	ソフト	昼と同じ機能がある夜営業			
	ハード	健康プラザ内にある子育て支援課を、同じ場所に			

カテゴリー	ハード:緑 ソフト:水色 ハート:ピンク その他:オレンジ	市民の方の意見	つけたし意見	その他	赤シールの貼 られた 枚数
庁舎の機能	ハード	ワンストップ窓口			1
	ハード	現在の庁舎の横に生涯学習センターがあり、大変利用価値がある。新庁舎にはぜひ現在の生涯学習センターの集会室、学習室、会議室を備えて欲しい			1
	ハード	市民交流スペース。コンサートのできる場所			1

障がい児者にやさしい新庁舎整備ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

令和5年度に行った市民ワークショップへの参加が難しかった障がい児者の方々に、「だれにでもやさしい新庁舎の機能」についてのご意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映する。

② テーマ

新庁舎の機能で、とくにハード（建物・設備等）に関することを主なテーマとする。ソフト（利用方法・サポート等）、ハート（想い・考え方等）に関することをお話いただいた場合にも、ハードの設計に落とし込めるようにご発言の奥にある真のニーズをお聴きする。

③ 対象

障がい児者と養護者 17名

④ 実施日時

2024年8月27日(火) 13:30～15:00

⑤ 実施場所

生涯学習センター201

⑥ アンケート回収状況

10件 回収（紙：9件、Google フォーム：1件（9月1日㇏））

2. アンケート結果

問1. 本日のワークショップは、ご満足頂けましたか。

	回答者数【N=10】
満足	8
やや満足	0
やや不満	1
不満	0
未回答	1
合計	10

問2. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

	回答者数【N=10】
美濃加茂市ホームページ	3
ポータルサイト「みんなの新庁舎」	0
美濃加茂市 LINE	1
美濃加茂市 SNS(Instagram、Facebook)	0
すぐメールみのかも	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
福祉事業所からの紹介	5
所属団体からの呼びかけ	1
その他	1
未回答	0
合計	12

問3. 本日のワークショップに参加して、新庁舎整備について新しく気づいたことや感じたことはありますか。

- いろいろな人へ丁寧な対応をできることが必要。障がいを持っている人が発言すると具体化できる。
- あったらいいと思うことは多くの方が同じ考えをもっていることに気づけた。
- やさしい町づくりに新庁舎がいこいの場にもなれるように。
- だれにでも優しいということが大切であると感じました。
- 多くの方々が真剣に考え取り組んでいることがわかりました。
- 小グループでの話し合いのため、気兼ねなく話すことができた。
- 出された意見も少なく、かつ十分な意見交換ができず、もっと理解を深めたかった。

問4. 言い足りなかったこと、言いたかったけれど言えなかったことはありますか。

- 現在の自分の障がいしか考えていなかったが、トイレやエレベーターも大切なこと。
- 新庁舎の場所について検討しているのか？
- 言いやすい雰囲気です十分話せました。
- 外出のままならない障がい者には市庁舎の中で図書室やレストラン、理美容室など利用ができる、ソフトハード面でも明るく広く優しい場所であってほしい。

問5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください

- 情報がいろいろほしい。
- 場所を早めに決定してほしい。
- 今回の意見を生かした新庁舎が出来るとお願いします。
- 今後も皆さまでより良い新庁舎をつくって頂けたらと思います。
- もっといろいろな立場の方の意見を聞いてほしい。

問 6. 障がいのある人が利用しやすいように新庁舎を整備する上で新庁舎整備において考慮すべきことがあればご自由にご記入ください。

【身体障がい】

- 交通のアクセスを考え、気軽に行ける市役所であって欲しい。
- 移動スペースも広くする。バリアフリー。案内をわかりやすく。
- 段差解消
- 通路や幅の広さ。トイレの設備
- 障がい者にもいろんな人がいることを考慮してお願いします。例えば視覚障がい者の人はどうしたらいいでしょう。
- 〈アクセス〉公共交通機関、タクシーを利用して一人で市庁舎に行けるよう配慮してほしい。自家用車を使った場合、輪止めの幅が狭くて通り抜けできない場合があるので、車椅子の幅を考慮してほしい。
〈トイレ〉自動洗浄の場合、思わず衣類が濡れてしまう時があるので、手動で確実に洗浄できるようにしてほしい。鏡を設置して車椅子での角度にも配慮してほしい。タッチパネルの位置、トイレットペーパーの位置など座って取れる位置にほしい。

【知的障がい】

- 見て分かりやすい案内、書類。

【精神障がい】

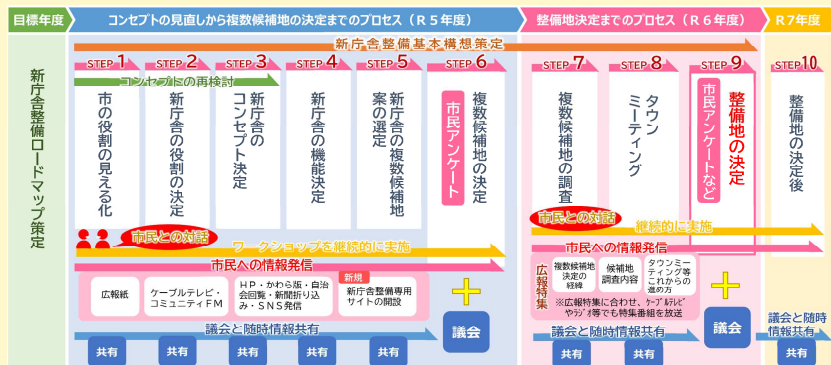
- 落ちつける場所。丁寧な説明を出来る場所。混乱しても落ちついて対応できるスタッフ。
- 人目が気にならないスペースをつくること。
- 静かな環境
- 案内のわかりやすさ。優しい声かけ、案内。

情報提供資料

新庁舎整備ロードマップ

これまで、新庁舎整備について、市民の皆さんと合意形成を十分に図って進めるため、「新庁舎整備ロードマップ」に沿って、市民ワークショップやアンケートを実施してきました。

今回、市民ワークショップで参加の難しかった外国人や障がい者、子育て世代に関係する方からのご意見をお伺いするために、ワークショップを開催します。



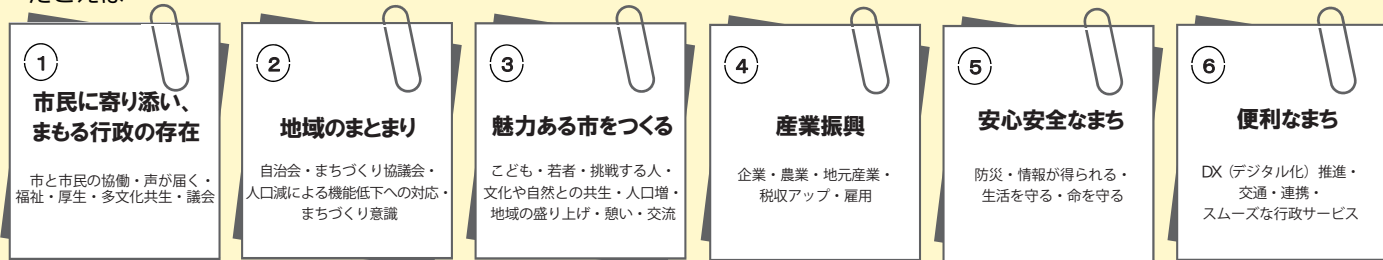
市の役割について (STEP1)

第1回市民ワークショップ(令和5年7月)は「10年後の市の役割」をテーマに行いました。これらの市の役割をもとに、どんな新庁舎が必要か考えてきました。

「10年後の市の役割」についての代表的な意見

- ① 安心安全なまちづくりをする存在であること
- ② こどもから大人、高齢者、障がい者、外国人などが共存できるまちを支える存在であること

たとえば・・・



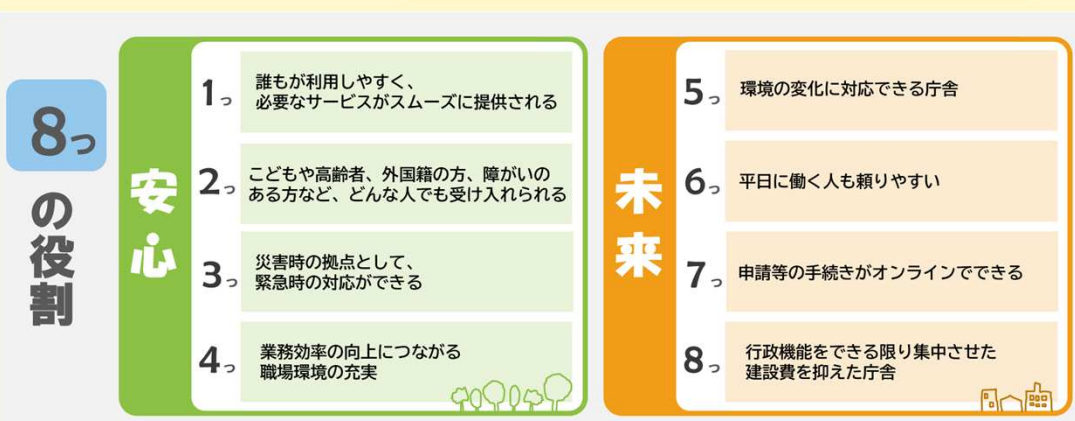
新庁舎の役割・コンセプトの決定 (STEP2, 3)

第2回市民ワークショップ(令和5年9月)のご意見や1,500人市民アンケート(令和5年11月)の結果や市職員へのヒアリングをもとに、新庁舎の役割・コンセプトを決定しました。市民のみなさんが安心して頼ることができ、日々変化する未来を見据えた庁舎となるよう、この役割・コンセプトをもとに、今後は新庁舎整備事業を進めていきます。

Concept
新庁舎のコンセプト

市民の安心な暮らしを守る

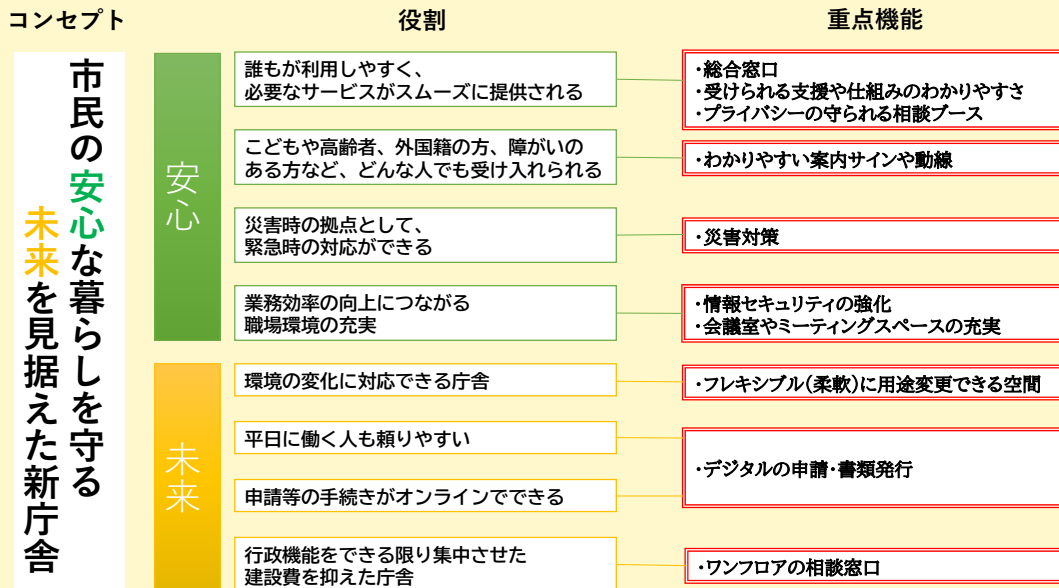
未来を見据えた新庁舎



新庁舎の機能決定 (STEP4)

第3回市民ワークショップ(令和5年12月)のご意見や4,000人市民アンケート(令和6年2月)の結果により、市民及び職員の目線で必要な機能を収集・整理し、新庁舎の機能を決定しました。必要だと思う機能として回答の多い機能を優先度(重要度)の高いものとして、重点機能と位置づけ整理しました。

新庁舎の役割と重点機能の位置づけ



新庁舎の機能に係る結果の抜粋

Q.「新庁舎の機能」について特に必要だと思う項目を選択してください。

※回答者全体の15%以上の回答率の機能

市民4,000人アンケート結果(1~10位)

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	30.6%
2位	わかりやすい案内サインや動線	30.5%
3位	受けられる支援や仕組み	27.3%
4位	災害対策室	24.1%
5位	一次避難所機能	21.9%
6位	災害時活用できる広い駐車場	21.9%
7位	備蓄スペース(緊急物資等)	21.5%
8位	デジタルの申請・書類発行	19.8%
9位	ワンフロアの相談窓口	18.4%
10位	情報セキュリティの強化	15.6%

職員アンケート結果(1~9位)

※市民のために特に必要な新庁舎の機能

1位	総合窓口 (ワンストップサービス)	44.8%
2位	プライバシーの守られる相談ブース	39.3%
3位	わかりやすい案内サインや動線、 案内タッチパネル	37.3%
4位	会議室やミーティングスペース	24.7%
5位	デジタルの申請・書類発行	23.4%
6位	広いトイレ	21.4%
7位	食堂・コンビニ等	18.8%
8位	停電対策(非常用発電設備等)	15.9%
9位	フレキシブル(柔軟)に用途変更できる空間	15.6%

今までのワークショップ等で十分に意見を伺えなかった、外国人の方・障がいのある方・子育て世代の方を対象としたワークショップを開催します。
みなさんの目線で、どんな市役所になってほしいか一緒に考えましょう！



新庁舎整備の最新情報はこちら

<https://minokamochosha.jp>

発行者:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課



みんなの新庁舎
ポータルサイト

これまでのワークショップで出た機能の例

総合窓口

複数の手続きが必要な場合でも、ワンストップ(1つの窓口)だけで手続きが完結させることができ、利用者の移動負担を軽減できる。



プライバシーに配慮した窓口

パーティションや半個室の相談ブースを設けることで、相談者のプライバシーを守りながら相談や手続きができる。



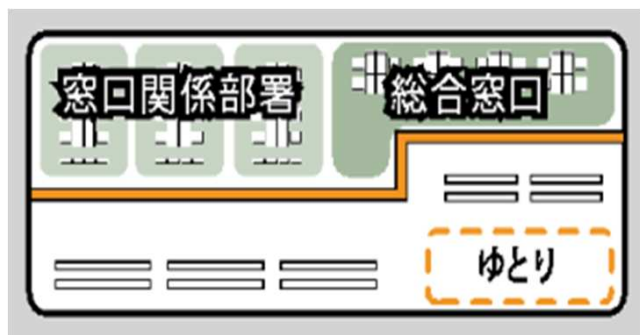
ユニバーサルデザイン

建物内は、高齢者や障がい者、外国人、お子様連れの方など多様な方に配慮した、だれもが安心して利用できる分かりやすいデザインとする。



ワンフロアの市民窓口

市民の利用が多い窓口をワンフロアに集約し、来庁者の移動を少なくして、利便性の向上を図る。



市民同士の交流の場

まちのにぎわいが生まれることを目指して、庁舎内に市民が集い、交わる市民交流スペースを設置。



市民と職員の交流の場

アンテナショップは、美濃加茂市の特産物、特産品のPR及び購入をしたり市政情報を得る場となる。



～子育て世代～

快適な待合環境

来庁者が快適に待ち時間を過ごすことができるように、ゆとりある待合スペースやキッズスペース等を設置。



授乳室

乳幼児連れの方も安心して利用できるよう、ベビーシート、フィッティングボード、ミルク等の調整に必要な給湯設備等も備えた授乳室を設置。



～外国人～

わかりやすいサイン

廊下や階段には、やさしい日本語と英語,ポルトガル語で表記されたサインが設置され、外国の方も分かりやすい。



デジタルサイネージ

多言語に対応して来庁者の目的にあわせて窓口を案内する機能、イベントや行事、市民活動情報等のお知らせ機能を持つ。



～障がい者～

音声案内・点字の設置

視覚障がい、聴覚障がいに配慮した設備（音声案内、点字、電光掲示板など）



バリアフリーな建物

段差のないフロア計画や多機能トイレを各階に設けたりおもいやり駐車場の設置することで車いすご利用の方や高齢者の方も安心して利用することができる。

